

昭和五十二年三月

史料館所藏史料目錄

第二十七集

史料館

史料館所藏史料目錄

第二十七集

凡 例

- 一 本目錄は『史料館所蔵史料目錄』第二十七集として、下総国相馬郡藤代村飯田家文書目錄（その二）を収めた。
- 一 史料は利用上の便宜を考慮して、その内容・体裁等に応じ大・中・小の項目を立てて分類配列した。大項目は一〇ポイント・ゴチック活字、中項目は九ポイント・ゴチック活字、小項目は九ポイント活字で示した。また必要に応じて〇印で細項目を示した。
- 一 史料目錄の記載欄はほぼ、(一)表題、(二)作成者または差出人、(三)宛名、(四)作成年月、(五)形態、(六)数量、(七)整理番号の順である。
- 一 表題（史料名称）は原則として原表題を採った。原表題の無いものおよび原表題を改変したものは仮に命名して掲げ、(一)を付して前者と区別した。また原表題について内容摘記を付した場合には、(一)内に八ポイント活字をもって併記した。
- 一 作成者または差出人および宛名は、表題から推知しうるものは適宜省略した。なお役職名・地名などは必要に応じて付した。
- 一 作成年次は年月・干支を採って原則として日を省略した。簿冊等で数年次にわたるものは、始年―終年で示した場合がある。また推定年代は(一)を付した。
- 一 史料の形態は、簿冊類では半（半紙判）、美（美濃判）、美大（美濃大判）、半半（半紙半截判）、美大半（美濃大半截判）、横長半（半紙横長判）、横長美（美濃横長判）、横半半（半紙半截横長判）、横美半（美濃截横長判）などによって原書の大きさの大概を示すにとどめ、一紙書付類は大概は通をもって数量を示し、紙形の大小、寸法は省略した。絵図類は縦横の寸法をセンチメートル単位で示した。
- 一 数量の上部に示した板は木版物、合は合綴物である。
- 一 最下欄の数字は、各史料の整理番号を示す。照会・閲覧・引用の場合に利用されたい。
- 一 巻末に簡単な解題を付した。

目次

凡例

頁

下総国相馬郡藤代村飯田家文書（その二）

目録

一

目次

三

目録

五

解題

一七

下
総
国

相馬
代馬
村郡

飯
田
家
文
書
目
録
(その二)

下総国 相馬郡 飯田家文書目録目次

	頁
支配	
土地	
貢租	
村入用・村費	
戸口	
治安	
救恤	
水利・普請	(以上第二六集)
川々御普請	五
小貝川川除御普請	五
福岡・伊丹堰	五
岡堰	六
議定、組合高、三分老割、通知、役員、詰所、入用、目論見、出来形、下金・拝借、火、伐木、人足、神浦御普請、その他	四
規定、御用留、目論見・書上、土地、願	
書、人足、入用、積金、五ヶ村分水口、用水、絵図、その他	
道橋普請	一七
海道普請、道路他取調、往還土橋	
宿駅	一九
宿	一九
宿、上下内訳、木戸	
助郷	二〇
助郷	二〇
問屋	二二
問屋、日ノ帳、賃錢、継立、継立馬指金、人馬受負人	
本陣	二四
御用留、修覆、絵図、その他	
宿泊・通行	二六
先触、水戸藩、土浦藩、御勘定、宿割、宿泊、賄入用、入用、本陣宛通、御追討、その他	
拝借	二七
旅籠	
渡船場	二八
船金、渡船場、川船	
養蚕	二九
桑苗	二九
桑苗	二九
養蚕	二九
養蚕届、養蚕願、養蚕凡積、養蚕人取調、養蚕有無調、掃立紙	
蚕種	三〇
蚕種願、蚕種免許願、製造願、製造凡積、輸出製種、買上願、所持桑種紙、蚕種書上、出来高調、蚕種取調、蚕種印紙、余原紙、製造加入、休業、検査、印鑑帳、蛾分検査、その他、蚕種原紙	
糸・繭	三〇
糸繭製造願、糸繭出来高、生糸製造願、その他	
富総組	三一
蚕種大惣代、規約・書類、役員、加入、東京会議、出納簿、蚕種布達、書類綴、蚕川舎	
営業	三六
鑑札	三六
営業調、新規営業鑑札、鑑札、兼業鑑札、	

癩業願、換業鑑札、鑑札返、營業人・地方税率

營業……………三

旅籠貸座敷、人力車他居書上、舟・車、癩車願、売薬、質屋、酒造・売、紺屋、漁業、畜産調、養豚、水運会社、共進会、紅茶

学事・兵事……………三

学事……………三

学校資本金他、設立、建築、書籍器械、人員取調、巡視、教員、試験、授業料、その他

兵事……………三

徴兵、国民軍

社寺……………二

天王社、高蔵寺、地藏尊、浅間社、琴平神社、勧化、御一新、社寺取調、境内取調、癩跡、小作書上、複飾・戸籍、説教御届、神宮、神武遙拝、出入、その他

家……………六

相統、日記、道中日記、学校、書籍、その他……………六

土地……………三

所持地、土地売買、出入……………三

貢租……………七

貢租、米田村

小作……………六

小作、取立、証文、その他

養蚕……………三

桑苗、養蚕

漁業……………三

家作……………三

普請、家作金

金融……………三

貸金、出入、講

營業……………三

醬油、米、売薬、下宿、養豚、店請、印紙、共進会、相馬運送店

紙、共進会、相馬運送店

家計……………二

家計、入用帳、諸通、飯田組合通、他通

春米

奉公人……………二

慶事仏事……………二

慶事、年礼、奉加、火事見舞、病氣見舞、仏事

仏事

書状……………三

藤代宿、取手宿、土浦、和田村、小堀河岸、花野井、上萱場村、下萱場村、宮和田村、中内村、牛久宿、竜ヶ崎、山王

村、小浮気村、長兵衛新田、片町、米田町、下井村、江戸、東京、その他、取手宿、土浦、和田、花之井村、上萱場村、中内村、竜ヶ崎、片町、明治以降、家下書・案文、雜、追加

下総国 相馬郡 飯田家文書目録(その二)

(文書記号 26D)

水利・普請

川々御普請

当已桜川出金割合帳 藤代宿商組役人 弘化二年 一二月	横長半	一冊	五四四
当子桜川御普請御入用割合帳 三左衛門組 嘉永 五年一二月	横長半	一冊	二四二〇
下総国相馬郡吉田村中利根川堤防等及普請所取 調帳 吉田村 印旛権令宛 明治六年三月	半	一冊	二四六
堤防等官自箇所取調書上帳 吉田村 印旛権令宛 明治六年三月	半	一冊	二四七
小貝川川除御普請			
(谷井田領村々小貝川附山田沼廻り水除堤御普 請願書) 小張谷井田領十八ヶ村代佐右衛門他 貞享 五年七月		一通	五〇七
(川除堤長サ御尋ニ付指上覚) 鬼長村役人 御普 請奉行所宛 享保一〇年五月		一通	四七九
小貝川通川除御普請組合高帳 小貝川三冊之内 藤代宿飯田三左衛門 明和七年三月	横長半	一冊	二三八
当戌春川除御普請仕様帳 戌年惣代 嘉永三年一 月	半	一冊	二四〇〇

(小貝川通川除定式御普請日記覚帳) 嘉永五年 来午春小貝川通村々川除定式御普請目論見大積 帳 土木大令史 明治二年一二月	横長半	一冊	五四六
明治十三年岡堰出人足才料付並ニ小貝川通川除 杭出シ人足諸色取調帳 人民惣代代理 明治一三 年四月	半	一冊	二四五

(小貝川通定式御普請川除小前之者手防方ニ付 御請印形帳) 村役人 營膳司宛 明治	横長半	一冊	二五七
---------------------------------------------	-----	----	-----

(当戌春小貝川通御普請百姓役出金受取覚)	半	一綴	二五九
----------------------	---	----	-----

(当丑春定式御普請百姓役并納入用金受取覚)	半	一通	二七三
-----------------------	---	----	-----

(当未春小貝川通り川除御普請百姓役出金受取 記) 岡堰惣代 藤代村役人宛 未年八月	半	一通	二七六
----------------------------------------------	---	----	-----

福岡・伊丹堰

小貝川福岡伊丹堰御普請組合高帳 小貝川三冊之 内 飯田三左衛門義勝 明和七年三月	横長半	一冊	二三五
---------------------------------------------	-----	----	-----

(来戌春小貝川通福岡伊丹堰御普請目論見大積 帳) 戌年年番惣代飯田三左衛門 嘉永二年	半	一冊	二六二
-----------------------------------------------	---	----	-----

当丑春小貝川通福岡伊丹堰大玖御材木運賃百姓 役出金堤川除御普請百姓役出金納入用割合帳 下郷組 村々名主宛 慶応元年六月	横長半	一冊	二四六
-------------------------------------------------------------------	-----	----	-----

岡 堰

議 定

岡堰組合諸儀定書写 戊午惣代 嘉永三年八月写
(飯田三左衛門)

半 合一冊 二四三

1 (規定一札) 文政一三年三月

半 一冊

2 神浦坎樋床替規定書 文政七年一月

半 一冊

3 議定連印帳 天保七年一〇月

長 一冊

4 議定一札 天保九年八月

半 一冊

5 議定一札 天保一〇年九月

半 一通

組合高

小貝川通岡堰御普請組合高帳 小貝川三冊之内
飯田三左衛門(明和七年カ)

横長半 一冊 二三四

地頭姓名村高扣帳 岡堰三拾式ケ村歳番 寛政二
年一月

半 一冊 一

岡堰三拾式ケ村組合田畑反別控帳 飯田三左衛門
嘉永三年六月

半 一冊 二四四

(岡堰組合高帳写) 竹垣三右衛門手附 嘉永三年
七月

横長半 一冊 二五三

小貝川通岡堰用水組合村々高帳 年番惣代 嘉永
三年八月(飯田三左衛門写)

横長半 一冊 二五三

(岡堰組合三拾式ケ村耕地反別他雜記帳) 明治
一三年頃

半 一冊 二五八

三分老割

当己岡三ツ老半割合帳 飯田三左衛門組 弘化二
年八月

横長半 一冊 二五〇

来午春岡堰三ツ老割合帳 三左衛門組 弘化二年
一二月

横長半 一冊 二五二

当午岡三ツ老割合帳 両組 弘化三年二月

横長半 一冊 二五四

岡三ツ老御陣屋修覆樋小洗急破割合帳 両組
弘化三年八月

横長美 一冊 二五五

神の浦御普請岡三ツ老ツ定例関枠入用割合蝶
上組三左衛門組 弘化四年四月

横長半 一冊 二五六

来申岡三ツ老割合帳 弘化四年一二月

横長半 一冊 二五七

申ノ岡堰三ツ老ツ神浦太夫附自普請本田関枠入
用共割合帳 三左衛門組 弘化五年二月

横長半 一冊 二五九

西岡堰三ツ老ツ神浦大夫附入用割合帳 三左衛
門組 嘉永二年三月

横長半 一冊 二六〇

西岡三ツ老ツ半詰所并関枠入用帳 三左衛門組
嘉永二年八月

横長半 一冊 二六一

来戌岡三ツ老割合帳 三左衛門組 嘉永二年一
月

横長半 一冊 二六二

定例長錢百三拾式文三分一割合本帳 詰所惣代
嘉永二年一二月

横長半 一冊 二六三

岡堰定例三分老老ツ半并金式拾両割合帳 惣代
嘉永三年三月

横長半 一冊 二六六

来亥春岡堰三ツ老割合帳 三左衛門組 嘉永三年
一二月

横長半 一冊 二六七

子岡堰三分一并老ツ半割合帳 三左衛門組 嘉永
五年二月

横長半 一冊 二六八

来丑春岡堰三ツ老割合帳 三左衛門組 嘉永五年
一二月

横長半 一冊 二七一

丑岡堰三分一老ツ半其外助割合帳 三左衛門
組 嘉永六年三月

横長半 一冊 二七三

来寅春岡堰定例三分一割合帳 三左衛門組 喜永 六年二月 横長半 一冊 二四四	来卯春岡堰定例三分一割合帳 三左衛門組 嘉永 七年十一月 横長半 一冊 二四三	卯岡堰三分壹式割合帳 飯田三左衛門組 安政 二年三月 横長半 一冊 二七四	来辰春岡堰定例三分一当助合金割合帳 三左衛 門組 安政二年十一月 横長半 二冊 二六六 二六六	当巳岡堰三分一壹ツ半并仕越御普請助合其外割 合帳 安政四年三月 横長半 二冊 二六九 二六九	当午岡堰三ツ壹并関梓普請入用割合帳 七左衛 門組 安政五年三月 横長半 一冊 二七〇 二七〇	来未春岡堰三分壹并諸色入用割合帳 安政五年 一〇月 横長半 一冊 二四三 二四三	来申春岡堰三分壹并諸色入用割合帳 三左衛門 組 安政六年十一月 横長半 一冊 二四六 二四六	当申岡堰三分壹割并本田関梓入用割合帳 万延 元年閏三月 横長半 一冊 二七四 二七四	当酉岡堰三分壹式割并関梓修覆割合帳 三左 衛門組 万延二年三月 横長半 一冊 二四七 二四七	来ル戌春岡堰三分一壹ツ半并助合金割合帳 文 久元年二月 横長半 一冊 二四三 二四三	当戌岡堰三ツ壹并諸色助合関梓修覆割合帳 文 久二年四月 横長半 二冊 二四四 二四五	来ル亥春三分壹壹ツ半割合帳 文久二年二月 横長半 一冊 二四三 二四三	当子岡堰三分壹壹ツ半并関梓普請入用割合帳 七左衛門組 元治元年三月 横長半 一冊 二四六 二四六
-------------------------------------------	--------------------------------------------	------------------------------------------	-------------------------------------------------------	------------------------------------------------------	------------------------------------------------------	------------------------------------------------	------------------------------------------------------	--------------------------------------------------	------------------------------------------------------	--------------------------------------------------	--------------------------------------------------	-------------------------------------------	--------------------------------------------------------

飯田家文書目録(その二)

当丑岡堰三分一并壹ツ半種類伏替入用割合帳 三左衛門組 元治二年三月 横長半 一冊 二四七 二四七	来寅岡堰三分壹壹ツ半并諸色助合割合帳 慶応 元年二月 横長半 一冊 二四〇 二四〇	通知	(岡堰築留并内郷御普請諸費組合割賦ニ付惣代 協議通知書) 藤代村外三ヶ村戸長役場 各村人民 惣代宛 明治二年八月 半 一冊 四四四 四四四	(岡堰諸費取調協議会通知書・虎列刺病消毒薬 売捌通知) 戸長 明治二年八月 半 一冊 四四六 四四六	(岡堰切流し人足ニ付照会状) 宮和田村戸長役場 藤代宿幹事長宛 明治二年八月 一冊 五七一 五七一	岡堰惣代之義ニ付協議会開設御届 藤代宿外三ヶ 村戸長他一〇戸長 郡長宛 明治二年二月 半 一冊 五三三 五三三	(非常合口ニ付正錢通送願書状) 岡堰会所 飯田 宛 明治一三年四月 一通 三七七 三七七	(岡堰協議ニ付集會至急出會願状) 戸長他 海老 原五郎治他宛 明治一四年五月 二通 七六六 七六六	(其村地先川除御普請不揃ニ付御注進申上書状) 岡堰詰処 戸長宛 六月 一通 四三三 四三三	(中内・柵木・小浮気村人足指出通知廻状) 岡 堰惣代 戸長宛 五月 一通 四三三 四三三	(費用繰替金ニ付打合書状) 岡堰惣代 飯田主作 宛 戸長役場酒詰村 岡堰惣代宛 一月 一綴 五二〇 五二〇	(岡堰議案回送ニ付御披見願書) 寺田村聯合岡田 八右衛門 飯田主作宛 五月 一通 五七三 五七三	役 員
--------------------------------------------------------	-------------------------------------------------	----	--------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------	---------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------	----------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------	-----

来成岡堰定番給穀割合帳 岡詰所惣代 嘉永二年一〇月	横長半	一冊	三六九	(当寅春小貝川通岡用水堰御普請高割私領出金請取覚) 藤代村名主宛 明和七年十二月	一綴	七〇九
(岡堰集會委員撰挙状) 明治一一一二年	半	一冊	五七	(来丑春岡堰内部御普請所勤人足御賃錢五分通被下二付小前連印一札) 藤代村七九人 安永九年十二月	一通	四〇六
(岡堰集會委員撰挙状) 明治一二年二月	半	一冊	五六	戌春岡堰諸色代取立帳 三左衛門組 享和二年一月	一冊	三四五
(明治十三年岡堰年番總代撰挙状) 明治一二年一月	半	一冊	五八	岡堰御入用諸色直段 三左衛門扣 文化九年九月(嘉永三年五月認)	一冊	七二四
(岡堰定番給石割合帳) 岡堰惣代 各村戸長宛 明治一三年一月	半	一冊	二五七	岡堰惣代中諸向出入通 萩原権左衛門 飯田三左衛門宛 嘉永二年八月	一冊	一〇三三
詰所				岡堰諸入用取立帳 詰所惣代 嘉永三年八月	一冊	三九六
岡堰詰中取調帳 権左衛門分 嘉永二年八月	横長半	二冊	三六七	戊岡堰諸入用其外割合帳 三左衛門組 嘉永三年八月	一冊	二四五
岡堰出勤中取調 書拔帳 嘉永二年八月	横長半	一冊	二四七	岡諸入用差引帳 嘉永四年八月	一冊	五七一
岡詰中諸用扣帳 相馬郡三拾式ヶ村組合藤代村名主三左衛門 嘉永三年一月	横長半	一冊	二四三	当戌岡堰諸入用取調帳 飯田三左衛門組 文久二年二月	一冊	二四三
寅岡詰所諸入用割合帳 三左衛門組 嘉永七年閏七月	横長半	一冊	三六四	来寅岡堰御普請仕越諸色入用割合帳 慶応元年十一月	一冊	二四九
卯岡堰詰所戸田井水防入用割合帳 三左衛門組 安政二年七月	横長半	二冊	三三五	当巳春岡堰皆御入用諸式其外明細簿 岡堰惣代 明治二年三月	一冊	二四六
当巳詰所諸入用其外割合帳 安政四年八月	横長半	二冊	三六二	岡堰入用钱関梓諸式人足費神浦水防費堀浚手直賃差引帳 上組 明治二年八月	一冊	二四七
入用				辛未岡堰諸入用兩組惣差引帳 明治四年二月	一冊	二四七
(来寅年岡堰川徐御普請之儀勤人足賃米并御入用二而被成下候様願書) 岡他三九カ村役人 泉本儀左衛門役所宛 延享二年二月		一通	五八	(廿一年度岡堰費他書留) (明治二年)	半	一綴 四三五
(当卯年岡用水堰御普請御入用諸色代高割永請取覚) 伊奈半左衛門内嶋村新右衛門 高蔵寺・藤代村名主宛 延享四年二月		一綴	七〇	(岡小貝川堰木工費記) 明治二年力	半	一綴 五五〇

(明治廿一年度岡堰組合内郷工事ニ係ル諸式下金覚并請取記) 藤代宿聯合戸長宛 明治二十二年一月

半 一綴 二五三

(当未春岡堰御普請諸入用内割之残分受取覚) 岡堰惣代 藤代宿役人宛 未年二月

横長半 一通 四〇三

(当卯春岡堰諸入用銭受取覚) 岡堰惣代 藤代村役人宛 卯年八月

横長半 一冊 五五九

(詰所諸入用御目論見様方入用等差引取調査) 戊年一月

一通 七六三

(岡堰諸入用割合覚) 丑年八月調

一通 五五四

(岡堰諸色入用銭受取覚) 岡詰所作兵衛 藤代村役人宛 三月

一通 七六九

(関梓普請入用覚) 岡堰惣代 藤代村役人宛 未年二月

一通 六八一

十四年岡堰費内割追徴

一通 五五三

(岡堰諸入用割合覚)

一通 五五三

目 論 見

来戌春小貝川通岡堰定式御普請目論見大積帳 小田又七郎御普請役元締 嘉永二年

半 二冊 二六三

御普請出来形并堀浚丁場改儀定帳写 岡堰組合会所 弘化四年三月

半 一冊 二五八

小貝川通り岡堰元坎内郷用水定式修覆積書 葛飾県 民部省宛 明治三年二月

半 一冊 二七三

岡堰用水御普請ケ所御目論見願 小浮気村総代 郡長宛 明治一五年三月

一通 五五三

出 来 形

(当戌春小貝川通下総国三拾貳ケ村岡堰并内郷悪水路定式御普請出来形帳) 岡堰三拾貳ケ村組合御普請掛役人宛 嘉永三年三月

半 一冊 二四二

当午春小貝川通り三拾貳ケ村組合岡堰并内郷悪水路定式御普請出来形帳 明治三年六月

半 一冊 二七三

下 金 ・ 拝 借

岡堰被切流再築留ニ付御入用御拝借割合帳 三左衛門方 安永八年三月

横長半 一冊 二五九

岡堰大破ニ付殿様御米被下置候ニ付割渡小前帳 藤代三左衛門組 寛政二年三月

横長半 一冊 二三八

御金下ケ金割賦并入用割合帳 惣代 嘉永三年四月

横長半 一冊 二五五

坎 樋

神浦坎樋人足諸色取調帳 惣代 嘉永三年三月

横長半 一冊 二五八

神浦村戸田并坎伏替ニ付割合帳 三左衛門組 安政二年二月

横長半 一冊 二六〇

(吉田村坎樋助合内わり取立覚帳) 慶応三年一月

横長半 一冊 二四三

当巳春岡堰并村々樋類伏替入用不足金割合帳 但し関梓并水防切出浚共 明治二年八月

横長半 一冊 二四六

当午春岡堰御普請小文間神浦樋類伏替入用内割帳 明治二年二月

横長半 一冊 二四九

大留村坎樋当春御普請諸式人足通帳 藤代村 明治七年七月

横長半 一冊 二五八

明治七年春岡堰并両坎樋旧印磨県入費割合帳 明治七年九月

横長半 一冊 二四六

羽田藤井・岡田勝三郎・植田忠次郎書状(坎樋伏替ニ付) 飯田主作宛 明治一五年五月

一通 六六〇

（小貝川通三拾式ヶ村組合岡元玖并神浦村外式ヶ村惡水玖樋仕越定式御普請御材木引取運賃百姓役出金高割触出并添書）岡村名主 岡堰組合村々役人宛、江戸宿甲州屋忠治郎 岡村外村役人宛 丑年閏五月

一通 七五

（大留村玖樋伏込人足酒醉惡さニ付詫一札）大留村知吉兵衛他 藤代村役人宛 四月

一通 五九

（小貝川通三拾式ヶ村組合惡水玖樋修覆入用積書）

半 一冊 五九

切 流

当未岡堰切流入用割合帳 飯田三左衛門組 安政六年九月

横長半 一冊 二五五

当未定使給金割合帳・岡堰割合帳・岡堰切流入用割合帳・岡堰暮割合帳・川々国役割合帳合帳 安政六年

横長半 一冊 五七

当西岡堰切流并領中出入助合水引入用共割合帳 三左衛門組 文久元年九月

横長半 一冊 二四九

明治十二年岡堰築留并切流費割合帳 明治二一年一月

半 一冊 二六三

岡堰築留并切流諸費割合帳 明治二一年一月

半 一冊 二六三

竹 木

岡堰諸色竹買入取調帳 惣代 嘉永三年三月

横長半 一冊 三九四

葉附杉丸太買入取調帳 惣代 嘉永三年三月

横長半 一冊 三九六

杭木転木鎌杭其外品々并明俵繩買入帳 惣代 嘉永三年三月

横長半 一冊 三九七

岡堰諸色竹代割合帳 三左衛門組 安政二一年一月

横長半 一冊 三三三

願 書

（小貝川通岡用水堰御普請仰付願書） 御勘定所宛 明治六年二月

半 一冊 五九

（岡堰組合惣代関梓御普請願書） 当・来年番名主 御奉行所宛 安永八年十一月

一通 四七六

（刀根川小貝両川洪水モ難斗ニ付水防夫并明俵ノ助援願書） 地元小文間戸長役場 藤代宿片町役員宛 明治一三年八月

一通 五七

割 落・出 火

去暮岡堰出越割落并出火入用帳 安政四年四月

横長半 二冊 八七

伐 木

（小貝川堤竹木伐採方御受書雛形） 堤防取締役宛 明治四年四月

一通 五

伐木御敷願書 藤代村 葛飾具治河掛役人宛 明治四年四月

半 三冊 二五〇

（堤上御神木伐採御寛典願書） 藤代村役人惣代 治河掛り役人宛 明治四年四月

半 一綴 五七

堤外茅生場刈払之儀ニ付奉願 藤代村役人惣代 葛飾具役所宛 明治四年二月

半 一冊 四〇五

人 足

来丑春人足割并御賃銭割渡し帳 三左衛門組 安永九年二月

横長半 一冊 二四八

岡元玖樋急破人足并去子戸田井人足雇賃小前取立帳 寛政五年六月

横長半 一冊 二四九

已春岡堰御普請人足小前帳 三左衛門組 寛政九年一月

横長半 一冊 二四九

巳春追割岡堰御普請人足小前帳 政九年二月	三左衛門組	寛	横長半	一冊	二四九三
子春岡堰人足小前割付帳 享和四年一月			横長半	一冊	二四六七
辰春岡堰人足小前割付帳 藤代村	文化五年一月		横長半	一冊	二四四〇
岡堰御普請出人足通帳 藤代村	文化九年二月		横長半	一冊	二四四一
戌春岡堰出人足割合帳 藤代村	文化一二年一月		横長半	一冊	二四四四
亥春岡堰出人足割合帳 飯田三左衛門組 文化一二年一月			横長半	一冊	二四四五
亥春岡人足勤写帳 文化二年一月			横長半	一冊	二四四六
岡堰出人足帳 藤代村	弘化二年一月		横長半	一冊	二四四九
岡堰出人足差引勘定帳 弘化二年二月			横長半	一冊	二四四七
当巳岡人足三ツ沓ツ半沓合帳 弘化二年三月			横長半	一冊	二四四三
巳岡出人足書拔帳 弘化二年二月			横長半	一冊	二四四八
当午岡堰出人足通帳 藤代村	弘化三年一月		横長半	一冊	二四五二
当未ノ春岡堰御普請出人足通帳 岡堰惣代 藤代宿役人宛 弘化四年一月			横長半	一冊	二四五三
当申春岡堰出人足通帳 藤代村	弘化五年一月		横長半	一冊	二四五三
岡堰出人足通帳 藤代村	嘉永二年一月		横長半	一冊	二四五五
岡堰三分一割并宮和田渡舟場出シ人足助合取調帳 詰所惣代 嘉永二年二月			横長半	一冊	二四六二
当戌春岡堰勤人足取調帳 惣代	嘉永三年三月		横長半	一冊	二四九五
浚人足割合帳 詰所惣代	嘉永三年三月		横長半	一冊	二四五四
岡堰勤人足取調帳 三左衛門所持	嘉永三年三月		横長半	一冊	二四六三
見舞人足取調帳 嘉永三年三月			横長半	一冊	二四六三

戌ノ岡堰勤人足取調 飯田三左衛門 嘉永三年一月	横長半	一冊	二四六五
岡堰御普請戸田井水防并関梓諸色人足賃取調帳 三左衛門組 嘉永五年八月	横長半	一冊	二四〇九
(丑岡堰出人足割合帳) 嘉永六年四月	横長半	一冊	二四五五
寅岡堰并関梓出人足取調帳 三左衛門組 嘉永七年二月	横長半	一冊	二四六六
岡堰出人足并関梓人足諸色取調帳 三左衛門組 安政二年四月	横長半	一冊	二四九五
仕越并定式御普請人足通帳 堰惣代 役人宛 安政四年一月	横長半	一冊	二五〇〇
岡堰并本田関梓諸色人足銘々取調 三左衛門組 安政四年三月	横長半	一冊	二四九六
岡堰并本田関梓普請出人足取調帳 三左衛門組 安政四年三月	横長半	一冊	二四九六
当巳夏岡堰溜井仮切諸色人足諸入用割合帳 安政四年八月	横長半	一冊	二四九八
当巳夏岡堰溜井仮切諸色人足諸入用割合帳 安政四年八月	横長半	一冊	二四九七
当巳夏岡堰溜井仮切諸色人足諸入用割合帳 岡 詰所惣代役人 安政四年八月	横長半	一冊	二四九六
当未春岡堰出人足通帳 藤代村 安政六年一月	横長半	一冊	二四五六
岡堰出人足関梓諸色共取調帳 三左衛門組 安政六年九月	横長半	一冊	二五〇一
岡堰関梓出人足書拔帳 安政六年九月	横長半	一冊	二五〇三
堰人足通帳 岡堰惣代 藤代村名主宛 元治二年一月	横長半	一冊	二四七七

岡堰諸色并出人足通其外一式寛帳 三左衛門組 元治二年四月	横長半	一冊	二五〇五	(岡堰諸色人足取調内割合之分殘金受取寛) 岡堰惣代 藤代村役人宛 未年四月	横長半	一通	七三八
岡堰出人足之通 岡堰惣代 藤代村役人宛 慶応 三年一月	横長半	一冊	二四六	(岡人足寛帳)	横長半	一冊	二五三
当已春岡堰諸式出人足通帳 岡堰惣代 藤代村役 人宛 明治二年一月	横長半	一冊	二五〇八	卯年岡堰出人足并本田関梓出人足諸色調	横長半	一冊	五九一
岡堰土持返人足通帳 岡堰惣代 藤代村役人宛 明治二年七月	横長半	一冊	二四九	(岡堰出人足寛他留帳)	横長半	一冊	五九三
当未春岡堰御普請人足通帳 岡堰惣代内役 藤代 村宛 明治四年一月	横長半	一冊	二五二	(岡人足代留帳)	横長半	一冊	五九一
当未春小貝川通岡堰并内郷定式御普請諸色人足 取調帳写 岡堰惣代 村々役人宛 明治四年一〇月	横長半	一冊	二五九	(藤代村名主三左衛門組下百姓之内三拾老人岡堰 諸色人足諸割合ニ付名主相手取土浦表御願ニよ り連判之内離判願書)	横長半	一通	四七五
岡堰御普請改正諸帳面見届清算諸入用割合帳	横長半	一冊	二五〇	神浦御普請	横長半	一冊	二四〇
堰場帳面見届方 村々役人宛 明治四年一〇月	横長半	一冊	二五〇	神浦切所御普請出人足通帳 藤代村 弘化三年八 月	横長半	一冊	二四〇
岡堰水防并関梓人足取調帳 明治七年二月	横長半	一冊	二五三	神浦水防并同所急水留共入用割合帳 両組役人 弘化三年一二月	横長半	一冊	二五三
当戊春岡堰諸色出人足之通帳 藤代村 明治七年 四月	横長半	一冊	二五三	当未春神浦村御普請出人足通帳 神浦村役人 藤 代村役人宛 弘化四年一月	横長半	一冊	二〇三
岡堰両坑御普請人足取調帳 明治七年九月	横長半	一冊	二五四	岡堰三ツ宅ツ神浦御普請関梓諸色并人足差引帳 三左衛門組 弘化四年四月	横長半	一冊	二四〇
岡堰築留出人足扣帳 藤代宿 明治一三年三月	横長半	一冊	二五八	申ノ神浦大夫付出人足差引帳 弘化五年二月	横長半	一冊	二五三
明治十三年春岡堰御普請人足調拔渡帳 明治一 四年二月	横長半	一冊	二五〇	神浦小文間両村地内堤大夫附出人足取調帳 慶 応三年三月	横長半	一冊	二四四
(岡堰築留ニ付人足差出通達) 戸長役場 片町村 外二カ村人民惣代宛 明治一四年四月	横長半	一通	七四六	岡堰并関梓神浦大夫附惣人足諸色取調帳 慶応 三年四月	横長半	一冊	二五八
明治十三年岡堰並関梓人足取調帳 藤代村 (明 治一四年カ)	横長半	一冊	二五九	(神浦小文間両村地内大夫附二度目取立寛帳) (慶応三年カ)	横長半	一冊	二四四
十四年岡堰人足調 谷中村 明治一四年	横長半	一冊	二五二	関梓出人足・岡神浦出明俵・神浦水防出人足・ 堀浚手直出人足諸取調帳 上組 明治二年八月	横長半	一冊	二五七

神之浦上ノ玖御普請人足通帳 藤代村 明治七年七月	横長半	一冊	二五五
神浦堤防増築費不足金寄附連名簿 明治二二年一月	半	一冊	二八五
(神浦堤防増築有志連名簿) 明治	半	一冊	三五五
(神浦人足賃増改分差出覺) 与次右衛門 御会所役人宛 一二二月	一通	五七	
(神浦村出人足通帳)	横長半	一冊	三五元
神浦水防明俵取調帳	横長美	一冊	五五〇
その他			
来午春岡堰定例壹ツ半割并仕越御普請入用助合金割合帳 安政四年一月	横長半	一冊	三六七
来午春岡堰定例壹半割并仕越御普請入用助合金割合帳 安政四年二月	横長半	一冊	八三
当夏中岡わく水引一条取調帳 文久二年二月	横長半	一冊	二五三
水防明俵岡会所江書出し帳手扣 源左衛門持 弘化三年七月	横長半	一冊	三三三
仲間勘定諸事取調帳 戌惣代 嘉永三年一月	横長半	一冊	四四三
丑年小貝川出水岡小洗悉破ニ付防方諸入用割合帳 三左衛門組 慶応元年六月	横長半	一冊	一〇三四
(神浦小文間兩村大夫附諸代内わり大代共取立覚帳) 慶応三年二月	横長半	一冊	二四三
(当卯岡堰諸地并関次吉田村玖樋丸太其外共取立覚帳) 慶応三年二月	横長半	一冊	二四三
当未岡堰其外兩組内訳ケ帳 明治四年六月	横長半	一冊	二四六

小貝川通岡堰御普請帳面御算帳 勸農方 明治四年一〇月	半	一冊	二四六
明治六四年関村修覆并七年戌年関村入用割合帳 元上組 明治八年二月	横長半	一冊	二四九
請取通 谷中村 明治一三年三月	横長半	一冊	九二
環梓諸式代内割并岡定式番給石代割及領収簿 藤代宿 明治一三年四月	半	一冊	二八四
宮和田村戸長大沢幸藏書状(岡堰改良等及臨時会開設ニ付他条件問答) 藤代宿幹事戸長宛 明治一三年六月	一通	五二	
請取通 (谷中村海老原喜助) 明治一四年三月	横長半	一冊	九三
明治十四年春岡堰其他井堰ニ抱ル分田方地価一途割合簿 藤代宿 明治一四年三月	半	一冊	九五
明治十八年度岡堰土木費第貳期調 (明治一八年カ)	一通	五八四	
(明治十九・廿年度小貝川堤防費・岡堰土工費・小学校費領収記未納調) (明治一九・二〇年)	半	一冊	九五
会所番用掛書状(岡堰割合) 飯田宛 一〇年一月	横長半	一通	六四三
来辰春岡堰割合 卯年一二月	横長半	一冊	八〇七
岡堰通其外兩組内わけ取調 岡堰惣代 藤代村役人宛 卯年三月	横長半	一冊	二四七
(諸色覚書) よこ町古河屋松兵衛 当所役人宛 亥年一二月	一通	七五	
(岡割合并同除地分金子差上覚) 寺田治一郎 飯田宛 戌年一月	一通	七〇	
(明俵繩請取覚) 岡堰惣代 藤代村役人宛 巳年一月	一通	七三五	

(当末春岡堰割合金請取寛) 岡堰惣代 藤代村名主宛 辛未年四月 一通 七三六	岡堰惣代書状(当所御回し願) 戸長宛 二月 一通 六三三	岡堰惣代書状(出水ニ付至急出人) 戸長宛 四月 一通 六六六	岡村詰所惣代書状(茅之儀ニ付) 飯田三左衛門宛 一月 一通 六三三	(岡年番諸遣留帳) 横長半 一冊 六六六	その他		規定		(治水規定御請書) 明治 一冊 二五八六	(治水規定書) 半 一冊 二五八四	御用留		水防御用留 藤代宿名主飯田三左衛門 弘化三年六月 横長半 一冊 四三九	目論見・書上		用水路御普請所書上帳 藤代村 御普請役人宛 寛政四年閏二月 半 一冊 三三二	(小貝川村々樋類定式御普請所実ニ難差置場所目論見入用書) 吟味方下役・御普請役 御勘定所宛 享和三年二月 半 一冊 二九三	内郷定式郷普請所箇所附紙 岡堰組合藤代村 御普請掛役人宛 弘化二年九月 一通 七四三	関梓修復積寛帳 弘化四年二月 横長半 一冊 七五二	小貝川通御囲堤丁場割書上帳扣 藤代村 営膳司役人宛 明治二年二月 半 一冊 二四七	表裏悪水深浚仕様帳 明治三年二月 半 一冊 二四三	(藤代村堤長書上寛) 村役人 葛飾県役所宛 明治四年四月 一通 五〇〇	(堤関梓土橋御普請自普請所書上) 藤代宿副戸長他 印旛縣權令宛 明治六年三月 半 一冊 六六九	定式普請御届 藤代・平野村人民惣代 郡長宛 明治一八一九年 一綴 五九二	(内郷定式御普請目論見願書) 小浮気・宮和田村人民惣代 郡長宛 明治一九年一月 一綴 五九二	内郷定式普請箇所出来届 字平野区長 郡長宛 明治二三年四月 一通 五〇〇	土地		新堀付反別帳 三左衛門組 寛延三年一月 半 一冊 五八六	(溝代等引分有畝過上寛) 明治 半 一冊 五九二	(下関梓向田畑寛書) 九月 一通 七三三	願書		(藤代村地内用水路関梓大破修覆行届兼ニ付御入用御普請願書) 藤代村役人 大野伴蔵宛 文化六年一〇月 一通 五〇五	(藤代村地内用水路関梓修覆御入用普請願書) 藤代村役人 大野伴蔵宛 文化八年八月 一通 七四四	(小貝川通御堤御普請ニ付地他領一同願ニ仕候上願度口上書) 村々名主 河本新兵衛他宛 辰年五月 一通 四七三	人足		所々御普請勤人足過未口帳 藤代村 元文五年一月 半 一冊 二五三
----------------------------------------	------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	----------------------	-----	--	----	--	----------------------	-------------------	-----	--	-------------------------------------	--------	--	----------------------------------------	---------------------------------------------------------------	--------------------------------------------	---------------------------	-------------------------------------------	---------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------------------	--------------------------------------	----	--	------------------------------	--------------------------	----------------------	----	--	----------------------------------------------------------	-------------------------------------------------	-------------------------------------------------------	----	--	----------------------------------

諸人足遣方日記帳	文化一〇年一月	横長半	一冊	二四三	丑寅仲間差引取調帳	名主飯田三左衛門	安政二年八月	横長半	一冊	四四六
本田関棹其外入用出人足帳	安政四年二月	横長半	一冊	五五五	巳年兩組差引帳	飯田三左衛門	安政四年	横長半	一冊	四四六
測量御用人足賃渡方簿	明治一四年一月	半	一冊	五五三	当巳年内訳諸色差引帳	三左衛門組	安政四年七月	横長半	一冊	四四六
堤人足取調手扣帳	酉年	横長半	一冊	五三三	割落之分払方帳	文久二年二月		横長半	一冊	二五三
(戸田井堤丈夫附芝植足土御見分濟手直人足賃受取覚)	小文間村佐藏	横長半	一通	七三七	当亥諸入用取調帳	銚子屋与兵衛	文久三年二月	横長半	一冊	四六四
藤代村役人宛	未年四月				(小堀岸諸入用割他差引金子受取記)	戸長寺田			一通	四九六
(川除人足賃受取覚)	下高井村名主	横長半	一通	七六〇	樞右衛門	藤代宿役人宛	明治六年二月		一通	四九六
宛	丑年三月				申酉年関棹入用書付	上茅場村平太夫	永田屋宛		一通	七七二
(洪水ニ而千葉泉水利御掛リ御見廻ニ相成人足召連戸田井井出張ニ付廻章)	小文間村役人	横長半	一通	七〇二	計廻扣	明治七年一月		横長半	一冊	四四三
藤代村他二方村役人宛	九月				(去酉年関棹修履他立替分請取帳)	明治八年		横長半	一冊	五五七
人足日記帳			一冊	二四九四	片町村十四年春井堰費及十三年地普請割合簿	戸長役場	明治一四年三月	半	一冊	八六七
					片町村十四年春堤防費内割及十三年分水防人足賃割	戸長役場	明治一四年三月	半	一冊	八六七
丑春御普請御賃永請取入用割并年番遣割	三左衛門組	横長半	一冊	三三三	十四年井堰堤防費及三年同々割合簿	小浮氣村	明治一四年三月	半	一冊	二四八〇
安永一〇年四月					明治十四年井堰及川除費内割・明治十三年分協議費割合	(明治一四年カ)		半	一冊	二五〇
堰棹入用諸掛寛帳	天明三年三月	横長半	一冊	三三〇	明治廿一年度藤代宿用水関棹工事予算議按	明治二十一年カ		半	一綴	二五六
(去亥年小貝川通御普請金請取覚)	三橋鉄作手付	横長半	四通	七〇二	(去戌年御普請人足御賃米取納并御制札書替入用勘定ニ付廻状)	三左衛門	下萱場村他二方村役人宛	亥年十二月	一通	七四四
藤代村宛	寛政五年九月				当寅年御用賄銭書出し帳	井忠	安政元年十二月			
已御年貢水防割合帳	文化六年一月	横長半	一冊	四四九						
戌春諸色代割合帳	藤代村	横長半	一冊	四三九						
文化一二年一月										
谷原領村々御献上繩藤代上組後割小前取立帳	飯田三左衛門組	横長半	一冊	四四三						
文化一二年七月										
去酉八月当戌八月迄惣代仲間勘定一式取調帳	惣代	横長半	一冊	四四四						
嘉永三年八月										
当寅年御用賄銭書出し帳	井忠	横長半	一冊	六						
安政元年十二月										

(藤代他二カ村西春御普請金之内請取寛) 源右衛門手代他 亥年一〇月	大岡	一通	七六三
(御目論見様入用他覚帳)	横長半	一冊	二五八
已諸品差引調帳	横長半	一冊	四七四
申年分諸立替書抜記 市村	横長半	一冊	四三三
(堀割并仮々切入用書)	半	一冊	五五七
(関梓普請入用調記)	横長半	一冊	五八六
(普請入用高割帳)	横長半	一冊	七六五
積 金			
当巳八月の積金定書扣帳 藤代村名主写 弘化二年八月	横長半	一冊	三三六
当巳八月の積金定書扣帳 小浮気村名主写 弘化二年八月	横長半	一冊	三三六
積立金戌年惣代預り取立帳 惣代 嘉永三年八月	横長半	一冊	二四四
五ヶ村分水口			
明治拾九年度五ヶ村分水口仕継分 (明治一九年カ)	半	一冊	五五八
明治貳拾壹年度五ヶ村分水口新規普請 桐木村惣代 明治二二年九月	半	一綴	五五九
明治拾九年廿年廿壹年五ヶ村分水口不足額 桐木村惣代 明治二二年一〇月	半	一綴	五五五
用 水			
(大野領古瀬相馬郡組合用水障ニ不相成様願書) 相馬郡三拾式ヶ村組合惣代 御普請役宛 寛政二三年三月	半	一冊	五五五
(用悪水以樋普請所入用願書) 鬼長村役人 林勝兵衛宛 寛政八年一月		一通	七五五
牛久沼用水組合上下郷出入一件取扱済口証文扣帳 文政三年一〇月	横長半	一冊	四七〇
(堀巾網関板ニ付取極書) 神生他四カ村名主 扱人宛 文政三年一〇月		二通	四九七
(堀巾網関板ニ付取極書) 大徳村問屋九ヶ村惣代 扱人宛 文政三年一〇月		一通	四九八
(常州河内郡筑波郡御料私領入会拾式ヶ村役人小前惣代の河内郡大徳村千右衛門佐貫村清助相手取牛久沼悪水落水行差障出入一件済口証文) 訴詔人・相手・扱人 吉岡次右衛門様御内他宛 文政三年一〇月		二通	五〇四 五〇六
(悪水出入訴狀戯文) 藤代村飯田三左衛門宛 弘化二年一月		一通	四九三
(神浦堤防増築事件書類) 清水村聯合戸長 藤代宿聯合戸長宛 明治一九年一〇月		一綴	五九五
(岡堰三十式ヶ村湯水仕番水を以用水引入候所和田村理不尽用水引取ニ付詫一札) 寅年六月		一通	四七五
(大野郷の絹川江堀落候へ相馬郡用水無御座ニ付先規之通成置願訴狀) 大留他三三カ村 子年二月		一通	七〇五
絵 図			
(小貝川通り絵図)		一枚	四九三
(小貝川堤略図)		一枚	七九七
その他			
(用水普請他諸書上留帳) 文化一〇年	横長半	一冊	五七二

(御普請出来御見分役御泊之次第書付)	天保一 二年二月	一綴	七四四
当卯在代金割合帳	安政二年一月	一冊	三七八
(栖麦割合帳)	(安政二年カ)	一冊	三七九
関棧水引諸品取調帳	安政四年七月	一冊	三七二
(在代岡割二口分寛帳)	慶応三年八月	一冊	三四三
(櫻杵取調書)	藤代村役人 葛飾県治河御成り役人宛 明治四年五月	一冊	五六
(田方植付証文)	藤代村役人 用水掛り役人宛 明治四年六月	一通	四六五
(道路修繕議案・堤防取締給料愚案他)	明治五年一月	一冊	五九九
御普請御仕立方ニ付御受書	藤代宿人民惣代戸長 茨城県土木掛宛 明治二年二月	一通	五二三
渡方帳并ニ土取場助合渡方共	藤代宿 明治一四年三月	一冊	五四
小貝川通流所其外伐木手扣	辛未年三月より 横半半	一冊	二五三
(米代差引勘定寛)	寺田勘兵衛 飯田主作宛 西 年四月	一通	四七二
(材木代残金取調差上記)	上萱場村平太夫 飯田 ・永田や宛 戊午六月	一綴	七六九
(材木品々受取書)	小文間村戸田井伝四郎 御舟頭 宛 辰年一〇月	一通	七〇三
(来年度壊ニ付願状文)	惣代之内 丑年暮	一通	七五五
石井吉之助・宮左郷助・天谷喜作・植木啓次郎 ・広原又三郎書状〔築立小土居芝并引替之飯番所〕 飯田三左衛門宛 閏三月		一通	六六五

四月朔日取調後改差引帳	横長半	一冊	三五七
丑年取調帳	横長半	一冊	五七四
土浦町久松宅ニ而市村七左衛門書状〔水竈反別〕九月 市郵書状〔水竈〕 飯田宛 八月		一通	六八七
一通		一通	六八四
道橋普請			
海道普請			
水戸海道御普請道法間敷書上帳	吉田村 寛政九 年七月	半	一冊 三七五
水戸様往來道普請目録帳	谷中村 岡詰所年番宛 文化六年二月	半	一冊 三五五
水戸様往來道普請目録帳	米田村 岡詰所年番宛 文化六年二月	半	一冊 三五六
水戸往還取手境より宮和田渡舟場迄上置願之享 御奉行所宛 文政一二年三月		半	一冊 三〇六
往還土取場間敷改帳	藤代村 明治四年六月	半	一冊 四四九
午土取場取調帳	藤代村 明治四年八月	横長半	一冊 四四四
海道入用取調帳		横長半	一冊 四三六
(藤代村上組見取田反別帳)		半	一冊 四四七
道路他取調			
奥州東街道御継立場間丁里数取調書	藤代片町宮 和田合宿役人惣代 葛飾県役所宛 明治二年一月	半	一冊 五〇元

（諸街道間敷改ニ付出張願狀） 両宿役人 谷中他六カ村名主宛 明治二年二月	一通 七五九
（陸前浜街道筋駅村之内道路実地御取調ニ付出張願狀書） 六小区戸長頭取 片町他四カ村役人宛 明治五年九月	一通 七五三
（道路其外取調書道路其外取調総計） 三小区千葉県令宛 明治六年二月	一冊 四二
道路其外取調書 五小区長扣 千葉県令宛 明治六十七年	一冊 四三
道路調 小泉村 千葉県令宛 明治七年二月	一冊 四四
道路其外取調書 藤代村 千葉県令宛 明治七年二月	一冊 四六
道路取調書 谷中村 千葉県令宛 明治七年二月	一冊 四九
道路取調書 毛有村 千葉県令宛 明治七年二月	一冊 四〇
第十四大区五小区道路調 区長 千葉県令宛 明治七年一月	二冊 四二
道路取調書上 酒詰村 千葉県令宛 明治七年一月	一冊 四三
取調書 寺田村 千葉県令宛 明治七年一月	一冊 四四
道路取調書上 米田村 千葉県令宛 明治七年一月	一冊 四六
道路取調書 桐木村 千葉県令宛 明治七年一月	一冊 四七
（道路等取調書） 藤代宿 千葉県令宛 明治七年二月	一通 五〇三
境町関根屋ニ而戸長寺田権右衛門書狀（道路取調書） 区長宛 明治七年三月	一通 六八三
（藤代他三十三カ村取調書道路其外取調総計） 区長扣 千葉県令宛 明治七年六月	二冊 四六
（道路橋梁等取調猶予ニ付督促差出達書） 千葉県庁庶務課 五小区長宛 明治七年六月	一通 七三三
（道路其外取調総計） 五小区長 千葉県令宛 明治七年十月	一冊 四八〇
開道式執行ニ付時餅割賦帳 戸長役場 明治一三年一〇月	一冊 四七五
明治十二年ヨリ十三年マテ新線路費取調 谷中村 戸長宛 明治一四年二月	一冊 四九七
取手藤代両宿間交換路築造之儀上申 小浮氣・谷中村戸長他 茨城県令宛 明治一四年二月	一綴 五三〇
（陸前浜街道郡書記出張掃持之成否検査ニ付通達） 藤代他三ヶ村戸長役場 各村人民惣代宛 明治一四年二月	一通 七五八
（餅請取并金子遣払覚帳） 明治	一冊 八七
（村費道路普請村覚） 横長半	一冊 五三三
往還土橋	
（水戸海道往還橋梁修履願書） 藤代村役人 秋山久平宛 正徳六年六月	一通 四八五
往還土橋式ケ所並目論見書付書上帳 藤代村安永七年一月	一冊 二五九
往還土橋式ケ所目論見差上帳 藤代村 木内又四郎宛 天明三年七月	二冊 二五〇
往還土橋式ケ所御入用諸色目論見書上帳 藤代村 赤塚伊左衛門宛 寛政二年七月	一冊 二五五
往還土橋式ケ所目論見書上帳扣 藤代宿 林勝兵衛宛 寛政八年二月	一冊 二五五
道中往還道橋御尋ニ付書上帳 藤代宿 菅谷弥五郎役所宛 寛政九年閏七月	一冊 三三七

往還土橋式ケ所目論見書付差上帳扣 藤代宿 神田弥右衛門宛 享和二年九月 横長半 一冊 二五五四

水戸様往還土橋掛替助合人足帳 岡請所年番 村々名主宛 文化五年四月 横長半 一冊 二五五五

水戸様往還橋々助合割合定書組合村々連印帳 弘化二年八月 横長半 一冊 三六二一

(往還土橋御普請願書他) 慶応元年九月 一通 七四四五

(谷中村字相野谷橋工事御請負書) 海老原伊之吉 戸長役場宛 明治二年八月 一通 五五四三

官林竹木御松下願 願人惣代 茨城県知事宛 明治二年一月 半 一綴 五九六九

(当春往還橋懸ケ替助合水防入用銭差引受取寛) 岡当午掛り惣代 藤代宿名主宛 午年二月 一通 七〇五五

○

(学校協議費割合取手藤代間開道式執行通知書) 藤代宿外三ヶ村戸長役場 藤代宿小前宛 明治一〇年一月 半 一綴 五三三

飯田主作書状(竜ヶ崎取手間電信架設寄附金ニ付) 安田久次郎宛 明治二四年八月 一通 六四六

鉄道敷地分土地分裂届 地主惣代 茨城県令宛 明治二八年九月 半 一綴 四六六

畑土買受約定書 買請人 横瀬主作宛 明治二七年五月 半 一綴 四六六

土地分裂届扣 地主惣代 茨城県令宛 明治二七年五月 半 一冊 四〇七

(官有地御松下ケ願) 谷中村小泉六郎治他 明治 半 一冊 四〇八

(日本鉄道布設ニ付協議承諾書) 半 一綴 五五五

宿 駅

宿

宿

(藤代宮和田両宿助合人馬之儀ニ付定書) 寺田村名主 明和二年 一通 七五七

(水戸道中藤代宮和田両宿鑑帳) 両宿問屋役人 助郷惣代他 山田仁左衛門宛 天明六年二月 半 一冊 三三三

合宿宮和田宿不法申出ニ付御届書 弘化二年カ 一通 四九六

(取手宿助合休役并代助合共割合仰渡ニ付藤代宿方加助合シ内下平柳村外四ヶ村代助合被仰付取斗願書) 取手宿問屋・組頭 藤代宿役人宛 元治二年三月 一通 七六二

明和四亥年文化十四丑年為取替済口証文写 藤代宿 慶応三年七月 半 一冊 五五五

1 (藤代宮和田両宿和融致シ往還相懸リ候儀ハ両宿半々ニ分合ニ付為取替内済証文) 両宿問屋・名主 明和四年六月

2 (宮和田宿名主ヲ藤代宿名主江相掛新規取斗不当割合ニ付出入済口証文) 訴訟方宮和田宿名主 相手藤代宿名主 御評定所宛 文化一四年七月

3 (此度一件納得ニ付為取替一札) 藤代宿名主 文化一四年六月

4 (両宿動上リ下リと両所問屋場立ニ付一札) 藤代宿問屋・名主 宮和田宿名主・問屋宛 明和九年十一月

上下内訳

当未宿方入用上下内訳帳	弘化四年二月	横長半	一冊	三六
(宿方上下内訳取調帳写)	安政六年十二月	横長半	一冊	三五
宿方上下内訳取調帳	上組 万延元年十二月	横長半	一冊	三五
宿方上下内訳取調帳	上組持 文久二年二月	横長半	一冊	三五
宿方上下内訳取調帳	上組分 元治二年二月	横長半	一冊	三〇二
兩組内訳勘定帳	慶応三年二月	横長半	一冊	三五
当卯上下内訳差引帳	慶応三年二月	横長半	一冊	三〇三
兩組内訳帳	明治二年二月	横長半	一冊	三五九
(御賄書出し帳)		横長半	一冊	三〇四

木戸

宿内木戸四ヶ所入用割合帳	慶応三年二月	横長半	一冊	一〇三
宿内木戸仕用取調帳	慶応三年五月	横長半	一冊	三五七
駅内町木戸入用割	中町分 百姓代 慶応三年一月	横長半	一冊	〇
駅内町木戸入用割	下町分 百姓代 慶応三年一月	横長半	一冊	〇五
駅内町木戸入用割	横町分 百姓代 慶応三年一月	横長半	一冊	〇六
宿内丁木戸割		横長半	一冊	〇八

助郷

助郷

水戸海道筋相馬郡御料御私領助郷村高書上帳	横長美	一冊	三〇二
正徳二年十二月			
加助郷村々石高之覚(水戸様御入国ニ付御用人馬)	美	一冊	三〇六
藤代・宮和田両宿問屋 御奉行所宛 明和元年十一月			
水戸海道藤代宿江人馬助郷村々書上帳 藤代・宮和田両宿問屋・役人 伊奈半左衛門役所宛 安永四年閏二月	美	一冊	三〇三
当分助郷并繰替差村書上帳扣 藤代・宮和田両宿 安永五年三月・文政七年五月	半	一冊	三〇一
加助郷村々石高書上帳 藤代宿 安永七年四月	美	一冊	三〇七
藤代宮和田両宿助郷人馬月組合定書 触頭年番 天明二年一月	美	一冊	三〇二
(藤代宮和田宿加助郷願書) 藤代・宮和田両宿問屋・名主 狹原弥五兵衛宛 文化二年二月	美	一冊	五九
(藤代宿助郷村々宿役人馬雇賃錢ニ而願書) 岡堰惣代年番 文化一〇年十二月	一通	七兎	
定助郷加助郷高改帳 天保一一年一月	横長半	一冊	三〇六
藤代宿当分助郷帳写(日光御參詣藤代宿当分助郷申付) 藤代宿問屋年寄 助郷村々役人宛 天保一四年三月	美	一冊	三〇四
加助郷村々石高寛帳写 飯田三左衛門写 弘化三年六月	半	一冊	三〇九
(岡堰組式拾九ヶ村定助郷正人馬ニ而相勤候様御掛合ニ付藤代宿取極議定書) 藤代宿連判 嘉永六年八月	半	一冊	三〇四
定加助郷村々高改帳 慶応元年三月	横長半	一冊	三〇〇

(谷中村当宿定助郷勤書上覚) 藤代宮和田両一宿
問屋・名主 谷中村役人宛 慶応元年二月
一通 三七三
(御官軍御出兵奥州筋へ御通行他ニ付加助郷村々人馬差出候様御印状頂戴仰付願書) 藤代・宮和田両宿役人惣代
一通 七〇六

問屋

問屋

(問屋役米ニ付定書) 惣百姓連判 明和七年二月
一通 四四七
松平陸奥守様御通ニ付問屋場諸掛リ覚帳 藤代宿 安永七年四月 横長半 一冊 三三五

松平陸奥守様御通行ニ付人馬繼立問屋場其外入用帳 藤代宿 安永九年五月 横長半 一冊 三六六

問屋場入用覚帳 宮和田藤代両宿 安永九年五月 横長半 一冊 三六七

丑年往還ニ付問屋場入用片町迄割帳 藤代両組分 片町村役人宛 天明元年二月 横長半 一冊 三六八

問屋場取究メ定書 寛政四年一月 半 一冊 三〇八

(問屋役与五右衛門仰付願書) 藤代宿連判 寛政一〇年三月 一通 四四五

(問屋世話方給金前借請取一札) 藤代宿百姓繁藏他 上組百姓代宛 安政四年閏五月 一通 四六五

小金宿駅々藤代宿迄宿々問屋賃銭帳 土浦佐々平太 元治元年六月 横長半 一冊 三四四

当子歳御物成并色成請取通 問屋・手附 藤代村上組宛 一通 四九五

寅歳御物成米并色成請取通 手附・問屋 藤代村三左衛門組宛 一通 四七〇

問屋場馬差勤取調帳 慶応元年一二月 横長半 一冊 三五五

日ノ帳

往還人馬繼日ノ帳 問屋武左衛門 安永一〇年一月 横長半 一冊 三三三

往来日ノ帳 問屋与五右衛門 天明三年一月 半 一冊 三三九

往還日ノ帳 問屋与五右衛門 天明三年二月 半 一冊 三三九

往来日ノ帳 問屋与五右衛門 天明三年三月 半 一冊 三三九

往来日ノ帳 問屋与五右衛門 天明三年四月 半 一冊 三三九

往還日ノ帳 問屋与五右衛門 天明三年九月 半 一冊 三三九

往還日ノ帳 問屋与五右衛門 天明三年一〇月 半 一冊 三三九

往還日ノ帳改書上之扣 問屋場 寛政一一年一 横長半 一冊 三六六

往還日ノ帳改書上之扣 問屋場 寛政一二年一 横長半 一冊 三六二

(往来日ノ帳) 半 二〇冊 一五九
三五九
五八六
七九四

宿方立人馬取調帳 慶応元年一二月 横長半 一冊 三〇〇

宿方立人馬取調帳 慶応三年一月 横長半 一冊 三〇一

(日ノ惣代詰合会所普請割合覚) 益五郎 準平宛
酉年二月

(宿立人馬勤覚) 明之助 役人宛

(人馬日記帳)

(立人馬覚) かしわや半左衛門

(立人馬覚) 紋右衛門

(酉年人馬日記帳)

賃銭

海道四割増賃金割合帳 藤代宿両役元 弘化三年
二月

(土浦中貫中村藤代四ヶ村水戸街道人馬賃銭来
寅申年中迄七年間八割増願書) 藤代中村中貫宿
土浦町問屋・役人 御代官役所宛 慶応元年一〇月

(七ヶ年人馬賃銭六割仰付ニ付鯉献上願書) 藤
代中村中貫土浦各問屋・名主 御代官役人宛 慶応元
年一二月

(当寅年々来申年中迄七ヶ年之間駄賃人足賃銭
割増定書) 奉行 慶応二年一月

(土浦中貫中村藤代宿水戸街道人馬立賃銭六
倍五割増願書) 藤代中村中貫宿土浦町問屋役人
御代官役所宛 慶応三年一〇月

当巳年割増御賃銭取調帳 明治二年 二月

四割増賃銭取調帳 役元 丁未年七月

(旅籠書付并同廻し覚) 藤代宿飯田亥瀬之助 石
川房吉宛、石川房吉 菊川平次宛 卯年二月

(当分之間御定賃銭ニ付新規高札渡触書写) 卯
年九月

繼立

(助人馬未進出入諸入用軒割ニ付村中百姓定書)
百姓七十七人 安永三年十一月

(牛久沼共高水ニ付若柴迄往来筋人馬繼立延引
ニ付御注進書) 藤代宮和田両一宿惣代 宮村孫左
衛門役所宛 天明元年七月

(辰年四月分人馬覚) 藤代宿問屋与五右衛門 天
明四年

(人馬繼立問屋之外内世話引請人惣兵衛不意相
止難儀ニ付当年三人百姓代引請内濟一札) 上
組百姓願人惣兵衛・太兵衛・他役人 林勝兵衛宛 寛
政九年四月

(助郷人馬世話方ニ付儀定組合連印一札) 下組
宇兵衛他 問屋・役人宛 寛政二二年二月

(人馬世話人儀定組合連印一札) 百姓代人馬世話
人源四郎 問屋・役人宛 寛政二二年二月

(助郷勤番議定連印一札) 藤代宿八六人 享和元
年四月

(享和二年分人足馬覚帳) (享和二年)

往還繼立五ヶ年季御尋ニ付書上帳 藤代宮和田両
宿 論所御改手代宛 文化元年九月

(御大名様御通行之節宿繼人馬并相對雇人馬御
尋ニ付御答書) 問屋・飯田三左衛門 神田弥右衛
門宛 文化二年四月

(藤代村問屋与五右衛門同村百姓源四郎相手
取繼立人馬之儀出入一件濟口証文) 訴詔人・相
手・役人他 文化六年六月

(御通行入用金之内不足ニ付借用証文) 藤代宮
田宮両宿代 中嶋他村名主宛 天保一四年四月

一通 五五五

一通 五五二

一通 五五二

一通 五五五

一通 五五三

一通 五五三

一通 五五三

一通 五五三

一通 五五三

一通 五五三

一通 五五三

一通 五五三

一通 五五三

一通 五五三

一通 五五三

一通 五五三

一通 五五三

一通 五五三

一通 五五三

(往還御繼立御泊之節當番宿迄御繼立取斗方ニ付御伺書) 藤代宿役人代兼問屋組頭 西御役所宛 天保一五年四月

(當宿街道御繼立引請益金納并御出役様方御賄料納ニ付一札) 藤代宿紋之助外八人 役人宛 弘化三年四月

引合村々着割帳 嘉永四年三月

當丑年御用繼立諸掛帳 元治二年一月

往還人馬繼御定元賃錢書上帳 藤代宮和田兩宿 元治二年二月

(御用狀宿繼人足不調法ニ付御有免願書) 藤代宿問屋他 關東御取締御出役宛 元治二年四月

越前敦賀表々水戸表迄御差下シニ付人馬遣弘方書上帳 藤代宮和田一宿 福田所左衛門役所宛 慶應元年七月

海道御繼立入用助合割帳 慶應元年二月

御用狀御先触御繼立賃錢取調帳 慶應元年二月

御用狀繼立諸掛帳 慶應三年一月

當卯海道御繼立入用助合帳 慶應三年二月

御用御繼立諸掛帳 明治二年一月

當巳街道御繼立入用助合帳 明治二年二月

繼立諸掛帳 明治四年一月

辛未年街道御繼立入用助合帳 明治四年二月

御用御繼立諸掛帳 明治五年一月

(相馬大膳亮様御通行之節人馬遣弘并加助鄉村々触當印形御尋ニ付申上書) 藤代宮和田兩宿役人惣代 福田所左衛門役所宛 丑年七月

(藤代宮和田兩宿助郷人馬遣弘印狀願御尋ニ付申上書) 藤代宮和田兩宿役人惣代 福田所左衛門役所宛 丑年二月

(人足馬數取調覽) 藤代宿役人 午掛り年番衆宛 一一月

(馬差覽) 御人數之写

(御人數之写) 繼立馬指金

繼立馬指金

往還繼立馬指金月割合帳 百姓代利兵衛 安政五年五月

往還繼立馬指給月割合帳 百姓代三組分 安政六年六月

當申馬差給金取立帳 下組 万延元年九月

當申馬差給金取立帳 仲組 万延元年九月

往還繼立馬差給月割合帳 百姓代三組分 文久元年六月

往還御用ニ付御繼立馬差給金月割合帳 百姓代喜右衛門組 文久元年二月

往還御用御繼立馬差給金月割帳 三組百姓代元割分 文久元年二月

往還御用ニ付御繼立馬差給金月割合帳 百姓代記右衛門組 文久三年七月

当巳馬差給金割合帳 明治二年二月

横長半

一冊 三〇五

人馬受負人

牛馬稼冥加請取 藤代村稼人杉田太平 葛飾県庁大
属他宛 明治四年八月

一通 哭九

相對賃錢并人馬受負人確定仕度御開濟願 我孫
子、取手 藤代宮和田両宿 葛飾県役所宛 明治四年
九月

半

一冊 四三

(人馬打錢納申付覚) 兩役元 飛子左衛門他二人
組合中宛 午年二月

一通 七七

本陣

御用留

御本陣御用留帳 飯田三左衛門 文政六年二月一
天保二年一〇月

横長美

一冊 九六

御本陣御用留帳 三番帳 飯田三左衛門源忠惣 天
保二年一二月

横長半

一冊 九七

御本陣御用留帳 天保七年一月

横長半

一冊 九六

日光御参詣御用留 天保一三年四月

横長半

一冊 一〇五

安藤対馬守様御参府御昼休之扣御本陣御用留
天保一三年五月

横長半

一冊 九七

御本陣御用留帳 老番帳 御本陣飯田多瀬之助庸
義 天保一四年九月

横長美

一冊 九六

御本陣御用附留帳 飯田三左衛門 弘化三年九月

半

一冊 一〇七

(御本陣御用留) (嘉永六年七月—安政三年四月)

横長美

一冊 一〇八

御本陣御用附留帳 三番仮写 飯田三左衛門庸信
安政四年一月

横長半

一冊 九二

御本陣御用留帳 飯田三左衛門庸信 文久二年一月

横長美

一冊 九三

御用附留仮帳 飯田三左衛門 元治元年八月

横長美

一冊 九九

御本陣御用留帳 飯田三左衛門庸信 慶応二年一月

横長美

一冊 九四

御用附留仮帳 飯田三左衛門 慶応三年閏五月

横長美

一冊 一〇〇

御用留仮帳 飯田三左衛門 慶応四年二月

横長美

一冊 一〇三

修覆

(居宅大破ニ付御拝借仰付願書) 御殿守三左衛
門 享保五年一〇月

半

一通 四九

御普請人足高覚帳 藤代村名主 寛保四年二月

半

一冊 三

(御本陣御小納戸取払願書) 飯田三左衛門 安永
二年二月

半

一通 四四

そふじ人足扣帳 御本陣飯田三左衛門 御破損方
役所宛 文化元年三月

横長半

一冊 三五

当卯御本陣普請百姓役并入用御藏普請入用夫
銭取立帳 三左衛門組 文化四年一二月

横長半

一冊 三

御本陣御普請賄入用割合帳 下組分 文化四年一
二月

横長半

一冊 三七

(本陣取繕入用品々請負覚) 飯田三左衛門 大里
宇兵衛宛 文化七年二月

横長半

一通 四〇

御本陣御普請人足小前出勤取調帳 藤代宿両組
分 文化一二年九月

横長半

一冊 四

御殿御普請御役人様方御賄入用帳扣 文化一
二年二月

横長半

一冊 四

御入用人足并雇納メ取調帳 藤代他五方村役人
文化一二年二月

横長半

一冊 三五

御殿御普請御役人様方御賄入用帳 文化一二年 一二月	横長半	一冊	四三六
御座鋪道御手入願并御仕様碗 文化一四年九月	横半半	一冊	二五九
(御本陣所々修理入用書付) 藤代村大工源四郎他 大里伊右衛門宛 文政元年六月		一綴	五九〇
(内庭并表通廻竹垣御入用之積寛) 文政二年八月		一通	四六四
(修理大工手間扶持手伝請負覚書) 飯田三左衛門 大里伊右衛門宛 文政八年五月		一通	七五〇
(修履請書) 壹手武左衛門 飯田三左衛門宛 文政 九年四月		二通	四六五
(屋根指萱他繕手間扶持手伝共一式請負覚書) 三 左衛門 大里伊右衛門宛 文政九年四月		三通	七〇七 七三六 七六〇
水戸様御入国ニ付土浦様修履 飯田三左衛門 天保三年一月	横長半	一冊	三
水戸様御入国ニ付土浦御屋敷御普請御殿家根 垣根新規 天保四年一月	横長半	一冊	六
(御座鋪通修履願書) 御本陣 西脇藤右衛門宛 天保四年九月		一通	四六三
(損ケ所御入用金并大工扶持米請取覚書) 御本陣 御作事役所宛 天保七年二月		一通	四六三
(御提灯修履願書) 御本陣 天保一一年一月		一通	七三三
御本陣御殿土塀御修履仕用御註文 左官安左衛 門 御作事役所宛 天保一一年二月		一通	四六五
(御座鋪通破損修履願書) 御本陣 天保一一年八 月		一通	四六四
御殿御普請扣帳 御本陣飯田三左衛門忠誠 天保一 四年一月	横長美	一冊	四九七
屋根葺替入用帳 飯田三左衛門庸義 天保一五年 三月	横長半	一冊	四三三
諸職人日記帳 勝手向修履水戸殿本陣飯田三左衛 門宅 天保一五年六月	横長半	一冊	三〇四
(諸願留書) 天保一五年	横長半	一冊	五四二
(修履金子拝借願書) 御本陣 池田民吉宛 嘉永 五年一月・安政六年七月		一通	四六六
(菊園略図) 飯田 嘉永六年菊月		一通	七四〇
長屋御請諸掛帳 飯田三左衛門 嘉永七年四月	横長半	一冊	七
御殿向惣御修履ニ付勝手向惣修履諸入用控帳 飯田三左衛門 安政五年四月	横長半	一冊	六
御殿向惣御修履ニ付諸品御買上帳 御本陣 安 政五年四月	横長半	一冊	七〇
(一)たみ酒等代銭御下ケ請取書 藤代村名主格組 頭 御作事役所宛 安政五年七月		一通	四六五
御殿御普請ニ付御出役様御賄入用并人馬賃銭取 調帳 安政五年一月	横長半	一冊	六
(御旅館御普請請負ニ付前借一札) 藤代村大工 伊兵衛 小石川御普請方役人宛 万延元年八月		一通	四六二
(不寝番所建築請負覚書) 藤代村大工伊兵衛 小石 川御普請方役人宛 万延元年八月		一通	四六三
(諸品預覚書) 御本陣 小石川御普請方役人宛 万延 元年八月		一通	七九四
(御座鋪通并諸道具類御見分御修履願書) 御本 陣 神谷守衛門宛 文久三年八月		一通	七二〇
御膳水井戸突一式積り扣 慶応二年一月	横長半	一冊	八四

仕用帳 猪子半兵衛 御役人宛 慶応三年一月	横長半	一冊 五〇
(御座鋪通修履願書) 御本陣 三浦矢一郎宛 慶 応四年閏四月		一通 四六六
御膳水井其外とも品々手扣 寅年一月	横長半	一冊 四六五
(御制札場取繕并御本陣所々取繕手入願書) 藤 代宿大工伊兵衛 御作事役所宛 子年八月		一通 四六三
(手間手伝諸色代金請取覚) 藤代宿大工伊兵衛 御作事役所宛 子年一〇月		一通 四四七
(松板他積送状) 土浦斎藤伴左衛門 飯田三左衛 門宛 辰年一〇月		一通 四四九
(御請負材木等積書) 藤代宿大工伊兵衛 御作事 役所宛 寅年一月		一通 四六五
(箱番所老組送り覚) 土浦御作事 御本陣宛 未 年二月		一通 四九三
(三ツ道具等八品駄送り覚) 土浦御作事 御本陣 宛 未年十一月		一通 四九四
(備中縁付薄縁他差遣申覚) 御作事 飯田三左衛 門宛 卯年三月		一通 四九五
(備中表他附送申覚) 御作事 御本陣宛 子年九 月		一通 四九六
(御道中御旅館御畳表替一式請合書) 御畳方役 人宛 寅年一〇月		一通 四八八
(屋根葺積り覚) 筑波山屋ねや半平 飯田三左衛 門宛 午年十二月		一通 七二六
(屋根繕入用積書) 酉年一月		一通 七二三
(普請道具手間一式覚) 酉年五月		一通 七二五
(屋根葺替手間請負一札) 筑波山家根屋半平 御 作事役所宛 戌年十二月		一通 七四〇
(御使者之間繕修履請負并代金受取覚) 藤代宿 大工伊兵衛他 未年七月		一通 七四六
(御上御湯殿等修理手間扶持手伝共御請負覚) 御本陣 大里宛 戌年四月		一通 七五三
(屋根諸色請負代金請取覚) 筑波屋根屋半平代 御作事役所宛 辰年四月		一通 七五五
(備中表他差送状) 土浦城内国谷瀬左衛門他 本 陣宛 卯年八月		一通 七五七
(葺替他請負代并受取覚) 未年三月		一通 七五八
(御本陣破損箇所書上覚) 御破損小屋 戌年四月		一通 七五七
(家根裏羽御葺替手間請負代金并扶持米請取覚) 筑波萱手半平 御作事役所宛 亥年二月		一通 七六四
(上茅代金覚) 倉嶋松左衛門 飯田三左衛門宛 丑 年十二月		一通 七六五
(困竹垣并短木取替押竹取替外小繕請負覚) 和 田村三左衛門 御作事役所宛 申年九月		一通 七六五
(家根差萱受負覚) 台宿村家根屋武左衛門 御作 事役所宛 申年八月		一通 七六七
(家根葺替代金受取覚) 筑波家根屋半平 御破損 小屋役所宛 未年三月		一通 七六八
(補店手入請負覚) 藤代宿大工伊兵衛 御破損小 屋役所宛 午年四月		一通 七九三
(道具差遣并引替ニ付申渡書) 御作事 御本陣宛 十二月		一通 四五四
(板垂木渡方覚) 御作事 御本陣宛 三月		一通 四五六

(小土居築立等ニ付申入書) 土浦御作事 御本陣宛 一一月	一通 四九四	(所々取繕御普請御請負并疊表替御請負書)	一通 四七〇
(道具引替分受取并馬差出申入口上書 土浦御作事 御本陣宛 一一月)	一通 四九六	(御殿屋根葺手間覚)	一通 四六六
(手間代覚) 徳兵衛 御本陣宛 一一月	一通 四九三	(修覆入費拝借願書) 御本陣 宛様	一通 四八〇
(萱竹外入用代覚) 四月	一通 七〇二	(御膳水井戸新規堀立願書)	一通 四八二
(品々代付覚) 五月	一通 七三三	(御普請手入相済候ニ付是迄之通り御本陣仕度願書) 問屋・御本陣・役人 安藤対馬守役所宛	一通 四八七
(御見分迎人馬差出ニ付差紙) 藤兵衛 上組名主宛 八月	一通 七六六	(萱葺替手間等覚)	一通 四九四
(御材木荷物積送り状) 伝四郎 三左衛門宛 一〇月	一通 七三二	(玄関脇御湯殿積り覚)	一通 五〇〇
(御見分役人迎人馬達書) 弘助 村役人宛 三月	一通 七四四	(普請用材等書上) 福田村吉田辰之助宛	一冊 五〇九
(御殿上之間御床壁是迄張付唐紙考枚持参申付状并継送願) 御作事 飯田三左衛門宛 四月	二通 七四七	(萱外積り扣) 台宿武左衛門 御役所宛	一通 五〇九
(御湯殿諸道具揃ニ付申達書) 用番弥八 本陣宛 八月	一通 七四三	(御普請覚書)	一通 五〇九
(御見分迎人馬ニ付急差紙) 藤兵衛 上組名主宛 八月	一通 七四六	(家根手間覚) 家根屋太郎兵衛	一通 五〇四
(御破損方御用ニ付罷出申入状) 藤兵衛 上組名主宛 八月	一通 七五〇	(御手洗場湯殿等繕材木覚)	一通 五〇五
(杉苗差遣ニ付植立手入頼状) 土浦御作事 御本陣宛 一一月	一通 七五二	(繕代手間等覚)	一通 五〇七
(壁塗代書上覚) 宮和田左官清八 土浦御役所宛 一〇月	一通 七六二	(繕入用覚)	一通 五〇八
(座鋪通手入普請仕方ニ付内鏡書) 三左衛門 水戸様御見分役人宛	一通 四九〇	(表垣九間分御入用諸色御積覚)	一通 五〇九
(献建書)	一通 四九三	竹垣三ヶ所之積り	一綴 五〇九
		(繕所書上覚) 御破損方役所	一通 五〇九
		(御座敷通御見分御修覆願書)	一通 五〇九
		(家根葺并下掃持手間代覚)	一通 五二五
		(屋根葺替并下掃持手間代覚)	一通 五二六

(御湯殿等縁板修覆一式寛)	一通 七三三	来栖七助・岩沢小右衛門書狀(御本陣普請) 飯田三左衛門宛 一二月	一通 六三八
(御座鋪通御疊替請負書) 疊屋留五郎	二通 七三〇	棟梁半平書狀(葺替 御破損小屋役所宛) 飯田三左衛門宛 一二月	一通 六五六〇
(御馬屋建諸色并手間共一式請負寛)	一通 七三三	弥八書狀(御本陣御普請見廻罷越) 藤代村名主宛 九月	一通 七四一九
(御修覆箇所寛)	一通 七三四	繪図	
(御座敷疊表替一式寛)	二通 七九七	(藤代御幕張図面書) 御旅館御普請懸り共 御幕張御懸り宛 三月	一通 七三四
(井戸堀手間等寛) 田丸屋惣兵衛	一通 七三九	(御本陣絵図一鋪)	一鋪 四九〇八
(修覆代受取寛)	一通 七三三	藤代御本陣惣御修覆絵図	一鋪 四九七三
垣手扣	二通 七四八	飯雪隠三尺四方葺簀用魚絵図	一枚 七〇三
(不寝番所建一式請負寛) 藤代宿大工仁兵衛	一通 七四三	その他	
(萱替代積寛) 筑波屋ねや半平 御本陣宛	一通 七四七	(御旅館被仰付ニ付鶏卵老箱献上願書) 御本陣 安政六年一〇月	一通 七〇八三
(御普請ニ付御作事方賄寛)	一通 七五〇	(御旅館被仰付ニ付御目録頂戴寛) 御本陣 万延元年一〇月	一通 七九三
(屋根葺替積書)	一通 七五三	(旅籠錢御印鑑取調差上寛) 御本陣 御弘方役人宛 申年一〇月	一通 四九六
(差萱請負寛)	一通 七五八	(本陣并小前下宿拝借金貸渡寛) 本陣・小前下宿宛 未年一二月	一通 七五四
(茅御落印帳)	一冊 七六四	(当村類焼有之御本宿欠附人足無之ニ付廻狀) 御本陣 下茅場外三方村役人宛 閏一二月	一通 七五三
○		宿泊・通行	
来栖才助書狀 一二月	一通 四六六	先触	
御破損小屋国谷瀬左衛門他書狀(外薄縁桶等差遣等ニ付) 飯田三左衛門宛 一〇月	一通 六〇四		
土浦御作事齊藤次郎・岩沢小右衛門書狀(家作葺替直段) 飯田三左衛門宛 一二月	一通 六六九		
岩沢小右衛門・来栖才助書狀 飯田三左衛門宛 一二月	一通 六四四	(御通行先触并本陣請取書) 安政二一三年	一冊 七〇六

横長半

30×53

横長半

(湯長谷藩内藤政養通行先触他) 藤代他御本陣他宛 一〇月

(本堂内膳奥方通行先触) 本堂内膳内横手窓五郎千住より稻石迄宿々問屋宛 三月

(美濃守殿内室国許下リニ付人馬繼立先触)

(御勘定梅田李之丞他并御普請役斎藤成三他通行ニ付先触) 御普請役 取手宿々土浦町迄宿々問屋年寄宛

水戸藩

(水戸中納言様御下リニ付御機嫌伺書留) 享保二年

水戸様御入部ニ付御本陣留帳 飯田三左衛門 宝曆八年一〇月

(水戸様御入部加助郷人馬儀買人馬相對仕代錢請取ニ付御託一札) 問屋・五人組惣代 藤代宮和田西一宿役人宛 明和元年一二月

水戸様御入部ニ付御当日并御奥方繼立帳 文化六年三月

水戸様御部屋様人馬繼立帳 藤代宿問屋場 文化六年三月

(水戸様御入部ニ付人馬割願書) 取手・藤代宿問屋 宮和田・若柴宿名主 滝川小右衛門役所宛 文化六年三月

(水戸様御通行人馬遣払仕訳覚) 宮和田源右衛門他、藤代与五右衛門他 滝川小右衛門様手代宛 文化六年三月

水戸様御御通行ニ付加助人馬願出府諸入用并道中人馬賃錢扣帳 飯田三左衛門 文化七年三月

一通 四九三

一通 五〇〇

一通 四四五

一通 四九五

横長半

一冊 五〇九

半

一冊 三七四

一通 七四一

半

一冊 三〇四

半

一冊 三三三

一通 四六六

一通 七五九

横長半

一冊 二七三

水戸様御尊骸御通行ニ付加助合村々地頭姓名并ニ石高改帳 藤代宿 文化一三年九月

美

一冊 二〇五

(水戸様御挑灯拝借願) 藤代宿問屋 水戸様御次所役人宛 文政七年四月

一通 四六一

(水戸様御参府被遊候ニ付御切紙頂戴覚) 飯田三左衛門宛 文化七年四月

一通 三七七

水戸御用留帳 天保五年三月

横長半

一冊 五〇九

(水戸重キ御女中様御通行ニ付御普請方々注文書御届) 土浦御役所宛 天保七年一月

一綴 四七五

(水戸中山備前守様御内室様御通行ニ付備中薄縁御下ケ願書) 御本陣 星野十兵衛宛 天保一〇年四月

一通 四八五

(宮和田宿願出候得共水戸御屋形様御休泊当宿仰付願書) 御本陣願人飯田三左衛門 水戸御役所宛 天保一四年一二月

一通 四九〇

(宮和田宿德左衛門願出候而も水戸御屋形様御休泊先例通仰付願書) 御本陣 郡方西御役所宛 天保一四年一二月

一通 四九一

水戸九郎磨様御通行ニ付米木錢打渡蝶 弘化四年五月

横長半

一冊 三四五

松平五郎磨様同七郎磨様御参府御通行ニ付殘金軒割帳 両組 弘化四年八月

横長半

一冊 三三八

水戸様々尾張様江御名代寛助太夫様御下り御泊旅籠泊 嘉永六年三月

横長半

一冊 五〇六

水戸御用扣 安政六年八月

横長半

一冊 三〇三

水戸前中納言様御下国ニ付御旅籠札調帳 御本陣 安政六年九月

横長半

二冊 三〇一

水戸前中納言様御旅籠下宿払方帳 安政六年九月

横長半

一冊 三三三

水戸中納言様御下国御宿割控 安政六年九月	半	一冊	三三三	水戸様御連女様御登御旅館御印鑑取調帳 御旅館 水戸御方役人宛 文久元年五月	横長半	一冊	三三三
水戸前中納言様御入国ニ付御宿割帳 安政六年九月	横長	一冊	三三三	水戸松平余六磨様御参府御旅館御旅籠方帳 御殿守飯田三左衛門 文久二年閏八月	横長半	一冊	三三七
水戸表御機嫌御伺次第日記〔御本陣御用帳書抜〕 安政六年一〇月出立	横半半	一冊	二〇四	水戸松平余六磨様御泊御用ニ付留帳 御旅館 文久二年閏八月	横長半	一冊	三三八
〔御機嫌伺登城届書〕 御本陣 安政六年一〇月		一通	四六七	松平余六磨様御参府御泊ニ付御印鑑取調帳 御本陣 文久二年閏八月	横長半	一冊	三三九
水戸前中納言様御下国ニ付先例之通水戸表御機嫌御伺として罷出次第 御本陣 安政六年一〇月	横長半	一冊	三六六	水戸松平余六磨様御参府御泊御宿割帳 御殿守 文久二年閏八月	半	一冊	三四〇
水戸御簾中様御旅館ニ付御下宿旅館方帳 御本陣 安政六年一二月	横長	一冊	三三〇	水戸御簾中様御旅館御用下控〔飯田三左衛門〕 文久三年三月	横長半	一冊	三四〇
〔旅籠代ニ付御印鑑取調差上覚〕 御本陣 小石川御方役人宛 安政六年一二月	半	一冊	四九六	水戸様御簾中様御下国御旅館御旅籠方帳 飯田三左衛門 文久三年三月	横長半	一冊	三四一
御参府水戸中納言様御旅館ニ付御下宿方帳 御旅館飯田三左衛門 万延元年一〇月	横長	一冊	三三三	水戸様一ノ手御備御登御人数旅籠御印鑑取調帳 御本陣 水戸御方役人宛 文久三年三月	横長半	一冊	三四九
水戸様御参府御宿割帳 万延元年一〇月	半	一冊	三三六	水戸様一ノ手御備御登御人数御泊旅籠方帳 飯田三左衛門 文久三年三月	横長半	一冊	三五〇
〔水戸様御参府御旅館仰付ニ付御馬飼料刈豆三俵拝借願書等〕 御本陣 神谷省兵衛宛 万延元年一〇月		一通	四九三	水戸様御上京ニ付御拝領之御天盃御下しニ付御守護御人数御宿割帳 御本陣 文久三年四月	半	一冊	三四〇
徳川鶴千代磨様御尊骸御旅館ニ付下宿札取調帳 万延二年一月	横長半	一冊	三三三	水戸様御人数御差登御通行御旅籠方帳 飯田三左衛門 文久三年八月	横長半	一冊	三三九
〔水戸御簾中様并重御女中様御通行申来ニ付御届書〕 与五右衛門 神谷省兵衛宛 文久元年三月		一通	四九六	為御差登御通行ニ付御印鑑取調帳 御本陣 水戸御方役人宛 文久三年八月	横長半	一冊	三三七
水戸様御連女茂姫君様愛姫君様御登ニ付御宿割帳 御旅館 文久元年四月	横長	一冊	三三六	松平廿二磨様政姫君様御参府御旅館御下宿御旅籠方帳 御旅館守 文久四年一月	横長半	一冊	三四七
徳川鶴千代磨様御尊骸御休棺ニ付御下宿方帳 御旅館 文久元年四月	横長	一冊	三三三	松平廿二磨様御参府御泊り御印鑑取調帳 藤代宿御本陣・宮和田宿問屋 水戸御方役人宛 文久四年一月	横長	一冊	三四九
水戸御連女茂姫君様愛姫君様御旅館ニ付下宿御旅籠方帳 飯田三左衛門 文久元年五月	横長	一冊	三三三				

松平廿二層様御参府御泊宿割帳 飯田三左衛門 文久四年一月	半	一冊	三四二
水戸市川三左衛門様佐藤図書様朝比奈弥太郎様 渡辺半介様御登ニ付御旅籠払方帳 元治元年五月	横長半	一冊	三五三
松平大炊頭様御下リニ付御道中御宿割帳写 水 戸御目付方 元治元年八月	半	一冊	三四三
水戸御簾中様御旅籠ニ付御用私用留 元治二年 三月	横長半	一冊	三四五
水戸中納言様之御簾中様愛姫君様随姫君様御参 府御旅籠下宿御旅籠払方帳 元治二年三月	横長半	一冊	三四六
松平鉄之丞様松平常三郎御参府ニ付御旅籠払方 帳 元治二年三月	横長半	一冊	三六二
松平鉄之丞様松平常三郎様御参府御泊印鑑取調 帳 元治二年三月	横長半	一冊	三六三
松平鉄之丞様松平常三郎様御参府御宿割帳 元 治二年三月	半	一冊	三四五
水戸御連女様御泊御印鑑取調 御本陣 水戸御払 方役人宛 慶応二年三月	横長半	一冊	三五九
水戸御連女繁姫君様御泊御旅籠払方帳 慶応二 年三月	横長半	一冊	三六〇
水戸御料理人飯田歙三郎殿一条入用留 慶応四 年三月	横長半	一冊	一四
水戸御簾中様御旅籠ニ付食札取調帳 慶応四年 三月	横長半	一冊	三五五
水戸中納言様御旅籠ニ付食札取調帳 慶応四年 三月	横長半	一冊	三七七
水戸御備中納言様御簾中様御泊御旅籠払方帳 慶応四年四月	横長半	一冊	三五四

水戸御馬方一件諸掛帳 明治二年三月	横長半	一冊	六
(水戸様御厩部屋福松争論之処無宿丹次ニ被疵 負候ニ付宿預リ一札) 藤代宮和田宿役人惣代 水 戸様御厩部屋頭宛 明治二年三月		二通	四七三
水戸様御厩方一件諸掛取調帳 明治二年四月	横長半	一冊	七
(福松疵所快方ニ付引取書一札) 水戸様御厩部屋 頭他 藤代宮和田宿役人宛 明治二年四月		二通	四七六
(御館様御厩御中間福松争論疵負宿預リ之所快 方引渡ニ付御届書) 藤代宮和田宿役人惣代 御監 察府役所宛 明治二年四月		一通	四七六
(御厩御中間福松疵所平愈ニ付引取被仰聞候様 預書) 藤代宮和田宿役人惣代 御目付役所宛 明治 二年四月		一通	四七七
(水戸様御厩御中間福松引取被下候ニ付為念一 札) (明治二年)		一通	四七六
(御供姓名并水戸様御帟城御昼休仰付御届書) 藤代宿問屋名主 渡辺松蔵宛 明治二年七月		一通	七五〇
水戸様御備御繰出し入用扣 (辰年三月)	横長半	一冊	三四九
(水戸様御参府御通行ニ付宿普請并人馬整方ニ 関シ議定書) 御本陣 村々役人宛 申年一〇月		一通	四五六
(水戸御簾中様并御奥御女中衆御登大御通行ニ 付加助御村々江人馬触当御出役願書) 藤代宿役 人惣代 佐々井半十郎様役所宛 丑年三月		一通	四九五
(松平左衛門佐殿神位罷越ニ付先触) 水戸御目 附方 総州小金町々常州水戸迄宛 子年八月		一通	四九六
(水戸御簾中様御下リ先触并同御延引触写達状) 宮和田宿問屋 藤代宿問屋・役人宛 未年十一月		一通	七五七
(水戸殿入部ニ付人馬差出順達書) 瀧川小右衛門 巳年三月		一通	七三七

(水戸殿通行人馬触当書廻状) 若狹他 日光道中 千住の水戸迄問屋年寄宛 巳年三月	一通 七四一	次第留 飯田三左衛門	横半半	一冊 四九三
(水戸様御参府ニ付渡場舟頭江下金請取覚) 小 通リ村・宮和田村名主 三左衛門宛 午年三月	一通 七五五	(水戸前中納言様之御簾中様近々御下国ニ付仰 渡書)		一通 四八五
水戸宰相御通ニ付藤代駅出役之次第 巳年三月	一通 七五七	(水戸御供泊リ札)		一〇枚 五〇三
(御簾中様下向宿割罷出ニ付加籠等指出先触) 水戸御目附方 千住宿が長岡宿迄問屋宛 一二二月	一通 七五七	藤代宿御小休 水戸御目付方	横美半半	一冊 五〇五
(水戸中納言様之御簾中様御下国ニ付御達書) 三月	一通 七六三	(水戸様御参府御通行留書) 御本陣	横長半	一冊 五七〇
(殿様水戸御発駕ニ付泊先触) 横山清左衛門 飯 田三左衛門宛 三月	一通 七六三	(水戸黒鍬之者泊札)		七枚 五三三
(水戸殿参府ニ付先触) 寺門左一衛門他 従長岡 千住迄宿々問屋宛 一〇月	一通 七六三	(水戸中山備前守様御内室様御通行ニ付御雪隠 薄縁御下願書)		一通 七〇七
(休泊付村割之通ニ付廻状) 知豊兵衛他 藤代他 一〇月	一通 七六六	(水戸様家中方大通行加助郷ニ人馬触御印状願 ニ付組頭出府伺書)		一通 七〇六
(水戸様御通之節箱番所建置申達書) 藤右衛門 本陣宛 二月	一通 七六六	(水戸前中納言様之御簾中様当宿御旅館仰渡ニ 付御届書) 藤代宿問屋		一通 七二三
(水戸中納言水御下国之趣承知御請書) 藤代宿 問屋他 水戸様御目付方役所宛	一通 七六九	(宰相様水戸江御下ニ付御達書)		一通 七三九
御簾中水御下向道中本陣入役々并下宿人割帳	二冊 七六九	(宰相様御帰国御通ニ付御達書) 三左衛門宛		一通 七四〇
水戸御簾中様御下国ニ付宿割帳	一冊 七六九	(中納言様水戸江御下ニ付御達書) 三左衛門宛		一通 七四二
水戸様御下国御宿割帳写	一冊 七六九	(宰相様御参府之節御達書) 御本陣		一通 七四三
水戸御簾中様御宿割帳	一冊 七六九	(水戸様御泊御旅館料受取覚) 御本陣		一通 七四三
御宿割 水戸小徒人目付・目付下役	一冊 七六九	(享保十年・明和三年水戸様御休泊ニ付書上)		一通 七四七
御宿割帳 水戸目付方下役	一冊 七六九	(中納言様御参府ニ付達書) 三左衛門宛		一通 七七一
		(宰相様御帰府ニ付御達書)		一通 七四四
		(水戸様之御簾中様御参府ニ付達書) 藤代村名主宛		一通 七四九
		(中納言様御下国ニ付指上物無用等達書)		一通 七四九

〔因州様御家老宿々御見分ニ付宿割之儀等心得仰渡御届書〕 神谷宿兵衛宛

一通 七四〇

〔宰相様御国許江御暇仰出御入部ニ付達書〕 藤代村名主宛

一通 七五三

〔泊覧書〕

一綴 七七〇

若柴宿高野長郎外役人書狀〔水戸様御荷物継立〕
宮和田藤代宿問屋名主宛 申年九月

一通 六三六

水戸江戸御普請方川部平次郎書狀〔雪隠等普請〕
水戸御用藤代宿飯田三左衛門宛 辰年一〇月

一通 六〇六

小石川高根伴右衛門・川部平次郎書狀 水戸御用
藤代宿飯田三左衛門宛 一月

一通 六〇七

川部平次郎・高根伴右衛門書狀〔御帰国ニ付御普請取掛り止人等〕 飯田三左衛門宛 一月

一通 六〇七

江戸小石川川部平次郎・高根伴右衛門書狀 水戸御用
藤代宿旅館飯田三左衛門宛 一月

一通 六〇五

川部平次郎書狀 水戸御用藤代宿飯田三左衛門宛
二月

一通 六四四

江戸小石川高根伴右衛門・川部平次郎書狀 水戸御用
飯田三左衛門宛 一月

一通 六三三

河村津右衛門書狀〔水戸殿重キ比丘尼出迎不及〕
御本陣飯田三左衛門宛

一通 六七一

藤兵衛書狀 御本陣飯田三左衛門宛 二月

一通 六〇〇

藤兵衛書狀〔御本陣修覆入用材何河岸問屋誰渡候而宜敷哉〕 名主三左衛門宛 一〇月

一通 六〇六

藤兵衛書狀〔水戸様御入部御手入請負ニ付罷出委細申談〕 名主三左衛門宛 一〇月

一通 六〇七

岩淵介七書狀〔殿様御一宿御供馬飼料心掛〕 飯田三左衛門宛 八月

一通 六〇六

水戸小石川屋敷寺門半衛門書狀〔御入府家中宿割〕
藤代御本陣宛 十一月

一通 六〇九

村松珍六・近藤清四郎書狀〔相場定〕 水戸御用藤代御本陣三左衛門宛 五月

一通 六〇九

土浦藩

殿様御帰城ニ付御領分御伝馬割合帳 藤代宿
寛政四年九月

横長半

一冊 二〇四

十一月廿一日御発駕同日晩御泊リ殿様御参府ニ
付御領分御伝馬割合帳 藤代宿 寛政二年十一月

横長半

一冊 二〇五

〔御殿様御帰城之節御小休之節御覧ケ間敷筋為仕申間敷旨一札〕 藤代宿 牧野様御内宛 文化五年一〇月

一通 六三三

殿様御入部本陣藤代宿并外宿旅籠人数帳 佐藤源兵衛下役 文化一二年九月

横長美

一冊 三六二

土屋相模守帰城本陣藤代宿并外宿旅籠人数帳
河合官兵衛下役 文化一二年九月

横長美

一冊 三六三

〔御殿様御通行人馬差出牛久宿迄継立仕候ニ付届書〕 藤代宿普喜惣兵衛宛 文化一二年九月

一通 七九二

土屋相模守参府本陣藤代止宿并外宿旅籠人数帳
藤井半下役 文化一二年二月

横長美

一冊 三六五

〔御殿様御参府ニ付人馬触書〕 藤代宿 村々役人宛 文化一二年十一月

一通 七四六

土屋相模守帰城本陣藤代止宿并外宿旅籠人数帳
原田源左衛門下役 文化一三年九月

横長美

一冊 三六四

(御殿様御帛城ニ付下金頂戴一札) 宮和田宿・小通村役人、舟場名主・惣舟頭 飯田三左衛門宛 文化一三年九月	一通 七六六	横長美
御本陣藤代止宿并外宿旅籠人数帳 源田源左衛門下役 文化一三年十一月	一冊 三六六	横長美
(御殿様御参府被下金受取覚) 藤代宿問屋御宿割役人宛 文化一三年十一月	一通 七三三	横長美
(御殿様御通行被下金受取覚) 宮和田宿・小通村名主 土屋相模守様御内宛 文化一三年十二月	一通 七三三	横長美
御帛城御本陣藤代止宿并外宿旅籠人数帳 土浦家中藤井央下役宛 文化一四年九月	一冊 三六三	横長美
(御通行ニ付渡船場被下御目録頂戴覚) 小通村名主 土屋相模守様御内役人宛 文政元年九月	一通 七三三	横長美
(御殿様御帛城ニ付下金頂戴一札) 宮和田宿・小通村役人 飯田三左衛門宛 文政元年九月	一通 七三三	横長美
御帛城御本陣藤代御止宿并外宿旅籠人数帳 佐和与助下役宛 文政二年九月	一冊 三六三	横長美
土屋相模守参府本陣藤代昼休并外宿旅籠人数帳 進土勘之丞下役宛 文政二年十一月	一冊 三六七	横長美
(土浦様御参府ニ付被下金受取覚) 小通村・宮和田宿役人 飯田三左衛門宛 文政二年十一月	一通 七三三	横長美
御帛城御本陣藤代御止宿并外宿旅籠人数帳 木内渡下役 文政三年九月	一冊 三六四	横長美
(土浦様御通行ニ付宮和田・小通り両村舟場名主舟頭江被下金覚) 宮和田宿名主代 飯田三左衛門宛 文政三年九月	一通 四〇四	横長美
(御殿様御帛城ニ付渡船御改ニ付御請一札) 小通村・宮和田宿 土浦様御宿割役人宛 文政三年九月	一通 六六四	横長美
土屋相模守参府本陣藤代松戸昼休并外宿旅籠人数帳 小室武助下役 文政三年十一月	一冊 三八〇	横長美
御帛城御本陣藤代御止宿并外宿旅籠人数帳 岡五郎平下役 文政四年一月	一冊 三九五	横長美
(土浦様御帛城ニ付御目録金受取覚) 小通村・宮和田宿役人 飯田三左衛門宛 文政四年一月	一通 七三三	横長美
土屋相模守参府本陣藤代松戸昼休并外宿旅籠人数帳 入江四郎治下役 文政四年二月	一冊 三六六	横長美
(土浦様御参府渡船場被下金受取覚) 小通村・宮和田宿役人 飯田三左衛門宛 文政四年十一月	一通 七三五	横長美
殿様御参府本陣藤代昼休并下宿旅籠人数帳 寺門基八下役 文政五年十一月	一冊 三六六	横長美
(土浦様御参府御目録金受取覚) 小通村・宮和田宿役人 飯田三左衛門宛 文政五年十一月	一通 七三六	横長美
殿様御帛城ニ付御泊り御宿割帳 御宿割吉田伝人下役 文政六年一月	一冊 五〇六	横長美
土屋相模守参府本陣藤代昼休并下宿旅籠人数帳 笠原全下役 文政六年二月	一冊 三六九	横長美
御帛城御本陣藤代御止宿并外宿旅籠人数帳 藤量平下役 文政一〇年九月	一冊 三六九	横長美
御参府御本陣藤代御昼休并下宿旅籠人数 鈴木万助下役 文政一〇年十一月	一冊 三六〇	横長美
土浦御城内里見宗三郎様御後室於通様小津かひ帳〔於当家卒ニ付〕 文政一三年一〇月	一冊 四六三	横長美
(土屋并蔵様御通行御止宿覚) 御本陣 天保一五年四月	一通 四九六	横長美
弁三様御出府御本陣藤代宿并下宿旅籠人数帳 神田謙九郎 天保一五年十一月	一冊 三六九	横長美

(御次男様御通行当宿御休ニ付御請書) 天保一 五年十一月	御帛城ノ御参府迄扣 弘化三年八月ノ	横長半	一通	六九
(御城着ニ付御機嫌伺并御旅館仰付先例仕来之 通ニ付参上届書) 御本陣 安政六年一〇月	御簾中様御旅館御用留仮帳 御旅館飯田三左衛門 安政六年十一月	横長半	一通	六七
御簾中様御入国ニ付御旅籠札取調帳 安政六年 十一月	御簾中様御旅館ニ付御拝借金貸渡帳 安政六年 十一月	横長半	一通	三三
(御機嫌伺参上届書) 御本陣名主 神谷省兵衛宛 万延元年十一月	(御奥様御下国御通行ニ付御関札下宿札受取覚) 藤代宿本陣役人 御宿割役人宛 文久三年一月	横長半	一通	四八
(御奥様御下国御旅籠料御請一札) 御本陣 御 宿割役人宛 文久三年一月	奥様於通様藤代駅止宿御出陣并下宿人数帳 文 久三年三月	横長半	一通	三六
御奥様於通様御下国御泊旅籠方帳 飯田三左 衛門 文久三年三月	御若殿様御入部御泊下陣旅籠方帳 立会飯田 三左衛門・忠右衛門 文久三年九月	横長半	一通	三七
(渡船場御下り金請取覚) 宮和田宿渡船場役大惣 代 土屋采女正様役人宛 文久三年九月	(御殿様御帛城御通行御泊ニ付御関札他受取覚) 御本陣 御宿割役人宛 文久三年九月	横長半	一通	四六

御殿様御帛城ニ付被下金并昼御旅籠方帳 飯 田三左衛門 元治元年六月	御殿様御参府ニ付御昼休御旅籠方帳 元治元 年九月	横長半	一通	三七
御人数御宿覚帳 元治元年九月	御奥様於通様江戸表御引移ニ付御泊旅籠方帳 飯田三左衛門 元治元年二月	横長半	一通	三六
御簾中様御旅館ニ付御印鑑下取調帳 御本陣 元治二年三月	去寅春若御殿様御巡見ニ付諸入用内訳割合帳 慶応三年二月	横長半	一通	三五
御簾中様御逗留ニ付旅籠料内渡帳 慶応四年三 月	御簾中様御逗留御賄帳 御本陣 慶応四年三月	横長半	一通	三五
御奥様御泊ニ付御印鑑取調并下宿料方帳 御 本陣 慶応四年三月	御殿様御帛城ニ付御泊御旅籠方帳 飯田三左 衛門 慶応四年三月	横長半	一通	三六
御奥様於通様於民様御下国御泊御宿割享 御宿 割下役 御本宿飯田三左衛門宛 慶応四年三月	殿様御帛城藤代駅御泊御宿割帳 御宿割 慶応四 年三月	横長半	一通	三七
御殿様御帛城御泊リニ付宿割帳 御本陣 慶応四 年三月	御若殿様御泊旅宿籠方帳 慶応四年四月	横長半	一通	三七
御若殿様御上京ニ付御泊宿割帳 飯田三左衛門下 宿共 慶応四年四月		横長半	一通	三七

御殿様京地々御帰国初御入部御旅籠弘方帳 慶応四年七月	横長半	一冊	三五四	(殿様土浦御免駕藤代宿小休ニ付先触) 松藏 谷原領村々役人宛 巳年三月	一通	七九
土浦御人数御泊ニ付旅籠弘方帳 慶応四年八月	横長半	一冊	三九三	(土屋采女正奥城先触并牧野越中守帰城先触他) 子年六月	一通	七〇四
御参府御本陣藤代宿 御止宿并下宿旅籠帳 大月守之助下役 明治元年九月	横長美	一冊	三四〇〇	(殿様御参府ニ付人馬触) 藤代宿問屋名主 下柳 他一〇力村名主宛 巳年三月	一通	七四
御殿様東京府江御通行ニ付御旅籠弘方帳 御本陣 明治元年一〇月	横長半	一冊	三九五	(殿様御初入ニ付人馬触) 藤代宿問屋名主 下柳 他一〇力村名主宛 戌年	一通	七四
御殿様御帰城御泊ニ付御人数取調 明治元年一二月	横長半	一冊	三六	(牧野越中守并土屋采女女正御奥方様渡船場御下金受取寛) 官和田宿平右衛門他 飯田三左衛門宛 亥年三月	一通	七〇
御殿様御帰城ニ付御泊り御旅籠弘方帳 明治元年一二月	横長半	一冊	三九七	(御殿様御参府ニ付人足触) 藤代宿問屋名主 神 住新田他一〇力村名主宛 巳年三月	一通	七〇
御殿様御参府御昼休 明治二年三月	横長半	一冊	三九	(殿様御参府御泊ニ付御達書) 土浦大月専之助 御本陣宛 辰年九月	一通	七三
殿様御参府ニ付馬飼料調帳 川副慶助下役 明治二年三月	横長美	一冊	三四〇	(御殿様御参府ニ付人馬触) 藤代宿問屋名主 山 崎他一一力村名主宛 巳年三月	一通	七三
土屋余七磨本陣藤代駅止宿并下宿旅籠人数帳 土浦宿割 亥年九月	横長美	一冊	三七	(御奥様御入国ニ付人馬触) 藤代宿問屋名主 神 住新田他一八力村名主宛 亥年三月	一通	七六
御本陣藤代駅止宿并下宿旅籠帳 土浦宿割 子年一二月	横長美	一冊	三四七	(殿様御初入ニ付人馬触) 藤代宿問屋名主 丸山 他一一力村名主宛 戌年九月	一通	七五
(土屋采女正奥方御泊申付先触) 土浦宿割 亥年三月	横長美	一通	四四六	(殿様土浦表御免駕藤代宿御休ニ付人馬員数通達添書) 松藏 谷原領村々役人宛 巳年三月	一通	七五
(殿様御参府御昼休先触) 土浦川副慶助 御本陣宛 巳年三月	横長美	一通	四九四	(殿様御参府藤代宿御昼休ニ付人馬触) 藤代宿問屋名主 東橋戸他一一力村名主宛 戌年一月	一通	七六
(殿様藤代宿御休ニ付申達書) 松藏 谷原領村々役人宛 巳年三月	横長美	一通	四九七	(殿様御参府御昼休御通行ニ付人馬触) 藤代宿問屋名主 下平柳他九力村名主宛 戌年一月	一通	七五
(土屋公御参府飯御番所諸道具請取書) 我孫子宿御本陣 藤代宿御本陣宛 卯年一月	横長美	一通	五五			
(若殿様御帰城ニ付御泊御昼休廻状) 土浦家中 鈴木藤藏 藤代・中村両宿宛 申年八月	横長美	一通	七二三			

(土屋采女正奥方様江戸表江引移ニ付先触之覚) 土浦佐和金三郎 從土浦千住迄宿々問屋宛 一二月	横長半	一冊	五九七
(若殿様御在所へ御発駕ニ付普請手入願出申入状) 藤五兵衛 御本陣宛 八月		一通	七六三
(下陣割置之処書付之通り限りニ付通知状) 土浦鈴木万助 飯田三左衛門宛 一二月		一通	七〇〇
(殿様御帰城ニ付人馬宰領付差出触書) 西役所 青木他一〇カ村役人宛 九月		一通	七〇六
(殿様御参府人馬触) 藤代宿問屋名主 村々役人宛 一二月		一通	七四〇
(奥様於通様土浦表江引移ニ付谷原飯村々人馬御継立添書) 省兵衛 谷原領村々役人宛 三月		一通	七四九
(殿様御帰城御通行ニ付御旅籠料請取覚)		一通	四九六
(御寮中様御下国御陸尺御下宿之分御印鑑頂戴仕候得共彼是取込ニ付頂戴不仕趣申出) 一札		一通	四九四
(御奥様御下国御通行御泊仰付ニ付覚書)		一通	四九四
(御殿様御帰城ニ付御先触)	横長半	一冊	五五五
(御殿様御帰城之節賄料覚)	横長半	一冊	五五五
(御殿様御馳走酒次第被仰付覚)		一通	六四四
(御殿様御参府御休御本陣請一札)		一通	七〇〇
(御殿様御参府ニ付昼御休御旅籠料請取覚)		一通	七二三
(御若殿様御入国御通行人馬御届書)		一通	七四五
(土浦山田部先触之写)		一通	七五〇
御年賀参主扣帳 飯田三左衛門扣 安政四年一月	横長半	一冊	八

土浦御年始其外扣帳 慶応三年一月	横長半	一冊	三
御年頭之節御役名之写 明治三年一月	横長半	一冊	九
午年御年甫扣 明治三年二月	横長半	一冊	二〇
土浦御屋敷御年頭帳 明治四年一月	横長半	一冊	三
旧御領主様御年礼扣帳 飯田三左衛門 明治四年一月	横長半	一冊	三〇
丑新正土浦表御年甫扣	横長半	一冊	三五
土浦御宿割下役山口勇八書状〔若殿様土浦引移ニ付宿割減人〕 御本陣飯田三左衛門宛 九月		一通	六二九
土浦藩岡部弥兵衛書状〔御馳走御礼〕 飯田三左衛門宛 一〇月		一通	六六六
土浦山勝や佐市書状〔御勘定御届ケ願〕 藤代宿御苗権左衛門宛 九月		一通	六九〇
土浦城内前沢小左衛門書状 飯田三左衛門宛 一〇月		一通	六六四
土浦御宿割神林治助書状 飯田三左衛門宛 三月		一通	六六三
土浦岡善之丞書状 飯田三左衛門宛 九月		一通	六三三
土浦内藤藤内・小俣弥八郎書状〔相応宿見立〕 飯田三左衛門宛 一〇月		一通	六七〇
土浦城内植松亀之助書状 飯田三左衛門宛 三月		一通	六〇四
小金駅止宿土浦金沢辰右衛門書状〔明日藤代駅昼支配心得〕 藤代駅御本陣宛 六月		一通	六三七
土浦斎藤伴左衛門書状 飯田三左衛門宛 戊午八月		一通	六二〇

土浦御作事方安達金助書状 飯田三左衛門宛 七月	一通 六五五
土浦渡辺治助書状 飯田三左衛門宛 八月	一通 六五〇
土浦御作事方太田庄助書状 飯田三左衛門宛 一二月	一通 六五七
大里金兵衛・斎藤伴左衛門書状 四月	一通 六五七
御作事書状 藤代宿御本陣宛 二月	一通 六六四
斎藤伴左衛門書状 飯田三左衛門宛 二月	一通 六七三
斎藤伴左衛門・大里金兵衛書状 飯田三左衛門宛 九月	一通 六八四
土浦藩取手・加藤矢吉郎・安達金助書状 飯田三左衛門宛 午年七月	一通 六七九
白井助太夫書状〔宿割ニ付厚謝殿様より扇頂戴〕 飯田三左衛門宛 十一月	一通 六八〇
藤五郎書状〔土浦表御代官御止宿ニ付魚類御入用ニて申越之件承知〕 三左衛門宛 七月	一通 六七〇
御作事方書状〔挑灯台他相廻し〕 飯田三左衛門宛 一月	一通 六六七
土浦町大里好治書状 飯田三左衛門宛 八月	一通 六六六
○郡方御取締	
西御郡方御取締御旅宿入用割合 弘化二年二月	横長半 一通 三三六
御取締墨木昇九郎様御泊入用帳 弘化三年五月	横長半 二冊 三三八
御呼出之者名前書留帳 弘化三年五月	横長半 一冊 三三〇
御呼出ニ付諸掛控帳 役人 弘化三年五月	横長半 一冊 三三二

西御郡方御取締御旅宿ニ付諸書出帳 弘化三年五月	横長半 一冊 三三三
西御郡方御取締御旅宿入用割合 弘化三年五月	横長半 一冊 三三四
○	
御取締役野崎河右衛門様御旅宿賄諸入用帳 藤代村飯田三左衛門他六人 弘化三年一〇月	横長半 一冊 三三五
御取締役野崎河右衛門様御旅宿ニ付入用帳 藤代宿役元 弘化三年一二月	横長半 一冊 三三五
御勘定	
御勘定高橋義左衛門様御泊り覚 天保九年五月	横長半 一冊 三三六
御勘定様御普請役様御休泊并人馬繼立取調帳 藤代宿役人 岡村詰所惣代宛 弘化四年三月	横長半 一冊 三三九
御勘定様方御旅籠宿入用帳 弘化三年一二月	横長半 一冊 三三四
(御勘定吟味役他人足并入用留帳) 弘化三年一月	横長半 一冊 三三五
御勘定横山七十郎様河西衛平様早川雄一郎様諸入用控帳 弘化四年一〇月	横長半 一冊 四
宿割	
御下り御宿割帳写 享保一〇年八月	半 二冊 三三三
御道中宿割帳 留宮又右衛門他 享保一一年三月	横長美 一冊 三三四
御下国御宿割帳 御宿割 享保一三年五月	美 一冊 三三五
御下国御宿割覚帳 御宿割 享保一三年五月	半 一冊 三三六
藤代宿割帳 小野角右衛門他 享保一四年三月	半 一冊 三三九

宿割人別帳 井上河内守宿割山口定六添役 寛延四年閏六月	半	一冊	三三三	相馬吉太郎様御參府御泊旅籠御宿其外入用帳 元治二年二月	橫長半	一冊	三三七
御入部御宿割帳 御宿割 宝曆八年二月	半	一冊	三三三	宿割 岩城左京大夫内 慶応四年閏四月	橫長半	一冊	三三三
御入部ニ付御宿割帳写 御宿割 宝曆八年二月	半	一冊	三三三	米田虎之助止宿割写 慶応四年七月	橫長半	一冊	三三三
宿割帳 牧野越中守内 文政二年五月	橫長半	一冊	三三六	(御宿割覚帳) 明治元年一月	橫長半	一冊	三三三
宿割 相馬長門守様御内 文政三年三月	橫長半	一冊	三三〇	相宿帳写 御宿割 明治二年七月	橫長半	一冊	三三六
(御宿割) 御宿割木内渡様御下役宛 文政三年九月	一冊	一通	七四九	宿割帳 辰年三月	半	一冊	三三九
昼休宿割帳 牧野越中守内 松木久五右衛門宛 文政四年六月	橫長半	一冊	三四七	藤代泊宿割帳 亥年五月	橫長美	一冊	三三九
(宿割覚) 文政四年一〇月	一通	七四三		棚倉藩御宿割帳 藤代宿組頭 兵糧万役所宛 子年九月	橫長半	一冊	三三三
牧野春山様御遺骸御昼休御宿割帳 御宿割 文政五年二月	橫長半 一冊	綴	五〇五	板倉伊予守様御宿割帳 卯年三月	半	一冊	三三三
宿割 青田孫左衛門他 文政七年三月	橫長半	一冊	三四元	本多弾正少弼道中昼休御宿割帳 戌年五月	橫長美	一冊	三四五
宿割帳 牧野知与丸内 文政一一年九月	橫長半	一冊	五〇六	二ノ手御繰出し御參府宿割帳 久野専助他 八月	橫長半	一冊	三四六
御宿割帳 天保一一年一〇月	橫長半	一冊	五〇七	(御宿割帳) 飯田三左衛門	半	一冊	三四六
藤代宿御宿割帳 本堂内膳助様内御宿割 天保一二年七月	橫長半	一冊	三四三	御宿割帳	半	一冊	三四六
本堂内蔵助様御泊御宿割帳 本堂内膳助様御内御宿割 天保一四年六月	橫長半	一冊	三四三	(御宿割帳) 飯田三左衛門	半	一冊	三四六
御用人自筆留 (嘉永五年)	橫長半	一冊	五四七	御登ニ付御宿割帳 藤代宿	半	一冊	三四三
松平周防守様御人數御泊宿割帳写 山根栄蔵他 元治元年八月	半	一冊	三四二	泊宿割	橫長美	一冊	三四五
河野伊予守様岡田左一郎様御役々様御帰陣宿割帳 元治元年二月	橫長半	一冊	三四四	本陣詰并外宿割	橫長美	一冊	三四五
				一番備宿割帳	半	一冊	三四五
				御宿割軒別帳 藤代宿	半	一冊	三四五

宿割	横長半	一冊	三六〇	御上使松平長門守様御泊宿錢払帳	文化六年五月	横長半	一冊	三八一
(宿割寛帳)	横長半	一冊	三六五	本庄鉄五郎様石鳴弥十郎様御旅宿入用割合帳	弘化三年五月	横長半	一冊	三四五
本陣詰并外宿割 藤代駅	横長半	一冊	三五五	(宿料相對ヲ以止宿之旨議定一札) 一月寺役僧	藤代宿役人宛 嘉永二年六月		一通	五〇一
(御宿割貼紙)	横長半	八枚	五〇〇	(当酉歳分寺納寛) 一月寺役僧	藤代宿役人宛 嘉永二年六月		一通	五〇二
(本多能登守奥方休泊并下宿割帳)	横長半	一冊	五〇六	(御代拜御名代水野岩之丞様他御帰府旅宿入用取調他)	飯田三左衛門 安政三年二月	横長美	一冊	五〇九
宿割	横長半	一冊	五〇七	道中諸用向手控	安政六年七月	横長半	一冊	五〇九
(使者宿割帳)	横長美	一冊	五〇八	宿払帳 両宿	安政六年九月	横長半	一冊	五〇九
(宿割寛)	横長半	一綴	五〇九	品々不足之分取調帳	安政六年一二月	横長半	一冊	五〇九
(松平大炊頭殿老女中園御宿割)	横長半	一通	五二八	奥州守山松平大学頭様御遺骸御泊旅籠払方帳	飯田三左衛門 文久二年閏八月	横長半	一冊	五〇九
(宿割入用留書)	横長半	一冊	五二七	飯田三左衛門 文久二年閏八月		横長半	一冊	五〇九
(御旅籠御宿割寛)	半	一冊	五三三	本多能登守様急御奥様御下国御泊旅籠帳	飯田三左衛門 文久三年三月	横長半	一冊	五三三
(御宿割寛)	横長半	一冊	五三三	相馬大膳亮様急御参府御泊旅籠払方帳	飯田三左衛門 文久三年四月	横長半	一冊	五三三
(中嶋嘉助遠藤半太夫殿宿割寛)		一通	五三六	御泊り御人数取調帳下しらへ	文久三年八月	横長半	一冊	五三三
(御宿割寛)		一通	五三七	一ノ手御下シニ付旅籠御印鑑取調帳	文久三年一二月	横長半	一冊	五三七
(両宿割并臨時入用他留書)		一冊	五三九	御帰府歩兵頭河野伊予守様岡田左一郎様其外御役々様御人数御泊り旅籠払帳	元治元年五月	横長半	一冊	五三七
(宿割書)		一通	五三九	松平周防守様御人数御泊り錢払帳	元治元年一月	横長半	一冊	五三七
○				河野伊予守様岡田左一郎様御役々様御帰陣御旅籠払帳	元治元年一二月	横長半	一冊	五三七
遊行上人様御通行人馬着到帳	横長半	一冊	三四四					
宿泊	半	一冊	三七七					
泊藤代町 三左衛門所 宝永四年二月								
貝塚五郎藏様御泊り入用帳 官和田藤代両一宿掛	横長半	一冊	三七六					
り 安永九年五月								

本堂内膳様御與様旅籠弘方受取書 元治二年一月	綴	四九七
相馬吉太郎様御參府御泊旅籠弘方帳 元治二年二月	一冊	三八〇
諸勘定差引過不足取調帳 慶応元年十二月	一冊	八〇九
鈴木石見守様御下泊錢弘方帳 飯田三左衛門 慶応三年一月	一冊	三六六
一番二番三番御備御泊御人数取調帳 慶応四年三月	一冊	三五一
上様御旅籠ニ付下宿旅籠弘帳 藤代宿 慶応四年四月	一冊	三六九
御上様御通御ニ付食札取調帳 藤代宿 慶応四年四月	一冊	三九〇
武田金次郎様御泊御旅籠弘帳 飯田三左衛門 明治元年一〇月	一冊	三九九
牧野金丸様御帛城ニ付俄ニ御泊被仰付候御着到帳写 明治元年十二月	一冊	三六六
御泊寛 いづみや伝蔵 問屋宛 明治二年一月	一冊	五三四
郷扶持取調下帳 藤代宿役人 御司農方谷原役所宛 明治二年一〇月	半	一六
去辰年藤代宿御役人様御休泊助合郷夫賃御利足御下ケ金差引割合帳 下郷組惣代 明治二年二月	一冊	八〇
当已御普請ニ付御支配御休泊其外入用割合帳 下郷惣代 組内村々名主宛 明治二年十二月	一冊	八三
来午春御献上代并当已御役人様方御休泊助合惣代出勤料其外割合帳 下郷組惣代 村々名主宛 明治二年二月	一冊	八三

(登京之節泊り御本陣他金子御扱申覚) 相馬因幡守様御家来 辰年十二月	一通	四九九
(白餅他御買上代金御下ケ請取覚) 藤代宿御本陣 石井清兵衛宛 子年十一月	一通	四九三
(御旅籠代御払願書) 御本陣 辰年七月	半	五〇三
(泊代出金覚) 御本陣宛 七月	一通	七二七
(泊り代覚書) 御本陣宛 七月	一通	七二八
(御旅籠代請取覚) 御本陣 黒田五左衛門様御内宛 戌年八月	一通	七四四
(泊御弘分受取覚) 藤代片町富田屋 藤代役人宛 子年十一月	一通	七三三
(御旅籠代受取覚) 御本陣 亥年三月	一通	七八九
(御買上炭代受取覚) 御本陣 御膳所役人宛 辰年三月	二通	七八五
(蒲団村中舳当テ最寄積置ニ付返報) 宮和田村戸長役場 藤代宿戸長役場宛 四月	一通	七八四
(御旅籠代頂戴覚書) 御本陣 十一月	一通	七五九
(御旅籠札受取ニ付御取扱願書) 鈴木縫殿内御弘方掛宛 八月	一通	七六七
御休泊取調控帳 飯田三左衛門	一冊	三七〇
御旅館御番留	一冊	三七二
本陣下宿人□帳	一冊	三七三
食札下しらべ	一冊	三七六
宿内下宿取調帳	一冊	三七九
(宿泊代覚帳)	一冊	四四四

(金子立替等留帳)	横半半	一冊	五八五	鈴木内匠内野口定之助書狀 飯田三左衛門宛 三	一通	六八二
(宿屋本陣弘方割合帳)	横長半	一冊	五八六	中村卯内書狀 飯田三左衛門宛 四月	一通	六五三
式番帳〔御宿り賄覺帳〕 御本陣飯田三左衛門源忠恕	横長半	一冊	五八〇	根本山正大正院代宝篋院書狀 飯田三左衛門宛 九月	一通	六四六
(御旅館詰女中人数覽)		一通	六三三	尾州大道寺新四郎内長谷川多仲書狀 藤代宿本陣宛 一一月	一通	六四四
(御下宿之内印鑑頂戴不仕儀ニ付勘弁願書下書)		一通	七〇八	本多作左衛門内中村卯内書狀 飯田三左衛門宛 〇月	一通	六五八
(諸休留記)		一通	七五五	江戸浜丁屋敷黒木文五郎書狀 飯田三左衛門(源一郎)宛 六月	一通	六七四
(田辺様御泊人用留)	横長半	一冊	七九〇	因州岸田勘造書狀 御本陣飯田三左衛門宛 一二日	一通	六七七
尾州大道寺新四郎内長谷川多仲書狀 藤代御本陣宛 一一月		一通	七五七	大槻勲・玉置源藏書狀 飯田三左衛門宛 三月	一通	六〇三
佐野藤治書狀〔宿駕籠老挺用意〕 藤代宿役人宛 一〇月		一通	六〇三	中村卯内書狀 御本陣御後室宛 九月	一通	六八六
石嶋弥十郎書狀 飯田三左衛門宛 一二月		一通	六〇六	鈴木内匠様内植木力藏書狀〔鈴木様御出立〕 御本陣飯田三左衛門宛 一一月	一通	六八六
石嶋仲右衛門書狀〔郷夫江戸登昼休ニ付頼入〕 藤代宿役人宛 三月		一通	六〇二	江戸屋敷大野吾兵衛書狀 飯田三左衛門宛 四月	一通	六八五
矢口小兵衛書狀 飯田三左衛門宛 七月		一通	六〇三	本堂内蔵助内梶山七三郎書狀〔宿泊之处變更〕 御本陣飯田三左衛門宛 八月	一通	六八四
佐竹右京太夫内黒子藤治・小川九兵衛・嘉藤源右衛門書狀 御本陣飯田三左衛門宛 一一月		一通	六二六	奥州二本松町吉村屋内にて伊勢屋嘉兵衛書狀 飯田三左衛門宛 霜月	一通	六九八
鈴木誠之進内野口定之助書狀 飯田三左衛門宛		一通	六二六	水海道土井喜右衛門書狀 飯田三左衛門宛 三月	一通	七〇八
荷見茂右衛門書狀〔殿様宿ニ付銅料心懸等〕 飯田三左衛門宛 一〇月		一通	六三四	土屋采女正内保川得次郎書狀〔人足入用ニ付〕 御本陣御手代宛 三月	一通	六九八
矢口小兵衛書狀 飯田三左衛門宛 二月		一通	六三六	石嶋弥十郎書狀〔荷物届願〕 飯田三左衛門宛 二月	一通	八〇六
手塚多助・田中多藏書狀 飯田三左衛門宛 三月		一通	六三九			

賄入用

当戌宿方御用賄諸入用取調帳 藤代宿永田屋忠右衛門 嘉永三年十二月	横長半	一冊	三三七
宿方御用御賄取調控帳 永田屋忠右衛門 文久二年十二月	横長半	一冊	三三〇
当戌御用御賄入用調書 銚子屋与兵衛(文久二年)	横長半	一冊	三六八
(去戌十月より当亥年九月迄御通行御休泊御賄取調郷扶持受取覚帳) 藤代村役人 神谷守衛門宛 文久三年九月	横長半	一冊	五九三
当丑御用御賄入用取調書 宿与兵衛 慶応元年二月	横長半	一冊	三六五
当巳御用入用钱取調書 銚子屋与兵衛 役人宛 明治二年十二月	横長半	一冊	五七三
諸賄入用控帳 辛未年一月より	横長半	一冊	三六六
(諸役人賄料覚帳) 上下組役人宛 巳年三月	横長半	一冊	五九三
(御買上分御払代請取覚) 御本陣 御膳所役所宛 辰年三月	横長半	一通	六六
御賄書出シ記帳 永田忠治郎 三十四月	横長半	一冊	三九三
(御賄書出し帳) 佐野屋幸右衛門 御本陣役人宛	横長半	一冊	三九三
(諸役人賄料覚)	横長半	一冊	五九三
(卯年御賄覚)	横長半	一通	六九三
(辰年御賄覚)	横長半	一通	七五二
(御本陣賄覚)	横長半	一通	七五三
入用			
海道御用臨時諸入用帳 弘化二年十二月	横長半	一冊	三九二

宿方入用通 百姓代持 弘化三年一月	横長半	一冊	三六八
去ル寅年宿方入用取調帳 安政二年一月	横長半	一冊	三六七
辰宿方諸入用内訳ケ帳 安政三年十二月	横長半	一冊	八四
当巳年海道諸入用取調帳 安政四年十二月	横長半	一冊	三六九
元々安藤権兵衛様・御林方木原建五郎様・同神谷佐兵衛様・御代官佐藤清三郎様・御手付源次郎様・同野口永次郎様諸入用書出帳 飯田氏 文久二年六月	横長半	一冊	九
海道臨時入用取調帳 慶応元年二月	横長半	一冊	三五〇
海道臨時入用取調帳 上組 慶応三年十二月	横長半	一冊	八〇
街道入用内訳帳 明治二年十二月	横長半	一冊	三九四
(海道入用钱覚帳)	横長半	一冊	四〇六
本陣宛通			
夜具損料通 嘉永二年八月	横長半	一冊	三七
現金酒之通 日下源左衛門 御本陣宛 嘉永三年一月	横長半	一冊	三六
現金酒之通 日下源左衛門 御本陣宛 嘉永七年一月	横長半	一冊	三六
飯田サマ書出し取調帳 永田屋 安政元年十二月	横長半	一冊	四六七
通 銚子屋新蔵 御本陣宛 安政六年一月	横長半	一冊	三六二
仕出通 佐野屋幸右衛門 御本陣宛 安政六年一月	横長半	一冊	三七三
仕出し通 佐野屋幸右衛門 御本陣宛 万延二年一月	横長半	一冊	三七三
現金諸品通 佐埜屋 御本陣宛 文久三年一月	横長半	一冊	三六

当卯書出帳 日下源二左衛門 飯田三左衛門宛 慶応三年十二月	横長半	一冊	四六九
通 銚子屋新蔵 御本陣宛 慶応四年一月	横半半	一冊	三六八
現金酒之通 日下源左衛門 御本陣宛 明治二年一月	横美半	一冊	三六八
(酒代寛) 日下源左衛門 御本陣宛 子年一〇月		一通	三七六
(米代仕切勘定差引寛) 日下源左衛門 御本陣宛 戌年一〇月		一通	三七六
(代金請取寛) 近江や文之助 御本陣宛 四月		一通	三七三
(酒席代寛) 御本陣他宛		一通	三七三
○			
横町酒屋書状 御本陣飯田宛 四月		一通	六四六
御追討			
(野州常州辺賊徒追討御用人馬宿泊等留帳) 元 治元年八月一二月	横長美	一冊	五七〇
御追討御役々様方人馬繼立取調書上帳 藤代宮 和田両宿 御普請役宛 元治二年二月	半	一冊	二六八
御追討御用御兵糧方御繼立書上帳 藤代宮和田 両宿 元治二年二月	半	一冊	二〇七
御追討御用松原周防守様本多修理様御人数御繼 立書上帳 元治二年二月	半	一冊	二〇六
(野州常州辺追討御用ニ付歩兵御持小筒大砲方 通行寛) 子年八月	横長半	一冊	三
(歩兵方玉薬方御用荷物届申付寛) 陸軍方 子 年一二月		一通	七六四
(兵役野州表江為御用差遣ニ付御触書順達留) 日光道中例幣使道水戸通り問屋年寄宛 三・六月	半	一綴	五三三
追討御用人馬取調控帳 藤代宮和田両宿	横長半	一冊	二〇七
(野州表江急御用ニ付先触書)	半	一冊	五九三
○			
御兵備御囲米連印帳 三左衛門組 文久三年五月	横美半	一冊	四六七
御改製正御人数写 中村誠之助 飯田源一郎宛 慶応元年一〇月	横長半	一冊	七四
その他			
松平陸奥守様御通行助人馬寄帳 安永九年五月	横長半	一冊	二〇〇
(寺田村人馬繼雇賃引当ニ借用金ニ付詫一 札) 藤代宿源四郎 役人・問屋宛 文化二年六月		一通	四七三
差出申小前議定判形帳 藤代宿 文化一〇年一月	横美半	一冊	四七
(諸御通行扣帳) 天保九年四月一八月	横長半	一冊	五九元
宿益小前割渡帳 兩組 弘化二年二月	横長半	一冊	三〇七
(金子受取不残相済申寛) 中嶋村弥兵衛他 官和 田宿源右衛門・藤代宿権左衛門宛 弘化四年八月		一通	七八五
御側衆御代番新見伊勢守様水戸表御通行ニ付附 留 御旅館飯田三左衛門 文久二年八月	半	一冊	二〇九
(牧野越中守帰城通行書付) 元治元年六月		一通	七〇七
宿方立人馬ニ付小前名前調帳 元治二年一月	横長半	一冊	二〇三
案駄送り一札(藤代宿阿まや鉄五郎母) 西郷地村役 人 小岩戸村・藤代宿迄村々役人中 明治二年一二月		一通	五三三
馬指順廻帳 明治四年一月	横長半	一冊	三〇〇

(通行手形) 飯田三左衛門 子年九月

(相馬因幡守御賄頭并御家老病中之儀御立日不明ニ付申達) 我孫子宿本陣 藤代宿本陣宛 巳年五月

(松平陸奥守様御通行指出助人馬浜田村市右衛門方人馬買入覚) 鬼長・青木・野堀村役人 藤代宮和田両宿問屋・名主宛 子年五月

(雲竜水・竜呈水代極并手附受取覚) 神田紺屋町清水長吉 御本陣宛 八月

土浦門屋惣左衛門書状(往來割増願ニ付飛脚同道願) 藤代宿問屋宛 一〇月

噴五郎書状(安藤様御通行先触なし、大風両宿内破損ニ付) 飯田喜代作宛 八月

(御屏風他出来ニ付馬差出達書) 御作事方 一一月

(金子受取覚) 伊丹村三郎左衛門 宮和田宿源左衛門・藤代宿 右衛門宛 八月

(海道入用立人馬割合帳)

辰書出し覚

(夫人後割覚)

(御召馬御供馬飼料并御次御下昼食代覚)

(御拝借上納并御登り之節附通し馬覚)

拝借

旅籠

旅籠屋御拝借金覚帳 藤代村役人 寛延三年二月

横長美

一冊 三六〇

一通 四七二

一通 七九六

一通 七九六

一通 四九五

一通 六八二

一通 六六五

一通 七三三

一通 七六六

横長半

一冊 五九四

横長半

一冊 五三七

一通 七〇八

一通 七四四

一通 七四九

町屋旅籠屋古屋作御拝借取立改帳(戌年以後三左衛門掛り分) 宝曆九年

横長半

一冊 三四一

明和元年屋作金明和四亥年四月村方御拝借金二品内納取立小前帳 藤代村両組分 明和四年一月

横長美

一冊 三三三

(古屋作寅屋作御貸金辰の八年賦申迄五年納之残当年の六十年賦・亥四月御貸金七兩之内式兩納而残当年の拾年賦小前帳) 両組 明和五年六月

横長美

一冊 三三三

九軒之者家作御拝借并惣百姓平シ割合印形帳 両組 安永七年四月

横長美

一冊 三五九

九軒之者并惣百姓御拝借金利足取立小前帳 両組 安永八年二月

横長半

一冊 三五四

宿屋御拝借貸附小前帳 藤代宿 寛政二年一月

横長美

一冊 三四四

(宿屋并馬代金拝借願書) 藤代村役人 櫛村權十郎宛 寛政一〇年二月

横長半

一通 四九九

(御拝借金宿屋五貸附請取判形帳) 藤代宿 文化七年十二月

横長半

一冊 三三三

旅籠屋兩度年賦御拝借取立帳 慶応元年二月

横長半

一冊 三三七

宿方積金貸付帳 慶応三年八月

横長美

一冊 三三六

宿方積金貸付帳 慶応三年八月

横長美

一冊 三三六

旅籠屋御拝借四口之分取立帳 明治三年一月

横長半

一冊 三五六

渡船場

船金

宮和田村船渡船金割合帳 藤代村両組 明和四年三月

横長半

一冊 三六九

宮和田船金割合帳 寛政一〇年十一月	横長半	一冊	三七〇
宮和田村渡場船金割取立帳 藤代両組片町村共二文化三年九月	横長半	一冊	三七二
渡場船金割合取立帳 藤代宿上組下組片町組 文化一一年二月	横長半	一冊	三七三
渡船場			
宮和田渡船場出し人足助合帳 嘉永二年十一月	横長半	一冊	三六四
(船頭御用申渡ニ付取手宿江可罷出旨順達享状) 市村 飯田宛 申年一月		一通	七二九
(第十四大区五小区渡船場取調書) 区長	半	一冊	五四
川船			
(名主源左衛門印鑑証文) 藤代・押切村役人 川船役所宛 天保一〇年一〇月		一通	四七五
(名主三左衛門印鑑証文) 三左衛門・和田村名主 川船役所宛 嘉永三年四月		一通	四七〇
(関八州川船御改御触書并船印鑑享) (安政七年)一月		一綴	四八八
船々取調雛形扣 五小区長 明治	半	一冊	五七
(川下小船御年貢長錢上納請証文案紙) 川船役所宛		一通	四六六
養 蚕			
桑 苗			
桑 苗			
桑有高書上 塚崎村副戸長 蚕種大惣代宛 明治六年七月	半	一冊	二七三
来亥年養蚕并桑有高調 屏風村旧副戸長 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二七五
(葛飾郡組合九拾六ヶ村町桑苗木植付見込書) 蚕種世話役 千葉県勸業掛宛 明治七年	半	一冊	五〇九
桑園反別并束員取調書 古河町 明治八年一〇月	半	一冊	五八〇
桑苗会社江積立目的帳 蚕種世話役 千葉県令宛 明治七年六月	半	一冊	二七九
桑苗貸附方目的帳 蚕種大惣代・蚕種世話役 千葉県令宛 明治七年六月	半	一冊	二七〇
桑苗木壳附帳 蚕飼川舎 明治一一年二月	横長半	一冊	二九九
(桑苗木代金勘弁取斗願書) 麻や正吉 佐野俊太郎宛 一月	半	一通	五七八
(富総組養桑関係書上表)	半	一冊	三〇六
養 蚕			
養蚕届			

御届書	中谷原村	印旛県権令宛	明治六年五月	半	一冊	二五五
御届書	谷中村	印旛県権令宛	明治六年五月	半	一冊	二五九
御届書	毛有村	印旛県権令宛	明治六年五月	半	一冊	二五〇
御届書	渋沼村	印旛県権令宛	明治六年五月	半	一冊	二五一
御届書	百井戸村	印旛県権令宛	明治六年五月	半	一冊	二五三
御届書	宮和田宿	印旛県権令宛	明治六年五月	半	一冊	二五三
御届書	梶木村	印旛県権令宛	明治六年五月	半	一冊	二五九
養蚕御届	高須村	養蚕御掛御役人宛	明治六年五月	半	一冊	二五七
御届書	米田村	印旛県権令宛	明治六年五月	半	一冊	二五九
御届書	大留村	印旛県権令宛	明治六年五月	半	一冊	二五九
御届書	押切村	印旛県権令宛	明治六年五月	半	一冊	二六〇
御届書	酒詰村	印旛県権令宛	明治六年六月	半	一冊	二五六
御届書	中内村	印旛県権令宛	明治六年六月	半	一冊	二五五
御届書	神住村	印旛県権令宛	明治六年六月	半	一冊	二五六
御届書	柏寺村	養蚕世話役宛	明治七年九月	半	一冊	二五八
養蚕試製造御届	麻生新田小池彦七	養蚕掛り御世話役宛	明治七年九月	半	一冊	二六五
来ル亥年蚕人御届書	菅生村	蚕種世話役宛	明治七年一〇月	半	一冊	二五七
当酉年養蚕願書上写			明治六年八月	横長半	一冊	二六〇

養蚕試製造御届	麻生新田渡辺捨一	養蚕世話役宛	明治七年六月	半	一冊	二六八
来ル明治八年養蚕願	塚崎村	小沢藤七宛	明治七年九月	半	一冊	二六〇
来亥年養蚕願	平右衛門新田	千葉県令宛	明治七年九月	半	一冊	二六三
来亥年養蚕願	上石下村		明治七年九月	半	一冊	二六三
養蚕願書	中戸村	世話役宛	明治七年九月	半	一冊	二六四
来亥年養蚕願	新井木村	千葉県令宛	明治七年九月	半	一冊	二六四
来亥年養蚕願	相野谷村	千葉県令宛	明治七年九月	半	一冊	二六四
来亥年養蚕願	水海道駅	千葉県令宛	明治七年九月	半	一冊	二六四
来亥年養蚕願	箕輪村	千葉県令宛	明治七年九月	半	一冊	二六八
養蚕願書	相ヶ作村	養蚕世話人宛	明治七年九月	半	一冊	二六五
来亥年養蚕願	本石下村・中石下村		明治七年九月	半	二冊	二六三
来亥年種製造願書	岡田村		明治七年九月	半	一冊	二七〇
来亥年養蚕願	上石下村		明治七年九月	半	一冊	二七六
養蚕願書	柏寺村	養蚕世話役宛	明治七年九月	半	一冊	二七七
来ル亥年養蚕願書	東馬野村		明治七年九月	半	一冊	二七六
(来亥年養蚕願)	栗山村		明治七年九月	半	二冊	二七九

来亥年養蚕願 沖新田村 千葉県令宛 明治七年九月	半	二冊	三六三	来亥年養蚕凡積書上 石下村 明治七年九月	半	二冊	三六〇
来亥年養蚕願 浦向村 明治七年九月	半	一冊	三〇四	来ル亥年養蚕凡積リ書上 三坂村 明治七年九月	半	二冊	三六一
来亥年養蚕願 次木村 世話役宛 明治七年九月	半	一冊	三〇五	来亥年養蚕凡積書上 花鳥村 明治七年九月	半	二冊	三六二
養蚕凡積				来亥年養蚕凡積書上 辺田村 蚕種世話役宛 明治七年九月	半	一冊	三六五
来戌年養蚕凡積書上 椿村 蚕種大惣代宛 明治六年七月	半	一冊	二七三	来亥年養蚕凡積書上 大輪村 明治七年九月	半	二冊	三六七
(来戌年養蚕凡積書上) 中根村 蚕種大惣代宛 明治六年七月	半	一冊	二九六	来亥年養蚕凡積書上 小平村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	三六九
(来戌年養蚕凡積書上) 布鎌新田 蚕種大惣代宛 明治六年七月	半	一冊	二九七	(来亥年養蚕凡積書上) 上金崎村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	三七七
来戌年養蚕凡積書上 小手指村 蚕種大惣代宛 明治六年八月	半	一冊	二七四	来亥年養蚕凡積書上 神泉村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	三七三
来戌年養蚕凡積書上 岩戸・松原・萩原・造谷・鎌刈・平賀・吉高村 蚕種大惣代宛 明治六年七月八月	半	一冊	二七五	来亥年養蚕凡積書上 福木村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	三七六
(来戌年養蚕凡積書上) 羽中村 蚕種大惣代宛 明治六年八月	半	一冊	二九五	来亥年養蚕凡積書上 横曽根新田村 明治七年九月	半	二冊	三七九
来亥年養蚕凡積取調書上 川妻村 蚕種世話役 明治七年八月	半	一冊	二七三	来亥年養蚕凡積書上 横曽根村 明治七年九月	半	二冊	三七三
来亥年養蚕凡積書上 幸館村 明治七年八月	半	一冊	二七九	来明治八年養蚕凡積書上 中村 蚕種世話役 関根民吉組 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	二冊	三七三
来明治八年養蚕凡積書上 高場村 蚕種世話役 秋葉類助組 明治七年九月	半	二冊	二五五	(来亥年養蚕凡積書上) 明治七年九月	半	一冊	三七五
来ル亥年養蚕凡積書上帳 羽生村 明治七年九月	半	二冊	二六六	(来亥年養蚕凡積書上) 木崎村 大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	三九六
来亥年養蚕凡積書上 大生郷村新田 明治七年九月	半	二冊	二六九				

来亥年養蠶凡積書上 深輪村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二五七
(来亥年養蠶凡積書上) 植木津内村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二五〇
(来亥年養蠶凡積書上) 檳野地村 大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二五二
来亥年養蠶凡積書上 立野村 (明治七年九月カ)	半	一冊	二五三
(来亥年養蠶凡積書上) 大房村 (明治七年九月カ)	半	一冊	二五四
来戌年養蠶凡積書上 野田町 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二五三
来亥年養蠶凡積書上 金崎村 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	五五六
(来亥年養蠶凡積書上) 伏木村 明治七年	半	一冊	二五三
○			
蚕業見込書 高野村蚕種世話役岩田定吉 蚕種大惣代宛 明治七年一二月	半	一冊	二五六
蚕業見込書 中村蚕種世話役関根民吉代 蚕種大惣代宛 明治七年一二月	半	一冊	二五三
(飼蚕繭仕揚見積書) 蚕種大惣代 千葉県令宛 明治八年三月	半	一冊	五五七
養蠶人取調			
蚕諸願戸数取調帳 明治六年八月	横長半	一冊	二五八
来ル 明治八年養蠶人名書上帳 馬立村 蚕種世話役宛 明治七年一月	半	一冊	二五三
養蠶人書上 田誠村 千葉県令宛 明治七年四月	半	一冊	二五三

当戌年養蠶人取調帳 大下蔵村 明治七年四月	半	一冊	五八六
養蠶人取調書 目沼村 大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二六〇
来亥年養蠶人取調書 細野村 大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二六四
来亥年養蠶書上 上柳村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二九〇
来亥年養蠶人書上 米嶋村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二九〇
(来亥年養蠶人書上) 花嶋村 大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二九二
(来亥年養蠶人書上) 倉常村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二九三
(来亥年養蠶人書上) 上吉妻村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二九三
来八年養蠶人取調書上 下吉妻村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二九四
来亥年養蠶人書上 大衾村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二九五
養蠶人名書上帳 椿村 大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二九三
来亥年養蠶人取調書上 桐村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二九五
来亥年養蠶人取調書 下柳村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二九七
(明治八年養蠶人取調書上帳他) 大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	五五三
(来亥年養蠶人取調書上) 神間村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	五七四

養蚕取調書 大留井村 明治七年一〇月	半	一冊	二七四
(養蚕人取調書) 桜台村 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二六九
来ル亥年養蚕人取調帳 蚕種世話役川島一郎右衛門 千葉県勧業掛宛 明治七年一〇月	半	二冊	二五九
来亥年養蚕製造人数書上 立野村蚕種世話役 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二五〇
来亥年養蚕人取調書 西金野井村 養蚕掛大總代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二五五
養蚕有無取調			
(去壬申養蚕人無之御取調書) 片町村 戸長頭取宛 明治六年五月	半	一冊	二七六
(去申年蚕紙繭生糸産出他所輸出仕候者無之御届書) 平野村 印旛県令宛 明治六年五月	半	一冊	二七七
来戌養蚕有無取調書上 渋沼村 千葉県令宛 明治六年七月	半	一冊	二九一
来戌年養蚕有無取調書上 片町村 千葉県令宛 明治六年七月	半	二冊	二九三
養蚕人無御座御届 山王山村 蚕種掛宛 明治七年八月	半	二冊	二九二
当戌・来亥年養蚕人無之御届書 一ノ谷村 蚕種世話役宛 明治七年九月	半	一冊	二七三
(来亥年養蚕人無之御届書) 内門村 小沢藤七宛 明治七年九月	半	一通	二九四
養蚕無之御届 下出嶋村 蚕種世話役宛 明治七年九月	半	一冊	二八九
(来亥年養蚕人無之御届書) (山崎村) 蚕種世話役宛 明治七年一〇月	半	一通	二九五

掃立紙			
養蚕掃立済原紙取調書 馬場村秋葉類助組 明治七年七月	半	一冊	二七三
原昏掃から取調書 世話役岩田定吉組 大惣代宛 明治七年七月	半	一冊	二七三
本年掃立蚕過紙調 中村蚕種世話役関根民吉 蚕種大惣代宛 明治七年七月	半	一冊	二七四
国内用掃ガラ総計取調帳 豊四季村世話役山本清蔵 蚕種大惣代宛 明治七年七月	半	一冊	二七五
本年蚕種掃立紙取調書 市川村蚕種世話役杉埜千太郎組 蚕種大惣代宛 明治七年七月	半	一冊	二七七
原帛掃柄取調書上 世話役藤沼長三郎 大總代宛 明治七年七月	半	一冊	二八二
(去酉出来当戌掃立済并捌残り蚕種紙調) 小沢藤七 大惣代宛 明治七年七月	半	一冊	二八三
蚕種掃上願 中嶋村 大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二八二
蚕種掃立済原紙代価御受書 馬場村蚕種世話役 蚕種大惣代宛 明治七年二月	半	一冊	二八七
(当明治七年掃立済原紙陸運入費調) 葛飾郡蚕種世話役小沢藤七 明治七年	横長半	一冊	二八〇
昨明治七年掃立済原紙代価請取簿 製造人小林永助他三人 蚕種世話役宛 明治八年一月	半	一冊	二八五
掃壳原紙御買上願老人別取調書 蚕種大惣代 (掃立済原紙運出県往返入費書)	横長半	一冊	二八四
養蚕蕃殖方法 川妻村蚕種世話役 千葉勧業掛 明治七年一〇月	半	一冊	二九〇

蚕種

蚕種願

蚕種願 桐木村寺田權治郎 明治六年七月

半 四冊 二六〇三
一六〇五

蚕種願 高須村植田忠治郎 明治六年七月

半 四冊 二六〇六
一六〇九

蚕種願 高須村植竹久四郎 明治六年七月

半 四冊 二六二〇
一六二三

蚕種願 桐木村色川新右衛門 明治六年七月

半 四冊 二六八七
一六九〇

蚕種願 桐木村猪瀬武右衛門 明治六年七月

半 四冊 二六九一
一六九四

蚕種製造御願 中内村中川玄吾 明治六年七月

半 四冊 二六九五
一六九八

蚕種製造御願 中内村吉田平泰 明治六年七月

半 三冊 二六九二
一七〇一

蚕種願 高須村植田太一郎 明治六年七月

半 四冊 二七〇三
一七〇六

来明治八年蚕種製造願 須賀村蚕種世話役葛生幸三郎 明治七年九月

半 一冊 二七〇七

蚕種願 桐木村寺田權右衛門 明治六年七月

半 四冊 二七〇八
一七一

蚕種免許願

御免許願 谷中村蚕種製造人長束槐甫 明治六年七月

半 四冊 二七〇〇
一七〇三

御免許願 米田村伊藤伝兵衛 明治六年七月

半 四冊 二六〇七
一六〇七

来戊午蚕種製造御免許願帳 葛飾郡蚕種世話役小沢藤七組 明治六年七月

半 一冊 二七六〇

来戊午蚕種製造御免許願帳 結城郡蚕種世話役関根民吉組 明治六年七月

半 一冊 二七六一

御免許願 宮和田村 明治六年八月

半 六冊 二六二四
一六二九

御免許願書上享扣 明治六年八月

半 一冊 四〇〇三

来戊午蚕種製造御免許願帳 葛飾郡蚕種世話役藤沼長三郎組 明治六年九月

半 二冊 二七六三
二七六三

来明治七年蚕種製造御免許願銘細帳〔上総国分〕 芦葉伊右衛門 明治六年九月—十二月

半 一冊 二七六四

蚕種製造御免許願帳 高野村蚕種世話役岩田定吉 明治六年九月

半 一冊 二七六五

来戊午蚕種製造御免許願帳 埴生郡蚕種世話役葛生幸三郎組 明治六年九月

半 一冊 二六九五

蚕種製造御免許願 武射郡 千葉県令宛 明治六年

半 一冊 二七六九

蚕種製造御免許願 下之江村 (明治六年)

半 一冊 二六九三

蚕種製造御免許願 新井堀村 千葉県令宛 明治六年

半 一冊 二六九四

来明治八年蚕種製造御免許願 松ヶ谷村蚕種世話役小倉友八郎・白幡村同齊藤権兵衛組 明治七年八月

半 一冊 二七六九

来明治八年蚕種製造御免許願 高野村蚕種世話役岩田定吉組 明治七年八月—九月

半 一冊 二七五三

蚕種製造御免許願帳 立野村蚕種世話役松村又重郎 明治七年九月	半	一冊	二六〇
来亥年蚕種御免許原紙願 布川村蚕種世話役杉野千太郎 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二六七
製造願			
(来戌年蚕種製造願書) 七栄村 明治六年七月	半	一通	二六六
来戌年蚕種製造願 山王村 明治六年七月	半	一冊	二六三
来戌年蚕種製造願 藤代宿飯島明 明治六年七月		一通	二九四
(蚕種製造願) 蚕種大惣代宛 明治六年八月	半	一冊	二八四
来戌年蚕種製造願 神浦村菅谷五平治 明治六年八月	半	一冊	三〇六
来戌年蚕種製造願 五箇村小竹彦右衛門 明治六年	半	一冊	二五六
来明治八年蚕種製造願 豊四季村蚕種世話役山本清蔵組 明治七年八月一〇月	半	一冊	二五三
来明治八年蚕種製造願 蚕種世話役秋葉類助組 明治七年八月九月	半	一冊	二五七
来明治八年蚕種製造御免許願 中村蚕種世話役関根民吉組 明治七年九月	半	一冊	二五五
来亥年蚕種御免許原紙願 高師駅蚕種世話役土橋英吉組 明治七年九月	半	一冊	二五九
来亥年蚕種製造願 借宿村 明治七年十一月	半	一冊	二五四
(蚕種製造願) 高野村蚕種世話役 明治七年十一月	半	一冊	二五元
来明治八年蚕種製造願 境町 小沢藤七宛 明治七年	半	一冊	二五二
(来明治九年蚕種製造願) 武射郡富総組製種人同頭取宛 明治八年九月	半	一冊	二七三
蚕種製造願 明治八年二月	半	一冊	二六三
当明治九年蚕種製造願 布川村富総組製種人六人同頭取宛 明治九年一月	半	三冊	二七四 二七五 二八〇
当明治九年蚕種製造願 下曾根新田湯原弥治右衛門 富総組同頭取宛 明治九年一月	半	一冊	二六六
当明治九年蚕種製造証 河原代村蚕種製造人 頭取宛 明治九年三月	半	一綴	二八二
当明治九年蚕種製造願 山曾根新田湯原弥治右衛門 富総組同頭取宛 明治九年二月	半	二冊	二七三 二七三
製造凡積			
来明治八年蚕種製造凡積願 藤代組市村兵吾組 明治七年九月	半	一冊	二五二
来明治八年蚕種製造凡積願 蚕種世話役藤沼長三郎 千葉県令宛 明治七年九月	半	一冊	二五四
来明治八年蚕種製造凡積一人別願 蚕種世話役小沢藤七 明治七年九月	半	一冊	二五五
来明治八年蚕種製造凡積總計書上 蚕種大総代千葉県令宛 明治七年一〇月	半	一冊	二七〇
来明治八年凡積原紙願 大和田駅蚕種世話役 蚕種大総代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二五五
(明治七年凡積蚕種製造免許ノ額取調標準并掛達書) 千葉県飯業掛 蚕種大惣代宛 明治七年	半	一冊	五〇七
当八年製種凡積証書 市川村旧蚕種世話役杉野千太郎組合 明治八年三月	半	一冊	二七六

当八年製種凡積証書 十組合 明治八年三月	相馬郡旧蚕種世話役寺田又	半	一冊	三七七
(当八年製種凡積証書) 明治八年三月	松林組 富総組頭取宛	半	一冊	三七九
(当八年製種凡積証書) 年三月	藤沼組 頭取宛 明治八	半	一冊	三七〇
当八年製種凡積証書 吉組合 明治八年三月	結城郡旧蚕種世話役関根民	半	一冊	三七九
当八年製種凡積証書 明治八年三月	旧蚕種世話役秋葉類助組合	半	一冊	三七〇
当八年製種凡積証書 富総組頭取宛 明治八年三月	旧蚕種世話役萬生幸三郎	半	一冊	三七二
明治八年製種凡積証書 明治八年三月	富総組八番区 頭取宛	半	一冊	三七七
当八年製種凡積証書 頭取宛 明治八年四月		半	一冊	三七六
明治八年製種凡積証書 頭取宛 明治八年四月	筑波郡富総組製種人 同	半	一冊	三七六
当八年製種凡積証書 石邦造組内 頭取宛 明治八年四月	旧蚕種世話役山本清藏・白	半	一冊	三七五
明治八年製種凡積証書 定吉組 明治八年四月	高野村旧蚕種世話役岩田	半	一冊	二六二
明治八年製種凡積証書 元右衛門 元蚕種大惣代宛 明治八年四月	元蚕種副総代石橋	美	一冊	二九四
(来子年蚕種製造凡積証書) 宛 明治八年九月	富総組製種人 頭取	半	一冊	二七六
(来明治九年蚕種凡積証書) 宛 明治八年一〇月	富総組三番区 頭取	半	一冊	二七七

来子年養蚕凡積書上 明治八年一〇月	川妻村藤沼長三郎 頭取宛	半	一通	五八一
来明治九年蚕種製造凡積願 明治八年一二月	富総組七番区 明	半	一冊	四四四
(明治九年蚕種凡積証書) 取宛 明治八年九・一二月	富総組四・五番区 頭	半	一冊	三七六
来子年養蚕凡積書上 年	中田町用掛 頭取宛 明治	半	一通	五八二
(当九年製種凡積証書) 一月	富総組頭取宛 明治九年	半	一冊	三七六
(明治九年蚕種凡積証書) 明治九年二月	式番 富総組頭取宛	半	一冊	三七六
当九歲蚕種原紙凡積願書 年二月	富総組七番区 明治九	半	一冊	四四四
(明治九年蚕種凡積証書) 九年六月	一番区 頭取宛 明治	半	一冊	三七四
(明治九年蚕種凡積証書) 九年六月	三番区 頭取宛 明治	半	一冊	三七四
明治九年蚕種凡積証書 明治九年	二番区世話役 頭取宛	半	二冊	二七四
明治九年凡積証書 九年	富総組七番区 頭取宛 明治	半	二冊	二七五
当明治九年製造蚕種原紙凡積証書 (明治九年)	富総組七番	未	一冊	二七三
(当年蚕種製造凡積願其他協議ニ付出頭通知書) 富総組藤代駅蚕種取扱所 同組六番区製造人宛 明 治一〇年一月		半	一冊	五〇六

明治十一年凡積証書 富総組三番区 明治一〇年 二月	半	一冊	三〇三	当九年輸出蚕種取調帳 富総組二番区世話役 同 組取扱所 明治九年九月	半	二冊	五三六 五三七
来明治十一年製種凡積証書 豊田村 富総組頭取 宛 明治一〇年一月二月	半	一綴	三〇七	(海外輸出取調帳)	半	一冊	三〇七
明治十一年凡積証書 富総組蚕種取扱所 明治一 〇年二月	半	一冊	四三〇	(海外輸出蚕種壳捌惣代ニ委任状) 製造人赤松 新右衛門他三人	半	一通	四〇三
(明治十年製種壳先共見込書) 富総組(明治一〇 年)	半	一冊	五八四	(富総組輸出蚕種製造覚)	半	一冊	五三三
当明治十一年製種凡積書上 杉野東作他 富総組 頭取宛 明治一一年一月	半	二冊	五二四	買上願	半	一冊	五三三
輸出製種				(捌方差支原紙御買上願書) 新石下村鈴木平右衛 門 本石下村吉原八右衛門 明治七年七月	半	一冊	六六九
(輸出蚕種洋物取調ニ付切手下渡願書) 蚕種世 話役藤沼長三郎 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	五九六	(壳却不相成分御買上願書) 田下村内田忠三郎 蚕種大惣代・同世話役宛 明治七年七月	半	一冊	六六九
輸出切手請簿 蚕種世話役小沢藤七 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	三〇五	当戊午掃立済原紙御買上御添翰願 蚕種大惣代 千葉県令宛 明治七年七月	半	一冊	六六六
(国内用海外輸出割合ニ付伺書) 富総組検査人岩 田定吉 頭取宛 明治八年七月	半	一冊	五七三	所持桑種紙			
明治八年輸出蚕種各人別取調帳 富総組頭取 東 京蚕種取扱所宛 明治八年一〇月	半	一冊	二九七	所持桑種紙書上帳 三坂新田村 明治七年九月	半	二冊	六六三 六六四
(海外輸出蚕種壳捌総代委任状) 望陀・武射郡製 造人 富総組蚕種取扱所宛 明治八年一〇月	半	一冊	三〇五	蚕種所持桑取調書上 中野村 蚕種大惣代宛 明 治七年九月	半	一冊	六五三
海外輸出取調帳 豊番区検査人 富総組蚕種取扱 所宛 明治九年九月	半	一冊	三〇六	所持桑凡有高書上帳 鎌庭村 千葉県令宛 明治 七年九月	半	二冊	六五三 六五四
海外輸出取調帳 豊番区検査人 富総組蚕種取扱 所 明治九年九月	半	一冊	三〇九	養蚕所持桑書上帳 豊田村 明治七年九月	半	二冊	六五三 六五五
海外輸出枚数取調書 三番区蚕種世話役 富総組 蚕種取扱所宛 明治九年九月	半	二冊	三〇五 三〇三	蚕種所持桑書上帳 大房村 明治七年九月	半	二冊	六五三 六五五
				養蚕所持桑書上帳 曲田村 明治七年九月	半	二冊	六五三 六五五

養蚕種紙并所持桑取調書上帳 原宿村 明治七年九月	半	二冊	二六六
来亥年養蚕并桑有高調 屏風村 千葉県令宛 明治七年九月	半	一冊	二六四
蚕種書上			
亥年養蚕書上 猫実村 蚕種大惣代宛 明治七年七月	半	一冊	二六三
蚕種書上 西宝珠花村 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二六八
書上帳 宮前村 大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二六九
蚕種書上 鷺ノ巣村 大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二七六
出来高調			
(当七年蚕種出来高調) 大和田村住蚕種世話役 大総代宛 明治七年八月	半	一通	二七七
当七年蚕種出来高老人別取調帳 立野新田小沢藤七組 千葉県勸業掛宛 明治七年一〇月	半	一冊	二六八
蚕種製造人老人別取調書上帳 立野村蚕種世話役 千葉県令宛 明治七年一〇月	半	一冊	二六九
当七年蚕種出来高老人別取調帳 川妻村藤沼長三郎組 千葉県勸業掛宛 明治七年一〇月	半	一冊	二七〇
当七年蚕種出来高書上 豊四季村蚕種世話役山本清蔵組 千葉県勸業掛宛 明治七年一〇月	半	一冊	二七一
蚕種出来高取調帳 高野村蚕種世話役岩田定吉組 明治七年一〇月	半	一冊	二七三
当戌年蚕種内外老人別取調書上 藤代宿蚕種世話役市村兵吾組合 千葉県令宛 明治七年一〇月	半	一冊	二七三

当戌年蚕種内外供充員数取調書上 布川村蚕種世話役杉替三太郎組合 千葉県勸業掛宛 明治七年一〇月	半	一冊	二七四
当七年蚕種出来高老人別取調帳 殖生・印旛郡蚕種世話役 千葉県勸業掛宛 明治七年一〇月	半	一冊	二七五
来戌蚕種出来高御届 馬場村蚕種世話役 (明治七年)	半	一冊	二七七
戌蚕種出来高 新治県下元蚕種副総代 元蚕種大惣代宛 明治八年四月	美	一冊	二四〇
明治七八両年組内蚕種出来高取調書抜表 富総組 明治九年五月	半	一冊	二六〇
(当明治九年蚕種現在出来高取調書) 小沢富二郎 富総組頭取宛 明治九年七月	半	一冊	二五九
明治九年蚕種出来高取調簿 検査人岩田定吉 富総組頭取宛 明治九年八月	半	一冊	二九二
当九年蚕種出来高取調 七番区蚕種世話役 富総組頭取宛 明治九年八月	半	一冊	二六八
(当明治九年蚕種現在出来高書) 富総組頭取 茨城県令宛 明治九年八月	美	一冊	五二二
(明治九年蚕種現在出来高書上他) 明治九年八月	半	一冊	三〇〇
御免許原紙并出来高取調帳 大総代	半	一冊	三〇三
蚕種取調			
蚕種製造人取調書上 小浮気村 千葉県令宛 明治六年七月	半	一冊	二六〇
当七年蚕種出来高書 高師駅蚕種世話役土橋英吉組 千葉県勸業掛宛 明治七年九月	半	一冊	二七六
蚕玉調書上 桑原村 大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二六〇

蠶種内外区別取調書上帳 中村蠶種世話役関根民吉 千葉県令宛 明治七年一〇月	半	一冊	三七六	(蠶種印紙稅受取証) 茨城県権令 飯田主作宛 明治八一一〇年	半	一綴	七三
当明治八年蠶種紙取調書 県下富総組蠶種大總代 明治八年四月	半	一冊	三九七	明治九年製造蠶種原紙印紙凡積取調 富総組 茨城県令宛 明治九年二月	半	一冊	四三〇
(当明治八年蠶種原紙取調書他) 明治八年四月	半	一冊	五〇五	明治十年製造蠶種原紙印紙凡積取調帳 富総組 茨城県権令宛 明治一〇年二月	半	一冊	五〇五
明治八年富総組蠶種製造一覽表 (明治八年カ)	半	一枚	七九三	蠶種印紙稅金取立帳 富総組蠶種取扱所 明治一〇年	半	一冊	三〇一
蠶種製造人明細簿 富総組世話役三番区 頭取宛 明治九年二月	半	一冊	二九三	明治十一年蠶種原紙印紙凡積取調帳 錦電組頭取・検査人 明治一一年一月	半	一冊	五〇九
当九年蠶種製造者人別表 六番区 富総組頭取宛 明治九年五月	半	一冊	二七四	明治十一年蠶種原紙印紙凡積取調帳 業広組 蠶種會議局議員詰合宛 明治一二年二月	美	一冊	三〇六
当九年原紙御下願 七番組 富総組頭取宛 明治九年五月	半	一冊	五〇五	(明治十一年蠶種原紙并印紙凡積書) 富総組検査人・頭取 茨城県権令宛 明治一二年二月	半	一冊	五二〇
明治九年蠶種紙取調書 上萱場村浜野彦次郎 蠶種取扱所宛 明治九年八月	半	一冊	三〇五	余原紙			
明治十年蠶種者人別取調簿 富総組蠶種取扱所 明治一〇年	半	一冊	三七六	(昨明治七年蠶原紙書上記) 富総組頭取 勸業御寮宛 明治八年五月	美	一通	七九
蠶種御免許印紙取調書 武射郡・山辺郡蠶種世話役 千葉県令宛 明治七年一〇月	半	一冊	二七六	当七年殘原紙一人別取調帳元帳 蠶種大惣代 明治七年九月	半	一冊	二八四
(本年製造内国用蠶種御印紙貼用期限迄取扱請書) 明治八年六月	半	一冊	三〇四	当七年殘原紙取調書上帳控下書 蠶種大惣代 深谷宿出張租稅課原紙掛宛 明治七年一〇月	半	一冊	二八五
蠶種御印紙一時貸下ケ願 富総組頭取・検査人 茨城県権令宛 明治八年九月	美	一冊	五五二	殘原紙請取扣 明治七年一〇月	半	一冊	二七六
(蠶種紙御印紙稅金預り報告) 富総組蠶種頭取代 同組副頭取宛 明治八年九月	半	一通	五五四	当七年殘原紙書上 豊四季村蠶種世話役 蠶種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二九五
(八番区印紙并章紙代差引納記他) 八番区惣代副頭取 富総組取扱所頭取宛 明治八年二月	半	一綴	五〇五	(殘原紙取調届他) 製造人 千葉県令宛 明治七年二月	半	一冊	五〇七

(当明治七年蠶余之原紙御預り并御買上願書) 蠶種大惣代 千葉県令宛 明治七年十二月	半	一冊	五八三	(蠶余原紙御買上願) 富総組頭取 深谷蠶種原紙 売捌所宛 明治九年一〇月	半	一冊	四三三
当明治七年蠶余原紙御預出張入費取調帳 蠶種 大惣代 (明治七年)	横長半	一冊	二九二	(富総組外式組蠶余原紙ニ付願書) 明治九年一 〇月	半	一冊	四三四
蠶余原紙返納御添翰願 富総組頭取 茨城県令宛 明治八年九月	半	一冊	二五二	残原紙返納入費 明治九年一〇月	半	一冊	四三五
(部代理人卜定蠶種原紙蠶余之分返納ニ付委任 状) 日沼組・業広組・恋瀬組各頭取 富総組頭取宛 明治八年九月	一綴	七〇七	(春蠶種蠶余紙預証) 深谷蠶卵原紙売捌所 富総 組頭取宛 明治九年一〇月	半	一通	六〇五	
当明治八年蠶余原紙取調仕訳書 茨城県下富総組 外三組 深谷蠶種原紙売捌所宛 明治八年一〇月	半	一冊	四〇六	昨九年分蠶種蠶余原紙御買上ケ代価御下願 富 総組 茨城県權令宛 明治一〇年四月	半	一通	四三六
(富総・日沼・業広・恋瀬組蠶余紙受取証) 深谷蠶原紙売捌所 富総組頭取宛 明治八年一〇月	半	一綴	七七七	(恋瀬組昨年蠶余原紙返戻分金下渡ニ付懸合記) 富総組頭取 恋瀬組頭取宛 明治一〇年八月	半	一通	五九八
当明治八年蠶余原紙当組外三組分返納ニ付通送 入費割賦帳 富総組蠶種取扱所 明治八年一二月	半	一冊	四〇七	(波南組昨年蠶余原紙返戻分金下渡ニ付手数願 書) 飯田主作 飯嶋宛 明治一〇年八月	半	一通	五九九
明治八年残原紙取調 (明治八年)	横長半	一冊	四〇五	(昨九年蠶余原紙御買上ケ代金割賦記他) 明治 一〇年八・九月	半	一冊	四三七
(蠶余原紙請取記他) 明治九年七月	半	一綴	四〇八	(蠶余原紙買上代金書付) 元富総組頭取 茨城県 令・深谷蠶種原紙売捌所宛 明治一一年六・一二月	半	一綴	五〇三
蠶余原紙返納御副翰願 富総組 茨城県權令宛 明治九年八月	半	一冊	四三〇	残原紙御買上ケニ付武州深谷駅御売捌所へ持参 通送入費割合簿 富総組蠶種取扱所 明治一二年 一〇月	半	一冊	二八九
(蠶種現在出来高并蠶余原紙共取調届出通達ニ 付通知書) 富総組頭取 藤代駅他六ヶ村宛 明治 九年八月	半	一冊	五〇三	明治十一年蠶余原紙白紙内書御買上代価渡方帳 富総組蠶種取扱所 明治一二年一〇月	半	一冊	三〇五
蠶余原紙之義ニ付上申 恋瀬組頭取 茨城県第三 課宛 明治九年九月	半	一冊	四〇九	昨明治十年残原紙御買上代御下ニ付茨城県出頭 入費割賦簿 元富総組蠶種取扱所 明治一二年二 月	半	一冊	二九〇
(蠶余原紙返納御添翰ニ付願) 茨城県 勸業寮出 張原紙売捌所宛 明治九年九月	半	一冊	四三一	(茨城県下富総組・波南組・恋瀬組蠶余原紙内 訳書)	半	一冊	四三三
(三組蠶余原紙納方御添簡願他) 富総組頭取 茨 城県令宛 明治九年九月	半	一綴	五〇八				

(蠶余原紙取調書)

製造加入

蠶種製造加入願 小文間村 富総組頭取・検査人宛
明治九年二月

半 一冊 三〇七

休業

当戊年養蚕出来高并来亥年休業願取調 塚崎村副
戸長 小沢藤七宛 明治七年九月

半 一冊 二九五

当戊年養蚕出来高并来亥年休業願取調 下小橋
村副戸長 小沢藤七宛 明治七年九月

半 一冊 二九四

当戊年養蚕出来高并来ル亥年休業願取調 境町
旧副戸長 小沢藤七宛 明治七年

半 一冊 二九三

休業願書 水海道村 明治八年一〇月

半 一冊 三〇七

明治九年養蚕休業願書 小森村 明治八年一月

半 一冊 三〇三

明治九年養蚕休業願書 今宿村 明治八年一月

半 一冊 三〇三

(明治九年養蚕休業願書) 中村 明治八年一月

半 一冊 三〇三

養蚕製造休業願 久保田村 明治八年一月

半 一冊 三〇四

(明治九年養蚕製造休業願書) 田間村・尾崎村
明治八年一月

半 一枚 三〇五

養蚕製造休業願 小森新田 明治八年一月

半 一冊 三〇六

養蚕休業御届 古沢町惣代 富総組頭取宛 明治八
年一月

半 一冊 三〇六

(求明治九年養蚕製造休業願) 富総組養蚕製造人
養蚕世話役宛 明治八年一月

半 一通 三〇九

養蚕製造廃業願 豊田邸組 養蚕頭取・同世話役
宛 明治九年三月

半 二冊 二九六

養蚕製造休業生糸製造願 養蚕製造人 富総組頭
取宛 明治九年一月

半 一冊 三〇〇

養蚕製造休業願 八街村 富総組頭取宛 明治九
年一月

半 一通 三〇二

当明治九年養蚕製造休業人并新規加入之者取調
簿 富総組 明治九年二月

半 一冊 四〇五

(昨八年養蚕製造人規則ヲ以本年之規則ニ押候
ハ不照準ニ付一同休業断書) 富総組製造人 富
総組頭取宛 明治九年三月

半 一冊 五〇五

明治十年休業人并新規加入取調帳 富総組蠶種取
扱所 明治一〇年二月

半 一冊 三〇三

休業書上 富総組養蚕製造人 同組頭取宛 明治
一〇年二月

半 一冊 三〇四

(養蚕製造休業願) 豊田邸 富総組頭取宛 明治
一二年一月

半 一綴 三〇五

(養蚕製造廃業) 届 栗野村 富総組頭取宛 明治
一二年一月

半 一冊 三〇六

(養蚕製造廃業届) 荻橋村 富総組頭取宛 明治
一二年一月

半 一冊 三〇七

明治十一年ヨリ製種廃業願 布川村 富総組頭取
宛 明治一二年一月

半 一通 三〇六

当明治十一年製種休業届 布川村 富総組頭取宛
明治一二年一月

半 一通 三〇九

養蚕製造休業届 (豊田村) 富総組頭取宛 明治
一二年一月

半 二冊 三〇七

養蚕製造休業人名取調書 富総組蠶種取扱所頭取
茨城県権令宛 明治一二年二月

半 一冊 二九六

(日沼組蚕種製造休業之儀届書) 日沼組検査人・頭取 富総組頭取宛 明治一一年二月

検査

養蚕検査表目録 中村蚕種世話役 明治七年八月

養蚕検査表 飯田主作 明治七年

(養蚕検査書上記) 三大区六小区蚕種世話役 蚕種大惣代宛 明治八年一月

明治七年蚕種製造検査巡回御手当金請取証 蚕種世話役一人 明治八年三月

(世話役定立届書并東京出頭ニ付旅費拝借願) 検査人・副頭取・頭取 千葉県令宛 明治八年四月

検査人投票差出方遅引之儀ニ付申演書 旧蚕種世話役杉壱千太郎・製造人惣代 明治八年四月

富総組検査人世話役集合ニ付入費帳 明治八年八月

蚕種検査人免職願 布川村杉壱東作 明治八年八月

富総組結立ニ付役員千葉県江出張入費取調簿頭取 明治八年

検査簿 三番区 明治九年六月

養蚕検査表 市村万吉買入 明治一六年

蚕種世話役免職願 立野新田小沢藤七 千葉県令宛

(富総組六番区検査人世話役依頼書)

養蚕検査一覽表

蚕種検査表目録 蚕種世話役秋葉類助

印鑑帳

蚕種製造人印鑑帳 富総組三番区 明治九年七月

(下総国豊田郡蚕種製造人印鑑帳)

(下総国結城郡蚕種製造人印鑑帳)

蛾分検査

蛾分方平均簿 富総組蠶種扱所 明治八年八月

(成繭蛾分方検査帳) 明治一〇年六月

(成繭蛾分方検査帳) (富総組) 明治一〇年六月

明治十年蛾分方検査簿 富総組老番組世話役同組頭取宛 明治一〇年七月

明治十年成繭蛾分方検査帳 富総組四番区 明治一〇年

蛾眉検査簿 六番区

その他

蚕取調書 染谷村旧副戸長 蚕種世話役宛 明治七年九月

(当明治十一年製種覚他) 布川村 富総組頭取宛 明治一一年三月

(内外用交換覚)

蚕種入費取立帳 布川組

(蚕種紙数留帳)

(蚕種製造之儀ニ付申上書) 富総組老々四番区蚕種製造人惣代

(出壳紙差上記) 市村兵吾 芦葉宛 六月

蠶種原紙

蠶種原紙願(飯野町) 戸長 明治七年四月

当明治七年掃立済原紙御買上願出帳并通送入費割合帳 蠶種大惣代 明治七年二月

当明治七年掃立済蠶種原紙御買上再三出張并通送入費割合帳 蠶種大惣代 明治七年二月

明治七年掃立済原紙御買上代価受残原紙返納入費渡差引帳 蠶種大惣代 (明治八年一月)

(本年用蠶卵原紙代価受取証) 桑名賢造他 富総組頭取宛 明治八年五月

蠶種原紙代価四分一御下渡願 富総組頭取 千葉県令宛 明治八年九月

蠶種原紙戸積証 安食村梶合三郎兵衛 富総組頭取宛 明治九年一月

(原紙御下ケ渡願書) 世話役宛 明治九年三月

当九歳蠶種原紙割賦簿 富総組七番区 富総組扱所宛 明治九年五月

当九年蠶種製造原紙割賦簿 富総組六番区蠶種世話役 明治九年五月

当九歳原紙割賦方元帳 富総組七番区 明治九年五月

原紙買下ニ付諸入費扣 明治九年六月

(本年用蠶種原紙松下価上納金受取証) 深谷原紙壳捌所 富総組頭取宛 明治九年六月

蠶種原紙原価四分一御受取書 富総組 明治九年八月

蠶種原紙原価四分一金御給与願 富総組 明治一〇年一月

春蠶掛合原紙買下老人別并代価割合簿 富総組取扱所 明治一〇年五月

(明治十年蠶種原紙御松下高配賦方取調書他) 富総組頭取 茨城県勸業掛宛 明治一〇年二月

蠶種原紙代価取纏簿 富総組取扱所 明治一〇年

(原紙買下并配代価他種々) 主作 明治一一年六月

蠶種原紙代金拜借証書 主作 深谷駅蠶種原紙御壳捌所宛 明治一一年六月

(買下原紙御渡并諸懸り割合ニ付出頭願状) 長束桃甫 横野桃作外宛 六月

(原紙渡願状) 下大蔵村加藤岡八郎右衛門外 藤代主作宛 六月

原紙配賦方入費・原紙買下ケ入費 (富総組)

糸・繭

糸繭製造願

来明治八年糸繭製造願 中村蠶種世話役宛 明治七年一〇月

来亥年糸繭製造願 豊四季村蠶種世話役 明治七年一〇月

糸繭出来高

(蠶繭生糸去壬申年産出之分取調御届書) 配松村立会人 印旛県権令宛 明治六年五月

一通 二六〇

一冊 二六九

一冊 二六三

一冊 二六三

一冊 二六三

一冊 二六三

一冊 二六五

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六〇

一冊 二六九

一冊 二六三

一冊 二六三

一冊 二六三

一冊 二六三

一冊 二六五

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

一通 二六九

去申年養蚕願分出来繭書上写	明治六年八月	横長半	一冊	二五八	当戌年糸繭取調帳	次木村旧副戸長	小沢藤七宛	明治七年九月	半	一冊	二八五		
養蚕繭出来高書上帳	東金ノ井村副戸長	養蚕掛り宛	明治七年六月	半	一冊	二八六	当戌年出来繭取調帳	蚕種世話役各旧副戸長	蚕種大惣代宛	明治七年九月	半	一冊	二八六
当戌年出来繭御届	桵之井村旧副戸長	蚕種大惣代宛	明治七年七月	半	一冊	二八六	繭生糸取調御届	桐ヶ作村旧副戸長	養蚕世話人宛	明治七年九月	半	一冊	二八三
養蚕取調書上帳	木野崎村副戸長	勸業掛り役人宛	明治七年八月	半	一冊	二八〇	当戌年糸繭出来高届	浦向村旧副戸長	明治七年九月	半	一冊	二八四	
出来繭取調書	船形村副戸長	蚕世話役宛	明治七年八月	半	一冊	二八五	明治七年出来繭取調書	延打村旧副戸長	蚕種世話役宛	明治七年九月	半	一冊	二八六
当戌産出繭御届	山王村立会人	蚕種世話役宛	明治七年八月	半	一冊	二八四	当戌出来繭取調書上	幸館村旧副戸長	蚕種世話役宛	明治七年九月	半	一冊	二八三
糸繭産出御届書	幸館新田副戸長	世話役宛	明治七年八月	半	一冊	二八六	出来繭御届	中戸村旧副戸長	明治七年九月	半	一冊	二八四	
糸繭取調帳	西高野村副戸長	明治七年八月	半	一冊	二八四	当戌年出来繭御届	奥山新田旧副戸長	明治七年九月	半	一冊	二八五		
繭出来御届	馬立村旧副戸長	蚕事世話役宛	明治七年九月	半	一冊	二五八	当戌年出来繭御届	板戸井村旧副戸長	蚕種大惣代宛	明治七年九月	半	一冊	二八六
当戌年出来繭御届	小山村旧副戸長	明治七年九月	半	一冊	二七九	当戌年出来繭御届	向地村旧副戸長	明治七年九月	半	一冊	二八七		
当戌年出来繭御届	立沢村旧副戸長	蚕種大惣代宛	明治七年九月	半	一冊	二八〇	当戌年出来繭御届	鬼長村旧戸長・旧副戸長	明治七年九月	半	一冊	二八〇	
当戌年出来繭區別取調書上	川妻村	蚕種世話役宛	明治七年九月一〇月	半	一冊	二八三	(当戌年出来高取調帳)	東高野村副戸長	明治七年九月	半	一冊	二八三	
当戌出来繭御届	神田山村旧副戸長	蚕種御掛り宛	明治七年九月	半	一冊	二八七	当七年出来繭御届	辺田村旧副戸長	蚕種世話役宛	明治七年九月	半	一通	二八六
当戌出来繭御届	猫美村副戸長	世話役宛	明治七年九月	半	一冊	二八〇	当明治七年出来繭届	高野村旧副戸長	蚕種大惣代宛	明治七年一〇月	半	一冊	二八六

当戊午出来繭御届 笹塚新田旧副戸長 明治七年一〇月	半	一冊	二六〇五	当戊午出来繭御届 西親野井村旧副戸長 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一通	二六三
(当戊午出来繭御届) 伏木村旧副戸長 明治七年一〇月	半	一冊	二六〇六	当戊午出来繭御届 深輪村旧副長 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二六三
当明治七年繭出来方取調書 本間ヶ瀬村 旧副戸長・立会人 蚕種世話役宛 明治七年一〇月	半	一冊	二六〇八	当戊午繭出来高取調帳 宮前村旧副戸長 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二六四
戊午出来繭御届 細野村旧副戸長 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二六一	当戊午繭取調書 埴生郡各区戸長・千葉県養蚕世話役宛 明治七年一〇月	半	一冊	二六七
当戊午出来繭御届書 目沼村旧副戸長 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二六二	当戊午出来繭御届 稻村旧戸長・旧副戸長 明治七年一〇月	半	一冊	二六九
当戊午出来繭御届 向河岸旧立会人 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一通	二六三	出来繭御届 細代村旧副戸長 明治七年一〇月	半	一冊	二六五
当戊午繭出来取調書 花嶋村旧副戸長 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二六四	当戊午出来繭御届人数書上 立野村 蚕種世話役 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二六四
当戊午出来繭御届 榎野地村旧副戸長 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二六五	糸繭出来高届・来八年同製造届 蚕種世話役 大惣代宛 明治七年一〇月	半	一綴	二六五
当戊午出来繭御届 西宝珠花村旧副戸長 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二六六	養蚕産出高御届 借宿村旧立会人 明治七年一〇月	半	一冊	二六六
当戊午出来繭御届 塚崎村旧副戸長 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二六七	養蚕産出高届書 富田村旧立会人 明治七年一〇月	半	一冊	二六六
当戊午出来繭御届 椿村旧副戸長 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二六八	(製造繭取調御届書) 菅谷村副戸長 小沢藤七宛 明治七年一二月	半	一冊	二七〇
当戊午出来繭御届 鷺ノ巣村旧副戸長 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一通	二六九	当明治七年繭出来高取調帳 戸長 明治七年	半	一冊	二七〇
当戊午出来繭御届 木崎村旧副戸長 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一通	二七〇	甲戌年繭斗数書上帳 目吹村立会人・副戸長 蚕種世話役宛 (明治七年)	半	一冊	二七三
当戊午出来繭御届 植木津内村旧副戸長 蚕種大惣代宛 明治七年一〇月	半	一冊	二七三	明治七年蚕繭出来高 仲村 蚕種大惣代宛 (明治七年)	半	一冊	二七三

明治九年蚕種現在出来高調帳 蚕種世話役 富総組扱所宛 明治九年七月	半	一冊	五八三
明治十年春蚕種現在出来高 富総組老番区世話役 富総組頭取宛 明治一〇年七月	半	一冊	五八三
生糸製造			
来明治八年生糸製造願 藤代宿 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	一冊	二六九
生糸製造御願 若宮戸村旧立会人・旧副戸長 明治七年九月	半	二冊	二五〇〇
生糸製造之願 小保村旧副戸長 蚕種大惣代宛 明治七年九月	半	二冊	二五〇三
生糸製造御願 原村旧立会人・旧副戸長 明治七年九月	半	三冊	二五〇三
来明治八年生糸製造願 藤代 千葉県蚕種御掛宛 明治七年九月	半	一冊	二五〇六
来明治八年生糸製造願 下小橋村副戸長 小沢藤七宛 明治七年九月	半	一冊	二五〇八
来明治八年養蚕生糸製造人御届書 逆井村旧副戸長 蚕種世話役宛 明治七年九月	半	一冊	二五〇七
来明治八年生糸製造御免許願 八角常吉他 千葉県令宛 明治七年一〇月	半	一冊	二五〇五
(製糸場規約書) 関根民吉・菅谷又次郎 村々蚕業宛 明治七年二月	半	一冊	二五〇四
来明治八年生糸製造願 藤代宿市村兵吾組 (明治七年)	半	一冊	二五〇三
その他			
生繭受附帳 相馬運送株式会社 明治三年五月	半	一冊	二五〇二

印影 富総組 頭取飯田主作 明治八年五月	美	一冊	二五七六
蚕種組合結立証書并明細表等製種人之内居住番 号落筆有之ニ付申上書 富総組頭取 勉業寛宛 明治八年五月	美	一冊	二五五〇
（蚕種紙数ヨリ沢山之風聞相立候ニ付自訴書） 井野村小堀川岸蚕種製造人 頭取・検査人宛 明治 八年八月	半	一冊	二六三
着到帳 富総組蚕種取扱所 明治八年九月	横長半	一冊	二五五〇
（各地方組合製造人ノ蚕種購求シ蚕業宮侯様懇 諭願書） 富総組他 茨城県令宛 明治九年一月	半	一冊	五二〇
廻章 富総組蚕種取扱所 明治九年八月	半	一冊	二九八五
杉埜東作書状（入費督促） 葛生宛 明治九年一〇月	半	一通	六九六
七番区旧世話役葛生幸三良書状（入費督促） 富総 組頭取宛 明治九年十一月	半	一通	六九七
明治九年蚕種製造組合明細表 富総組（明治九 年）	半	一冊	四三
文通案記 富総組頭 明治一〇年一月	半	一冊	二七九
県庁蚕種貸附帳 富総組頭取 明治一〇年四月	横長半	一冊	三〇三
（蚕種充渡并貸附方等御胆当御依頼書） 富総組 頭取 副戸長・戸長・各村書記・人民惣代宛 明治 一〇年四月	半	一冊	三八一
蚕種製造組合明細表 富総組蠶種取扱所 明治一 〇年	半	一冊	二九七
富総組据置願 富総組 茨城県権令宛 明治一二年 一月	美	一冊	二九五
持廻并凡積雛形・休業届 富総組 明治一二年一 月	半	一冊	三三三

富総組組合据置預 富総組製種人惣代・検査人頭 取 茨城県令宛 明治一二年一月	美	一冊	五九三
（東京三田育種場出品交換当組へ御売与分代価 上納記） 富総組頭取 茨城県土浦支庁宛 明治一 年五月	半	一通	五五四
蚕種製造組合明細表 富総組蚕種取扱所 明治一 年	半	一冊	三〇〇
蚕種製造組合条例 明治	半半	一冊	八三〇
千葉県富成組頭取石橋伝右衛門書状 富総組頭取宛	半	一通	八〇五
養蚕年中行事下案 蚕種大惣代	半	一冊	三九
殖蚕会社設立規則書 蚕種大惣代・蚕種世話役 千葉県令宛	半	一冊	三〇三
（茨城県下富総組製造人名簿）	半	一冊	三六三
全国蚕種製造組合表	半	一冊	五九六
（組合結立関係之書類一同御下戻シ御申立願書） 富総組各々五番区蚕種製造人惣代	半	一冊	五九五
（富総組各種印章）	半	五枚	七七七
役員			
（蚕種世話役免職御願） 押口村 蚕種世話役 千 葉県令宛 明治八年一月	半	二冊	二九七
容鉢書 押口村医者 千葉県令宛 明治八年一月	半	一冊	二九六
蚕種頭取御届・蚕種検査人御届 製種人惣代・蚕 種検査人・蚕種製造人惣代 千葉県令宛 明治八年 四月	半	一冊	五八三
（富総組役員并組合人員記・明治八年製造蚕種 原紙并印紙凡積書上） 富総組頭取 会頭宛 明治 八年五月	半	一綴	三三五

(富総組蠶種世話役依頼書)	富総組頭取 菅谷又次郎宛 明治八年五月	半	一通	五九六	(原紙并出売紙加入願書)	蠶種世話役 蠶種大惣代 明治七年七月	半	一通	二七六
(給頭投票書)	富総組蠶種製造人 明治八年七月	一綴	五七七	(御免許高原紙之内余白老枚見当次第返納預書)	本宗道村森田新三郎 明治七年一〇月	半	一通	二八三	
(富総組役員年給投票)	役員宛 明治八年七月	一綴	五八七	(新治県下蠶種製造人共当組江合併之儀申出候ニ付御伺書并指令書)	旧蠶種大惣代 千葉県令宛 明治八年四月	半	一通	五〇六	
富総組役員給額投票	相馬郡製造人 明治八年八月	半	一通	五九六	(富総組入社願区戸長奥印日延願書)	新治県製種人総代 富総組頭取宛 明治八年四月	半	一通	五七三
(富総組役員給額并旅費滞在費之投票)	布川組他 明治八年八月	一綴	五九六	(組合分離之儀ニ付御掛合状)	飯田主作 関根民吉他三人宛 明治九年二月	半	一通	五八六	
(委任状届)	土浦町会社 蠶種頭取宛 明治八年一〇月	一通	五九六	茨城県下富総組ヨリ栃木県下絹川組・都賀組・埼玉県下利根川組・千葉県下富成組江送り書類并加入人名御届書	富総組 明治九年九月・同一年一二月	半	一通	五九六	
委任御届	富総組頭取 茨城県令宛 明治九年八月	半	一通	四〇四	(富盛組第五号組分離異存無之証書)	富盛組蠶種取扱所 富総組蠶種取扱所宛 明治二年一月	半	一通	五七六
役員出勤名簿	富総組蠶種取扱所 明治一〇年九月ヨリ	半	一通	五九六	千葉県下富成組ヨリ当県下富総組へ聯合届	富総組検査人頭取 茨城県権令宛 明治一年一月	半	一通	五八六
(富総組頭取履歴書)	飯田主作 明治一年三月	一綴	四二六	(当組之内貴組江加入ニ付異存無之旨決定ニ付廻達書)	富盛組頭取 富総組頭取宛 明治一年一月	半	一通	五〇一	
(波多野公方へ書面老通預リ之所御返ニ付一札)	土浦町 蠶種頭取宛 一〇月	一通	五九六	明治十一年蠶種製造組合新規加入之者取調書	富総組頭取 茨城県権令宛 明治一年二月	半	一通	五〇四	
(代議委任人日当支配情願書)	主作 元蠶種會議局幹事各議員宛 明治一年五月	一通	五九六	東京會議					
(出勤日検査書)	主作 明治一年六月	半	一通	五八三	御泊り調書	蓬米屋 藤代一同宛 明治六年九月	横半半	一通	三〇一
(富総組給額表)		半	一通	五〇〇	旅費簿	蠶種大惣代 明治七年八月	横半半	一通	二八四
(富総組役員名簿)		半	一通	五九一					
(出勤留書)		半	一通	五九〇					
(富総組役員年給寛書)		半	一通	五九〇					
加入									

滞在旅費日常御下願書 蚕種大惣代 出納課宛 明治七年九月	半	一冊	二六五	俸給并旅費滞在御手当 千葉県蚕種大惣代 明治 七年八月ヨリ	半	一冊	二九六
蚕種之儀ニ付出京日誌 蚕種大惣代 明治八年二 月	半	一冊	二九五	日計費 飯田庸 明治七年八月ヨリ	横半半	一冊	三七七
(各地方蚕種大物代勸業寮出頭諸書留) 明治八 年二・三月	半	一冊	三〇六	(各組入費留渡帳) (明治七・八年)	半	一冊	三七七
(旅行日記) 明治八年二・四月	71×6	一冊	三〇五	會計簿 第壹号 飯田庸康 明治八年一月ヨリ	横半半	一冊	三〇九
誓詞交換書 飯田主作 明治八年三月	美	一冊	三〇七	會計簿 第貳号 飯田庸康 明治八年六月一〇月	横半半	一冊	三〇〇
東京会議中記録 富総組 明治八年四月	美	一冊	三〇三	春蠶原紙買下ケニ付旅費取調 飯田・杉野 (明 治八年五月)	横長半	一冊	三〇〇
東京出頭ニ付旅費拝借願 富総組正副頭取 千葉 県令宛 明治八年四月	一通	一通	五三	會計簿 第三号 飯田庸康 明治八年十一月一十九 年七月	横半半	一冊	三七六
(蚕種製造ニ付東京会議局決議之件請書) 富総 組四・五番組 富総組蠶種取扱所宛 明治八年七月	半	二冊	二九六 二九七	出納簿 第四号 飯田司策 明治九年七月一〇年 九月	横半半	一冊	三七二
休泊日記 飯田 明治九年四月一〇年一月	横半半	一冊	三〇九	出納簿 第五号 飯田司策 明治一〇年九月ヨリ	横半半	一冊	三七三
蚕種定例会議局規則疑問論弁全 上毛島村 明治 九年五月	半	一冊	三〇〇	出納簿 第六号 飯田司策 明治一一年五月ヨリ	横半半	一冊	三七四
(勸業御寮江上申蚕種合計簿訂正差出通知状) 東京蚕種會議局 飯田主作宛 明治九年一二月	一通	一通	五〇六	出納簿 第七号 飯田司策 明治一三年二月	横半半	一冊	三七五
明治十一年一月十日會議一件 明治一一年一月	半	一冊	三〇三	出納簿 飯田主作 明治一九年一〇月ヨリ	横半半	一冊	三七六
蚕種製造保獲ニ付五ヶ条要目并埼玉県長野県申 合書・出京議員履歴 富総組 明治一一年二月	半	一冊	二九七	金錢判取簿 富総組 明治八年八月	半	一冊	二九元
(蚕種會議局議員建議留書) 明治一一年三月	12×16	一冊	三〇二	外内章紙割賦簿 富総組蠶種扱所 明治八年八月	半	一冊	二九四七
(蚕種製造保護會議条款) 明治一一年	半	一冊	五〇五	富総組設置以来入費取立簿 蠶種扱所 明治八年 八月	横長半	一冊	二九三
(東京蚕種會議局申趣ニ付取調并報告書回達通 知書)	半	一冊	五〇〇	(役員是迄入費取調書) (富総組役員) (頭取宛) 明治八年八月	半	一綴	五〇三
(全国蚕種會議局ヨリ通送書類受取記) 茨城県 恋瀬組他	半	一冊	五〇六				

区々入費書出シ 世話役 富総組扱所宛 明治八年九月ヨリ	半	一冊	八二	(蚕種原紙買受配手数料ニ付内務卿達書申達他) 千葉県勸業掛宛 富総組蚕種頭取宛 明治八年六月	半	一綴	七五九
蚕種原紙中書入費取立簿 富総組七番区 蠶種世話役 明治八年一〇月	横長半	一冊	二五三	(蚕種原紙配賦手数料ニ付達書他) 茨城県令他 富総組頭取宛 明治一〇年四月	美	一綴	七七一
組合結成以来入費割合帳 富総組蠶種扱所 明治八年	半	一冊	二四三	(蚕種原紙御払下書類) 茨城県第二課 富総組頭取宛 明治一〇年	半	一綴	七五八
富総組費用簿 岩田定吉 明治八年	横長半	一冊	二五七	(組合蚕種減方申達書) 茨城県第二課 富総組頭取宛 明治一一年三月	半	一通	七〇七
郵便税之通 富総組取扱所 明治一〇年一月	横長半	一冊	二九四	(東京三田有種場ニテ交替信州上田ノ蚕種紙回送下渡達状) 茨城県第二課 主作宛 明治一一年三月	半	一通	七六五
諸入費附留簿 富総組蚕種取扱所 明治一〇年九月	横長半	一冊	二六八	(蚕種保護方心得書富総組活版ニ付取扱方申達書) 茨城県第二課 藤代宿主作宛 明治一一年四月	半	一通	七三三
(元老・三番区金子差引渡記) 富総組蠶種取扱所 林村宛 明治一〇年九月	半	一綴	五〇四	(蚕種原紙規則等廃止布告) 太政大臣・内務卿 明治一一年五月	半	一通	七〇三
考番区諸入費取調帳 考番区世話役 頭取宛 明治一〇年九月	半	一冊	八四	(生糸巻紙売買取扱心得) 事務扱所 藤代宿主作宛 明治一一年五月	半	一通	七三三
(富総組設置以来立替入用地)	半	一綴	五〇九	(昨十年蚕種出来高取調之内差違取調依頼書) 静岡県議員宛 (明治一一年以後)	半	一通	七六六
(往復費并滞在費紙割戸数割取調書)	半	一綴	五三四	(長野県上塩尻村藤本善右衛門来遊ニ付通知状) 勸業課長 飯田主作宛 明治一四年一二月	半	一通	七九二
従考番区八番区入費差引簿 富総組蠶種扱所 扱所操替入費明細書下調 飯田	半	一冊	二四四	書類綴			
(蚕種事務ニ付昨十年九月ノ諸立替分取調下調帳) 富総組	半	一冊	三〇七				
半	一冊	五四九					
蚕種布達							
(養蚕人取調持参願廻章) 戸長 棚木村外三村戸副戸長宛 明治五年九月	半	一通	七三二	(富総組書類綴) 明治七年一〇月一八年一二月	半	一綴	五二六
(蚕種原紙売捌ニ付布達) 勸業権頭 千葉県令宛 明治七年三月	半	一綴	七四〇	(富総組書類綴) 明治七年一〇月一八年三月	半	一綴	五二五
(蚕種製造取調ニ付権中属河野通撰巡回御布達) 区長 六戸長宛 明治七年六月	半	一冊	七三三	(富総組書類綴) 明治七一一〇年	半	一綴	五二六
				県庁達書綴込 富総組蚕種扱所 明治八年二月	半	一冊	二九八
				(富総組書類綴) 明治八年八月一九月	半	一綴	五二七

(富総組書類綴)	明治八年九月—十二月	半	一綴	五〇六	水妻郡世話役藤沼長三郎書狀 蚕種大惣代宛 一月	一通	四五六
(富総組書類綴)	明治八年一〇月—一〇年五月	半	一綴	五二六	藤沼長三郎書狀 飯田主作宛 一月	一通	三三〇
(富総組書類綴)	明治八—一〇年	半	一綴	五三七	小文間村木村久四郎書狀(徴兵検査後二伺) 蚕種大惣代飯田主作宛 一〇月	一通	三三九
(富総組書類綴)	明治九年二月—五月	半	一綴	五二四	市村兵吾書狀 富総組頭取宛 三月	一通	六七三
(富総組書類綴)	明治九年九月	半	一綴	五二三	山王村水野泰助書狀 山王村 飯田主作宛 五月	一通	六七三
(富総組書類綴)	明治九—一〇年	半	一綴	七〇四	橋場鳥之助書狀 飯田主作宛 五月	一通	六九四
(富総組書類綴)			一綴	七一九	寺田書狀 飯田宛 旧五月	一通	六九六
○					輕部喜弥太書狀 飯田宛 一〇月	一通	六七二
蘆葉伊右衛門書狀(掃立済印紙代不足分他二付) 旧大惣代中島村 飯田主作宛 明治七年十一月			一通	五五五	佐野書狀 飯田宛 六月	一通	六九二
寺田勘兵衛書狀 飯田主作宛 明治八年五月			一通	六九三	旅行日記 第貳号 蚕川舎 明治一〇年九月ヨリ	一冊	三六二
飯田主作・岩田定吉書狀 杉の東作・萬生孝三郎宛 明治八年九月			一通	八〇七	養蚕雜記 蚕川舎 明治一五年四月ヨリ	一冊	三六八
飯田主作書狀(富総組蠶種扱所印紙代取纏願) 蚕種世話役宛 明治八年九月			一通	八〇三			
高野村岩田定吉書狀 飯田主作宛 明治九年九月他			二通	六九四 六九七			
錦竜組頭取飯田才一郎書狀 富総組蠶種頭取宛 明治一〇年一月			一通	八〇八			
錦竜組頭取いゝしま書狀 各組蠶種頭取宛 明治一〇年一月			一通	八〇九			
蚕種會議局長束桃甫書狀(蚕検査説諭富総組ノ恥辱) 飯田主作宛 明治一〇年九月			一通	六九七			
小林永助書狀(蚕紙ニ付) 小沢藤七宛 戊午十二月			一通	七九六			

營業

鑑札

營業調

市場取調書上 取手・藤代駅役人 千葉県令宛 明治七年六月七月	半	一冊	三八四
(古鉄古着古道具紙屑渡世吉田与四郎調落之處御書載仲間加入願) 高須村役人 区長宛 明治七年七月	一通	五三三	
諸營業下調帳 戸長役場 明治二年七月	半	一冊	三七六
諸營業人旧鑑札請取簿 藤代外三ヶ村戸長役場 明治二年七月	半	一冊	三七七
地方税中營業人台帳 藤代宿外三ヶ村聯合戸長役場 明治二年七月	半	一冊	三五五
(諸營業人取調入費割合帳) 藤代外三カ村 明治二年一〇月	半	一冊	三七九
諸營業並人名取調 藤代宿	半	一冊	三七九
營業人本業兼業取調并鑑札引揚ニ付着倒扣 (當取人取調帳)	横長半	一冊	三七九
新規營業鑑札	半	一冊	四六〇
新規營業御鑑札下願 藤代宿 郡長宛 明治二年七月	半	一冊	三三三

新規營業御鑑札御下ケ願 片町村 郡長宛 明治二年七月	半	二冊	三三四
新規營業御鑑札下ケ願 谷中村 郡長宛 明治二年七月	半	二冊	三三五
新規營業御鑑札下ケ願 小浮気村 郡長宛 明治二年七月	半	二冊	三三六
新規營業御鑑札下ケ願 藤代宿 郡長宛 明治二年	半	一冊	三三三
新規營業御鑑札下ケ願 藤代宿 郡長宛 明治三年七月	半	一冊	三三五
新規營業御鑑札願 片町村 郡長宛 明治三年七月	半	一冊	三三六
新規營業御鑑札御下願 郡長心得宛 明治一三年九月	半	一冊	三三九
新規營業御鑑札下ケ願 小浮気村 郡長心得宛 明治一三年九月	半	一冊	三三〇
新規營業御鑑札願 片町村 郡長心得宛 明治一三年九月	半	一通	三三四
新規營業御鑑札御下願 藤代宿 郡長宛 明治一三年一〇月	半	一冊	三三七
新規營業御鑑札御下願 片町村 郡長宛 明治一三年一〇月	半	一冊	三三八
新規營業御鑑札下願 小浮気村 郡長宛 明治一三年一〇月	半	一冊	三三九
新規營業御鑑札御下願 谷中村 郡長宛 明治一三年一〇月	半	一冊	三三〇

新規營業御鑑札下ケ願(飲食店) 藤代宿小泉弥市
郡長心得宛 明治一四年一月

一通 五五二

鑑札

(明治十三年度御鑑札下ケ渡ニ付受取書上) 藤
代・片町・谷中・小浮気村 明治一三年

一冊 三三三

(馬医營業御鑑札御下附願) 藤代宿木村平馬 郡長
宛 明治一四年三月

一綴 五〇一

(御小壳開業御届) 藤代増田半七 郡長宛 明治
二二年七月

一通 五九一

酒類受小壳業御鑑札願 片町村 明治

一通 三三三

(諸職人鑑札引替ニ付古鑑札納申達書廻状) 諸
職人鑑札取調方 藤代他一九カ村宛 丑年一月

一通 七三三

(片町・藤代・谷中・小浮気村鑑札持参人名簿)

一冊 五五三

(千葉県御下皮革元会社印鑑) 願人武葛提根村
杉本孫四郎他

一枚 七三三

兼業鑑札

新規兼業願(粉類小壳) 片町村 郡長宛 明治一三
年八月

二冊 三三七

廃業願

營業廃業願(飲食店) 片町村 郡長宛 明治一三年
一月

一冊 三三三

營業願(煮売屋) 藤代宿 郡長宛 明治一三年一
月

一冊 三三三

營業願(飲食店) 藤代宿 郡長宛 明治一三年二
月

二冊 三三三

營業廃業願(小壳商) 片町村 郡長宛 明治一三年
一月

一冊 三三〇

廃業願(小壳商) 藤代宿 明治一三年二月

半 一冊 三四四

廃業御願(諸飲食店) 藤代宿 郡長心得宛 明治一
四年六月

半 一冊 三四三

菓子小壳商廃業願 藤代宿 郡長心得宛 明治一
四年六月

半 一冊 三四九

換業鑑札

換業御鑑札御下ケ願 藤代宿 郡長宛 明治一二
年二月

半 二冊 三〇一

換業御鑑札御下ケ願 片町村 郡長宛 明治一二
年二月

半 二冊 三〇二

換業ニ付御鑑札御下ケ願 藤代宿・片町村・谷中
村(明治一二年二月カ)

半 一冊 三〇三

換業御鑑札下ケ願 小浮気村 郡長宛 明治一二
年二月

半 二冊 三〇四

換業御鑑札御下ケ願 谷中村 郡長宛 明治一二
年二月

半 二冊 三〇七

換業ニ付御鑑札書換願 藤代宿外式ケ村 郡長宛
明治一四年二月

半 一冊 三三三

換業ニ付御鑑札御書替願 藤代宿・谷中村 郡長
宛 明治一四年四月

半 一冊 三〇五

換業ニ付御鑑札御書加願 藤代宿・片町村・谷中
村郡長宛 明治一四年四月

半 一冊 三〇六

鑑札返

旧鑑札返納書扣 藤代外三ケ村戸長 郡長宛 明
治一二年七月

半 一冊 三三三

旧鑑札返納書 藤代宿外三ケ村戸長 郡長宛 明治
一三年二月

半 一冊 三〇二

(諸營業旧鑑札返納書) 藤代外三ヶ村戸長 郡長
心得宛 明治一四年一二月

半 一冊 五〇三

○

(天保等ニテ營業稅上納ニ付取斗方伺書) 第三
課 戸長宛 明治一四年一〇月

一通 五七七

諸職鑑札取調方書狀(村方建具師桶師鑑札渡取計)
飯田三左衛門宛 九月

一通 六七四

營業人・地方稅率

明治十一年諸營業後半年分上納控 藤代宿 明
治一二年一月

半 一冊 一九七〇

諸營業人稅率調書 藤代宿 郡長宛 明治一二年
七月

半 一冊 一九五

諸營業人稅率調書 片町村 郡長宛 明治一二年
七月

半 一冊 一九七

諸營業人稅率調書 谷中村 郡長宛 明治一二年
七月

半 一冊 一九六

諸營業人稅率調書 小浮氣村 郡長宛 明治一二年
七月

半 一冊 一九九

地方稅々率再調査更正等級稅金調 藤代宿 明
治一三年一月

半 一冊 五九五

(營業人惣代撰摺狀并当撰狀) 明治一三年九月

一綴 四六五

明治十三年度地方稅率報告書扣 片町村 茨城縣
租稅課宛 明治一三年一〇月

半 一冊 一九三

明治十三年度地方稅率報告書扣 藤代宿 茨城縣
租稅課宛 (明治一三年)

半 一冊 一九三

明治十三年度地方稅率報告書扣 小浮氣村 茨城
縣租稅課宛 (明治一三年)

半 一冊 一九四

明治十三年度地方稅率報告書扣 谷中村 茨城縣
租稅課宛 (明治一三年)

半 一冊 一九五

明治十三年度地方稅々率報告書 藤代外三ヶ村
茨城縣租稅課宛 明治一四年三月

半 一冊 一九六

明治十三年度地方稅々率取調費割賦及領收簿
藤代宿外三ヶ村 明治一四年一二月

半 一冊 一九七

明治十四年度地方稅率取調費割賦及領收簿 藤
代宿外三ヶ村 明治一四年一二月

半 一冊 一九八

明治廿五年度相馬郡營業稅雜種稅四等級租稅額
議按 (明治一五年)

半 一冊 一九五

(地方稅發行ニ付申合決議書) 明治

半 一冊 一九九

(新旧稅額并商金高名簿) 明治

半 一冊 五〇六

(營業稅率調其他入用錢割帳) 明治

半 一冊 五五三

○

(諸入費營業人割名簿) 明治一二年一〇月

半 一冊 五〇四

(地主總代撰摺狀原書) 谷中村 明治一二年一
月

半 一冊 五〇六

(地主惣代投票并受書) 明治一二年一月

半 一冊 四四四

地主總代人名簿御届 櫛木外三ヶ村戸長役場 幹
事戸長宛 明治一二年一月

半 一綴 五九二

諸品通 藤代外三ヶ村營業人惣代 明治一四年一
月

横半半 一冊 三六五

地主惣代解任願 小浮氣村長東健 戸長宛 明治
一四年一二月

一通 六六六

營業

旅籠貸座敷

(旅籠屋飯焚下女取締ニ付御受書一札) 当宿旅籠屋 当役人・大惣代宛 安政四年二月 一通 四六六

(農間旅籠渡世之者芸妓等紛敷風俗の者備置不相成ニ付連印証書一札) 旅籠渡世永田屋他 藤代宿役人宛 明治七年五月 一冊 四三

(当駅旅籠屋并茶屋營業之者芸妓等備置不相成ニ付御請書) 藤代駅副戸長 千葉県令宛 明治七年六月 二冊 四三

貸座敷願 取手駅 千葉県令宛 明治七年六月 一冊 三七五

貸座敷願之義ニ付申上 大鹿村外六ヶ村副戸長 千葉県令宛 (明治七年六月) 一冊 三七六

旅人宿行事御届書 五小区藤代外一〇ヶ村旅籠渡世 千葉県令宛 明治七年六月 一冊 四三六

(旅人宿一小区毎組合年行司届出候様達書) 千葉県木下取締所 五小区長宛 明治七年六月 一通 七三三

(旅人宿規則相談ニ付出席願状) 五小区長 高須村役員 明治七年六月 一通 七三三

(取手駅旧飯盛旅籠屋共貸座敷營業願書奥書願添書) 取手駅戸長 区長宛 明治七年六月 一通 七九一

第十四大区五小区旅籠渡世名附 明治七年カ 横長半 一冊 三八六

区内旅籠渡世之者名前附 五小区村々 明治 横長半 一冊 四三三

人力車他届書上

(人力車稼願書) 藤代村市村泰次郎 印旛県役所宛 明治五年二月 一通 四六二

(人力車他取調御届書) 吉田村 千葉県令宛 明治六年八月 半 一冊 四四四

(人力車税上納記) 五小区長 明治六年九月 半 一冊 四六六

人力車明細書上帳 五小区長 千葉県令宛 明治六年九月 半 一冊 四六六

僕婢馬車人力車有無御届ケ書 長兵衛新田 明治七年一月 半 一冊 四六六

人力車駕籠乗馬税金上納扣 藤代外五ヶ村 千葉県令宛 明治七年一月 半 一冊 四六二

(馬車其他取調御届書) 片町村 千葉県令宛 明治七年一月 半 一冊 四三三

奴婢乗馬人力車取調書上 山王村 千葉県令宛 明治七年一月 半 二冊 三九三

(奴婢乗馬駕籠人力車書上) 和田村 千葉県令宛 明治七年一月 半 二冊 三九三

(奴婢乗馬駕籠人力車取調書上) 岡村 千葉県令宛 明治七年一月 半 一冊 三九三

(人力車税金上納記) 五小区長 明治七年一月 半 一冊 四六二

(駕籠税金上納記) 五小区長 千葉県令宛 明治七年一月 半 一通 四六二

馬車其外取調書上帳 青柳村 千葉県令宛 明治七年二月 半 二冊 三九三

馬車人力車有無届 長兵衛新田 明治七年二月 半 一冊 三九三

(人力車税請取記) 千葉県庁境町支庁租税課 宮和田村石田平三郎他宛 明治七年七月 一通 四六六

(人力車取調簿) 藤代宿 (明治一〇年以降) 半 一冊 四七五

人力車讓受御届 藤代駅 郡長宛 明治一五年二月	半	一冊	三七五	廃車願(荷積車) 藤代宿 郡長心得宛 明治一四年九月	半	一冊	三五〇
人力車税請取通 千葉県庶務課 五小区藤代外五カ村宛 九月		一通	七〇六	売棄 片町村宇都宮喜代他 郡長宛 明治一五年一・三月	半	一綴	三八九
馬駕籠税請取通 千葉県庶務課 五小区藤代外村々宛 九月		一通	七〇七	質屋 農間質古着古鉄渡世儀定書 飯田庸信写 天保一五年(弘化二年八月写)	半	一冊	三三五
寺田村岡田勝三郎書状(人力車乗馬駕籠税ニ付) 区長飯田宛 二月		一通	七〇八	本株質屋連名帳 慶応二年八月		一冊	三七七
(取手宿駕籠上納金覚)	半	一通	五八〇	質屋頭取入札 明治七年六・七月 区長宛		一綴	七七五
舟・車				酒造・売			
(寺田村外五カ村船税金未収納税ニ付詳細書面ニ認出庁達書) 千葉県境町支庁 五小区長宛 明治七年六月		一通	七五九	(酒造石高増願書) 藤代村酒造人武右衛門 神田弥右衛門宛 享和三年一一月		一通	四六二
(人民所有諸舟車取調書) 郡役所・藤代宿 明治一二年三月	半	一冊	五四三	(酒造御鑑札之写) 藤代村百姓喜作分 天保一三年		一枚	四三三
(人民所有船車検査通并難破船員数取調達) 郡役所 藤代宿戸長宛 明治一二年三月	半	一冊	五四五	(酒造奉公ニ付一札) 藤代宿名主 布施村名主宛 嘉永元年八月		一通	七六三
荷車営業御届 谷中村古谷重作 郡長宛 明治一五年二月	半	一冊	三六六	(酒造株道具蔵等借受申証文) 河原代村借受人儀右衛門 藤代宿喜作宛 嘉永元年九月		一通	四四二
(営業荷車船車税取調書) 藤代外三カ村 (明治一五年カ)	半	一綴	五四七	(屋敷民家蔵書入申金子借用証文) 河原代村義右衛門宛 嘉永元年九月		一通	四四三
廃車願				(酒造株道具蔵質渡申証文) 河原代村義右衛門宛 嘉永元年九月		一通	四四四
廃車願(人力車) 藤代宿 郡長宛 明治一三年六月	半	一冊	三四六	(大桶半切其外小道具貸渡申議定一札) 河原代村儀右衛門宛 嘉永元年九月		一通	四四五
廃車御願(人力車) 藤代宿 郡長心得宛 明治一四年六月	半	四冊	三四七 三四八 三四九 三五一	(酒造蔵道具一式引当書入質物証文) 藤代宿記作他 若柴宿七郎治他宛 嘉永四年一〇月		一通	四四六

(酒造株引当借用申金子証文) 藤代宿百姓喜作女房ちよ 押切村松左衛門宛 文久二年十二月	一通 四六三	
(酒造株押切村松左衛門江讓渡願書) 藤代宿喜作後家ちよ 慶応三年二月	一通 四六三	
百姓政之助酒造一件ニ付出府入用取調帳 慶応三年八月	一冊 四六六	横長半
白酒造石願 藤代宿 千葉県令宛 明治七年四月	一冊 三五二	半
(酒焼酎稅納方布達ニ付取斗方申付書) 区長酒造行事宛 明治七年七月	一冊 五七七	半
茨城県河内相馬両郡酒造御検査官御掛駐在中御休泊賄帳 明治二年一月	一冊 五八二	横長半
酒類受売營業調(藤代宿・谷中村) 明治二年六月	一冊 三八〇	半
(酒類請売營業調ニ付請書) 片町村旅人宿 茨城県令宛 明治二年六月	一冊 三八一	半
(酒類受売營業監査ニ付請書) 藤代宿料理店・酢子店 茨城県御出張熊城徳明宛 明治二年六月	一冊 三八二	半
焼酎蒸溜兼業願 藤代宿濁酒營業人 郡長宛 明治三年十二月	一冊 五七九	半
酒類小卸売樽数并商金高調書 藤代宿外三ヶ村 明治四年十一月	一冊 五七七	半
(酒造増石願書) 山王村健蔵・小文間村伝左衛門商法司役所宛 巳年二月	一通 四六四	
(藤代宿百姓又之助過造清酒村御預御請書) 藤代宿役人 関東御取締出役宛 卯年四月	一通 四六六	
(藤代宿酒造人又之助過造始末取締不行届ニ付託書) 藤代村名主他 関東御取締出役宛 卯年四月	一通 四六七	
細谷要之助・塚本松次郎書状(酒造株讓渡添簡願) 藤代村役人宛 一〇月	一通 六七五	
(酒造検査掛駐在中賄覽帳)	一冊 五八三	横長半
(和田村喜三郎酒造増石願書) 大惣代 商法司役所宛	一通 四六三	
(井野村与五右衛門外式人新規酒造・青柳村市兵衛醬油造・岡村半右衛門他老人濁酒御鑑札下願書) 与五右衛門他	一通 四六五	
酒醬油調書	一綴 五八六	
(酒造株主并当年造酒高書上帳)	一冊 五八三	半
紺屋 紺屋稅納願 藤代宿外一〇ヶ村 千葉県令宛 明治六年二月	一冊 三五三	半
伊丹中内網代一件書付扣 寛政四年三月	一冊 三七七	横長半
漁業 漁業網船書上 小文間村 千葉県令宛 明治七年四月	一冊 三六九	半
魚漁營業願関係書係書類 飯田氏 明治九年八月	一冊 三三三	半
(漁業營業等出願雛形) 郡長 明治二年八月	一冊 四四三	半
畜産調		
馬員数牡牝取調書上帳 吉田村 千葉県令宛 明治六年二月	一冊 三〇三	半
馬数取調書上帳 藤代外三ヶ村 千葉県令宛 明治六年十二月	一冊 三〇六	半
畜馬総計表 五小区 区長 千葉県令宛 明治七年一月	一冊 三〇四	半
馬取調書上帳 青柳村 千葉県令宛	一冊 三〇五	半

養豚

(豚盜難一件書付) 藤代宿和田孝七 元印齋裁判
所判事宛 明治六年七月

半 一綴 五〇三

(養豚取調書上帳雛形并廻状) 旧区长 戸長宛
明治六年二月

半 一冊 七三元

養豚取調書上帳 藤代宿外 千葉県令宛 明治六
年二月

半 一冊 二五〇

(豚免許状) 千葉県庁 明治六年

六枚 七五

第十四大区五区畜馬總計表 区长 千葉県令宛
明治七年一月

半 一冊 四〇八

養豚死亡御届書 渋沼村 千葉県令宛 明治七年
一月

半 一冊 五七

養豚免許御鑑札判取帳 明治七年六月

横長半 一冊 二五二

水運会社

水運会社取調書上 井野村 千葉県令宛 明治七
年七月

半 一冊 三六三

水運会社取調書上 取手駅 千葉県令宛 明治七
年七月

半 一冊 三八四

共進会

(内国種早実及操綿出品申告書) 桐木村色川新右
衛門 大坂共進会事務所宛 明治一三年一月

半 一冊 四三六

(米出品目録) 小浮気村涌井安次郎 明治二一年一
月

半 一冊 四三三

(麦出品目録) 押切村倉島祐男 明治二一年一月

半 一通 四三六

(関取米・大麦出品目録) 藤代宿桜井治平 共進
会事務所宛 明治二一年一月

半 一通 四三七

(米・麦・織物申告書) 聯合共進会事務所宛 明
治二一年三月

半 一冊 四三六

(水戸共進会木盃并出品償状御請書) 藤代宿桜
井治平 明治二一年

半 一通 七六

(内国晚種綿出品申告書) 新治郡西田中村某

半 一冊 四三三

(実綿出品申告書)

半 一綴 四三三

繭申告書

半 一綴 四三四

紅茶

紅茶及ヒ緑茶ノ輸出販売再製箱詰運搬等取扱規
則 三井物産会社 明治

半 一冊 八三二

学事・兵事

学事

学校資本金他

学校資本金寄附割合簿并取立簿 藤代宿 明治一四年二月ヨリ	半	一冊	四〇〇
(学資金御返金ニ付出張申進状) 戸長 飯田主作宛 明治一八年一二月	半	一通	五三三
学校資本金寄附割合屏簿 明治一九年三月	半	一冊	四〇一
中田小学校分諸上納金取調書(明治一九年カ)	半	一冊	四三九
明治二十年度教育費予算(明治一九年カ)	半	一冊	四〇六
藤代尋常小学校明治貳拾壹年度経費収支予算 藤代外七ヶ村戸長 茨城県知事宛 明治二〇年二月	半	一冊	四二六
藤代尋常小学校明治貳拾貳年度経費収支予算 藤代宿外七ヶ村戸長 茨城県知事宛 明治二二年一月	半	一冊	四二七
(相馬尋常小学校維持補助金ニ付議決書)(明治二四年九月カ)	半	一通	五九〇
学資金取調書 藤代宿	半	一冊	四二九
設立			
小学校御取設諸費取立帳 六小区戸長 明治五年一〇月ヨリ	半	一冊	四八六

(小学校設立費用見込申上書他) 明治五年一月	半	一冊	五四〇
小学校設立伺書 中谷原村 千葉県令宛 明治七年三月	半	一冊	四八八
官立学校設立御伺書 中内村 千葉県令宛 明治七年三月	半	一冊	四九〇
官立学校設立御伺書 菅生村 千葉県令宛 明治七年三月	半	一冊	四九一
小学校設立伺書 桑原村 千葉県令宛 明治七年七月	半	一冊	四八七
官立学校設立御伺書 高須村 千葉県令宛 明治七年八月	半	一冊	四八九
高等小学校設立之儀ニ付御指令下附之義上申相馬町長 茨城県知事宛 明治二五年八月	半	一通	五九九
建築			
学校新築積立 野々下忠次郎 戸長宛 明治二〇年二月	半	一冊	四一七
北相馬郡高等小学校舎建築仕様帳	半	一冊	四三二
藤代小学校新築ヲ望ム	半	一冊	四三三
(学校平面図)			
北相馬郡藤代宿尋常小学校新築費予算議案	半	六枚	五四三
(北相馬高等小学校舎払下処分規約書)	半	一綴	五七五
書籍器械			
書籍器械書上 酒詰村詰教小学校 千葉県令宛 明治七年三月	半	一冊	四九三
書籍器械書上帳 中谷原村中本小学校 千葉県令宛 明治七年三月	半	一冊	四九四
書籍器械書上帳 中谷原村中本小学校 千葉県令宛 明治七年三月	半	一冊	四九三

書籍器械書上帳 明治七年三月	中内村半九小学校 千葉県令宛	半	一冊	四〇九五	(小学校教授方并生徒教書上帳) 明治六年一〇月	半	二冊	四四三〇
書籍器械取調書上 明治七年三月	谷中村幽谷小学校 千葉県令宛	半	一冊	四〇九六	戸数人員就学不就学取調書上帳 七年三月	半	二冊	四四三〇
書籍器械書上帳 明治七年三月	高須村高須小学校 明治七年三月	半	一冊	四〇九七	(人員取調書上帳) 明治七年三月	半	一綴	四四三三
(里仁小学校用図并同札請取覽) 千葉県令宛 明治七年五月	取手宿立会人	半	一冊	五七三	人員取調書上帳 小文間村 明治七年三月	半	一冊	四四三三
(巡回中各学校図面無之ニ付御図ら願狀) 田金貞吉 千葉師範学校宛 明治七年五月	田金貞吉	半	一通	七七六	(就学人員取調帳) 明治七年三月	半	一綴	四四三六
(各小区小学教科書代価差出ニ付達) 千葉県学務掛 五小区長宛 明治七年六月	千葉県学務掛	半	一通	七七八	第八番小学中谷原校就学人員取調帳 中谷原村教師 区長宛 明治七年三月	横長半	一冊	四四三七
(書籍壳渡ニ付代価等上納識書案紙) 五小区副戸長 区長宛 明治七年八月	五小区副戸長	半	一冊	四四九	明治廿年度各教員受持学級生徒数及大小試業及第者 (明治二〇年)	半	一枚	四四〇八
区内学校書籍渡方帳 五小区長 明治七年八月	五小区長	半	一冊	四四九	戸数人員并六才ヨリ十三才迄就学人取調帳 五小区長	半	一冊	四四二九
(各図受取証) 取手駅里仁小学校 千葉県令宛 明治七年	取手駅里仁小学校	半	一通	五八七	(人員取調書上帳) 巡視	半	一冊	四四三四
(公立学校所有品取調書) 学校世話役 茨城県令宛 明治一二年一月	学校世話役	半	一通	五〇五	(千葉県田辺中属学校巡視ニ付通達回章) 五小区長・学区取締 桐木外五カ村役員宛 明治七年五月	半	一通	五三〇〇
教科書買入級別及人員 藤代尋常小学校 明治二一年八月	藤代尋常小学校	半	一通	五六一	(千葉県田辺中属学校巡視ニ付持廻書) 五小区長・学区取締 片町外五カ村役員宛 明治七年五月	半	一通	七五〇
(学校器械受取証) 六鄉村役場 北相馬町役場宛 明治二二年九月	六鄉村役場	半	一通	五六一	教員	半	三冊	四四〇二
書籍寄附報告 相馬尋常小学校 相馬町長宛 明治二五年七月	相馬尋常小学校	半	一通	五〇六	小学校教員御試験願 山王村 千葉県令宛 明治七年八月	半	一冊	五九二
(学務掛書籍通送賃繰替分割賦払願狀) 六小区長 五・六小区長宛 七月	六小区長	半	一綴	五九二	明治十二年給費総斗表調 宮和田学校世話役 千葉県令宛 明治一三年一月	半	一冊	五三三
人員取調	人員取調	半	一冊	五三三	教員雇入御願 宮和田学校世話役 郡長宛 明治一三年三月	半	一冊	五三三

(履歴書) 小谷野鉄五郎 明治二〇年八月	半	一通	四二〇	履歴書 栄羽内 明治二五年七月	半	一冊	五五三
(履歴書) 今関才一朗 明治二〇年一〇月	半	一通	四二二	履歴書 松崎安蔵 明治二五年七月	半	二冊	五五五
訓導助手欠勤調 藤代小学校訓導 戸長宛 明治二二年一月	半	一冊	四〇九	椎名俊五郎履歴書 山王村 千葉県令宛	半	三冊	四三三 四三七
(勉勵賜金具申書) 藤代外七ヶ村戸長 郡長代理宛 明治二二年一月	半	一冊	四三三	教員名簿 五小区	半	一冊	四三六
(賞与御受書) 藤代尋常小学校在勤備員小谷鉄五郎 郡長宛 明治二二年二月		一通	五五三	試験			
(賞与受取記) 藤代尋常小学校備員高吉安蔵 郡長宛 明治二二年二月		一通	五五九	(本年度定期試験扣集所ニ付回達書) 学区取締 宮和田小学校外七ヶ村教員・世話役宛 明治一二年三月	半	一冊	五五三
(藤代尋常小学校校僕請書并校僕便役権限心得) 小池利三郎 藤代外七ヶ村戸長宛 明治二二年五月	半	一冊	五〇五	(小試業施行ニ付臨席願書) 藤代尋常小学校 戸長宛 明治二二年三月		一通	五五九
欠席届 酒井寅造 藤代外七ヶ村戸長役場宛 明治二二年五月		一通	五五九	(前定期試験御立会願状) 宮和田小学校 戸長宛		一通	五五九
欠席届 藤代尋常小学校雇柴羽内 戸長宛 明治二二年九月		一通	五五九	授業料			
(欠勤届書) 酒井寅造 戸長宛 明治二二年九月		一通	五五九	授業料収入簿 藤代外七ヶ村戸長役場 明治二二年一月ヨリ	半	一冊	四二四
(月俸ノ内下渡願状) 酒井寅造 戸長宛 明治二二年一〇月		一通	七六二	授業料未納人名書抜簿 相馬町役場 明治二二年一月一三三七年七月	半	一冊	四二五
(出張御届) 藤代尋常小学校訓導酒井寅造 戸長宛 明治二二年三月		一通	七六六	明治二十一年度授業料徴収簿 藤代宿外七ヶ村戸長役場 (明治二二年)	美	一冊	四二三
(月俸給与御受書) 茨城県小学校訓導酒井寅造 茨城県知事宛 明治二二年六月		一通	五九六	明治二十一年度授業料収入日計 (明治二二年) 自一月至三月三ヶ月分未納調	美	一冊	四二三
(教員出会出頭并帰任御届) 相馬尋常小学校訓導 酒井寅造 相馬町長宛 明治二二年一〇月		一綴	五九七	その他	横美半	一冊	四三〇
履歴書 沼崎熊吉 明治二四年四月	半	一綴	五三七	(宮和田小学校へ乱暴一件口上書并歎願書) 明治六年七月一八月	半	一冊	五五五
				(学校之儀不快ニ付出頭御断状) 三枝守文 戸長宛 明治七年三月		一通	五五九

(學校取締方法等ニ付小区集會會議廻章) 区長 戸長六人宛 明治七年七月	半	一冊	五九六	(徵兵慰勞献金可否伺書) 宮和田小学校長 戸長 宛 一二月	一通	七二〇
宮和田學校世話役免役願 綿貫弥十郎 郡長宛 明治一三年六月	半	一綴	五五三	(寺主休校申出ニ付申入狀) 學校長 戸長宛 一 月	一通	七九八
(小学校区域幅員取調通達他) 郡役所學務係 戸 長宛 明治一四年七月	半	一綴	五四五	○		
(宮和田小学校分卒業用紙外受取証) 藤代聯合 戸長 郡長宛 明治一九年一月		一通	五七四	学区取締染野晉書狀(学区積金督促) 区長飯田主作 宛 明治七年八月	一通	七三八
(學校書類綴) 明治一九一二年六月	半	一綴	五五五	染野晉書狀 飯田主作宛 明治一〇年一月	一通	八〇〇
体操場生徒心得 藤代尋常小学校 明治二〇年三 月		一通	五二	(小学校屋根葺換ニ付家借受照會狀) 宮和田村 學務委員大沢幸藏 藤代村學務委員飯田宛 明治一 五年四月	一通	六九〇
文部大臣九州巡回中郡區長ノ責任ニ屬スル教育 事業ニ付其演述ノ趣旨大意 隨行員等記 明治二 〇年	半	一冊	四〇五	宮和田村酒井寅造書狀 飯田主作宛 明治一五年 一月	一通	六四五
(御鑑督トシテ御臨校願書) 藤代尋常小学校訓導 戸長宛 明治二一年一月	半	一綴	五九四	三枝守文書狀(學校伺文ニ付) 五小区長飯田主作宛 六月	一通	四四四
(農繁ニ付農事為手云欠席御届書) 小浮氣村長 塚幸之助 藤代尋常小学校宛 明治二二年六月		一通	五九六	染野晉書狀(育兒集金、學校組合、不足金取立) 戸 長梶木村寺田權右工門 飯田主作宛 九月	一通	六〇一
(修繕願上申書) 藤代尋常小学校訓導 相馬町長 宛 明治二二年六月		一通	六六五	染野晉書狀 飯田主作宛 一二月	一通	六〇七
(明治十八年度學務委員職務取扱費受取証) 太 田秀海 元戸長宛 明治二二年九月		一通	五九六	区長染野晉書狀(育兒集金見込ニ付) 戸長飯田主作 宛 九月	一通	六三〇
(紀元節ニ付神武天皇遙拜式御案内狀) 相馬尋 常小学校 相馬町長宛 明治二三年一月		一通	五九七	宮和田村酒井寅造書狀 飯田主作宛 九月	一通	六八二
(申請書御調印願狀) 酒井寅造 學務委員宛 四 月		一通	五九三	寅造書狀 飯田哲翁宛 一〇月	一通	六四九
(教場狹隘ニ付上申書) 學校長 戸長宛 一二月		一通	五九六	寅造書狀 飯田主作宛 七月	一通	七〇四
				酒井虎造書狀(疵見舞) 戸長飯田主作宛 四月	一通	七〇五
				學校長酒井寅造書狀(學力証明試驗合格) 飯田主作宛	一通	七三六

兵 事

徴兵

(御布達写并廻状)(各兵隊等エ在役ノ者連名簿)	半	一冊	七六
飯田主作 片町他五カ村副戸長宛 明治六年一月			
(千葉県庁布達回章)(牛馬員数取調・免役連名簿)	半	一冊	七三
五小区長 片町他五カ村副戸長宛 明治六年二月			
(徴兵ニ付達書他) (明治六年カ)	半	一冊	五四
(徴兵取調出張ニ付達書回状) 代戸長 戸長五人宛 明治七年八月	半	一冊	五二
(明年徴兵年齢相当ニ付御届書) 五小区扱所宛 明治七年一月	半	一冊	三六
(藤代宿谷中村本年二十歳相成候者届書) 明治一二年二月	半	一冊	五
(徴兵適齡人寄留先ヨリ家出ニ付届書) 市村治平 明治一四年		一綴	五五
茨城県徴兵慰勞義会々員名簿 藤代宿外七ヶ村戸長役場 明治一四年一月		合一冊	五
茨城県徴兵慰勞義会々員名簿 宮和田村 明治一四年二月	半		
茨城県徴兵慰勞会達綴 北相馬郡委員 明治一四年一月ヨリ	半	一冊	五
徴兵慰勞義損金徴収簿 藤代宿戸長役場 明治一四年三月起	横長半	一冊	六
茨城県徴兵慰勞義損金収納台帳 藤代宿聯合委員 明治二〇年三月一—二六年三月	半	一冊	六
嘉永二酉年同三亥年迄徴兵取調下書 藤代村	半	一冊	二〇五

茨城県徴兵慰勞義会員連名 押切村
第五大区高刻徴兵調 一月

国民軍

(国民軍取調差出ニ付選章) 五小区戸長 宮和田宿外三カ村同係宛 明治六年一〇月	半	一通	七三
(国民軍取調書簿急速取調ニ付廻状) 五小区長 中谷原外二カ村係宛 明治六年一〇月	半	一通	七六
(藤代宿外三ヶ村国民軍人員表) 藤代他三カ村聯合戸長 郡長宛 明治一二年八月	半	一冊	五
(小浮気村成丁簿) 明治一二年八月	美	一冊	四七
国民軍死亡御届 戸長 郡長宛 明治一三年二月	半	一通	五三
(国民軍相当之者異動取調届書) 藤代宿外三ヶ村聯合戸長 茨城県令宛 明治一四年二月—一五年七月	半	一冊	七
(後備軍兵卒点呼ニ付請書取纏依頼書) 取手駅外二ヶ村戸長 藤代宿戸長宛 明治一四年八月	美	一通	五五
(成丁簿)	美	三冊	四六
(成丁簿用箋)	美	一綴	四六
召集令状領収証 町長宛	美	一綴	五五

社 寺

天王社

仁王門諸勘定帳 藤代宿世話人中 寛政五年四月	横半半	一冊	四〇二
(牛頭天王社祭礼氏子出入ニ付濟口証文之通納得祭礼相勤為取替証文) 宮和田村役人・片町村氏子惣代・惣商人惣代 藤代宿惣代氏子・役人宛 寛政七年六月		一通	四九三
牛頭天王上家仁王門修覆積金帳 藤代宿 嘉永三年首冬	美	一冊	三九三
牛頭天王仁王門寄進帳 願主・世話人 嘉永四年四月	半	一冊	三九三
牛頭天王仁王門寄進帳 願主・世話人 嘉永四年四月	美	一冊	三九四
(鎮守牛頭天王宮之御祭礼ニ付若者一同取締取極申規定書) 藤代宿世話人・若者頭 慶応二年一月		一通	五〇三
天王御遷宮時併帳 慶応三年九月	横長半	一冊	三九三
鎮守天王御遷宮入用寄進帳 慶応三年九月	横長半	一冊	三九三
天王御遷宮取調帳 慶応三年九月	横長半	一冊	三九四
御遷宮ニ付近村寄配重覚帳 慶応三年九月	横長半	一冊	三九五
御遷宮諸掛帳 世話人 慶応三年九月	横長半	一冊	三九六
(天王社修覆金借用証文) 藤代村忠右衛門他六人惣氏子中宛 亥年一二月		一通	四〇一

(天王社修覆金借用証文) 借主佐右衛門 惣氏子中宛 亥年一二月		一通	四九三
(天王社修覆金借用証文) 借主金右衛門 惣氏子中宛 亥年一二月		一通	四九三
天王宮御修覆寄附帳 津島御師 藤代宿御旦家衆中宛 一〇月	横長半	一冊	四〇五
(高藏寺境内天王社再建願書) 藤代村高藏寺 寺社役所宛		一通	七〇二
(天王祭礼此年々相勤候様御届書) 藤代村役人		一通	七〇三
高藏寺			
(高藏寺他行ニ付御届書) 藤代村役人 寺社方役所宛 文化元年五月		一通	四九二
(北方村如来寺高藏寺名主式人相手取藤代宿高藏寺後住ニ付出入濟口証文) 訴詔人・相手・扱人 文化元年一〇月		一通	四九二
(高藏寺後住北方村如来寺仮名泰音実名秀道仰付願書) 高藏寺 神田弥右衛門宛 文化元年一二月		一通	四九二
(高藏寺住職身分引請一札) 中谷原村仏性寺 藤代村役人・旦那宛 嘉永元年四月		一通	七九三
(高藏寺絵図書上覚) 藤代宿役人 印旛県役所宛 明治五年四月		一通	四九五
(元高藏寺領下願書) 住職・其宗惣代 千葉県令宛 明治六年一二月		一綴	四〇三
(高藏寺住職弟子榮羽内方同居御届) 高藏寺住職弟子・引請人 明治七年六月		一冊	五五五
田畑山林書上(高藏寺) 住職 明治七年七月	半	二冊	三七〇 三七三

(高藏寺分反別帳下書并反畑山林書上) 住職 明治七年七月	半	一冊	七六七	浅現様七番当諸掛リ帳 嘉永七年五月	横長半	一冊	四三六
高藏寺現今境内坪数立木数取調書上 藤代駅 千葉県令宛 (明治七年一〇月カ)	半	一冊	四〇七	仙元様米集メ帳 横町 文久四年六月	横長半	一冊	四三九
(高藏寺祈入之姓名帳) 明治一〇年三月	横長半	一冊	五九三	仙元様米集メ帳 下町 文久四年六月	横長半	一冊	四四〇
(高藏寺寺役ニ付答書) 中内村明光寺 松塚東福 寺宛 子年一〇月	半	一通	八〇元	(仙元様米集メ帳) 中の町 文久四年六月	横長半	一冊	四四二
(高藏寺奉加請取帳)	横長半	一冊	三九七	浅間様御祭諸掛帳 沓番当組 元治元年五月	横長半	一冊	三九二
高藏寺田畑取調帳	半	一冊	四六三	琴平神社			
(寺役且用高藏寺本寺松塚村東福寺へ差掲候ニ 付相頼候次第御尋ニ付申上書) 藤代村組頭		一通	四九六	土浦中城町琴平神社誓神講連名簿 丙四七四号	半	一冊	四〇二
(高藏寺境内絵図)		一枚	四九四	世話人			
相馬郡北方村如来寺へ藤代宿両名主相手取師範 介抱并住職江差障候出入一件返答書	半	一冊	五〇六	土浦中城町琴平神社誓神講連名簿 丙四七六号	半	一冊	四〇四
(院代御届書) 高藏寺 寺社役所宛		一通	七五五	世話人			
地蔵尊				土浦中城町琴平神社誓神講連名簿 丙四七七号	半	一冊	四〇五
(例年地蔵尊法会諸受記) 明治一四・一五・一七 年	横長半	一冊	四〇八	勸化			
(地蔵尊法会諸事記簿) 明治二〇年八月	横長半	一冊	四〇六	高竜寺客殿修覆奉加刻帳 藤代・片町・米田村 安永七年九月	横長半	一冊	三九六
地蔵会諸事扣 明治二〇年八月	横長半	一冊	四〇七	御祓配里帳(藤代宿分) 十文字太夫内氣田正作 文 化四年二月	横長半	一冊	三九八
地蔵尊法会諸事記簿 甲三ッ矢町惣掛中 明治二 一年八月	横長半	一冊	四〇五	藤代宿御祓配帳 世話人 安政六年二月	横長半	一冊	三九九
地蔵尊法会諸参物諸抄方当座記 世わ方 明治二 二年八月	横長半	一冊	四〇四	(当五年分取締穀代料受納寛) 納所方田中平兵衛 藤代宿役人宛 元治二年一月	横長半	一通	七六九
				聖観世音永続日護摩連名記 竜ヶ崎東福山竜泉寺 慶応三年卯月	半	板一冊	三九五
				御祓宿内配札帳 飯田三左衛門 慶応三年一二月	横長半	一冊	三九七

伊勢兩宮正遷宮御寄附帳 藤代村兩組 明治二年
 二月 橫長半 一冊 三三六
 書院再建寄附連名帳 金仙寺 飯田三左衛門・寺
 田膳左衛門 明治三年閏一〇月 橫長半 一冊 三三六
 勸化金姓名簿 十文字太夫 明治四年一〇月 半 一冊 三三三
 出雲大社村々配符集金帳 五小区長 明治六年一
 二月 半 一冊 三三三
 (出雲大社初穂料持場配分差上覚) 小文間村戸
 長 藤代宿戸長宛 明治六年一二月 一綴 七九六
 (梅宮神社御初穂御説諭申状) 五小区長 戸長
 六人宛 明治七年六月 半 一冊 五〇九
 富士大神社并八坂神社前殿造営願 氏子惣代
 明治一一年三月 半 一冊 四〇三
 御鎔入費帳 海老原惣五郎他 明治一三年一二月 橫長半 一冊 四〇六
 (院再建寄附金受納覚) 信州善光寺宿坊徳寿院
 飯田三左衛門御宿内衆中宛 亥年三月 一通 四七六
 (当末年取締穀代料受納覚) 一月寺役僧 藤代村
 役人宛 辛未年三月 一通 四〇〇
 (本所五国羅漢寺御免勸化寄進受取覚) 寺役人
 藤代宿役人宛 申年九月 一通 五二〇
 (大峯山御札料受取覚) 宮和田宿組頭 藤代宿名
 主宛 丑年一〇月 一通 七〇〇
 (愛宕権現再建勸化役僧巡行ニ付達書) 月番
 藤代外五方村役人宛 亥年四月 一通 七二四
 (当巳年分取締穀代料受納覚) 一月寺役僧 藤代
 宿役人宛 巳年一月 一通 七六六
 (延命寺神登山勸金請取覚) 岡村又左衛門 藤代
 宿役人宛 丑年四月 一通 七五八

(配札金子神納覚) 江戸山王樹下近江守役人 西
 年九月 一通 七五八
 (下総国千葉寺配札役僧巡行ニ付急廻状) 関東
 御取締出役 四年一〇月 一通 七六二
 (御初穂料等覚書) 三左衛門他 辰年一〇月 一通 七九三
 (愛宕山教学院御初穂料落手覚) 学院役人 一月 一通 五〇九
 (御初穂料受取記) 出雲配布方宛 一・一二月 一通 七七一
 (奉加金覚) 一月 一通 七四四
 (藤代宿八坂社大祓式執行通達) 神務所 五・
 六旧小区役場宛 六月 一通 七四三
 小御門神社造営同志姓名録 同上社務所 半 刊 一冊 四〇〇
 清安山不動尊開帳御供米附 橫長半 一冊 四〇九
 六月三十日大祓式入費割合 六小区頭頭代戸長 橫長半 一冊 四〇三
 藤代外村々御同寮宛 半 一冊 五二三
 (稻荷大明神奉加帳) 一枚 七二〇
 (京都誓願寺大勸進所印鑑) 御一新
 御一新ニ付神職一条集会 明治二年二月 橫長半 一冊 三六三
 (寺院姓名書上認振不備ニ付信樂寺江出張願持
 廻状) 六小区戸長頭取代 宮和田他九方村役人・
 寺院宛 明治五年一〇月 一通 七五三
 (毛有村堰本小沼化区内神事世話役申付達書)
 郷社神務所 六小区戸長頭取宛 明治六年六月 一通 七四四
 (神宮出課ニ付通知状) 中教院 大手繪彦宛 明
 治七年六月 半 一綴 七六六

神社出賃之議ニ付御詞 山王村戸長 千葉縣警保掛木下御取締所宛 明治七年七月	半	一冊	四三三	(明治十二年前期寺院仏堂并住職・神社并神官員数表雛形) 藤代他三ヶ村戸長役場 人民惣代宛 明治一二年八月	半	一冊	四三三
(出貨不相成向御認御調印願書) 大手総彦 区長宛六月		一通	七二四	(社寺調通送願書) 戸長羽田藤井 藤代駅戸長役場宛 明治一二年九月		一通	七二五
王政御一新ニ付浄土真宗宗意之教導申立之事		一通	四九五	神社明細取調書 藤代駅	半	一冊	四三三
社寺取調				境内取調			
社寺高人別取調書上帳 藤代村 社役所宛 明治二年五月	半	二冊	二〇五 二〇七	(境内立木取調書) 藤代宿 印旛県社寺取調掛宛 明治五年一〇月	半	一冊	三六三
(村々鎮守氏子家数取調ニ付回達) 戸籍掛 明治五年三月		一通	七〇四	(社寺現今境内竹木取調書持参還文) 五小区長代 片町他八ヶ村役人他宛 明治六年九月		一通	七五三
社寺堂庵屋敷地字御尋ニ付書上 配松村 戸長他宛 明治五年四月	半	一冊	四〇一	仏性寺現今境内竹木坪数取調書 中谷原村 千葉縣令宛 明治七年四月	半	一冊	四〇四
社寺堂庵屋敷書上 神住村 戸長他宛 明治五年四月	半	一冊	四〇三	久米寺現今境内竹木坪数取調帳 米田村 千葉縣令宛 明治七年四月	半	一冊	四〇六
社寺堂庵屋敷數字書上 小浮気村 戸長他宛 明治五年四月	半	一冊	四〇五	天神社現今境内坪数木数取調書上帳 長兵衛新田 明治七年五月	半	二冊	三六三 三六五
社寺堂庵屋敷地字御尋ニ付書上 谷中村 戸長他宛 明治五年四月	半	一冊	四〇六	熊野天神社現今境内坪数木数取調書 宮和田村 千葉縣令宛 明治七年六月	半	一冊	三六五
社寺堂庵屋敷數字書上 中内村 戸長他宛 明治五年五月	半	一冊	四〇四	現今境内坪数木数取調書(光明寺) 桑原村 千葉縣令宛 明治七年七月	半	二冊	三六四 三六六
社地現今実地取調書 藤代宿 印旛県役所宛 明治五年八月	半	二綴	五〇六 五二二	現今境内坪数并木数取調書(金山神社他) 桑原村 千葉縣令宛 明治七年七月	半	二冊	三六四 三六六
社寺取調書上帳 藤代宿 印旛県社寺御取調掛宛 明治五年一〇月	半	一冊	三九五	現今境内坪数木数取調書(阿弥陀堂大日堂観音堂他) 桑原村 千葉縣令宛 明治七年七月	半	二冊	三六九 三七一
現今社地取調書上帳 青柳村 明治七年九月	半	二冊	三六五 三六七	寺現今境内竹木取調書上帳(本願寺) 青柳村 明治七年七月	半	二冊	三六〇 三六二

現今境内坪数并木数取調書〔淺間社他〕 千葉県令宛 明治七年七月	小文間村	半	二冊	四〇六
現今境内坪数并木数取調書〔觀音堂他〕 千葉県令宛 明治七年七月	小文間村	半	二冊	四〇七
〔現今境内坪数并木数取調書〕〔熊野神社他〕 須外五カ村 明治七年七月	高	半	一冊	四〇五
鹿嶋神社境内現今坪数竹木書上 年八月	小泉村 明治七	半	一冊	四〇〇
来応寺現今境内坪数并竹木取調書 県令宛 明治七年八月	小泉村 千葉	半	二冊	四〇三
富士大神現今境内坪数立木数取調書 千葉県令宛 明治七年一〇月	藤代駅	半	一冊	四〇六
八坂神社現今境内坪数立木数取調書 千葉県令宛 明治七年一〇月	藤代駅	半	一冊	四〇二
社地現今境内坪数竹木取調書 年	洪沼村 (明治七	半	一冊	三九五
現今境内取調書上帳〔觀音堂他〕 年カ)	青柳村 (明治七	半	三冊	三九七
〔社寺現今境内取調書上認直ニ付出張願遞文〕 区長代 片町他四カ村係宛 九月	一綴	半	一綴	七二一
稻荷八幡兩社現今境内木数積調帳 中谷原村	一冊	半	一冊	四〇九
廃跡				
廃寺院石高并神社数并祭田其外取調帳 社寺役所宛 明治二年一月	藤代村	半	一冊	三九四
〔小浮氣村舎那院取調ニ付出張願書〕 戸籍掛 小浮氣村里正宛 明治五年一月	二十三区	半	一通	七五七
大日廃堂跡地所願写 六年二月	藤代宿 千葉県令宛 明治	半	一冊	三九五

〔社地上知御払下入札至急持参持廻状〕 長 神住外五カ村役人宛 明治六年二月	五小区	半	一綴	七六四
廃寺合併寺取調書上帳 明治七年三月	長兵衛新田 千葉県令宛	半	二冊	四〇五
廃寺合併寺取調書上帳 明治七年三月	桑原村 千葉県令宛 明	半	二冊	四〇五
廃寺合併取調書上 明治七年三月	小泉村 明治七年三月	半	二冊	四〇六
廃寺合併寺取調書上 明治七年三月	小文間村 明治七年三月	半	一冊	四〇六
大日廃堂跡地所御差紙ニ付御伺書 葉県令宛 明治七年四月	藤代宿 千	半	一冊	三九六
〔廃寺合併相成候跡地并持添田畑反別絵図面取 調差出達書〕 千葉県令 五小区長宛 明治七年四	月	半	一綴	七五四
〔社堂廃跡下ヶ渡ニ付達書〕 戸長宛 明治二〇年三月	土浦支庁 小浮氣村	半	一通	五四四
〔廃寺舎那院境内売渡証書〕 年五月	小浮氣村 明治一〇	半	一冊	五四五
詭欺ニ罹リ錯誤シタル契納取消之訴状〔小浮氣村 舎那院境内開墾地ニ付原告小川与吉被告桜井庄平 次ニ係ル一件〕 土浦町小川与吉 明治一三年七月	明治一三年七月	半	一冊	四三七
裁判計度書〔旧舎那院廢跡地ニ付土浦町古谷治介ヨ リ木村格之助他ニ係ル一件〕 年九月	土浦裁判所 明治一三	半	一冊	四三三
裁判申渡書〔寺院廢跡地ニ付小浮氣村高野平三郎ヨ リ桜井喜惣治ニ係ル一件〕 五年三月	東京控訴裁判所 明治一	半	一冊	四三三

(鬼長村舟戸組薬師堂敷地先規之通組合拾人支配仰付願書) 惣兵衛他六人 御代官宛 巳年一〇月

社寺領上知分租税受取証 印旛県出納課 藤代宿宛 五月

(社寺上知永方上納ニ付回章) 六小区長 酒詰外二方村同役宛 五月

小作書上

上知田畑反別收入小作入附作徳取調帳(旧昌松寺) 井野村小作人稲葉瀬兵衛 千葉県令宛 明治七年

一冊 三三三

上知田畑反別收入小作入付作徳取調帳(旧薬師堂) 井野村小作人吉村角三郎 千葉県令宛 明治七年七月

一冊 三三三

上知田畑反別收入小作入付作徳米取調帳(旧薬師堂) 井野村小作人寺田伊兵衛 千葉県令宛 明治七年七月

一冊 三三四

元朱印地旧長禅寺領小作人書上帳 大鹿村小作人麻山綱元 千葉県令宛 明治七年

一冊 三三〇

元朱印地弘経寺領小作人書上帳 大鹿村弘沢桂蔵 千葉県令宛 明治七年

一冊 三三三

複飾・戸籍

復飾願ニ付御役人様御礼名前所付帳 明治二年三月

一冊 三三三

僧侶入籍御届 藤代駅 千葉県令宛 明治七年六月

一冊 三六四

族籍御届(桐木村浄土宗庄嚴寺住職) 寺田泰瑞 千葉県令宛 明治七年六月

一冊 七六六

(元朱印地神職農籍編入御達書) 元葛飾県庁 二月

一通 四七七

(潮音・全海帰籍ニ付御記載願記) 扱所 旧副戸長宛 一〇月

説教御届

教導調書 大鹿村浄土宗弘経寺住職 千葉県令宛 明治七年四月

一冊 四〇七

教導調書 大鹿村禅臨濟宗長禅寺住職 千葉県令宛 明治七年四月

一冊 四〇六

説教定日届書 立木村蛟蛸神社祠官 千葉県令宛 明治七年五月

一冊 二九三

教導調書 井野村真言宗普門院末常円寺住職 千葉県令宛 明治七年五月

二冊 四〇三

教導調書 取手駅浄土宗念仏院住職 千葉県令宛 明治七年五月

二冊 四〇三

教導調書 吉田村浄土宗本泉寺住職 千葉県令宛 明治七年五月

一冊 四〇六

教導調書 井野村真言宗昌松寺住職 千葉県令宛 明治七年五月

一冊 四〇九

教導調書 井野村真言宗普門院住職 千葉県令宛 明治七年五月

一冊 四〇〇

説教御届 桐木村浄土宗庄嚴寺住職 明治七年六月

一冊 三三五

説教御届 中谷原村新義真言宗弘性寺住職 明治七年六月

二冊 三三六

説教御届 米田村日蓮宗照谷寺住職 千葉県令宛 明治七年六月

二冊 三三七

(説教御届) 米田村禅宗久光寺住職 明治七年六月

二冊 三三〇

説教御届 宮和田駅浄土宗信楽寺住職 明治七年六月

一冊 三三二

教職拜命并説教定日書上 永寺住職 明治七年六月	小文間村新義真言宗福	半	一冊	四〇〇	(聖徳寺娘坂手村阿弥陀寺坊守ニ縁段取組候所 破談一件願書并返答書) 安永二年五月六月	一通	七五七
説教取調 酒詰村真言宗長福寺住職 明治七年七月	美	二冊	四〇五	(福崎村観明寺の福田村明徳寺并同村助左衛門 江懸葬礼跡清め被請不申一件御差紙ニ付御返答 書) 福田村明徳寺 何様宛 安永二年七月	一通	四九六	
説教取調 中内村真言宗明光寺無住ニ付兼務 明治七年七月	美	二冊	四〇六	(成瀬村鎮主祭礼座席ニ付不法一件書付) 成瀬 村喜右衛門他 堀越文七外宛 天明元年九月	一綴	七六三	
教職許命説教定日書上 藤代村真言宗高藏寺住職 明治七年七月	半	一冊	四四二	(鬼長村浄土真宗聖徳寺の同村名主助十郎江相 懸り所持之年貢地不足之様相見候出入一件熟談 御下ケ願書) 訴詔人・相手・扱人 御奉行所宛 寛政三年十二月	一通	四六二	
(社寺説教所調催促状) 区長 戸長四人宛 明治七年七月	半	一冊	五三九	(金藏院東光院両寺今并新田庚申供養ニ付濟口 証文) 両院・今并新田役人・扱人 文化八年三月	一通	四六六	
戸長間根山石之助書状(説教場取調等催促ニ付恐 縮) 区長飯田主作宛 五月	半	一通	六〇七	(諸願届帳) 嘉永七 安政二年	合一冊	四六六	
説教御届 山王村浄土宗金仙寺住職	半	一冊	三九六	1(藤代村新田念仏寮盗難一件書付留帳) 嘉 永七年	一冊		
神宮				2(藤代村大日堂儀支配ニ付伺書留) 嘉永七 年	一冊		
(皇太神宮太麻立木拝納者御出ニ付廻章) 六小 区戸長 中内・神住村副戸長宛 明治五年九月		一通	七六六	3(榎伐木願・念仏寮支配届他書留) 安政二 年	一冊		
(皇大神宮御玉串頒布ニ付廻状) 藤代外三ヶ村戸 長 同上人民惣代宛 明治一二年二月		一通	七五五	(鬼長村組頭丹治の同組下百姓九郎右衛門相手 取墓所差障出入差紙ニ付御答書)	一通	四八四	
(旧御師名義大麻頒布差押通知写) 神宮第三本 部庶務課 明治一九年二月	半	一通	五四八	その他			
神宮司庁達(森重兵衛外鳥居献備聞届之處取消ニ付 通知) 神宮教管長 各本部宛 明治一九年一月	半	一通	五四七				
(大麻頒布係委任ニ付御届書) 神宮第三本部大麻 頒布係 郡長宛 明治一九年二月		一通	七六三				
神武遙拝							
神武天皇様御遙拝入用帳 明治四年三月	横長半	一冊	三九〇	(鬼長村聖徳寺盜賊押込被盜候ニ付寺社役所宛 品届書加判届) 鬼長村役人 赤塚伊左衛門宛 天 明八年一月	一通	四七五	
人武天皇様遙拝記 藤代駅 明治七年四月	横長半	一冊	四〇七				

(鬼長村聖徳寺強党押込ニ付御届書) 聖徳寺 寺社役所宛 天明八年一月	横美半	一通 四七五	家	一通 四七五
虚無僧拾九ヶ寺御条目相定事 鬼長村宗左衛門 享和三年六月号	横美半	一冊 三	家	一冊 三
(大徳寺胎藏院次男貞吉引取一札) 生板村大惣 代・大徳村役人惣代 藤代・宮和田宿大惣代宛 嘉 永六年八月		一通 四七四	家	一通 四七四
(胎藏院次男貞吉御預ケ金請取書) 大徳村役人 惣代 藤代・宮和田宿大惣代宛 嘉永六年八月		一通 四七五	家	一通 四七五
大日堂焼失ニ付諸入用帳 万延二年二月	横長半	一冊 三〇〇	家	一冊 三〇〇
御祭礼附留 文久二年六月	横長半	一冊 四〇五	家	一冊 四〇五
社寺領現収納去ル子地ヨリ已迄六ヶ年平均取 調帳 大麻村麻生与平 明治四年一月	半	一冊 一九九	家	一冊 一九九
田畑山林書上 小文間村真言宗福永寺・大聖寺住職 明治七年七月	半	一冊 四二六	家	一冊 四二六
(檀家・社氏・子総代当撰御届) 大字宮和田・平 野惣代 相馬町長宛 明治二四―二五年	半	一冊 五五三	家	一冊 五五三
(村香銭覚)(本郷隠居不幸) 卯年四月	横長半	一冊 五九六	家	一冊 五九六
御薬師和焚 古山幹 一〇月	半	一冊 四〇二	家	一冊 四〇二
指出書立覚		一通 四九四	家	一通 四九四
(藤代駅鎮座村社富士大神明細下書)	半	一冊 五〇〇	家	一冊 五〇〇
(本堂他葺替等手間覚)		一通 七〇元	家	一通 七〇元
(藤代宿熊野様御神輿人数荷物覚)		一通 七三三	家	一通 七三三
(神武天皇御陵御修補ニ付一位宗旨頂戴御達) 調儀参預り御用一橋中納言他		一通 七〇四	家	一通 七〇四
(藤代鎮守富士大神当番他改正之件案)		一綴 五五	家	一綴 五五
家	相統	一通 七〇四	家	一通 七〇四
家	相統	一通 七〇四	家	一通 七〇四
(飯田三左衛門名跡長五郎相統ニ付差支申儀無 御座旨一札) 宮本惣右衛門 和田伊平治宛 安永 五年二月	横長半	一冊 五八五	家	一冊 五八五
(御本陣并帶刀御免等由緒書上) (文化五年以降) 根新田嘉左衛門漢式名所相統人要助書付 清右 衛門 藤代村名主宛 文化八年二月	横長半	一通 六八五	家	一通 六八五
讓狀願一札 藤代宿伊平治母 須賀村親類作右衛門 宛 文化一三年三月		一通 四九六	家	一通 四九六
(大晦日迄貸借無之旨為取替申証文) 藤代宿喜 代作事改飯田三右衛門 同宿横町和田伊平治宛 天 保三年二月		二通 四九七	家	二通 四九七
(大晦日迄滞無之旨為取替証文) 藤代横町伊平 治 書作改飯田三左衛門宛 天保三年二月		一通 四八六	家	一通 四八六
(別家取立ニ付為取替議定証文) 藤代村文蔵他 伊平治宛 天保五年一月		一通 四九四	家	一通 四九四
記録 飯田三左衛門庸信 嘉永三年九月	美	一冊 四三六	家	一冊 四三六
(改名御届) 飯田惣五郎 葛飾鼻役所宛 明治四年 四月	半	一通 七五	家	一通 七五
(飯田次郎履歴書) 明治一九年二月		一通 七六	家	一通 七六

復姓願書 飯田長吉・飯田啓次郎 郡長宛 明治二 五年十一月	半	一綴	五〇六
(復姓御届) 横瀬主作 郡長宛 明治二五年十一月	半	一綴	五四四
横瀬家財産目録 十三代庸康 明治三〇年二月	半	一冊	四三三
所得金高中告書 横瀬秀 宇都宮稅務管理局長宛 明治三三年四月	半	一冊	四三三
物品調帳 横瀬家 明治三四年二月	横半半	一冊	四三三
(北条氏政申状写) 由良六郎・同信濃守宛 一〇 月		一通	四〇六
藤代三左衛門容体書 石川玄園 植木周八・野口 五平次宛 八月		一通	四〇九
(鬼与作家出断り状) 幾代作 吉三郎宛 二四日		一通	七三三
横瀬家系譜	半	一冊	四三七
(飯田三左衛門家系図)		一卷	四九二
(御本陣并帶刀御免御付ニ付申上寛)		一通	七三三
日記		一通	七三三
留守中日記帳 天保一四年六月	横長半	一冊	三九七
(日誌) 明治三年五月	横長半	一冊	四九九
(日誌) 明治八年二月	横長半	一冊	四九六
(明治十年二月十三日ヨリ録日誌) 松寿軒 明 治一〇年二月一二年	横長美	一冊	四九五
(日誌) 明治一三年一月一十四年一月	横長美	一冊	四九四
諸進物取遣簿 飯田勝手 明治一五年一〇月一十六 年二月	横長半	一冊	三九三

明治十七年日誌 第五号 明治一七年一―二二月	横長半	一冊	四六六
家政日誌 松寿軒 明治一九年一―二二月	横長半	一冊	三九三
明治貳拾貳年家政日誌 横瀬氏 明治二二年二月	横長半	一冊	三九一
諸物品執遣簿 横瀬氏 明治三〇年一月起	横長半	一冊	三九四
(日誌) 明治三四年一―七月	半	一冊	三六四
(日誌断簡)	横長半	一冊	六六六
○			
代作日記帳 大坂高津南瓦屋町三丁目 文政七年一 月	横長半	一冊	五〇五
道中日記			
道中休泊帳 文化三年一月	9×13	一冊	三三七
道中日記帳 京都 文化三年三月	9×13	一冊	三七四
賃錢帳 土屋左内飯田三左衛門 文化七年三月	横半半	一冊	六七四
駄賃帳 飯田三左衛門 文化七年四月	横半半	一冊	三五二
大山参詣餞別帳 喜代作行 天保二年七月	横半半	一冊	四〇七
水戸道中日記帳 天保四年三月	横半半	一冊	三五〇
草津入湯留守中附留帳 天保四年七月	横長半	一冊	三六三
万之通 日光山中禪寺湯元板屋九兵衛 飯田代作宛 天保五年七月	横半半	一冊	三七三
草津道中日記覚帳 日下武之助・飯田三左衛門 天保九年七月	横長美	一冊	三五九
下野国阿ら湯迄道中日記帳 飯田三左衛門 天保 一〇年七月	横長半	一冊	三八三

出府日記帳 飯田三左衛門・五助・与助 弘化二年 一二月	横半半	一冊	三五六	(道中入用寛)	一通	七五五
出府日記帳 飯田三左衛門 弘化三年二月	横半半	一冊	三三七	(人足代銭寛) まる屋三四郎 おりう宛	一通	七五九
御祭リニ付水戸行道中記録 飯田三左衛門・母 嘉永三年四月	横半半	一冊	四〇六	学校	一通	七五〇
駄賃帳 吉五郎(飯田三左衛門) 嘉永六年六月	横長半	一冊	三三三	(下等小学第八級卒業免状) 官和田小学校 飯田秀太郎宛 明治二年三月	一通	七七〇
大山登山土産取遣之覚帳 飯田氏 安政六年七月	横半半	一冊	四〇七	(下等小学校第五級卒業免状) 官和田小学校 飯田秀太郎宛 明治三年十一月	一通	七七〇
旅費日記 第壹号 飯田主作 明治七年一〇月	横半半	一冊	三三〇	(小学下等四級卒業免状) 官和田小学校 飯田秀太郎宛 明治四年三月	一通	七六七
旅費日記 第貳号 飯田主作 明治七年十一月	横半半	一冊	三三七	(小学下等三級卒業免状) 官和田小学校 飯田秀太郎宛 明治四年九月	一通	七二一
万之通 君嶋屋伊左衛門 藤代村御老人様宛 亥年七月	横半半	一冊	三七六	(小学下等二級卒業免状) 官和田小学校 飯田秀太郎宛 明治五年三月	一通	七二〇
万之通 湯本村君嶋屋伊左衛門 藤代村御三人様宛 亥年七月	横半半	一冊	三七七	試験得点表 主験者 飯田秀太郎宛 明治一八年四月	一通	七〇二
万御通 四ぼん 上州草津中沢圭右衛門 下総御二人様宛 戌年七月	横半半	一冊	三七六	(前定期中等科一級試験優等賞状) 土浦東小学校 飯田秀太郎宛 明治一八年四月	一通	七〇四
道のあらまし 飯田氏 丁巳陽月	横半半	一冊	三九七	(初等中学科第七級卒業証書) 茨城第二中学校 飯田秀太郎宛 明治一八年二月	一通	七〇〇
かしま所々道中日記 飯田三左衛門 四月	横半半	一冊	三九七	(中等科第六級卒業証書) 茨城第二中学校 飯田秀太郎宛 明治一九年七月	一通	七〇三
日記扣 主作 二月	横半半	一冊	三九〇	(飯田庸節入学証) 飯田秀太郎 北相馬高等小学校 明治二二年八月	一通	五六八
大阪の讀岐迄道中日記 飯田代作	横半半	一冊	三三三	(飯田庸節卒業退学届) 飯田秀太郎 藤代尋常小学校宛 明治二二年八月	一通	五六九
道中記(日光道中)	横半半	一冊	三六八	(相馬尋常小学備申付辞令) 相馬町役場 飯田秀宛 明治二三年五月	一通	四七三
(道中入用寛)	横長半	一冊	五〇四			
(上方道中入用他寛)	横長半	一冊	五〇四			
(日光今市中町宿屋すみよしや利兵衛札)	板二枚	一通	七六〇			
(道中入用寛)	一通	七六八				

授業料領収証 町役場 横瀬庸雄宛 明治二八年

○筆記帳

理科控簿 飯田庸重〔北相馬郡高等学校三年〕 明治二〇年四月

小学校本邦万国地理之部 明治二〇年五月

諸算術控帳 第壹号 飯田庸愛〔北相馬郡高等学校〕 明治二〇年六月

諸算術控簿 第二号 飯田庸愛〔同右〕 明治二〇年八月

地理付地図 飯田次郎 明治二一年九月起

作文 横瀬庸男〔庸雄〕〔四年〕 明治二六年七月

讀書 横瀬庸雄〔四年〕 明治二六年七月

生理化学物理略記帳 横瀬氏〔高等生徒〕 明治二六年九月

作文草稿 横瀬庸隆〔独逸協会学校尋常中学第五級生〕 明治二七年五月起

高等理科筆記稿 卷之下 飯田次郎〔北相馬郡高等学校生員〕

〔数学筆記帳〕 飯田次郎〔茨城県尋常中学校第五級生徒〕

〔数学筆記帳〕

〔代数筆記帳〕 飯田庸重

〔幾何筆記帳〕

書籍

一通 五三三

横半半 一冊 四七一

横半半 一冊 四七六

半 一冊 四八二

半 一冊 四八三

美 一冊 四八六

半 一冊 四七三

半 一冊 四七四

横美半 一冊 四七九

半 一冊 四七三

半 一冊 四七五

半 一冊 四七六

半 一冊 四七七

半 一冊 四八〇

半 一冊 四八三

〔山口豆州牧石碑銘写〕 飯田有道・飯田竜米写 正保四年五月建碑

正風立花伝受起証文 吉村佐平次 飯田三左衛門宛 元文六年一月

落穂集 卷之一 延享元年江島後序

落穂集 卷之式一十

落穂集 卷之十一大尾 享保一三年大呂大道寺友山編

〔下総国相馬郡早尾村百姓富吉之父之敵討一件留書〕 安永二・天明三年

親王山土武者略縁起 〔安永六年カ〕

諸色割物帳 下井村山嶋武五郎 天明二年一月

御手本 岸おつう 文化三年

薩州分限銘々録〔江戸馬喰町二丁目森屋長兵衛殿カ備致写〕 〔文化四年六月〕

おん手本 ちう 文化四年仲夏

〔源義家歌碑拓本〕 正四位下駕茂具主季鷹 文政五年三月書

数術除乘式 飯田姓 文政七年二月

〔極秘本写〕 文政九年一月

〔回向院相撲番附〕〔版元三河屋治右衛門・同治三郎〕 高砂小良兵衛 藤城御本陣宛 文久二年二月

〔張札他〕 慶応四年

半 一冊 四九九

美 一通 四九四

美 一冊 四八三

美 九冊 四八四
一冊 四八六
一冊 四八八
一冊 四九〇

美 一冊 四九三

半 一冊 四九六

半 一通 四九五

横半半 一冊 四九七

美 一冊 四九六

横長半 一冊 四九四

美 一冊 四九六

横長半 一枚 四九二

横長半 一冊 四九六

半 一冊 四九五

板一枚 四九四

横半半 一冊 四九六

(ローマ字いろは)(前中欠)	東京上州屋金蔵梓	明治五年七月贈	板二枚	五八〇
(法学館政談演説会傍聴略報記)	明治一四年二月	半	一冊	五五〇
郡中懇信会報告 幹事大手組彦他八人	飯田主作		一通	五五四
宛	明治一五年五月		一綴	五九三
(近江屋宛金拾壹兩貸放火脅迫張紙)	(三月)	横長半	一冊	四二七
金銀諸相場除乘試		美	一冊	四六六
碁立秘書 全		半	一冊	四六九
西洋食料製造控		横長半	一冊	四二七
算法秘書 小嶋富士太郎		半	一冊	四四七
(図画教科書)		半	一冊	四四六
将碁啓蒙 飯田三左エ			一枚	四六四
(中峯和尚座右銘拓本)			一枚	四六九
(下毛足利学校聖像拓本)			一枚	四三六
(菅公御遺訓拓本)			一冊	四四九
水戸浪士之事		半	一綴	四六四
(葉書写)		半	一冊	四六五
椎茸製作方法概			一枚	四三三
(筑波山絵図)(上半分)			一通	四五六
(長州江差遣御内意書)			一通	四九三
(竜宮城よりの使女図)			一冊	五三三
(関東軍記物語)				
(算法書)		半	一冊	五二六
(算法書)		半	一冊	五二七
(松平周防守様領分石州松平村百姓五夫婦ニ子共兩人寛)			一通	五九七
(染型紙)			二枚	五五八
(紀行文)		半	一冊	五五九
(諸留書)		横長半	一冊	五五九
新役明題和歌抄卷第一 十二代飯田三左衛門		半	刊一冊	五九六
(関東比叡山遷造之書)		半	一綴	五九五
まわりうた(桜田門事件囑刺落首)			一通	七〇六
鎧星之図 松平伊豆守天文所大倉宮老			一通	七〇七
(米積出ニ付和蘭陀々申立御召捕兵庫高田屋九兵衛資産書上)			一通	七二二
(毛利駿河守他檄文)			一通	七三六
(樋広・畑・浅物名寛)			一通	七三三
非を悔(謠カ)		半	一冊	七二二
その他				
(上貫津村六右衛門諸道具かりニ付差置申一札)			一綴	五九四
文化一〇年九月				
錢取立覚帳 弘化二年一二月		横長半	一冊	五五九
(藤代宿飯泉専太郎診断書) 片町村医師寺田元作		半	一綴	五五三
明治一三年三月				
米相庭覚 要蔵 辰年一二月			一通	四六三

(初相場)	小津清左衛門	細谷弥左衛門宛	子年一〇月	一通	七六三
おほひ	三月		横長半	一冊	五五〇
(薬包寛)	大高織次郎	飯田宛	五月	一通	七五五
からし漬之伝	九月写			一通	七九一
(米搗并畑方之部留)			横長半	一冊	五〇一
おぼへ			横長半	一冊	五〇四
(寛帳)			横長半	一冊	五三三
晋唐小指			横長半	一冊	五三四
(白紙帳簿)			半	一冊	五九四
(雜記帳)			横半半	二冊	五〇〇
温習生				一通	五九〇
(借用品返上寛)				一通	七三三
(茅手菊次郎同職之屋梗持出ニ付一札)				一通	七三三
(その他)				六括	七九一
					七八二
					八〇〇
					八〇一
				一通	四六四

田畑地所畝分改帳	飯田三〇〇〇・同半四郎	明和二年九月	横長半	一冊	一六六
(書出シ帳)	文政二一年二月		横長半	一冊	五六一
田畑共反別高引合書抜帳	三左衛門	嘉永二年九月	横長半	一冊	三三九
惣五郎新田米田村地券田畑請帳写	飯田総五郎所持	明治六年五月	半	一冊	三三七
田畑屋敷山林明細帳写	飯田総五郎所持	明治六年九月	半	一冊	三七七
手ひかひ	(明治七年二月)		横半半	一冊	四四四
田畑取調書	明治一〇年二月		半	一冊	四〇一
耕宅地々価一筆限帳書抜(米田村分)	持主飯田主作	明治二二年五月	半	一冊	四〇元
耕宅地々価一筆限帳書抜(村簿五冊之内藤代宿)	持主飯田主作	明治一二年九月	半	一冊	四〇〇
(総五郎死亡ニ付地券名前更正願書扣)	飯田主作	郡長宛 明治一五年一〇月	半	二冊	四四一
(地券証請取証)	押切村倉崎松男他三人	飯田主作宛 明治二一年一〇月		一通	五九〇
(飯田総五郎分土地名寄帳他)	明治		横長半	一冊	五九六
(耕宅地反別地価書上断簡飯田総五郎分他)	明治			一綴	五七五
附込扣(名寄)	明治		横半半	一冊	五九〇
(飯田啓次郎へ売渡分田畑名寄)	明治		美	一綴	七九九
田方入附帳	飯田氏		半	一冊	四三三
反別取調帳	栄右内分		半	一冊	四三三

栄右内田畑取調帳

(飯田総五郎耕宅地覚他)

(元上組分畑方所持分覚帳)

(元上組分田方当時所持分)

(横瀬秀分名寄帳)

土地売買

相渡シ申質地証文 百井戸村助右衛門 小文間村市左衛門宛 寛保元年十二月

質地証文 鬼長村助四郎 同十左衛門宛 延享四年十二月

借用申質地証文 藤代村三左衛門 寅四郎宛 寛延元年十二月

質地証文 鬼長村助四郎 惣四郎宛 宝暦二年三月

相渡申証文〔屋錦畑書入〕 藤代権左衛門 同儀右衛門宛 宝暦四年十二月

相渡申質地証文 五右衛門 平七宛 安永八年十二月

相渡申質地証文 片町村七藏 藤代村五右衛門宛 安永八年十二月

相渡シ申証文 藤代村三右衛門 同村幸右衛門宛 天明四年十二月

相渡シ申質地証文 藤代佐二郎 同村与次右衛門宛 寛政八年十二月

相渡シ申質地証文 幸右衛門 五右衛門宛 寛政九年十一月

半 一冊 四三

半 一綴 五五八

横長半 一冊 五九六

横長半 一冊 五九六

美 一冊 七七八

一通 四三〇

一通 六三三

一通 六三三

一通 六三七

一通 四三三

一通 六六六

一通 六六七

一通 六六六

一通 六六七

一通 六六六

質地証文 当村八右衛門 当村儀兵衛宛 寛政九年十一月

壳渡シ申田地証文 幸右衛門 組頭武右衛門・久兵衛宛 寛政九年十一月

相渡申質地証文 藤代宿八右衛門 片町甚藏宛 寛政九年十二月

相渡申質地証文 藤代村八右衛門 当村七左衛門宛 寛政九年十二月

相渡申質地証文 寛政九年十二月

相渡シ申質地証文 藤代村儀左衛門 当宿勇八宛 寛政九年十二月

相渡申質地証文 当村八右衛門 当所七左衛門宛 寛政九年十二月

相渡シ申流質地証文 宮和田新田勘左衛門 藤代新田治左衛門宛 寛政九年十二月

相渡シ申質地証文 藤代宿善右衛門 同宿善七宛 寛政一〇年十二月

相渡シ申質地証文 藤代村平兵衛 同宿武右衛門宛 寛政一二年十二月

相渡申質地証文 藤代村□右衛門 同所源左衛門宛 寛政一二年十二月

質地証文 鬼長村助三郎 平右衛門宛 寛政一二年十二月

相渡申譲取替証文 藤代村半兵衛 与五右衛門宛 享和元年四月

相渡シ申流質地証文 藤代村平七 兵七宛 享和元年十二月

一通 六五五

一通 四三三

一通 六三三

一通 六三三

一通 六三三

一通 六三三

一通 六三三

一通 六三三

一通 六三三

一通 六三三

一通 六三三

一通 六三三

一通 四三三

一通 六三三

相渡申質地証文 三年十一月	藤代村新八 同村庄助宛	享和	一通	六五五
相渡申質地証文 三年十一月	藤代村新八 同村平吉宛	享和	一通	六五五
相渡申質地証文 二年三月	藤代村平吉 同所権兵衛宛	文	一通	六四七
相渡シ申流質地証文 右衛門宛 文化二年三月	谷中村与左衛門 藤代宿喜	文	一通	六四六
相渡申質地証文 文化二年二月	藤代村金右衛門 同村久米藏宛	文	一通	六四六
流地証文 二月	藤代 同所権左衛宛	文化二年一	一通	六四五
流地証文 文化二年二月	藤代村権左衛門 同村与治右衛門宛	文	一通	六四三
相渡申質地証文 月	藤代村七左衛門 文化三年一二	文	一通	六四三
相渡申質地証文 七左衛門宛 文化五年三月	藤代宿名主三左衛門 同所組頭	文	一通	六四三
相渡申質地証文 七左衛門宛 文化五年三月	藤代村名主三左衛門 同所組頭	文	一通	六四三
相渡申質地証文 文化八年二月	藤代村四郎兵衛 飯田三左衛門	文	一通	六四三
相渡申質地証文 衛門宛 文化九年二月	藤代村武右衛門 同村飯田三左	文	一通	六四三
相渡申流質地証文 衛門宛 文化二年四月	片町村仁左衛門 藤代村三左	文	一通	六四三
入置申附証文 文化二年四月	片町村仁左衛門 藤代村三左衛門	文	一通	六四三

相渡申流質地証文 文化一四年二月	藤代村四郎平 同村三左衛門	文	一通	六四六
地面流地証文 甚兵衛宛 文政四年二月	百井戸村助右衛門 同村平右衛門	文	一通	六四六
(實地年延三付相渡申一札) 村七左衛門宛 文政五年閏一月	藤代村三左衛門 同	文	一通	六四六
相渡申添証文 文政五年閏一月	藤代村三左衛門 同村七左衛門宛	文	一通	六四六
相渡申添証文 三左衛門 文政五年閏一月	文政五年閏一月	文	一通	六四六
借用申証文(畑書入) 衛門宛 文政七年二月	片町安左衛門 藤代飯田三左	文	一通	六四六
相渡申質地証文 文政九年二月	藤代村三左衛門 同村七左衛門	文	一通	六四六
相渡申質地証文(下書) 文政九年二月	藤代村たれ 高須村誰宛	文	一通	六四六
相渡申質地証文 天保四年二月	藤代宿幸右衛門 同所七左衛門	文	一通	六四六
相渡申質地証文 天保一〇年二月	藤代村伝右衛門 同村与次右衛	文	一通	六四六
借用加質証文 天保二年二月	藤代村三左衛門 米田村利兵衛宛	文	一通	六四六
相渡申質地証文 天保一三年二月	藤代村三左衛門 同村治左衛門	文	一通	六四六
相渡申質地証文 市郎左衛門宛 弘化二年四月	藤代下組長右衛門 同村同組	文	一通	六四六
相渡し申質地証文 弘化三年二月	市郎左衛門 横町松兵衛宛	文	一通	六四六

壳渡申養子流質地証文 藤代村彦兵衛 同村要蔵宛 嘉永三年一月	一通 七九七	地所壳渡之証 徳右衛門新田高橋徳三郎 飯田主作宛 明治一八年八月	半	一冊 四六
相渡申質地証文 藤代村喜左衛門 同村源左衛門宛 嘉永四年二月	一通 七九六	地所壳渡之証 徳右衛門新田高橋徳三郎 飯田秀太郎宛 明治一八年八月	半	一冊 四七
(質地年限不拘家督人出世相返ニ付差入申一札) 藤代宿名主飯田三左衛門 同村組頭喜作宛 嘉永五年二月	一通 六四四	地所壳渡之証 城中村堀口伊七 飯田秀太郎宛 明治一八年八月	半	一冊 四九
相渡申譲り証文(畑地) 中谷原村新左 藤代村市左衛門宛 嘉永六年一〇月	一通 四四七	地所壳渡証 藤代日下対造 同飯田主作宛 明治二年二月	半	一冊 四三
借地証文 幸助 飯田三左衛門宛 慶応二年九月	一通 四四三	地所壳渡証 藤代日下対造 飯田主作宛 明治二年二月	半	一冊 四三
質地証文 藤代村杉沢よし 次左衛門新田飯嶋安三宛 明治六年二月	一通 三七六	地所壳渡証書 藤代染谷広吉 飯田主作宛 明治四年一月	半	一冊 四四
質地証文 藤代駅飯田総五郎 山王村間根岩之助・永野春吉宛 明治九年三月	一冊 三〇九	地所壳渡地券確認之証 芹沢与作 諸越万太郎宛 明治	半	一冊 四〇九
(小浮気村之内畑七畝三步御払下地所壳買并貢租上納・地券証御下ケ願委任状) 藤沢町狩野多喜治 明治一一年九月	一綴 四二	質地扣置もの也地所取調 明治	半	一冊 三七
(小浮気村之内畑七畝三步券証書換願書) 小浮気村桜井喜惣次・同庄平次 戸長役場・人民惣代宛 明治一二年五月	一綴 四二〇	長年季質地覚 八郎兵衛 飯田三左衛門宛 辰年三月	半	一通 四六
地所書入証(地所書入米借田証) 宮和田村飯嶋磯吉 同町飯塚伊平宛 明治一四年五月	一冊 四〇三	地所壳買地券確認証願・地所壳買約定書御届持主藤代駅市村兵吾・買受人小浮気村長東嚆造	半	一綴 四六
地所壳渡之証 小浮気村長東喜造 桜井金蔵宛 明治一四年二月	一通 四七〇	地所譲渡地券御書換願 飯田総五郎 茨城県令宛	半	一冊 四六
地所壳渡之証 城中村栗原秀造 飯田秀太郎宛 明治一八年七月	一冊 四一八	質地明細帳	半	一冊 三七
地所壳渡之証 下岩崎村桜井伝兵衛 飯田秀太郎宛 明治一八年七月	一冊 四三〇	(相渡シ申質地証文案紙)	半	一通 七九五
		出入		一通 四三
		(伊兵衛久兵衛境目心得違雜木伐取ニ付詫一札) 藤代村当人他 飯田三左衛門宛 文化八年一月		

(百姓阿佐次屋敷山杉自分所持と心得枝伐り払
ニ付御詫一札) 藤代村当人 飯田三左衛門宛 嘉
永七年六月

一通 四七六

貢租

貢租

寅御年貢米并畑方取立覚帳 明和七年

横長半 一冊 三〇九七

諸納物并高物受取帳 飯田喜代作 文化一三年一
月

横長半 一冊 四三六

田畑辻免取調帳 和田喜作 嘉永六年一〇月写

半 一冊 三〇七

片町平兵衛御年貢并諸役錢共立替分調帳 文久
二年二月

横長半 一冊 五〇四

御年貢并諸扶セ取調帳 片町平兵衛 元治二年
二月

横長半 一冊 五〇〇

耕宅地山林野地租并諸費上納帳 明治二一三年

横長半 一冊 四〇六

(子年々巳年迄文五郎分取米永取調書) 藤代村
役人惣代 葛飾県役所宛 明治四年三月

半 一冊 五二五

明治九十兩年地租年賦延納金証書 売渡人堀口
伊七・買受人飯田秀太郎 明治一八年七月

半 一冊 一四三

從第壹期至第六期耕宅山野地租上納仕訳 飯田
主作 明治一八年八月

半 一冊 一九二

(御年貢扶錢差引残取調書) 片町村平兵衛 藤代
村役人宛 辰年七月

横長半 一冊 五五二

(三左衛門分畑方金請取覚) 権十郎 藤代村名主
宛 未年九月・午年六月

一綴 五五五

(年賦金之内請取覚) 茂兵衛 鬼長村名主宛 酉
年二月・申年四月

一綴 七九〇

(申子年迄平兵衛御年貢并諸役錢共立替分調
帳)

横長半 一冊 五〇九

(慶応二・明治元年分御年貢并扶錢取調帳)

横長半 一冊 五五二

(万延元年々元治元年迄御年貢并扶錢取調帳)

横長半 一冊 五五三

(閏七月分畑方金請取覚) 藤代村名主宛

横長半 一綴 七九六

米田村

(年礼飾松等入用申出覚) 米田村喜右衛門 三左
衛門宛 天明七年二月

二通 五〇五

(御検見入用并役金請取覚) 米田村 三左衛門宛
天明七年二月・寛政五年二月

一綴 五〇五

(御年貢諸役夫錢請取覚) 米田村役人 三左衛門
宛 天明七十八年

一綴 五〇七

(松飾年礼等入用申出覚) 米田村孫右衛門 三左
衛門宛 天明八年二月

一通 五〇七

(御年貢諸役夫錢請取覚) 米田村役人 三左衛門
宛 寛政元一享和二年

一綴 五〇六

米田村諸掛り物扣帳 飯田三左衛門 文化六年六
月

横長半 一冊 六〇〇

(御年貢金請取覚) 米田村長左衛門 三左衛門宛
文化六年二月

一通 五三三

米田御年貢諸役錢扣帳 飯田三左衛門 嘉永七年

横長半 一冊 一八三

米田村御年貢并役錢帳 飯田三左衛門 文久元年
七月

横長半 一冊 一八四

御年貢夫錢請取覚 米田村役人 三左衛門宛 明
治三年二月

横長半 一冊 一八三

米田村役錢納帳 米田村役人 飯田総五郎宛 明
治六年九月

横長半 一冊 一八七

(年礼飾松等入用受取覚) 米田村孫右衛門 三左衛門宛 巳年十二月	一通 五〇八	(御用金他請取覚) 米田村覺左衛門 三左衛門宛 亥年十二月	一通 七九九
(御年貢他請取覚) 米田村名主 三左衛門宛 巳年	一綴 五〇四	(夏成畑方請取覚) 米田村役人 三左衛門宛 五月	一通 七〇七
(高役割并賭金割受取覚) 米田村役人 三左衛門宛 子年五月	一通 七〇四	(御用金割分他覚) 米田村 三左衛門宛 一月	一通 七三三
(日光高割役受取覚) 米田村名主 三左衛門宛 寅年四月	一通 七〇三	子年分米田諸入用書付	一綴 七〇四
(秋成畑方割并御勝手向付出役掛り受取覚) 米田村覺左衛門 三左衛門宛 寅年八月	一通 七二九	(御用金并年貢他請取覚) 米田村名主 三左衛門宛	一通 七六元
(畑方金受取覚) 弥右衛門 三左衛門宛 亥年一月	一綴 七二〇	(年貢諸役夫錢請取覚) 米田村役人 三左衛門宛	五綴 七六六 七三三 七三三 七三三 七三三
(御殿様大坂御加番御用ニ付増仲間給記) 三左衛門宛 寅年七月	一通 七二三	小作	
(御殿様御勝手向御賭金割受取口上) 米田年名主 三左衛門宛 亥年三月	一通 七二〇	小作	
(畑方并夫錢調書記) 米田村并小萩利兵衛 飯田総五郎宛 戌年五月	一通 七二五	田畑地所并小作銘々改帳 飯田三左衛門 明和二年九月	一冊 三〇八 横長半
(役錢請取覚) 米田村名主 三左衛門宛 戌年十二月	一通 七四四	御年貢并手作米惣取調帳 松寿軒 慶応三年三月	一冊 三〇三 横長半
(夏成畑方銀請取覚) 米田村名主 三左衛門宛 戌年六月	一通 七四五	取立	
(畑方割他受取覚) 三左衛門宛 寅年八月	一通 七五五	田畑御年貢取立帳 天明四年九月	一冊 一八九 横半半
(夏成畑方金受取覚) 米田村名主 三左衛門宛 寅年四月	一通 七五三	田畠小作御年貢取立帳 寛政七年九月	一冊 三三七 横半半
(役錢他受取覚) 米田村治郎兵衛 三左衛門宛 辰年十二月	一通 七五四	作徳収納帳 享和三年八月—天保一四年	一冊 三〇九 横長半
		田畑御年貢小作方取立帳 文政元年九月	一冊 一八七 横半半
		田畑小作方御年貢取立帳 文政一三年九月	一冊 三三六 横半半

午御年貢小作取立帳	天保五年一〇月	橫長半	一冊	六六
作徳収納帳	天保一五年	橫長半	一冊	三〇六
作徳収納帳	飯田農 嘉永七年二月	橫長半	一冊	三〇九
作徳収納帳	文久三年一月—明治一一年	橫長半	一冊	三〇二
田畑小作取立帳	飯田 明治二年九月	橫長半	一冊	三〇四
田畑小作取立帳	明治三年九月	橫長半	一冊	三〇五
田畑小作取立帳	飯田三左衛門 明治四年九月	橫長半	一冊	三〇六
田畑小作取立帳	飯田總五郎 明治五年九月	橫長半	一冊	三〇七
田畑小作取立帳	飯田總五郎 明治六年一月	橫長半	一冊	三〇八
田畑小作取立帳	飯田總五郎 明治七年一月	橫長半	一冊	三〇九
田畑小作取立帳	飯田總五郎 明治八年九月	橫長半	一冊	三一〇
田畑小作取立帳	飯田氏 明治九年一月	橫長半	一冊	三一一
田畑小作取立帳	飯田氏 明治一〇年一月	橫長半	一冊	三一二
田畑小作取立帳	飯田氏 明治一一年一月	橫長半	一冊	三一三
耕宅山林小作取立帳	明治一二年一〇月	橫長半	一冊	三一七
耕宅山林小作取受帳	明治一三年一〇月	橫長半	一冊	三二〇
耕宅山林小作取受帳	飯田總五郎 明治一四年一〇月	橫長半	一冊	三二一
耕宅山林原野小作取納簿	飯田主作 明治一五年一〇月	橫長半	一冊	三二二
耕宅地山林原野小作取納簿	飯田主作 明治一八年一〇月	橫長半	一冊	三二二

耕宅地山林原野小作徵收簿	飯田主作 明治一九年一〇月	橫長半	一冊	三三三
耕宅地山林原野小作徵收簿	飯田主作 明治二〇年一〇月	橫長半	一冊	三三三
明治廿一年小作米藏入帳	飯田主作 明治二二年一〇月起	橫長半	一冊	三〇四
耕宅地山林原野小作徵收簿	飯田主作 明治二二年一月	橫長半	一冊	三〇四
耕宅地山林原野小作徵收簿	飯田主作 明治二二年一〇月	橫長半	一冊	三〇五
俵数藏入調	明治二二年一〇月ヨリ	橫長半	一冊	四七
耕宅地山林原野小作徵收簿	飯田氏 明治二三年八月	橫長半	一冊	三三六
畑方小作取立簿	橫瀬氏 明治二八年一〇月ヨリ	半	一冊	三三九
(半藏入帳)	橫瀬家 明治三一年—三二年	橫長半	一冊	三三三
明治十三年度小作藏入帳	橫瀬家 (明治三三年一〇月起)	橫長半	一冊	三〇五
明治卅五年度小作取立	橫瀬家 明治三五年一〇月起	橫長半	一冊	三〇六
市村曾五郎所有地作徳米入附	明治	橫長半	一冊	三〇五
証文				
小作証文	下組谷右衛門 飯田三左衛門宛 文化一二年一月		一通	七四三
小作証文	片町村五右衛門 三左衛門宛 文化一二年一月		一通	七六六
小作証書	飯田主作宛 明治一七—二二年		一綴	七六二

小作証書 飯田秀太郎宛 明治一八一二〇年	一綴 七七一	(綴俵受取留帳)			
小作証書 土屋孝直代理飯田主作宛 明治二〇年一〇一二月	一綴 七七一	(小作人宛祝儀帳)			
耕地小作証書 飯田主作宛 明治二〇一二年	一綴 七七一	(小作覚帳)			
小作証書 土屋孝直宛 明治二〇一二年	一綴 七七一	養 蚕			
耕地小作証書 飯田主作宛 明治二四年二月	一通 七六六	桑苗			
小作証書 大字片町宇都野芳藏 小堀河岸寺田光之助宛 明治三二年二月	一通 五三六	桑木送り状 竹原町玉里屋関長四郎 飯田主作宛 明治一〇年三月	半	三通 一六五 一六七	
小作証書 横瀬秀宛 明治三四一三五年	一綴 七六一	(桑苗并手附金受取記) 竹原村関長四郎代理 飯田主作宛 明治一〇年三月		一通 二六六	
(小作証文下書)	一通 四八八	(桑苗木請取記) 竹原村関長四郎代理 飯田主作宛 (明治一〇年)三月		一通 二六六	
その他		(桑苗代金内請取記) 竹原村関長四郎他 飯田主作宛 (明治一〇年)三月		一通 二六〇	
(小浮気村小作井不納賃地ニ付借主手作願書) 藤代村名主三左衛門 御奉行宛 (享保カ)	一通 四八九	桑苗木請取帳 飯田氏 明治一年三月	横半半	一冊 二九三	
小作一札 藤代村喜右衛門 飯田三左衛門宛 文化九年二月	一通 四七七	(桑苗木代金請取記) 竹原村関長四郎 飯田主作宛 明治一〇年四月		一通 二六七	
(小作人喜助差詰ニ付御年貢米組合引請借用申一札) 藤代村喜助組合惣代 三左衛門宛 文化一四年二月	一通 四八四	養 蚕			
(三右衛門一手之証文小作地御引上ケ用捨願御年貢納請合一札) 米田村小作人・御田地守 三左衛門宛 文久元年三月	一通 四八七	養蚕入費簿 飯田氏 明治七年一月	横半半	一冊 二八九	
(入附書記) 飯田総五郎 山王村関根岩之助・永野春吉宛 明治九年三月	一通 六八三	蚕飼雜誌 飯田氏 明治八年一二月ヨリ	横半半	二冊 三〇三 三〇二	
中内村倉持治右衛門書状 飯田宛 明治一四年五月	一通 六八四	(蚕籠代受取記) 中内村吉田平楽 飯田主作宛 明治九年九月		一通 七〇〇	
(小作米覚) 米田村油や勘兵衛 三左衛門宛 一〇月	一通 五〇五	養蚕雜誌 式号 飯田氏 明治一〇年	横半半	一冊 二九三	
		繭籠数帳 飯田 明治一四年五月	横半半	一冊 三〇九	

信州蚕種販売簿 飯田 明治一五年一月 横半半 一冊 三〇七
(まゆ引ちん等覚) 一通 七九二

漁業

(長袋網老反壳渡代請取記) 狸淵村永野次右衛門
飯田總五郎・森田清二郎宛 明治九年八月 一通 七九〇

漁業願期限後御歎願 藤代宿用掛 茨城県令宛 明治九年九月 半 一冊 三三三

鰻漁流網御鑑札願 飯田主作・用掛 茨城県令宛 明治九年九月 半 二冊 三三〇

漁場拝借願 飯田主作・用掛 茨城県令宛 明治九年九月 半 二冊 三三三

(漁場拝借并鰻漁流網御鑑札願書) 飯田主作 茨城県令宛 明治九年九月 半 一綴 三三六

鮭漁日誌 飯田氏 明治二二年九月 横半半 一冊 三三三

家作

普請

(井戸浚入用扣帳) 文政二年十一月 横半半 一冊 五七一

諸材木当座手扣 明治五年六月 横半半 一冊 二五八

工事ニ付諸材木入用覚 飯田氏 明治一九年五月ヨリ 横長半 一冊 二五二

(旧米穀倉進呈ニ付謝金請取証書) 大字藤代組
惣代人 飯田主作宛 明治二四年一月 半 一冊 四四

見積書 野々下巳之助 横瀬宛 明治三〇年五月 一通 五七七

(人足留帳) 横長半 一冊 五九〇

(建築見取図) 横長半 一枚 五五七

(屋根葺替ニ付諸事入用扣) 横瀬主作 横半半 一冊 四三三

(材木手間代記) 野々下忠次郎 相馬町長宛 明治二二年七月 一通 五九七

(家屋代金之内小道具覚記) 井崎喜右衛門 横瀬主作代理宛 一通 七六〇

家作金

寅年店払覚 横長半 一冊 四七三

(家作金覚帳) 横長半 一冊 五三二

○

店請状 与兵衛 飯田三左衛門宛 嘉永二年八月 一通 四七五

(孝太郎屋鋪年季明請戻ニ付差上一札) 当人 飯田三左衛門宛 文久元年一二月 一通 四六九

金融

貸金

(預リ申金子証文) 藤代宿吉兵衛 高藏寺・三左衛門宛 享保二年八月 一通 七〇〇

(預リ申金子証文) 藤代村孫兵衛 高藏寺・三左衛門宛 享保三年一月 一通 七五三

借用申手形 藤代横町権助 三左衛門宛 元文二年一二月 一通 四六七

(借用申金子証文) 藤代村借主惣代茂右衛門 三左衛門宛 寛保元年二月	一通 七五五	(積立金借用証文) 藤代村役人宛 明治二年一月・三年閏一〇月	三通 七五二
(鑓錢借用証文) 藤代村甚右衛門 三左衛門宛 天明元年二月	一通 七五五	借用申金子証文 押切村彦四郎 同村倉嶋幸松宛 明治六年一月	一通 七五五
(借用申金子証文) 三左衛門宛 天明三―天保三年	一綴 五七二	(借用金証文) 和田村和田藤五郎 平本重郎・菅谷五平次宛 明治七年一月	一通 五七三
金用申金子証文 三左衛門宛 天明五―文政八年	八通 七五五	借用金証書 藤代宿寺田治一郎・飯田総五郎宛 明治七年一月	四通 七五五
借用申金子証文 宮和田村喜兵衛 三左衛門宛 天明七年二月	一通 七五五	(借用金日延証書) 和田村和田藤五郎 中谷原村平本重郎・神浦村菅谷五平次宛 明治八年一月	一通 五七四
(借金一札) 三左衛門 東野村宮本八郎兵衛宛 寛政一〇年二月	一通 七五七	借用金証書 飯田主作 藤代駅杉沢五郎治宛 明治八年九月	一通 五七三
相渡申借用証文 中内村市左衛門 飯田三左衛門宛 文化一〇年七月	三通 七五五	借用金証書 飯田主作 杉沢五郎治宛 明治九年六月・一六年五月	二通 七五五
借用申金子証文 片町村彦兵衛 藤代蛸嶋半兵衛宛 文政二―四年四月	一通 七五七	借用金証書 飯田主作 日下対造宛 明治九・一一年	一綴 五七〇
金銀貸方扣帳 天保六年一月	一冊 三六四	積立金貸与簿 飯田主作 明治一二年五月	一冊 三六〇
(貸金利足受取寛) 小浮気村喜左衛門 飯田三左衛門宛 天保六年二月	一通 七五五	地所抵当金子借用証書 谷中村大槻武平治 飯田主作宛 明治一五年六月	一綴 七五四
借用申金子証文 三左衛門 小浮気村喜左衛門宛 天保一三年一〇月	一通 四四〇	(時貸分并諸払帳) 明治一七年	一冊 五三〇
(借用申金子証文) 藤代宿伊兵衛 名主三左衛門宛 弘化四年二月	一通 七五五	貸附金額表 飯田出納課 明治二四年二月	一冊 四四七
諸品貸附帳 安政六年二月	一冊 三五五	(株主通常総会通知状) 土浦五十銀行 明治三四年一月	一通 五二五
借用申金子証文 山崎屋市兵衛 茂七事三左衛門宛 慶応元年七月	一通 七三六	(貸金留帳) 明治	一冊 四七二
借用申金子証文 井野村治右衛門 三左衛門宛 慶応二年二月	一通 七五五	(金子借用証文) 米田村喜右衛門 飯田三左衛門宛 卯年三月	一通 四九三

横長半

横長半

横長半

横長半

半

半

半

(利足分金子受取覚) 小浮気村喜左衛門 飯田三左衛門宛 午年九月	一通 七九七
(利金等差引覚) 亥年一二月改	一通 七〇三
(時貸) 金之内受取覚 藤代町伊助 日下武右衛門宛 午年二月	一通 七九七
(借金証文) 藤代村三左衛門・七左衛門・他	一通 五七六
出入	
(米田村百姓利兵衛より藤代村名主飯田三左衛門江相掛貸金滞御吟味ニ付申上書) 名主飯田三左衛門 御郡方西御役所宛 弘化三年九月	横美半 一冊 七九七
貸金催促ノ訴状(原吉代言人鈴木由太郎ヨリ被告飯田総五郎宛) 茨城県裁判所長宛 明治九年二月	半 一冊 四七七
(谷原村平本外老人より飯田総五郎江相掛候貸金催促一件書付) 竜ヶ崎警部出張所他宛 明治九年二一三月	半 一綴 五七四
不参始末書 飯田総五郎領ニ付代言人 茨城県裁判所長宛 明治九年三月	半 一冊 四三六
和田藤五郎借用金弁済事件諸入費迄明細書留覚 飯田総五郎 明治九年	横長半 一冊 三三九
講	
(宇兵衛無尽取金分ケニ付口上書) 角左衛門他五人 村役人宛 享保三年一〇月	一通 四八〇
(頼母子分取之儀貸金ニ差引願投証文通願埒明不申ニ付口上書) 平兵衛外一二二人 村役人宛 享保三年一〇月	一通 四八五
(頼母子分ケ取金ニ付口上書) 鬼長村喜衛門 村役人宛 享保三年一〇月	一通 七九二

(頼母子金子割取日延願覚) 宇兵衛 村役人宛 享保三年一〇月	一通 七五三
(無尽金扱上リ口上書) 瀬兵衛 村役人宛 享保三年一〇月	一通 七九二
(宇兵衛無尽分ケ取金請取覚) 鬼長村喜衛門 村役人宛 享保三年閏一〇月	一通 四六三
所々相統講金積金覚帳 天保二年二月	横長半 一冊 五五五
天王講掛金請取通帳 高藏寺世話人 飯田三左衛門宛 安政二年六月	横美半 一冊 三三三
(講貫請取記) 米田村青木六右衛門 飯田総五郎宛 明治九年一二月	一通 七三三
(相統講金預リ証書) 飯田総五郎 明治一〇年一月	一通 四四五
相統講金受取帳 藤代駅岡野駒吉 飯田主作宛 明治一一年三月	横長半 一冊 三六二
(蚕影山講受取記) 飯田総五郎 (明治一四一七	横長半 一冊 四三七
(第拾九・二拾会調書) 明治二年四・一二月	横長半 一冊 五八三
(第拾九・廿壹会目調書) 明治二年四月	横長半 一冊 五七六
(甲号第十式会め記) 明治二年一〇月	横長半 一冊 六九
(第廿壹会め覚書) 明治二三年二月	横長半 一冊 五〇三
(甲号第貳拾三会め覚) 明治二三年二月	横長半 一冊 五三六
甲号廿四会乙号廿式会出納簿 發起人 明治三年一二月	横長半 一冊 四〇〇
(第廿三廿五会調書) 明治二四年二一四月	横長半 一冊 五七七

第六会金融講掛金帳 信用融通講 大正一三年四月 横長半 一冊 三二四

(頼母子掛合金請取覚) 森田市左衛門 飯田三左衛門宛 巳年三月 一通 七六

薬師講花金渡し残調 横長半 一冊 三三三

(頼母子滞り取扱済之上金子分ヶ取覚) 一通 四三

(講掛金利子覚帳) 美 一冊 四六

(出金人名覚) 一通 三三三

(講金差引覚書) 一通 九四

(無尽落口残七人取分ニ付入置申証文) 一通 九六

営業

醤油

醤油壳高帳 飯田源一郎 嘉永二年一二月 横長美 一冊 三七〇

醤油水揚明樽控 嘉永四年一月 横長半 一冊 三六八

醤油壳方帳 飯田三左衛門 嘉永四年四月 横長美 一冊 三七〇

正油壳方帳 式冊之内 飯田三左衛門 嘉永五年一月 横長美 一冊 三六九

醤油壳方帳 式冊之内 飯田三左衛門母 嘉永五年一二月 横長半 一冊 三七七

かき出してう いゝたち 嘉永六年一月 横長半 一冊 三六三

醤油壳方帳 飯田三左衛門母 嘉永六年七月 横長美 一冊 三六六

書出取調帳 飯田三左衛門 母宛 嘉永六年一二月 横長半 一冊 三六三

丑年醤油調書帳 花野井吉田官蔵 飯田三左衛門宛 嘉永七年一月 横長半 一冊 三九六

書抜取調帳 飯田 嘉永七年一二月 横長半 一冊 四三七

書出調帳 飯田 安政二年一二月 横長半 一冊 四三六

辰年醤油調書帳 吉田官蔵 飯田三左衛門宛 巳年一月 横長半 一冊 三九六

子年醤油調書帳 吉田官蔵 飯田三左衛門宛 丑年三月 横長半 一冊 三九六

(送状) 花野井吉田官蔵 飯田三左衛門宛 辰年五月 一通 四五六

送状 花野井吉田官蔵 三左衛門宛 辰年二月 一通 四五六

常州狸潤油屋喜平(慶蔵改名)書状 飯田三左衛門宛 八月 一通 四七五

花野井吉田鷹之助書状(鞭製作依頼) 飯田三左衛門宛 一一月 一通 四八〇

花野井吉田友蔵書状(正油請取) 飯田三左衛門宛 七月 一通 四九三

卯年醤油調書帳 吉田官蔵 飯田三左衛門宛 横長半 一冊 三九六

(送状) 花野井吉田官蔵 飯田三左衛門宛 六八通 三九三

○

(愚店酒造株讓請証文写) 近江屋五郎治 飯田宛 一綴 三七七

銚子や書状(酒造見調帳拝借願) 飯田宛 九月 一通 六六

米

(米借用証文) 土浦田宿町松本源兵衛 飯田三左衛門宛 天保四年一二月 一通 四八元

(借用申米証文) 刈兵衛 飯田三左衛門宛 弘化二年二月	一通 五七五	店証文 宮和田町仁左衛門 三左衛門宛 享保一九年二月	一通 四八五
(十三年度売米覚帳) 明治一三年	一冊 四七三	(太四郎店請状) 鏑師 飯田三左衛門宛 文化二年二月	一通 四八六
(町米式俵遣願覚) 和田村酒富家 飯田宛 七月	一通 七五〇七	(玄弘借家ニ付一札) 西橋戸村役人惣代 藤代宿役人宛 元治二年一月	一通 四八九
(米預差引勘定仕覚)	一通 七五〇	(蛸原作次郎夫妻転住ニ付身分引受証) 蛸原みね 横瀬主作宛 明治二八年一〇月	一通 五八六
売棄 売棄廃業御届 飯田主作 茨城県令宛 明治一五年一〇月	一冊 五六二	印紙 証券印紙売捌簿 第壹号 飯田主作 明治六年六月ヨリ	一冊 四五〇
売棄請売廃業御届 飯田主作 郡長宛 明治一六年四月	一通 五六一	証券印紙売捌簿 第貳号 飯田主作 明治七年一月ヨリ	一冊 四五二
下宿 下宿料並立換金明細簿 横瀬氏 明治三三年一月ヨリ	一冊 三七三	証券印紙御下願 飯田主作 郡長宛 明治二年一〇月	一通 七八〇
(下宿料並立換金明細簿)	一冊 三七四	印紙類売下売捌規則 飯田主作 明治二三年一月	一冊 四四六
養豚 豚免許 一二六三一二七〇号 千葉県庁 飯田総五郎宛 明治六年	八枚 四八五 四八六 四八七 四八八 四八九 四九〇 四九一 四九二 四九三	(自明治十七年至二十三年証券印紙売捌高表) 飯田主作 茨城県令宛 (明治二四年)	一綴 四四七
店請 店請証文 上岩崎村伊兵衛 名主三左衛門宛 享保二二年三月	一通 四六七	(証券印紙売捌願書) 飯田主作 茨城県知事宛 明治二五年六月	一綴 五八五
(店請証文) 宮和田新田村六兵衛 飯田三左衛門宛 享保一三年三月	一通 四六六	(印紙売捌高調書)	一冊 五五二
(多右衛門店請証文) 平野村人主喜右衛門 名主三左衛門宛 享保一六年五月	一通 四六五	(印税金留帳)	一冊 七五七
		共進会	
		蘭申告書・実綿申告書・晩小豆申告書 出品主 飯田主作 (明治二〇年カ)	一冊 五九六

(綿・織物出品目録) 飯田主作 共進会事務所宛 明治二十一年一月	半	輸入運賃貨主貸簿 相馬運送株式会社 明治三十一年	半	一冊 三六五
(老府六県農業物共進会会場建設費之内寄附金採用願書) 飯田主作 明治二十一年三月	半	(送券綴) 明治三一・三四・他年	一綴 五四一	一綴 五四一
(内国種早及晩実操綿出品申告書) 飯田主作	半	判取帳 第壹号地方配達 相馬運送店 明治三十二年一月	横半半	一冊 三六九
相馬運送店		判取帳 第貳号 相馬運送店 明治三十二年一月	横半半	一冊 三六九
貨物受取証 東京麴町相模屋平助 飯田宛 明治二〇年一〇—十一月	一綴 三六九	判取帳 第參号 相馬運送店 明治三十二年一月	横半半	一冊 三六九
貨物受取証 東京伊藤昇三 飯田宛 明治二十一年二月	一通 三六九	飯送り券 南千住隅田川佐藤運送店 竜ヶ崎矢賀文七宛 明治三十二年三月	一通 三六九	一通 三六九
(貨物贈券) 鹿沼町丸鹿運送会社 明治二十三年七月	一通 三六九	(木炭通送ニ付通知状) 木戸駅斎藤運送店 藤代駅内国通運株式会社取引店宛 明治三十二年四月	一通 三六九	一通 三六九
手板 四ッ倉運送店 藤代宿宛 明治三〇年一月	一通 三六九	純益日記簿 藏代宿停車場前宮嶋運送店 明治三十二年五月	半	一冊 三六九
請求書 北千住飯塚運送店 相馬運送店宛 明治三十一年二月	一綴 三六九	米穀荷受積出し出入記 相馬運送店 赤羽房兵衛宛 明治三十二年九月—十一月	半	一冊 三六九
輸出入掛運賃書拔簿 相馬運送株式会社 明治三十一年五月	一冊 三六九	(貨物荷物發送通知書) 藤代駅店宛 明治三十三・三十四年	一綴 三六九	一綴 三六九
(四月分各店調書) 相馬運送店 明治三十一年五月	半	(送券綴) 次所相馬運送店宛 明治三十三・三十四年	一綴 三六九	一綴 三六九
金錢判取帳 相馬運送株式会社 明治三十一年六月—三十三年一〇月	横半半	判取帳 壹号 相馬運送店 明治三十三年一月	横半半	一冊 三六九
各店取引借入簿 相馬運送会社 明治三十一年一月	一冊 三六九	判取帳 貳号 相馬運送店 明治三十三年一月	横半半	一冊 三六九
輸出貨物運賃收入簿 相馬運送株式会社 明治三十一年	半	穀物荷受帳 相馬運送店 明治三十三年一月	半	一冊 三六九
輸出運賃貨主貸簿 相馬運送株式会社 明治三十一年	半	竜ヶ崎地方附近穀物荷受帳 相馬運送店 明治三十三年一月	半	一冊 三六九
	一冊 三六九	今俵物荷受帳 相馬運送店 明治三十三年一月	半	一冊 三六九
	一冊 三六九	旧俵物荷受帳 相馬運送店 明治三十三年一月	半	一冊 三六九

手板 水戸丸三運送店 明治三三年七月	一通	四六〇
鐵道積荷物手板 内国通運株式会社 明治三三年七月	二通	四六三
手板 東京隅田川停車場前嶋仁運送店 相馬運送店宛 明治三三年七月	一綴	四六三
(金錢請取帳) 相馬運送株式会社 (明治三三—三四年)	一冊	四三九
(貨物輸出報知唇) 我孫子運送店 明治三三年一月	一通	四四七
計算報告書 日光駅前共同運送店 藤代駅宛 明治三三年七月	一通	四四四
運賃計算表 内国通運会社上野出張所 明治	一綴	四四三
貨物運送狀 野田町木村要之助 同町川越組宛 昭和五年一—三月	一綴	四三九
送券 東京川原商会 昭和二年五月	一通	四四四
(運賃受取并預り分取調書) 相馬運送店 大茂宛 六月	一冊	四四七
(判取帳)	一冊	四四九
(判取帳)	一冊	四四九
(輸出收入簿)	一冊	四四三
(荷貨物運賃納簿)	一冊	四四四
(諸荷受帳)	一冊	四四四
運送会社諸控 横瀬秀	一冊	四六一
⑦印米出入簿 相馬運送店	一冊	四〇三

通常貨物発送手数料	半	一冊	四三七
(日本鐵道会社引換証用箋)		二枚	四九〇
貨物発送手板 小山取引店		一通	四六一
(手板留書)		二通	四六四
(手板留書)		八綴	四六五
(相馬運送店書類綴)		一綴	四七三
費用調 相馬運送店株式会社	半	一綴	四七五
明治卅二年三月十五日以前各店貸借調		一綴	四六六
大茂調	半	一綴	四六九
(藤代駅内国通運株式会社宛請求書) 各取引駅店		四通	四六九
(諸手板綴) 相馬運送店宛 明治三三—三三年	〇	一二綴	四三三
(諸手板綴) 相馬運送店宛 明治三三—三三年	〇	一綴	四三七
(輸出手板)		九八綴	四二〇
(輸出手板) 相馬運送店宛		一綴	四三六
(輸出手板)		六綴	四三七

家計

家計

小遣覚帳 文化六年四月	横半半	一冊	三三三	万手扣 庸康 慶応二年二月	横半半	一冊	四三九
よろ津おほへ帳 ふじしろいしだ 文化六年	横半半	一冊	四二〇	諸事入用附留帳 慶応三年一月	横長半	一冊	四三三
金銀出入帳 文化二年二月	横半半	一冊	三六〇	万手扣 庸康 慶応三年三月	横長半	一冊	四三〇
諸色買立帳 天保一〇年七月	横長半	一冊	五八〇	万手扣 津放屋寿 慶応三年四月	横半半	一冊	五五〇
亥操綿買入覚帳 天保一〇年一〇月	横長半	一冊	四四二	大福帳 慶応四年四月	横半半	一冊	四三三
当座帳 弘化三年一〇月	横長美	一冊	三六三	已年小遣附留帳 賄方 明治二年一月より	横長半	一冊	三七三
大ふくてう出入覚 飯田氏 弘化元年一月	横半半	一冊	三六三	万手扣 飯田 明治二年一月	横半半	一冊	四三八
万書出おほい帳 飯田氏 嘉永二年一月	横長半	一冊	四四三	金銭出納簿 飯田氏 明治二年二月ヨリ	横長半	一冊	三九三
酉とし差引き覚帳 嘉永二年二月	横長半	一冊	五八	勝手入用帳 飯田賄方 明治二年九月	横長半	一冊	三七一
店卸帳 嘉永三年一月	横長半	一冊	四三〇	日賀恵 明治三年一月	横半半	一冊	四三六
友治一条諸扣帳 安政二年二月	横半半	一冊	五八七	差引覚 飯田三左衛門宛 明治三年三月	横長半	一冊	四四三
小遣帳 三左衛門 安政六年一〇月	横長美	一冊	三六〇	刻多葉古買入帳 飯田主作 明治三年一〇月	横半半	一冊	四三九
金銀出入帳 飯田三左衛門 安政七年一月	横長半	一冊	三六七	手びかへ 明治四年三月より	横半半	一冊	四三三
よ路津ひか以帳 文久元年一〇月	横長半	一冊	三七〇	勝手入用帳 飯田台所 明治五年一月	横長半	一冊	三九七
金銀出入帳 飯田義氏 文久二年一〇月	×××	一冊	三六九	(諸差引帳) 明治五十六年	横長半	一冊	五八
半紙遣払帳 飯田氏 文久二年	横半半	一冊	四二五	日賀恵 志民 明治六年十一月より	横半半	一冊	四三七
(諸事用帳) 飯田源一郎 文久三年三月より	横半半	一冊	七四	勝手向諸入費帳 明治七年一月ヨリ	横長半	一冊	三九三
勝手方扣帳 飯田姓 慶応元年一月より	横長半	一冊	三六〇	生茶記 京屋孝七 飯田宛 明治七年五月	横半半	一冊	三五七
日記 庸康 慶応元年	横長半	一冊	三六三	飯米簿 飯田台所 明治七年九月ヨリ	横半半	一冊	四三二
諸口々取調書抜帳 飯田氏 慶応二年九月	横長半	一冊	四元	金銭出納簿 飯田台所 明治八年一月ヨリ	横長半	一冊	四〇一
				金銭判取帳 明治八年四月	横半半	一冊	三三七

雜書 明治八年九月	橫半半	二冊	四八五
(雜貨代記) 明治八年	橫長半	一冊	五八四
領収之証 茨城裁判所出納課 飯田總五郎他宛 明治九年三月	一綴	五八六	
雜誌 飯田氏 明治九年九月ヨリ	橫長半	一冊	四〇〇
(多年分通錢・内金受取記) 松屋紋一郎 飯田總五郎宛 明治一〇年二月	一通	七五〇	
曙新聞代価割合帳 飯田大沢 明治一三年	橫半半	一冊	五三七
明治十四年一月三十日改正日用記 (明治一四年一月)	橫長半	一冊	四三三
金錢出納簿 飯田氏勝手 明治一五年二月ヨリ	橫長半	一冊	三九六
(諸差引記) (明治一五年以降)	橫長半	一通	七三三
十五年分借用金記 (明治一五年)	橫長半	一冊	三九六
金錢出納簿 飯田氏 明治一六年二月ヨリ	橫長半	一冊	三九六
雜記簿 飯田氏勝手 明治一七年一一二月	橫長半	一冊	三九五
金錢出納簿 飯田氏 明治一七年一月	橫長半	一冊	三九五
金錢出納簿 飯田氏 明治一八年一月ヨリ	橫長半	一冊	三九一
金錢出納簿 飯田氏 明治一八年二月ヨリ	橫長半	一冊	三九六
小遣日記帳 松壽軒 明治二一年一月	橫長半	一冊	三九七
諸物受納簿 松壽軒飯田氏 明治二一年二月(旧一月)	橫長半	一冊	四〇五
小遣日記帳 松壽軒 明治二二年六月	橫長半	一冊	三九七
雜記 第一号 橫瀨 明治二二年一月	橫半半	一冊	四〇一

小遣帳 橫瀨氏 明治二二年三月	橫長半	一冊	三六七
小遣帳 飯田氏 明治二二年九月	橫長半	一冊	三六六
救財費扣 飯田 明治二二年	橫半半	一冊	四〇〇
金錢出納簿 明治二三年二月	橫長半	一冊	四〇〇
小遣帳 飯田勝手用 明治二四年三月	橫長半	一冊	三六八
飛賀恵 飯田 明治二四年五月	橫半半	一冊	四三九
(伊豆本黒石代請取証) 大久保仁右衛門 飯田主作宛 明治二五年六月	一通	五五九	
金錢出納簿 橫瀨氏 明治二七年二月	橫長半	一冊	三九三
金錢出納簿 橫瀨氏 明治二八年二月ヨリ	橫長半	一冊	三九四
(食料雜貨代請取覚) 関口惣次郎 橫瀨宛 明治三一年一月	橫長半	一冊	五五五
勝手雜誌 明治三二年一月	橫半半	一冊	四三八
岡嶋洋雄出納簿 橫瀨氏 明治三二年三月	橫半半	一冊	四六一
五十嵐政兵衛出納簿 橫瀨氏 明治三二年四月	橫半半	一冊	四六三
雜記 第貳号 明治三三年一月	橫半半	一冊	五四九
金錢出納帳 橫瀨氏 明治三七年六月	橫長半	一冊	四〇二
(諸払帳) (大正四年カ)	橫半半	一冊	四三三
諸ひかひ帳 癸酉年五月	橫長半	一冊	三六七
金銀出入覚 未年一二月ヨリ	橫長半	一冊	三九六
手扣帳 未年六月	橫半半	一冊	四三四
差引調 近江屋文之助 飯田宛 寅年	橫長半	一冊	四六三

諸控 松寿軒 寅年一月	横半半	一冊 四三〇	(金子受取寛) 膳右衛門 飯田宛 丑年八月	一通 七六二
所々弘方出入調 巳年二月	横長半	一冊 四三三	(いかや重右衛門料理代并口上寛) 啓吉 兄宛 子年二月	一通 五五九
(兼代寛) 大高織次郎 飯田三左衛門宛 子年八月	横長美	一冊 五五五	(ノ粕代受取寛) 土浦常陸屋儀兵衛 ささや七郎 兵衛宛 巳年三月	一通 五五二
(繰綿代寛) 藤代宿日下源左衛門 三左衛門宛 戌年三月		一通 七六六	(飯料受取寛) 土浦大竹瀬兵衛 三左衛門宛 巳年二月	一通 五五三
(とりなべ酒代等寛) 常陸屋市兵衛 飯田三左衛門宛 午年二月		一通 七六八	(飯并泊り代受取寛) 土浦町久松時右衛門 飯田三左衛門宛 巳年九月	一通 五五五
(諸代金寛) 伊賀屋重右衛門 飯田主作宛 巳年八月		一通 七〇〇	(代金受取寛) 平野屋平吉 子年二月	一通 五五九
(水油他代金寛) 午年七月写		二通 七三九	(糠代等受取寛) 飯田三左衛門宛 丑年十二月	一通 五六八
(諸差引寛) 横町要蔵 飯田三左衛門宛 卯年八月		一通 七三四	(諸色代留帳) 辰年一月	一冊 五六一
(ノ粕代かし金寛) 源左衛門 飯田三左衛門宛 午年二月		一通 七七四	(酒屋受取帳) (二月)	一冊 四三五
(代金請取寛) 笹屋平七 飯田三左衛門宛 子年二月		一通 七〇三	(諸品代通寛) 岡島見世(土浦伊賀屋) 飯田宛 七月	一通 七〇一
(両替之内金子差上申寛) 飯田三左衛門 近江屋与三平宛 未年四月		一通 七三三	(雜貨代金受取寛) 笹屋七郎兵衛 飯田三左衛門宛 一月	一通 七二〇
(麻等諸品代差引寛) 伊賀屋重右衛門 飯田三左衛門宛 卯年二月		一通 七四六	(粉糠代差引寛) 要蔵 飯田三左衛門宛 九月	一通 七三五
(金子渡願書) 長兵衛 飯田主作宛 戌力年二月		一通 七六一	(代金御引合寛) ⑤ 飯田宛 一〇月	一通 七五二
(せん茶等代金受取寛) 土浦橋本権七 飯田三左衛門宛 申年一月		一通 七六七	(ノ高通知寛) ささや七郎兵衛 飯田宛 四月	一通 七五五
(御蔵米代金差引過上分渡寛) 近江屋文之助 飯田宛 未年二月		一通 七七〇	(はず代請取寛) 升屋仁兵衛 伊口屋宛 八月	一通 七三〇
(白魚わさび等代寛) 対三 寅年一月		一通 七四四	(代金受取寛) 近江や文之助 三左衛門宛 二月	一通 七三九
(どうり・酢・塩等代金寛) なべや 戌年八月		一通 七四六	(塗物代寛) 江戸きの国や平三郎 二月	一通 七三〇

(雲竜水老挺代并竜咄水修覆代受取覚) ⑧御用
細工所神田三丁目代地清水長吉 和田様御本陣宛
一二月

(米代金覚) 藤代宿永田屋 三左衛門宛 八月

(かき代等請取覚) 近江屋喜助 飯田宛 四月

(代金覚) 中田喜平次 飯田三左衛門宛 三月

(金巾代覚) 伊賀屋重右衛門 飯田宛 九月

(封紙代受取記) 小泉茂兵衛 三月

(呉服代覚) 水戸御用御呉服所大高織右衛門 飯田
三左衛門宛 六月

(薬代覚) 橋本権七 飯田三左衛門宛 三月

(会之節代金覚) 源二左衛門 飯田宛 三月

(小場代金受取覚) 三左衛門 宮和田村よつ蔵宛
一二月

(差引覚) よこ町要蔵 三左衛門宛 六月改

(万国地誌略記代過上分差上記) 岡嶋重右衛門
飯田宛 六月

(金銭出入日記帳) 七―八月

(諸払帳)

雑書

(諸控記)

(金銭出入控記)

(大福控帳)

諸色買物覚

酉年出入仮

(金子出入覚帳)

(金子出入帳)

(金子出入帳) 飯田三左衛門

(服薬之部留帳)

(一寸附込帳)

(諸請取覚)

書出し帳 永田屋忠右衛門

(金子出入帳)

(諸色払代覚帳)

(諸代金覚帳)

(諸覚帳)

(金子出入帳)

(諸払覚帳)

(金子出入帳)

(諸代金払覚帳)

(金子出入帳)

(諸代払覚帳)

(金子出入帳断簡)

(金子出入帳)	横長半	一冊	五五
(諸払代寛帳)	横長半	一冊	五五
(諸請取寛)	一綴	五三〇	
(御茶料理頂戴寛)	一通	七六	
きねや伊助			
(米酒炭廻等代寛)	一通	七三〇	
(諸受取寛)	一綴	七三〇	
(酒代等寛)	一通	七六	
(丑年勘定残り帳)	一冊	六四	
(諸色入用留帳)	一冊	六八	
(諸寛帳)	横長半	一冊	七三
飯田三左衛門	横長半	一冊	七三
送状	横長半	一通	六八
和田藤五郎			
飯田宛			
入用帳			
諸事入用帳	横長半	一冊	三七
嘉永四年一月			
諸事入用帳	横長半	一冊	六二
其外村用立替			
飯田三左衛門			
嘉永五年一月			
入用帳	横長半	一冊	三七
安政二年十一月			
諸事入用帳	横長半	一冊	三七
飯田三左衛門			
安政四年十二月			
諸事入用帳	横長半	一冊	三七
飯田三左衛門			
安政六年一月			
諸事入用帳	横長半	一冊	三七
飯田三左衛門			
安政七年一月			
諸事入用帳	横長半	一冊	三七
飯田三左衛門			
万延二年一月			
諸事入用帳	横長半	一冊	三七
飯田三左衛門			
文久二年一月			
諸事入用帳	横長半	一冊	三七
飯田三左衛門			
文久二年一月			

諸事入用帳	飯田姓	文久四年一月	横長半	一冊	三七
諸事入用帳	飯田三左衛門	元治二年一月	横長半	一冊	三七
諸事入用帳	慶応三年一月		横長半	一冊	三七〇
諸事入用帳	飯田勝手	慶応四年一月	横長半	一冊	三七
諸事入用帳	飯田勝手	明治二年一月	横長半	一冊	三七
諸事入用帳	飯田賄方	明治三年一月	横長半	一冊	三七
諸事入用帳	明治七年一月ヨリ		横長半	一冊	三七
諸事入用附留帳	明治九年一月		横長半	一冊	三七
諸事入用附留帳	明治十一年二月		横長半	一冊	三七
諸事用度費附留帳	明治十一年二月		横長半	一冊	三七
諸通					
現金酒之通	津定村久保木太郎八	君嶋村治右衛門宛	横長半	一冊	三七
文政一〇年一月					
判取通	君嶋村浅野治右衛門	文政一〇年二月	横長半	一冊	三七
現金酒之通	久保木太郎八	浅野治右衛門宛	横長半	一冊	三七
文政一二年一月					
油之通	土浦登利屋彦兵衛	浅野治右衛門宛	横長半	一冊	三七
文政一二年一月					
水油之通	油屋泰次郎	飯田三左衛門宛	横長半	一冊	三七
天保一〇年一月					
万之通	横町公店	飯田三左衛門宛	横長半	一冊	三七
天保一二年一月					
水油之通	油屋泰次郎	飯田三左衛門宛	横長半	一冊	三七
天保一二年一月					
万之通	横町谷川屋松兵衛	飯田三右衛門宛	横長半	一冊	三七
天保一二年一月					

肴之通 銚子屋与兵衛 飯田三左衛門宛 天保一三年一月	横半半	一冊	三六〇
現金醬油通 花野井吉田 飯田三左衛門宛 嘉永三年一月	横半半	一冊	三七五
現金酒之通 日下源左衛門 飯田三左衛門宛 嘉永六年一月	横美半	一冊	三六〇
現金酒之通 近江屋文之助 飯田宛 嘉永七年一月	横美半	一冊	三六三
万之通 横町谷川や松兵衛 飯田三左衛門宛 嘉永七年一月	横半半	一冊	三七〇
御製藥御預通 飯田三左衛門 嘉永七年七月	横半半	一冊	三七七
通 橋本屋六右衛門 三左衛門宛 安政六年一月	横半半	一冊	三二〇
諸品通 多満留屋宗兵衛 飯田三左衛門宛 安政六年一月	横半半	一冊	三三七
現金酒之通 日下源左衛門 飯田三左衛門宛 安政六年一月	横美半	一冊	三六三
万之通 □松 安政六年一月	横半半	一冊	三七〇
万之通 きむらや多郎兵衛 飯田三左衛門宛 安政六年一月	横半半	一冊	三七〇
仕出通 銚子屋与兵衛 飯田三左衛門宛 安政六年一月	横半半	一冊	三七三
判取帳 増田屋清助 飯田三左衛門宛 安政六年一月	横半半	一冊	四三三
判取帳 安政六年一月	横長半 横半半	二冊	四三〇
通 銚子屋新蔵 飯田三左衛門宛 安政七年一月	横半半	一冊	三二三

干物青物通 片町増田屋 飯田三左衛門宛 安政七年一月	横半半	一冊	三二三
万之通 よこ町松 飯田三左衛門宛 安政七年一月	横半半	一冊	三〇九
万之通 飯田三左衛門 安政七年一月	横半半	一冊	三七〇
万之通 木村屋多郎兵衛 飯田三左衛門宛 安政七年一月	横半半	一冊	三七二
仕出し通 さのや孝右衛門 飯田宛 安政七年一月	横半半	一冊	三七三
仕出し通 銚子屋与兵衛 飯田三左衛門宛 安政七年一月	横半半	一冊	三七四
万之通 笹屋七郎兵衛 飯田宛 安政七年三月	横半半	一冊	三七三
通 銚子屋新蔵 飯田三左衛門宛 万延二年一月	横半半	一冊	三二四
万之通 横町谷河屋松兵衛 飯田三左衛門宛 万延二年一月	横半半	一冊	三七三
仕出通 銚子屋与兵衛 飯田三左衛門宛 万延二年一月	横美半	一冊	三七六
現金酒之通 日下源左衛門 飯田三左衛門宛 文久元年一月	横美半	一冊	三六四
通 銚子屋新蔵 飯田三左衛門宛 文久二年一月	横半半	一冊	三二五
現金酒之通 日下源左衛門 飯田三左衛門宛 文久二年一月	横美半	一冊	三六五
万之通 木村屋多郎兵衛 飯田三左衛門宛 文久二年一月	横半半	一冊	三七四
万之通 横町谷松 飯田三左衛門宛 文久二年一月	横半半	一冊	三七五
仕出通 銚子屋与兵衛 飯田三左衛門宛 文久二年一月	横半半	一冊	三七六
通 銚子屋新蔵 飯田三左衛門宛 文久三年一月	横半半	一冊	三六六

油之通	米田村油屋三右衛門	飯田三左衛門宛	文久三年一月	横半半	一冊	三六三
万之通	多郎衛	飯田三左衛門宛	文久三年一月	横半半	一冊	三六六
仕出し通	銚子屋与兵衛	飯田三左衛門宛	文久三年一月	横半半	一冊	三七〇
品通帳	福田屋久右衛門	飯田三左衛門宛	文久三年一月	横半半	一冊	三七三
醬油之通帳	市村七左衛門	飯田三左衛門宛	文久三年一月	横半半	一冊	三七五
仕出し通	銚子屋与兵衛	飯田三左衛門宛	文久四年二月	横半半	一冊	三七六
諸品通	文久四年二月			横半半	一冊	三七七
水油通	米田村油屋三右衛門	飯田三左衛門宛	文久四年二月	横半半	一冊	三七八
水油通	米田村油屋三右衛門	飯田三左衛門宛	元治二年一月	横半半	一冊	三七九
仕出し通	銚子屋与兵衛	飯田三左衛門宛	元治二年一月	横半半	一冊	三八〇
水油通	米田村油屋三右衛門	飯田三左衛門宛	慶応二年一月	横半半	一冊	三八一
仕出し通	銚子屋与兵衛	飯田三左衛門宛	慶応二年一月	横半半	一冊	三八二
通帳	下町福田屋	中町飯田三左衛門宛	慶応三年一月	横半半	一冊	三八三
油之通	日下源左衛門	飯田三左衛門宛	慶応三年一月	横半半	一冊	三八四

水油之通	米田村油屋三右衛門	飯田三左衛門宛	慶応三年一月	横半半	一冊	三八五
万之通	よこ町谷河屋松兵衛	飯田宛	慶応三年一月	横半半	一冊	三八六
万之帳	多郎衛	飯田三左衛門宛	慶応三年一月	横半半	一冊	三八七
仕出し通	銚子屋与兵衛	飯田三左衛門宛	慶応三年一月	横半半	一冊	三八八
酒之通	布施屋清吉	慶応三年四月		横半半	一冊	三八九
万通	下町ふくや	飯田三左衛門宛	慶応四年一月	横半半	一冊	三九〇
万之通	多郎衛	飯田三左衛門宛	慶応四年一月	横半半	一冊	三九一
仕出し通	銚子屋与兵衛	飯田三左衛門宛	慶応四年一月	横半半	一冊	三九二
染物通	ふじ代染屋五郎兵衛	飯田三左衛門宛	慶応四年三月	横長半	一冊	三九三
諸品請取通	慶応四年四月			横半半	一冊	三九四
判取帳	飯田	明治元年霜月		横半半	一冊	三九五
万之通	多郎衛	三左衛門宛	明治二年一月	横半半	一冊	三九六
仕出し通	銚子屋与兵衛	飯田三左衛門宛	明治二年一月	横半半	一冊	三九七
買物帳	老番	飯田三左衛門	明治二年一月	横半半	一冊	三九八
買物帳	貳番	飯田三左衛門	明治二年一月	横半半	一冊	三九九
買物帳	三番	飯田三左衛門	明治二年一月	横半半	一冊	四〇〇
買物帳	四番	飯田三左衛門	明治二年一月	横半半	一冊	四〇一
染物通	染屋五郎兵衛	飯田三左衛門宛	明治二年七月	横半半	一冊	四〇二

油之通	市兵衛 飯田宛	明治二年九月	横半半	一冊	三六九
豆腐通	東屋隠居 飯田三左衛門宛	明治二年一〇月	横半半	一冊	三八一
現金酒之通	日下源左衛門	明治三年一月	横長半	一冊	三六九
御酒之通	あふみや文之輔 飯田三左衛門宛	明治三年一月	横美半	一冊	三七二
諸事扣	主作	明治三年一月	横半半	一冊	三六三
通	銚子屋新藏 飯田旦那宛	明治四年一月	横半半	一冊	三八九
諸品通	多郎衛 飯田三左衛門宛	明治四年一月	横半半	一冊	三六二
仕出シ通	銚子屋与兵衛 飯田三左衛門宛	明治四年一月	横半半	一冊	三七五
刻之通	まつ屋紋一郎 飯田総五郎宛	明治四年一〇月	横半半	一冊	三八六
通	多ら勝 飯田三左衛門宛	明治五年一月	横半半	一冊	三八〇
油刻通	まつ屋紋一郎 飯田三左衛門宛	明治五年一月	横半半	一冊	三八九
仕出し通	銚子屋与兵衛 飯田宛	明治五年一月	横半半	一冊	三八六
通	銚子や新造 飯田宛	明治七年一月	横半半	一冊	三六五
諸品通	染谷吉藏 飯田総五郎宛	明治七年一月	横半半	一冊	三六三
仕出シ通	銚子屋与兵衛 飯田総五郎宛	明治七年一月	横半半	一冊	三七七
通帳	木村泰吉 飯田惣五郎宛	明治七年二月	横半半	一冊	三八三
通	木村泰吉 飯田宛	明治七年二月	横半半	一冊	三八四
万之通	木村泰吉	明治七年一〇月より	横半半	一冊	三七三

通帳	木村や 飯田惣五郎宛	明治八年一月	横半半	一冊	三八六
通	銚子屋新藏 飯田宛	明治八年一月	横半半	一冊	三八七
油刻通	まつ屋紋一郎 飯田総五郎宛	明治八年一月	横半半	一冊	三〇〇
仕出シ通	銚子屋与兵衛 飯田総五郎宛	明治八年一月	横半半	一冊	三六六
諸品通	染谷吉藏 飯田宛	明治八年二月	横半半	一冊	三八三
現金酒之通	日下武源治 飯田宛	明治八年八月	横半半	一冊	三八三
通	永田屋忠作	明治八年十一月	横長半	一冊	三〇五
通	銚子屋新造 飯田宛	明治九年一月	横半半	一冊	三八六
仕出通	銚子屋与平 飯田総五郎宛	明治九年一月	横半半	一冊	三八九
豆腐通	東屋大助 飯田三左衛門宛	明治一〇年三月	横半半	一冊	三八四
水油通	宮和田村菊屋 飯田宛	明治一一年一〇月	横半半	一冊	三〇三
通	銚子屋新造 飯田宛	明治一三年一月	横半半	一冊	三八九
豆腐品之通	東屋大助 飯田宛	明治一三年一月	横半半	一冊	三八五
営業通帳	てうし屋文八郎	明治一三年九月	横半半	一冊	三八六
通	銚子屋新造 飯田宛	明治一四年一月	横半半	一冊	三八〇
通	銚子屋新造 飯田宛	明治一五年一月	横半半	一冊	三八三
諸品通	川原崎文治郎 飯田宛	明治一五年一月	横半半	一冊	三八七
諸品之通	成沖屋伊助 飯田宛	明治一五年一月	横半半	一冊	三八六
醬油之通	あふみや五郎治 飯田総五郎宛	明治一五年一月	横美半	一冊	三七五

通 木村屋泰吉 飯田惣五郎宛 明治一五年二月	横半半	一冊	三三	仕出通 岡野万次郎 飯田宛 明治二四年一月	横半半	一冊	三七五
現金万之通 取手駅佐野屋利八 飯田宛 明治一五年二月	横半半	一冊	三七五	油之通 松屋治平 横瀬主作宛 明治二七年七月	横半半	一冊	三七二
通 銚子屋新蔵 飯田宛 明治一六年一月	横半半	一冊	三六	覚帳 河原崎永吉 横瀬主作宛 明治二八年一月	横半半	一冊	三七四
染之通 谷中村紺屋八平 飯田主作宛 明治一六年一月	横半半	一冊	三六七	豆腐引合 ⑤ 横瀬宛 明治三七年二月	横半半	一冊	三六八
現金酒之通 日下新造 飯田宛 明治一六年	横半半	一冊	三六三	通帳 福田屋 飯田宛 明治巳年	横半半	一冊	三六
醬油通 多田屋 飯田主作宛 明治一八年一月	横半半	一冊	三七五	(諸品通) 木村多ら衛 飯田惣五郎宛 明治子年一月	横半半	一冊	三六
諸品通 川原崎文二郎(銚子屋) 飯田宛 明治一九年一月	横半半	一冊	三五	通 飯田三左衛門 色川惣次郎宛 午年六月	横半半	一冊	三六九
豆腐通 東屋 飯田主作宛 明治一九年二月ヨリ	横半半	一冊	三七七	よ路川おほ以帳 い、多内 寅年六月	横半半	一冊	三七三
諸物品之通 取手駅石原利八 飯田宛 明治一九年五月	横美半	一冊	三五	掛帳 一号 大橋 (昭和八年ヨリ)	9×13	一冊	四〇元
諸物品之通 取手駅石原利八 飯田宛 明治二〇年一月	横美半	一冊	三五	(江戸大伝馬町大丸屋算用帳) 大丸屋嘉七 近江屋清兵衛宛 卯年二月	横長半	一冊	四三
染物通 清谷や 飯田宛 明治二〇年一月	横半半	一冊	三八〇	(通帳)	横半半	一冊	四三四
豆腐通 東屋 飯田宛 明治二〇年一月	横半半	一冊	三八二	飯田組合通			
現金酒之通 河原崎永吉 飯田主作宛 明治二〇年二月	横半半	一冊	三七四	豆腐通 飯田組合 明治九年二月	横半半	一冊	三八六
諸品通 川原崎文治郎 飯田宛 明治二〇年四月	横半半	一冊	三五	買物帳 飯田組合 明治九年二月	横半半	一冊	三八六
諸物品之通 取手駅石原利八 飯田宛 明治二一年二月	横美半	一冊	三七元	諸品通 壹号 飯田組合 明治一五年四月	横半半	一冊	三八
諸材木通 中倉忠次郎 飯田主作宛 明治二一年三月	横半半	一冊	三三	諸品通 貳号 飯田組合 明治一五年四月	横半半	一冊	三八九
現金諸品通 取手駅石原利八 飯田主作宛 明治二三年三月	横半半	一冊	三五	豆腐通 飯田組合 明治一五年四月	横半半	一冊	三八六
				第壹号通帳 近所組合 明治二五年四月	横半半	一冊	三三
				第貳号通帳 飯田組合 明治二五年四月	横半半	一冊	三三
				買物帳 飯田組合	横半半	一冊	三六元

他通

醬油仕入諸扣帳 文政九年九月

諸品通 藤代宿詰所人民總代持 明治一三年八月

春米

(米春覽帳) 明治一——二年

(米出入改帳)

奉公人

老年奉公人請狀 藤代村人主源助 三左衛門宛
文化四年一二月

人足賃錢帳 飯田三左衛門 文化六年四月

奉公人請狀 飯田三左衛門宛 文化九——四年

亥年諸事入用帳・諸職人并日雇日記帳 文化一二年二月

諸事入用座帳・職人日雇手間扣帳 文化一四年一月

奉公人請狀 飯田三左衛門宛 文政元——三年

奉公人請狀 飯田三左衛門宛 天保二——四年

日雇職人日記帳 天保九年一月

給金小遣帳 天保九——二年

日雇職人日記帳 天保一〇年一月

半季日数改帳 棚木村松平 天保一二年二月

横長半 一冊 三五六

横長半 一冊 三五四

横長半 一冊 三〇八

横長半 一冊 三二九

一通 六九

横長半 一冊 三五五

一綴 六五

横長半 一冊 三七六

一綴 六二

一綴 六三

横長半 一冊 三七九

横長半 一冊 三六〇

横長半 一冊 三六〇

横長半 一冊 三六〇

奉公人請狀 伊丹村人主鴨右衛門 三左衛門宛 弘化二年二月

奉公人請狀 三左衛門宛 弘化三——五年

奉公人請狀 三左衛門宛 嘉永元——六年

奉公人給金并日雇帳 嘉永三年一月

奉公人給金其外出入帳 嘉永五年一月

奉公人給金其外出入帳 飯田三左衛門 嘉永六年一月

日雇職人日記帳 安政三年一月

手伝人足控覽帳 安政三年八月

奉公人請狀 三左衛門宛 文政三——五年一二月

奉公人請狀 藤代宿人主繁藏 三左衛門宛 万延元年一二月

奉公人請狀 万延三年

奉公人請狀 藤代宿人主繁藏 三左衛門宛 文久元年一二月

奉公人請狀 中内村 三左衛門宛 文久四年一月

奉公人請狀 井野村治右衛門 三左衛門宛 慶応二年一二月

(諸職人農業日雇記) 飯田氏勝手方 明治五年一月

諸職人農業日雇記 飯田氏 明治八年一月

(下男他給金差引覽帳) 明治九——一〇年

(給金差引記) (明治一〇年)

一通 六五

一綴 六三

一綴 六四

一冊 三七九

一冊 三七九

一冊 三七九

一冊 三六〇

一冊 三七九

一綴 六〇

一通 六三

一通 六三

一通 六七

一通 六九

一通 六九

一通 六九

一冊 四〇四

一冊 三七九

一冊 三六〇

一冊 三六〇

(日雇日数割帳)	明治一二年	横長半	一冊	五二八	祝儀受納帳	飯田三左衛門庸信	弘化二年二月	横長半	一冊	六八七
諸職人日雇帳	明治一五年四月ヨリ	横長半	一冊	三〇三	慶事					
諸職人并農業日雇簿	明治一六年二月	横長半	一冊	三七五	祝儀受納帳	飯田三左衛門庸信	弘化二年二月	横長半	一冊	六八七
農工日雇帳	飯田氏 明治一八年一月ヨリ	横長半	一冊	三六六	男子生産ニ付祝儀請納帳(飯田源一郎)	弘化四年一〇月	横長半	一冊	三六〇	
農職工雇日記	横瀬氏 明治一八年二月	横長半	一冊	三六五	祝儀受納帳	横瀬家	明治二六年一月	横長半	一冊	三六八
農工日雇簿	飯田氏 明治一九年一月ヨリ	横長半	一冊	三九七	献立	料理人羽田勇吉他	明治三〇年二月	横長半	一通	四二六
農工日雇簿	飯田氏 明治二二年三月ヨリ	横長半	一冊	三九八	(祝儀帳)					
農職工日雇控簿	横瀬氏 明治三五年二月	横長半	一冊	四〇三	文哉長女富寿子出生ニ付見舞并三ッ目産明キ配。					
(賃金差引覚)	寅年暮	横長半	一冊	四〇四	重	明治三四年八月	横長半	一冊	三九八	
(佐吉給金之内前借証文)	押切村八右衛門		一通	七三五	(祝儀帳)					
三左衛門宛	午年四月				献建					
(娘利称御奉公御暇願書)	相模屋新兵衛		一通	四六九	(献立)					
治郎宛	八月				献立					
(奉公人手間留帳)		横長半	一冊	五七六	年礼					
(奉公人勤留帳)		横長半	一冊	五〇〇	年玉附留帳	天保一四年一月	横長半	一冊	六八六	
(日雇奉公人日数帳)		横長半	一冊	五四九	飯田庸義手控帳	飯田亥瀬之助	天保一五年四月	横長半	一冊	四七六
(む之助小遣覚)		横長半	一通	七六六	年頭生盆暑寒歳暮仕方	飯田三左衛門	弘化三年一月	横長半	一冊	三六九
(奉公人日数留帳)		横長半	一冊	六八二	年頭生盆暑寒歳暮仕方	飯田三左衛門	弘化四年一月	横長半	一冊	三六二
(日雇等留帳)		横長半	一冊	六〇三	年頭御祝義帳	天王通二丁目飯田三左衛門	安政五年一月	横長半	一冊	六九二
奉公人請状		横長半	一通	六〇九	御年頭祝義扣	飯田三左衛門庸信	安政六年一月	横長半	一冊	六九二
(半季奉公人請状下書)		横長半	一通	六二五						
卷ヶ年季奉公人請状		横長半	一通	六三二						

年賀受納扣帳	飯田三左衛門	安政七年一月	横長半	一冊	三六三
年頭生盆暑寒歲暮仕方帳	飯田三左衛門	万延二年一月	横長半	一冊	三六四
年礼年玉もの取遣扣帳	万延二年一月	横長半	一冊	三六六	
年頭生盆暑寒歲暮仕方帳	飯田三左衛門	文久二年一月	横長半	一冊	三六五
御年始遣取帳	文久三年一月	横長半	一冊	三六七	
年礼年玉もの取遣扣帳	文久四年一月	横長半	一冊	三六〇	
年頭生盆暑寒歲暮其外扣帳	飯田三左衛門	元治元年二月	横長半	一冊	三五〇五
年礼土產物受納扣	飯田氏	明治八年一月	横長半	一冊	三五〇七
年始受納帳	横瀬飯田氏	明治二〇年一月	横長半	一冊	三六九
歲暮年始諸礼受納帳	明治二三年二月(旧一月)	横長半	一冊	三六九	
(年礼年玉控帳)		横長半	一冊	三六二	
歲暮受納		横長半	一冊	四三〇	
奉加					
山王村金仙寺様御山内ニ而見舞受納帳在宿ニ而見舞受納之扣	金仙寺五種相伝加入飯田庸徳	文化六年十一月	横長半	一冊	三八四
山王村金仙寺様行入中并宿元見舞受納帳	飯田三左衛門庸信・同母	嘉永三年一月	横長半	一冊	四六六
保日光金申込書	飯田總五郎	日光山保日光会	半	一綴	五其四
明治一四年一〇月					
(榛名山御初穂料請取寛)	宮和田宿市兵衛	飯田三左衛門宛		一通	七五二
丑年一〇月					

(心経殿御再建寄附受納証)	嵯峨御所御勧誘所	飯田三左衛門宛	戊午十二月	一通	七六
(秩父順礼所御札)				一四枚	五〇四
薬師修繕社請取証	世話人總代	飯田秀太郎宛		二通	七三九
火事見舞					
失火見舞簿	和田藤五郎	明治一七年一月	横半半	一冊	四八〇
(類焼見舞控)			横長半	一冊	三九〇九
病氣見舞					
病中見舞受納帳	安政二年一月	横長半	一冊	三九〇三	
病中見舞受納帳	よし事はま	明治二年七月	横長半	一冊	三九〇三
病中見舞受納扣	明治九年十二月	横長半	一冊	三九〇四	
仏事					
浄邦院十七年忌到来付留	飯田小兵衛	明和九年七月	横長半	一冊	三六五
香錢帳(生簀往信士義勝)	安永五年四月	横長半	一冊	三六五	
生簀学往信士一回忌・発悟道順信女十三回忌受納帳	(安永六年九月)	横長半	一冊	三六〇	
生簀学往信士三回忌客来受納帳	安永七年四月	横長半	一冊	三六二	
香錢帳(日光信士)	安永八年一〇月	横長半	一冊	三六〇	
(生簀学往信士七回忌追善客来受納寛)	天明二年四月	横長半	一冊	三六三	
廓運然清童女掛ケ帳	飯田姓	寛政六年九月	横長半	一冊	三六三

小遣てう〔了達童子〕 享和四年	横長半	一冊	三〇七
随譽惠光信女香錢帳小遣てう 飯田姓 文化七年七月	横長半	一冊	三〇六
小遣帳 文化八年八月	横長半	一冊	三〇六
香錢帳〔庸敏〕 文化八年八月	横長半	一冊	三〇六
庸敏一廻忌惠光三廻忌追膳客人數扣并供物受納扣帳 文化九年七月	横長半	一冊	三〇六
庸敏三廻忌追膳客人數扣并供物受納帳 文化一〇年八月	横長半	一冊	三〇六
庸敏光廻忌惠光七廻忌追膳客人數扣并供物受納扣帳 文化一三年七月	横長半	一冊	三〇六
庸敏惠光十三廻忌追膳客人數扣并供物受納帳 文政五年七月	横長半	一冊	三〇六
五拾壹ヶ年十七ヶ年廻忌追膳客人數扣并供物受納帳 忠恕勤 文政九年四月	横長半	一冊	三〇三
元祖横瀬主膳正源繁氏様法名本替秋覚様式百四年相当 飯田三左衛門忠恕 文政二年八月	横長半	一冊	三〇五
願譽庸敏様取越・随譽惠光様相当式拾壹廻忌・円光信士五十一ヶ年相当客人數扣并供物受納帳 文政一三年七月	横長半	一冊	三〇六
見舞受納 天保三年八月	横長半	一冊	四〇三
香錢帳〔陣譽無二道頭飯田三左衛門忠恕〕 天保三年閏十一月	横長半	一冊	三〇六
小遣帳 天保三年閏十一月	横長半	一冊	三〇六
百ヶ日仏前請納帳 天保四年二月	横長半	一冊	三〇七
新盆受納帳〔陣譽無二道頭信士〕 天保四年七月	横長半	一冊	三〇七
忠恕三廻忌請納帳 飯田三左衛門 天保五年一〇月	横長半	一冊	三〇三
七廻忌受納帳 天保九年十二月	横長半	一冊	三〇六
香錢帳 飯田姓 天保一〇年五月	横長半	一冊	三〇六
小遣帳 天保一〇年五月	横長半	一冊	三〇六
小遣帳 天保一〇年一〇月	横長半	一冊	三〇六
近所手伝覚〔秀五郎〕 天保一〇年一〇月	横長半	一冊	三〇六
秀五郎一周忌控 天保一一年四月	横長半	一冊	三〇六
香錢帳 天保一一年七月	横長半	一冊	三〇六
小遣帳 天保一一年七月	横長半	一冊	三〇六
一周忌供物并手伝覚 天保一一年七月	横長半	一冊	三〇六
百ヶ日供物覚 天保一一年一月	横長半	一冊	三〇六
新盆受納帳 天保一二年七月	横長半	一冊	三〇六
香錢帳〔力替神演照際信士源忠義〕 天保一四年八月	横長半	一冊	三〇六
小遣帳〔同右〕 天保一四年八月	横長半	一冊	三〇六
当日三日七日三拾五日四拾九日 天保一四年九月	横長半	一冊	三〇七
忠誠新盆受納帳〔力替神演照際信士〕 天保一五年七月	横長半	一冊	三〇六
忠恕十七廻忌・忠誠七廻忌手伝受納帳 飯田三左衛門 嘉永元年七月	横長半	一冊	三〇六
二代目横瀬刑部源庸氏法名源譽看式百四年相当・陣譽無二道頭俗名飯田三左衛門忠恕式拾壹廻・本替懸空淨頭信女忠恕妻拾三回 飯田三左衛門庸信 嘉永五年七月	横長半	一冊	三〇六

本普慧空顯信女忠恕妻拾七回取越ス・力普神演
照際信士飯田三左衛門忠誠拾三回正当・超普秀
士嚴淨信士忠恕四男忠誠俗名秀五郎第拾七回
飯田三左衛門庸信 安政二年八月

(追膳客人數并供物供納帳) (万延元年力)

陣普無二道顯信士相当三拾三回忌 元治元年一
〇月

小遣帳 明治二年一月

香奠帳 明治二年一月

年頭生盆暑寒歲暮其外扣帳 飯田三左衛門 明治
二年一月

手伝人遣立扣帳 明治二年一月

(蓮正院三十五日川施餓鬼入用遣帳) 明治二年
二月

蓮正院新盆ニ付請納帳 明治二年七月

小遣帳(貞松院淨普心月妙榮大姉) 明治二年九月

香奠帳(貞松院淨普心月妙榮大姉) 明治二年九月

貞松院新盆飾花其外請納帳 明治三年七月

小堀寺田勘兵衛殿御内儀不幸ニ付村方香奠 市
村七左衛門石仕兩人取集 明治三年閏一〇月

香奠帳(光蓮院稱普一音妙念大姉) 明治九年十二月

小遣帳(同右) 明治九年十二月

手伝人名記 明治九年十二月

光蓮院様新盆ニ付飾花受納帳 明治一〇年八月

蓮正院十三回忌正当 明治一四年二月(旧一月)

横長半 一冊 三六四

横長半 一冊 三六三

横長半 一冊 三六三

横長半 一冊 三六四

横長半 一冊 三六三

横長半 一冊 三六六

横長半 一冊 四六三

横長半 一冊 三六六

横長半 一冊 三六七

横長半 一冊 三六三

横長半 一冊 三六四

横長半 一冊 三六四

横長半 一冊 三六四

横長半 一冊 三六五

横長半 一冊 三六〇

横長半 一冊 三六〇

横長半 一冊 三六三

寿松院庸信居士出棺行列 明治一五年五月(旧三
月)

手伝帳 明治一五年五月

寿松院三回忌正当・貞松院拾七回忌取越・蓮正
院拾七回忌取越追副入用記 十三代飯田主作 明
治一七年四月(旧三月)

小遣帳 松寿軒 明治一九年十一月

寿松院七回忌・光蓮院十三回忌・生順院五十回
忌・真宗良解信士三回忌追副入用簿 十三代飯
田主作 明治一二年三月(旧二月)

小遣帳(円光信士)

小遣帳

おぼい

身曾貴御祓

故小林久神靈祭詞 大講義兼祠宮内藤吉喬

(手伝人覚帳)

(三回忌呼遣覚)

(親戚先客人町内等來客留帳)

(咒符)

○戒名

(蓮正院心普知恵妙徳大姉墓碑銘) 明治二年一
月

(先祖代々戒名記) 庸徳 明治二年二月改

(飯田家代々戒名記) 明治二年

横長半 一冊 四〇七

横長半 一冊 三六三

横長半 一冊 三六五

横長半 一冊 三六四

横長半 一冊 三〇九

横長半 一冊 三六三

横長半 一冊 四〇〇

横長半 一通 四二五

横長半 一通 四二七

半 一通 五五九

半 一通 五五九

一枚 五二九

一通 七三〇

一通 七三六

日下源二左衛門書狀 飯田三左衛門・寺田膳 右衛門・市村七左衛門外御用勤宛	一通 六七四一
日下書狀 飯田三左衛門宛	一通 六八九
日下書狀 飯田宛	二通 六四〇・六五五
日下八右衛門書狀 飯田宛	一通 六五三
日下吉三郎書狀 飯田幾代作宛	一通 六六九
日下対蔵書狀 飯田宛	一通 六〇四
永田屋忠右衛門書狀 飯田三左衛門宛	三通 六〇八・六四〇・六九二
永田屋忠右衛門書狀 飯田宛	三通 六四三・六九・七〇五
萩原書狀 飯田三左衛門宛	一通 六七四
九右衛門書狀 飯田三左衛門宛	一通 六〇三
取手宿	
常陸屋又右衛門書狀 飯田三左衛門宛	一通 四七三
大惣代下兵衛書狀 飯田三左衛門宛	一通 六四四
谷沢一郎兵衛書狀 飯田三左衛門宛	七通 四〇六・四三九・六二六 六四〇・六五九・六六〇 六六一
谷沢一郎兵衛書狀 飯田三左衛門外役人宛	一通 六七三
谷沢一郎兵衛書狀 飯田三左衛門・永田屋忠 右衛門宛	四通 四六七・六九一・六六三 六七五
谷沢一郎兵衛書狀 飯田三左衛門・日下源左 衛門宛	一通 六三七

谷沢一郎兵衛書狀 本陣旦那・飯田宛	三通 六〇三・六三三・六六六
谷沢一郎兵衛書狀 飯田代作宛	一通 六一〇二
一郎兵衛・利右衛門書狀 飯田三左衛門・忠 右衛門宛	一通 四五六
近江屋文之助書狀 飯田・若主人宛	七通 四三三・四五二・四五三 六〇七・六四九・六五五 六七三
近江屋清三書狀 飯田主作宛	一通 六九二
富塚清三書狀 飯田主作宛	一通 六三一
きゆじや音吉書狀 本陣宛	一通 六六七
土浦	
中村治助書狀 飯田三左衛門宛	二〇通 四三九・四四一・六二七 六二九・六八二・六三八 六九四・四三七・六四八 六五〇・六五五・六五五 六六二・六六三・六六七 六七四・六八九・六九五 六七七・六〇七
中村治助書狀 飯田三左衛門他宛	二通 四三四・六六一
中村治助書狀 飯田總五郎・主作宛	一通 六〇〇
中村治助書狀 飯田宛	一通 六六八
中村治助書狀 宛名欠	一通 六四〇
中村惣左衛門書狀 飯田三左衛門宛	一通 六六九

中村祐玉書狀 飯田総五郎宛	二通 六七〇・六七一	橋本権七書狀 三左衛門宛	三通 四五六・六六〇・六四四
里見春吉書狀 飯田三左衛門宛	八通 四〇一・四〇七・六〇〇 六二四・六四一・六四六 六六三・六九一	飯田竜九郎書狀 三左衛門宛	一通 六六三
里見新吾書狀 飯田三左衛門宛	一通 六七七	隆崎書狀 飯田宛	一通 五七
里見□書狀 飯田三左衛門宛	一通 六七五	中村真次郎書狀 主作宛	一通 六九八
里見有藏書狀 飯田三左衛門宛	一通 六八〇	和田村	
里見書狀 三左衛門・源一郎宛	一通 六九〇	酒富家見せ書狀 飯田宛	二通 六四九・六四三
里見春吉書狀 源一郎宛	一通 四五四	椎名藤五郎書狀 飯田三左衛門宛	一三通 四〇四・六五五・六五五 六七二・六八二・六八三 六五二・六五三・六七八 六七六・六七七・六七七 六七五
里見書狀 源一郎宛	二通 六七六・六九二・六九五	椎名藤五郎書狀 主作宛	三通 六八四・六四七・六五八
里見惣書狀 飯田主作宛	一通 六九〇	椎名藤五郎書狀 三左衛門・岡島啓吉宛	一通 六八三
勅使河原官兵衛書狀 飯田三左衛門宛	五通 六三七・六四四・六六五 六八元・六九元	椎名藤五郎書狀 飯田宛	一通 六九七
勅使河原貞藏書狀 飯田三左衛門宛	一通 六八九	椎名藤五郎書狀 兄宛	二通 六八八・六四九
勅使河原中書狀 主作宛	一通 六〇五	椎名泰次郎書狀 三左衛門宛	四通 四五六・六二五・六七〇 六八六
笹屋七郎兵衛書狀 三左衛門宛	二通 六六四・六四三	椎名泰次郎書狀 飯田亥瀬之助宛	一通 六六九
笹屋長兵衛書狀 源一郎宛	四通 六二七・六四三・六四三 六七六	椎名恭次郎書狀 三左衛門宛	三通 六三三・六三四・六五三
笹屋七兵衛書狀 主作宛	一通 六三七	渋谷亀藏書狀 三左衛門宛	二通 四五九・六五三
笹屋長兵衛書狀 主作宛	二通 六五五・六五七〇	渋谷喜三郎書狀 三左衛門宛	六通 四五一・四六一・四四四 六五六・六五三・六七〇
		渋谷喜三郎書狀 藤代兄宛	四通 六六八・六三一・六五三 六八四

和田喜三郎書狀 三左衛門宛
和田喜三郎書狀 源一郎宛

二通 四〇九・六三七
二通 三三七・六八二

和田喜三郎書狀 兄宛

一八通

四〇三・六〇四・六五三
六三四・六四〇・六四九
六五七・六五二・六三三
六五一・六六六・六四三
六三六・六六六・六五三
六八五・六八九・六九四

和田喜三郎書狀 藤代・姉・他宛

三通

六二六・六七二・七三七

和田喜作書狀 飯田・新田清右衛門宛

一通

六五九

和田喜作書狀 飯田總五郎・組合宛

一通

六八七

和田喜作書狀 三左衛門宛

一通

六八九

和田書狀 主作宛

三通

六一〇・六五三・六二三

和田書狀 藤代・飯田・主人宛

一〇通

四五六・四五九・六三三
六五九・六〇八・六二六
六九三・七二・六七五
六八三

渋谷代源兵衛書狀 飯田銀市郎宛

一通

六三四

和田渋谷喜三郎代源兵衛書狀 飯田宛

一通

六八七

和田藤五郎手代源兵衛書狀 飯田宛

一通

六八六

和田より代源右衛門書狀 飯田宛

一通

六八六

小堀河岸

寺田勘兵衛書狀 三左衛門宛

六通

六八一・六二〇・六二五
六七五・六七六・六八六

寺田勘兵衛書狀 主作宛

七通

六三三・六六〇・六六九
六七四・六七八・六八〇
六九五

寺田治一郎書狀 總五郎宛

一通

六九〇

寺田治一郎書狀 主作宛

一通

六八五

寺田茂書狀 主作宛

一通

四四五

寺田三九郎書狀 主作宛

一通

六〇九

寺田書狀 主作宛

一通

六五八

寺田隱居書狀 飯田宛

一通

六〇七

寺田先藏書狀 飯田宛

一通

六四四

花野井

吉田甚左衛門書狀 三左衛門宛

二通

七六八・六七八

吉田甚左衛門書狀 總五郎宛

二通

六三三・六五五

吉田甚左衛門書狀 主作宛

一通

六五一

吉田甚左衛門書狀 飯田宛

四通

六〇六・六七九・六七六
六八五

吉田窪藏書狀 三左衛門宛

一通

六八〇

吉田鷹之助書狀 三左衛門宛

二通

六四四・六五五

吉田久助書狀 三左衛門宛

三通

六七三・六七三・六七七

吉田見世書狀 三左衛門宛

一通

四〇〇

吉田内書狀 三左衛門宛

一通

六三六

上萱場村

浜野平太夫書狀 三左衛門宛

浜野平太夫書狀 飯田宛

浜野虎次郎書狀 主作宛

浜野書狀 三左衛門宛

浜野隱居書狀 飯田・吉田・市村宛

山内沖之助書狀 藤代本陣宛

下萱場村

与三郎書狀 三左衛門宛

宮和田村

羽田源右衛門書狀
三左衛門宛

源左衛門書狀 三左衛門宛

德左衛門書狀 三左衛門宛

関源右衛門書状 三左衛門宛

□左衛門書狀 三左衛門宛

増山直三郎書狀 飯田宛

中内村

平右衛門書狀 三左衛門宛

里兵衛書狀 三左衛門宛

倉持治右衛門書狀 飯田宛

牛久宿

麻屋治左衛門書狀 三左衛門宛

佐野佐右衛門書狀 三左衛門宛

佐野新右衛門書狀 三左衛門宛

佐野俊太郎書状 主作宛

佐野書狀
飯田宛

竜ヶ崎

岡島（いがや）重右衛門〔啓吉〕書状 総五郎
・三左衛門・兄宛

岡島重右衛門書狀 源一郎・主作宛

岡島書狀
飯田宛

山王村

玉司卯兵衛書狀 三左衛門宛

二通 六二八・七〇六

二通 四六三・六五二

一通六五〇

一通 六四七三

五通
六三三・六三三・六三三
六九二・六九二

二通 六五四・六九〇九

二四通

三通 六二七〇・六七五四・六九五四

一通 六二五

四通
四三八・六六七・六四三
六四二

玉司彦兵衛書狀 三左衛門宛	四通 六九七・六九七・六九七・六九七
前野文右衛門書狀 三左衛門宛	一通 六二六
水野恭助書狀 主作宛	一通 六八八
山王納所書狀 飯田宛	一通 六〇一
小浮気村	
桜井源五左衛門書狀 三左衛門宛	一通 六九一
海□書狀 三左衛門宛	一通 六九五
長束桃斎書狀 三左衛門宛	一通 六九〇
長兵衛新田	
倉持長兵衛書狀 三左衛門他	三通 六〇三・六〇三・六〇三・六九四
片町	
平本浅右衛門書狀 三左衛門宛	一通 六五五
平本清左衛門書狀 三左衛門宛	一通 六二六
平本書狀 飯田宛	一通 六四七
平本寅五郎書狀 源一郎宛	一通 六七三
米田町	
井小萩利兵衛書狀 総五郎宛	二通 六六七・六六八
下井村	
小島武左衛門書狀 三左衛門宛	二通 六二八・六三三
江戸	
藤屋藤助・鯉屋織居書狀 三左衛門・山王村 五郎右衛門宛	一通 六七三
東京	
関野寛隆書狀〔本石町〕 飯田宛	一通 六〇三
生井角藏書狀 源一郎宛	一通 六五三
その他	
大高織次郎書狀 三左衛門宛	一通 六五五
大高書狀 三左衛門宛	一通 六四三
要助書狀〔鬼岡村〕 飯田宛	一通 六四三
木邨重悦書狀〔小丸村〕 三左衛門宛	一通 六五〇
木村光悦書狀 三左衛門宛	一通 六〇八
猪俣履信書狀〔土浦外西町〕 主作宛	一通 六四九
布施源右衛門書狀〔上横地村〕 主作宛	一通 六六一
竜太夫書狀 三左衛門宛	四通 六四八・六四八・六四八・六四九
小島内書狀〔小泉村〕 三左衛門宛	一通 六五五

小島富(藤)五郎書狀 三左衛門宛	一通 六七七	平野屋伊右衛門書狀 三左衛門宛	一通 六〇一
木村卯兵衛・荒木孝之助書狀(西櫓戸本陣)	一通 四〇六	中山源兵衛書狀 三左衛門宛	一通 六〇七
寺島小左衛門書狀 三左衛門宛	一通 四二一	岡輕平書狀 三左衛門宛	一通 六一五
銚与書狀 亥瀬之助宛	一通 四二八	篠塚掃部書狀 三左衛門宛	一通 六二五
石崎正助書狀 飯田宛	一通 四三〇	山本嘉助書狀 三左衛門宛	一通 六四四
川村義一郎書狀 三左衛門宛	一通 四〇三	杉沢五右衛門書狀 三左衛門・家内宛	二通 六五七・六五五
御法治左衛門書狀 三左衛門宛	二通 四〇四・四〇一	杉沢五郎治書狀 三左衛門・家内宛	一通 六五五
次郎右衛門書狀 三左衛門宛	一通 四〇三	安藤権原書狀 三左衛門宛	一通 六五九
和はや書狀 三左衛門宛	一通 四〇六	河内屋勝次書狀 三左衛門宛	一通 六五九
坂部藤四郎書狀 三左衛門宛	一通 四〇五	飯島才一郎書狀 主作宛	一通 六七三
高□氏書狀 かやば 三左衛門宛	一通 四〇六	秋元書狀 飯田宛	一通 六七四
中田喜七書狀 三左衛門宛	一通 四〇七	秋元隆玄書狀 三左衛門宛	一通 六八四
鱗石兵助書狀 飯田宛	三通 四〇九・六四三・六三〇	穀一書狀 飯田宛	一通 六八七
文左衛門書狀(岡詰所) 三左衛門宛	一通 四〇三	伊勢屋彦六書狀(水戸上町和泉丁) ・組頭清助宛	一通 六九三
(栄海寺清右衛門書狀) 三左衛門宛	一通 四〇三	木村武左衛門(河原代村) 三左衛門宛	一通 六九七
詰所惣代書狀 三左衛門宛	一通 四〇五	高橋荒次郎書狀 主作宛	一通 六二〇
間根山石之助・永野春吉書狀 飯田・親族宛	一通 四〇四	木村綱五郎書狀(関) 三左衛門宛	一通 六三六
(江口書狀) 三左衛門宛	一通 四〇九	武藤儀兵衛書狀 三左衛門宛	一通 六三七
庫吉書狀 飯田・三左衛門宛	二通 四〇五・六五三	中山常兵衛書狀 三左衛門宛	一通 四四〇
徳右衛門書狀 三左衛門宛	二通 四〇六・六八三	十文字太夫内谷崎治右衛門書狀 三左衛門宛	四通 四四四・六四六・六五七・六八六
平沢書狀 飯田宛	一通 四〇七		

飯島明書狀 飯田宛	一通 三三三
蘆葉伊右衛門書狀 主作宛	一通 三三六・六九三
石塚長兵衛書狀 主作宛	一通 三三五
谷田部次郎左衛門書狀 三左衛門宛	一通 三六三
伊平治書狀 土浦旅館飯田三左衛門宛	一通 三六五
重左衛門書狀〔青木村〕 三左衛門宛	一通 三九〇
染野義酸書狀 飯田宛	一通 三〇三
重田勘兵衛書狀 飯田三八右衛門宛	一通 三〇六
海老原平作書狀 三左衛門宛	一通 三〇九
次郎左衛門書狀 三左衛門宛	一通 三三三
野口曾右衛門書狀 三左衛門宛	一通 三三三
惣次書狀 飯田喜代作・内儀宛	一通 三三三
下田与二右衛門書狀 飯田・三左衛門・勘兵衛宛	三通 三五四・六四六・七五四
銚子屋書狀 三左衛門宛	一通 三三七
池田民吉書狀 三左衛門宛	三通 三五六・三五六・六七九
池田沼五郎書狀 三左衛門宛	一通 三六八
鈴木書狀 三左衛門宛	一通 三六三
仙次郎・市右衛門書狀 三左衛門宛	一通 三六六
伏見善右衛門・酒井定八書狀 三左衛門宛	一通 三六六
門馬仲之助書狀〔奥州上太田村〕 飯田代作宛	一通 六四三・六五四
山田屋兵助書狀	一通 六四六

松柏金書狀 飯田宛	一通 六四六
丹沢記久太夫書狀 三左衛門宛	一通 六四八
倉持弥市・酒詰治書狀 総五郎宛	一通 六五〇
宮本伴三郎書狀 飯田宛	一通 六五三
輕部喜弥太書狀 浜田村 飯田宛	一通 六五一
十文字太夫書狀 三左衛門宛	一通 六五四
貫右衛門書狀 三左衛門宛	一通 六五〇
飯沼久右衛門書狀 三左衛門宛	二通 六五九・六六六
中島甚吾書狀〔新治郡小倉村〕 主作宛	一通 六六七
日下武源二書狀 総五郎宛	一通 六五〇
飯泉庄之助書狀 三左衛門宛	一通 六五七
石井清兵衛書狀 三左衛門宛	一通 六三七
磯矢宗文書狀 主作宛	一通 六三三
宅書狀 三左衛門宛	一通 六四〇
濂吉・嘉吉書狀〔水海道〕 藤代三左衛門・宮和田宿源右衛門宛	一通 六四三
染野普之助書狀 三左衛門宛	一通 六六三
問屋伊三郎書狀 藤代宿役人宛	一通 六六九
松本与惣兵衛書狀 三左衛門宛	一通 六七四
古谷宗左衛門書狀〔鬼長村〕 土浦旅館三左衛門宛	一通 六七三
三郎兵衛書狀・我孫子宿本陣小熊郷右衛門添狀 藤代宿本陣三左衛門宛	一通 六八一

大竹瀬兵衛書狀 三左衛門宛	一通 六三三	取手宿	一郎兵衛書狀 宮和田宿間屋源右衛門宛	一通 六四九
岡島長助書狀 飯田宛	一通 六三四	土浦		
沼口八十吉書狀 三左衛門宛	一通 六五一	里見春吉書狀 可之助宛	一通 六六九	
飯田甚兵衛書狀 三左衛門宛	一通 六六七	笹屋七郎兵衛書狀 中村治助・はる宛	一通 六八六	
正村圭右衛門書狀 三左衛門宛	一通 六八三	久松時右衛門書狀 和田記作宛	一通 六九五	
輕部善兵衛書狀 三左衛門宛	一通 六九三	五香や次助書狀 牛久宿あさや宛	一通 六四一	
倉嶋松四郎書狀 三左衛門宛	一通 六〇一	和田		
大野伴藏書狀 三左衛門宛	一通 六〇五	和田書狀 みえ宛	一通 六二三	
長束書狀 主作宛	一通 六五五	喜三郎書狀 可之助宛	一通 六三九	
老人書狀 主作・まき宛	一通 六九三	喜作書狀 日下源左衛門・芹沢六郎兵衛・同苗兵七宛	一通 六四四	
中山新七書狀〔神住村〕 主作宛	一通 六九六	椎名隠居書狀 山王村玉司卯兵衛宛	一通 六四九	
清助書狀 飯田宛	一通 七〇九	椎名祖母書狀 山王村玉司卯兵衛宛	一通 六六四	
八田屋儀兵衛書狀 三左衛門宛	一通 七五五	花之井村		
青山半七書狀 三左衛門宛	一通 七二七	吉田甚左衛門書狀 竜ヶ崎町伊賀や重左衛門宛	一通 六七五	
岡左衛門書狀 藤代村役人宛	一通 七〇六	上萱場村		
治助書狀 三左衛門宛	一通 七五七	浜野平太夫書狀 藤代宿永田屋宛	一通 六六四	
御そんじ書狀 三左衛門宛	一通 八〇〇	浜野隠居書狀 永田屋宛	一通 六八三	
長尾栄吉書狀 源一郎宛	一通 八〇二	中内村		
河口隠居書狀 三左衛門宛	一通 六四三	平右衛門書狀 寺田膳右衛門宛	一通 六五二	
隠居書狀 飯田宛	一通 六三三・六三四			

市村七左衛門・寺田膳右衛門書狀 日下源
左衛門・永田屋忠左衛門宛

一通 四三七

竜ヶ崎

伊賀屋重右衛門書狀 馬喰町上州屋弥兵衛宛

一通 六三六

岡島重左衛門書狀 飯田方啓吉

一通 六六四

片町

中川平兵衛書狀

一通 四四六

中川平兵衛書狀 日下源二左衛門宛

一通 六三〇

欽二郎書狀 名主忠三宛

一通 四九三

惣兵衛書狀〔木曾〕 日下吉三郎宛

一通 六五九

小池嘉右衛門書狀〔小萱村〕 藤代本陣日下三
左衛門宛

一通 六四四

大崎孝之助書狀〔大室かし〕 関口惣次郎宛

一通 六六九

秋元隆益書狀 渋谷亀藏方喜三郎宛

一通 四五六

〔足立真一書狀〕 渋谷喜三郎宛

一通 四六七

河口隠居書狀 喜崎礼助宛

一通 六六七

河口当教書狀 椎崎邦純宛

一通 七五五

庫吉書狀 日下源左衛門宛

一通 六四三

庫吉書狀 日下源左衛門宛・永田屋清助宛

一通 六三三

中山紋右衛門書狀 永田忠右衛門宛

一通 四四四

下田書狀 仲ノ町杳右衛門宛

一通 六四七

金書狀 日下宛

二通 六二一・六七五

大高材右衛門代十兵衛書狀 伊賀屋啓吉宛
間根山石助・永野春吉書狀 日下対蔵宛

一通 六八〇
一通 六九七

高瀬・清崎書狀 靈雲寺宛

一通 六九六

横山米吉書狀 諸越方太郎・猪瀬田郎平宛

一通 六八五

〔元祐書狀〕 伊兵衛宛

一通 七二五

山口書狀 山口内宛

一通 八〇三

明治以降

岡田勝三郎書狀〔寺田村〕 区長主作宛

一通 四二七

谷沢一郎・富塚其平書狀 区長主作宛

一通 六〇四

岩田定吉書狀 主作宛

四通 六〇六・六〇九・六四三
六九六

中川豊治郎書狀 主作宛

五通 六〇三・六〇九・八〇六
八二一・八〇三

中川書狀 飯田宛

一通 六〇九

中川礼心書狀 戸長飯田宛

一通 六九六

原正作書狀 横瀬町長宛

一通 六八〇

寺田嘉兵衛書狀 主作宛

一通 六二三

寺田台二書狀 飯田兄・主作宛

五通 六九六・六九七・七二五
七三六・八〇六

寺田勘兵衛留主居書狀 主作宛

一通 六九五

寺田光之助書狀 主作宛・叔父宛

二通 七〇七・七六一

戸長寺田書狀 区長飯田宛

一通 六七八

寺田書狀 横瀬宛

一通 六四四

寺田右書狀 伯父宛	一通 七〇三	飯田代作(幾代作)書狀 飯田英五郎宛	三通 六四九・六六六・六九六
小島広吉書狀〔東京兵營〕 主策宛	一通 六五〇	飯田英五郎書狀 飯田兄宛	一通 六七九
飯島安三書狀 三左衛門宛	一通 六七一	飯田代作書狀 日下吉三郎〔叔父〕宛	八通 六五三・六七九・六七〇 六四六・六四四・六七一 六四四・六八〇
蛸原市左衛門書狀〔井野村〕 主作宛	一通 六三七		
橋荒次郎書狀 主作宛	一通 六六三		
大崎佐吉書狀 主作宛	一通 六七一		
曾我房治書狀〔東京南茅場町〕 主作宛	一通 六〇九	飯田三左衛門書狀 飯田源一郎宛	四通 六六七・六四七・六五〇 六四二
寺田権右衛門書狀 飯田宛	一通 六五〇	飯田三左衛門書狀〔水戸本町五丁目〕 飯田喜三郎・礼助・源一郎宛	一通 六六六
谷沢源一郎書狀 主作宛	一通 六七八	飯田三左衛門書狀 母宛	一通 六五五
山崎明清書狀 飯田宛	二通 六九七・六八八	飯田源一郎書狀 三左衛門宛	四通 六二四・六三〇・六八元 六四〇
山崎峻書狀〔茨城県〕 戸長主作宛	一通 六〇〇		
啓吉書狀 飯田兄宛	一通 六〇六		
里見惣書狀	一通 六九三		
藤五郎書狀 主作宛	一通 六四二		
田中榮吉書狀 横瀬宛	一通 六四三	飯田源一郎書狀 母宛	九通 四七〇・六八九・六三三 六七五・六四二・六四三 六五三・五七七・六七〇
酒井寅造書狀 主作宛	一通 六九六	飯田源一郎書狀 中村誠之輔宛	一通 六四三
鈴木平兵衛書狀 主作・岩田定吉宛	一通 六九七	飯田源一郎書狀 田中宛	一通 六八二
関長四郎書狀 主作宛	一通 八〇五	飯田主作書狀 三左衛門宛	二通 四四三・六四五
浅尾書狀 弥助宛	一通 六〇四	飯田主作書狀	一通 六九二
椎崎邦純書狀 和田村和田藤五郎宛	一通 四三二	飯田啓蔵書狀 兄・三左衛門宛	四通 四四三・四四三・四六八 六五七

家

飯田連衛助書狀	三左衛門宛	一通	四六八
飯田連衛助書狀	母宛	一通	四六三
飯田連衛助書狀	兄・姉宛	四通	四六四・四六五・六三六・六三八
飯田連衛助書狀	兄宛	二通	四六六・六〇九
飯田連衛助書狀	三左衛門宛	一通	六〇五
飯田連衛助書狀	飯田宛	一通	六〇五
飯田連衛助書狀	阿文字宛	二通	六〇九・六〇九
連衛助〔礼助・礼佐書狀〕	兄〔三左衛門〕宛	一六通	六五三・六三七・六三〇・六五五・六四〇・六四一・六〇八・六四六・六五四・六五五・六六八・六六〇・六七四・六四七・六五二・六九六
連衛助書狀	源一郎宛	一通	六五九
連衛助書狀	父宛	一通	六五九
椎崎隠居書狀	総五郎宛	一通	六〇二
椎崎書狀	兄宛	一通	四六四
椎崎邦純書狀	総五郎宛	四通	四六三・六五六・六五一・六七〇
椎崎邦純書狀	主作宛	四通	四六五・六〇六・六四八・六六九
椎崎邦純書狀	主作・岡嶋宛	一通	六九七

椎崎邦純書狀	飯田兄宛	五通	四六九・四六二・六四一・六四六・六三七
椎崎書狀		一通	六〇九
椎崎内可那書狀	飯田よし宛	三通	四七七・六三二・六五〇
椎崎恭三郎書狀	三左衛門〔兄〕宛	一七通	四五一・四三四・四四七・四五四・六〇六・六〇三・六二八・六八九・六四三・六四八・六四九・六五三・六五五・六五八・六八五・六八五・六八三
椎崎恭三郎書狀	姉宛	二通	六〇三・六〇八
椎崎恭三郎書狀	源一郎・主作宛	四通	六二二・六五四・六三九・六四四
椎崎恭三郎書狀	源三郎〔兄〕宛	三通	四四三・六三三
椎崎可之助書狀	三左衛門〔兄〕宛	二六通	四六二・六〇四・六〇三・六〇八・六二五・六六一・六九五・六三三・六三七・六三四・六四四・六四六・六四八・六四八・六四九・六五四・六五一・六五七・六〇四・六〇六・六四八・六六五・六七七・六七八・六九八・六九七
椎崎可之助書狀	姉宛	一〇通	四五四・六三七・六三八・六四〇・六四八・六五七・六六〇・六七五・六七三・六九九

椎崎可之助書状 源一郎宛

六通 六三三・六三六・六三三
六五八・六六八・六六六

中村正二書状 主作宛

一通 六二六

中村叔父書状 主作宛

一通 六〇七

中村誠之助書状 源一郎宛

二通 六〇六・六三三

中村誠之助書状 叔父宛

一通 六三三

中村誠三書状 飯田宛

一通 六五七

中村誠三書状 叔父宛

一通 六九一

徳兵衛書状 兄宛

一通 四七四

徳兵衛書状 母兄宛

一通 六〇五

取手出先書状 藤代宛

一通 六〇七

星野曾五郎書状 父宛

一通 六五〇

藤之助書状 伯父宛

一通 六三六

関七郎書状 飯田兄宛

一通 六四六

飯田書状 三左衛門宛

一通 六〇七

信之・重通書状 両親宛

一通 六四九

父書状 庸隆宛

一通 六七三

飯田啓次郎書状 主作宛

一通 六八七

大野内書状 三左衛門宛

一通 六三三

大野内書状 代作宛

一通 六五三

里う書状〔山王村〕 叔母宛

一通 六二六

いよ書状 はは宛

一通 六二四

よし書状〔土浦〕 三左衛門宛

三通 四九〇・六九六・六七七

よし書状 か文字宛

一通 六七二

はる書状 よし宛

二通 六五五・六二九

と重書状 兄宛

一通 六三三

登重書状 か文字宛

五通 六二六・六四三・六四三
六七七・六七四

やゑ書状 あね宛

二通 六四七・六八一

はは書状 よね宛

一通 六五七

よの書状〔藤代〕 りゆう宛

一通 六九〇

はは書状 よし宛

一通 六四三

筆・ふで書状 か文字・姉宛

二通 六四七・六四三

もと書状 伯母・叔母宛

二通 六四六・六四九

寺田なを書状 飯田老母宛

一通 六三六

はな書状 啓吉宛

一通 六三三

和田つる書状 か文字・姉宛

一通 六四九

和田つる書状 兄宛

一通 六二九

可津書状 姉宛

一通 六七九

とく書状

一通 六九六

秋元せき書状 主作宛	一通 六五四
秋元せき書状 はま宛	一通 六三〇
せき書状 兄宛	一通 六四四
和田祖母書状 椎名喜三郎宛	二通 四五六・四七七
和田隠居書状 みへ宛	一通 六五九
和田弟書状 飯田姉宛	一通 六五七
玉司卯兵衛書状 姉宛	一通 六三三
ささ屋七郎兵衛書状 よし宛	一通 六六一
清衛書状 姉宛	一通 六三九
市村書状 一統宛	一通 六四七
岡嶋啓吉書状 飯田母宛	一通 六五三
忠右衛門・庫吉書状 両君宛	一通 六七五
長塚作右衛門書状 三左衛門・老母宛	一通 六六九
□□書状 飯田宛	一通 六八〇
○	
某書状 三左衛門宛	一通 四四四
弟書状 兄宛	一通 四五一
某書状 両国 よま宛	一通 六二五
某書状 飯田伯父宛	二通 六三三
某書状 叔父宛	一通 六五五
某書状 か文字・姉宛	一通 六八八

森一堂書状	一通 七〇三
□之助書状	一通 七三三
某書状	五九通 四四三・四五九・六〇五 六〇四・六〇三・六〇五 六〇九・六二〇・六九九 六二九・六二八・六八五 六九四・六九五・六三三 六三六・六三七・六五四 六三六・六三三・六三三 六三〇・六三八・六四〇 六四二・六四三・六四六 六四九・六五七・六五五 六四八・六五九・六八二 六五九・六六〇・六六一 六六二・六六八・六四一 六六四・六六九・六三八 六七七・六七八・六七七 六八六・六八六・六八七 六八六・六八六・六八七 六八九・六九〇・六九三 六九三・六九三・六八六 六九一・七〇二・七〇三 七四九・七九六
某女書状	八通 六一四・六二六・六三九 六四三・六四七・六四八 六四九・六四九
下書・格文	
三左衛門・源一郎書状 長塚海造宛	一通 六八一
三左衛門書状 海造宛	一通 六四二
三左衛門書状 飯島次左衛門宛	二通 六六四
三左衛門書状 椎崎恭三郎宛	一通 六八一

三左衛門書狀	和吉宛	一通	六八九
三左衛門書狀	塚本偵助・石井吉之助宛	一通	六九六
飯田弟書狀	岡田兄宛	一通	六九五
飯田主作書狀	関兄宛	一通	六〇〇
飯田主作書狀	関長四郎宛	一通	六四九
飯田主作書狀	茨城斗開社宛	一通	六〇四
飯田主作書狀	中村両親宛	一通	六〇六
飯田主作書狀	米原兄宛	一通	六八四
飯田主作書狀	岡野万次郎宛	一通	六四九
飯田書狀	長束宛	一通	六四九
天王講仕方		一通	六六三
某書狀		四通	六八八・六九三
愚息書狀他		四通	六九七・六九三・六九七五 八〇一七
追加			
水野恭助書狀	飯田主作宛	一通	八〇三
庫吉・清助書狀	飯田三左衛門宛	一通	八〇四
杉沢五右衛門書狀〔江州石谷村〕	飯田三左衛門宛	一通	八〇五
安政五年七月			
寺田膳右衛門・市村七左衛門書狀	飯田三左衛門宛	一通	八〇六
某書狀		一通	八〇七

下総国
相馬郡

藤代村飯田家文書目録解題

文書の伝来

本文書は茨城県北相馬郡藤代町藤代の横瀬家の旧蔵にかかり、古書店を通して当館の所蔵に帰した。

本文書は従来「史料館案内」に「下総国相馬郡藤代宿横瀬家文書（名主・本陣）」として記るしてある通り、横瀬家文書と称してきたが、村名については本文書には藤代村、藤代宿、藤代町、藤代駅などと見えているが、使用に際しての区別は明らかでなく、又天保五年一二月「下総国郷帳」には「藤代村」とあるので、藤代村を採用した。

つぎに横瀬家は近世初頭には横瀬姓を称したが、飯田姓を名乗り、明治二五年に再び横瀬姓に復姓している。本文書の主要部分は飯田姓の時期に当るので、「飯田家文書」とした。

藤代村の概略

藤代村の概要

当館の常陸国土浦土屋家文書の「御代々御拝領御知行割御領知目録写」によると、元禄七年五月二五日付「領地目録」には下総国相馬郡之内に藤代村が記るされている。元禄一二年二月二五日付と正徳二年四月一日付、享保二年八月一八日付

「領知目録」には見当たらない。

ついで享保五年二月一日付「領知目録」には下総国相馬郡之内に藤代村がある。以後、延享三月一〇月一日、寛延四年三月一日、宝暦十一年一〇月二日、天明八年三月五日、天保一〇年三月五月の各「領知目録」には記載されているので、享保初年以降は土浦藩領として幕末に及んでいる。

土浦藩の寛延元年「郷村高辻帳」には、藤代村は高六九七石四斗九升五合とあり（土浦市史編集資料「一三篇九七頁」、同天保四年「郷村高帳」には高六九七石四斗九升五合、外に高蔵寺除地高八斗五升とあり谷原領下郷組に属している（同上「一三篇一四〇頁」）。

つぎに本文書によると、寛永二、七、一一年の各御水帳が明治期には存在した事が知られるが、すべて現存しない。

幕末期には村高七〇一石八斗四升五合、反別九一町一反一七步で、その内で田地は五六町三畝歩で全体の約六割に当る。その内訳は土浦藩領が高六九七石四斗九升五合（反別九〇町二反三畝一七步）、高蔵寺除地が高八斗五升、百姓三左衛門除地高が二石五斗、百姓治右衛門除地が高一石となっている。この百姓三左衛門が本文書原蔵者飯田三左衛門である。

明治期には、藤代村は明治四年には葛飾県、同五年に印旛県、同六年に千葉県、同八年に茨城県と管轄替えがあり、現在は茨城県北相馬郡に属している。

明治期の藤代村の所属行政区劃は第一表の通りである。明治二二年に相馬町になってから後は、昭和三〇年に相馬町は六郷村、山王村、及び高須村の一部、筑波郡久賀村の一部と合併して藤代町となり現在に及んでいる。

藤代村の人口・戸数は、享和三年五人組帳では九〇軒で、その内本百姓は八四軒、水呑は六軒である。同年の「百姓宗旨御改」によると人数は四八七人で、本百姓家内が四四七人、同下人が一七人、水呑家内が二二人、出家が一人の内訳である。

明治四年には戸数九八軒、人数六一五人、馬一四疋である。

なお明治二〇年の藤代宿外七ヶ村聯合戸長役場の八カ村戸数は五〇五戸、人数二七六二人、有税地段別六七九町四反七畝一二步である（茨

第1表 明治期藤代村所属行政区劃表

人情風俗は「本町ノ内旧宮和田、片町、
櫛木、平野ノ四村ハ農業ヲ専ラニシ独リ
旧藤代宿商ヲ営ムモノアリト雖トモ然モ
傍ラ農業ヲナスモノアルヲ以テ人情風俗
モ略同一ニシテ大差アルコトナク概子惇

物 産	数 量	内 訳
米	741.0 石	貢 納 25 % 自用費消 75 %
麦	360.0	自用費消 100
雑穀	?	
大豆	45.0	自用費消 100
小豆	5.5 貫目	自用費消 100
綿	1680	他国輸出 50 自用費消 50
園 蔬	?	自用費消 100
鶏 卵	150 羽	他国輸出 100
鶏 卵	6560 丸	他国輸出 100
清 酒	856.8 石	他国輸出 100
醬 油	375.3	他国輸出 100
油	34.272 枚	他国輸出 100
蚕 種	70 匹	他国輸出 100
紙	52	
豚		

第2表 明治6年藤代村物産表

*「他国輸出」は内国移出を示す

朴ナリ」。

交通運輸は「本町ノ内旧藤代宿及宮和田、片町ノ二村ハ国道ニ係リ人家連檐相櫛比シテ一小市街ノ体ヲナシ人馬ノ来往頻繁ニシテ且ツ上野水戸間鉄道停車場ノ旧藤代宿ニ在ルヲ以テ一層其便アリ」。

物産は「本町ノ物産ハ農産物ニシテ其重ナルモノヲ米麦トシ年々東京或ハ近郷ノ地ニ輸出ス又実綿、繭等ノ特有物産アリテ是又年々各地ニ向テ輸出ス」。

水利関係は「本町ハ岡堰組合ニシテ水田ハ同堰ノ用水ヲ以テ灌溉シ其工費ヲ分檐シ又旧各村共小貝川ニ直接関係ヲ有スルヲ以テ小貝川堤防組合ニ属ス」。

藤代村附近はこの小貝川と利根川に囲まれた輪中地帯のため水害があり、最近では昭和二五年に堤防が決潰しており、本文書の一部もその際に被害をうけている。

本文書によると享保期から名主二人で他に組頭があり、享保一五年から水銭世話人として百姓代がみえている。飯田氏はこの時期から三左衛門を襲名して上組名主を勤めているが、同期以前は明らかでない。

上、下両組は天明元年の場合には土浦藩領高六九七石九斗八升七合の内、上組が高四八五石九斗八升七合、下組が高二一石五斗八合である。

弘化二年には下組名主治右衛門の老衰を理由に飯田三左衛門が両組名主を兼ねる。嘉永元年には再び両者別名主であるが、分離の時期は明

らかでない。

なお安政二年一月から名主は三名であるが、上組分の高に変化はない。元治元年の上組分の反別は六五町一反五畝一二歩で、その内訳は田三六町八反五畝一五歩、畑二四町九反五畝一八歩、外に見取場三反七畝一八歩、流作場新田畑成候地之分二町九反六畝二二歩である。

小貝川用水関係

小貝川の岡堰については前に記したが、大正七年野口如月著「北相馬郡志」二六四頁には小貝川の水利について「多く岡堰水利組合に属し、柵木より藤代、片町、宮和田、平野、の耕地を貫通し高須村に入る、排水は悪水堀六郷村より来り高須村に至るものと小文間村に至るの二線あり灌漑至便なり」とある。このように藤代村の用水は小貝川の岡村にある岡堰からとられているが、小貝川にはこの他に福岡堰、伊丹堰がある。これら各堰の組合は次の通りである。いずれも明和期の事情である。

(一)相馬郡岡用水堰組合

これは岡堰の御普請組合で、組合の村数は三二カ村、合高二万〇八一八石一斗九升四合八夕で、高の内訳は御料高三二〇二石五斗一升九合六夕九才、私領高一万七六一五石六斗七升五合一夕一才であり、村名と村高は第三表の通りである。藤代村はこの組合に属し、前記の通りこの用水により灌漑している。

石	村	561.7620
	岡和田村	734.1650
	山王村	1378.7880
	配松村	311.1020
	神住村	415.2610
	中内村	532.3830
	柵木村	861.4660
	藤代村	701.8450
	片町村	114.4950
	宮和田村	997.1340
	平野村	392.2740
	押切村	627.4260
	高沢村	2059.2828
	大留村	508.8120
	神之浦村	449.7340
	渋沼村	360.4650
	小文間村	1836.3670
	吉田村	282.5420
	長兵衛新田	125.3000
	青柳村	647.2080
	井野村	1559.8030
	台宿村	430.4330
	桑原村	941.8990
	小泉村	330.9800
	百井戸村	199.5770
	米田村	163.1010
	谷中村	269.4280
	小浮気村	281.5830
	酒詰村	540.8540
	毛有村	267.0280
	寺田村	1320.2410
	中谷原村	618.4560

第3表 明和期岡用水堰組合村表

(二)福岡・伊丹用水堰組合

これは小貝川の福岡・伊丹堰御普請組合で、組合は合高三万〇九二三石〇三升九合、村数六九カ村である。高の内訳は御料高五二三五石三斗一升一合四夕九才、私領高二万五六九六石七斗二升七合五夕一才である。この組合には藤代村は加っていないので、村名は省略する。

(三)小貝川通川除御普請組合

小貝川通人足割は三つに割って実施されるが、それは

(A)上小貝川通組合村々百姓役人足割合

これは上小貝川人足割で割合高三万七四九六石一斗七升二合四夕、村数七四カ村に割る。これには藤代村は入っていないので村名は省略する。

(B)小貝川通谷原領村々人足割合

これは谷原領人足割で福岡堰組合に当る。高三万〇九八八石一斗三升五合、村数七〇カ村であるが、人足割高はその内の高三万〇三〇六石八斗一升九合である。この内には藤代村は加わっていないから村名は省略する。

(C)小貝川通相馬郡村々人足割合

これは相馬郡人足割で岡堰組合に当る。高二万一七二五石二斗三升六合八夕、村数三五カ村であるが、人足割合高はその内で岡村が堰元で

村名	高
	*(223.3310)
上高井村	220.3660
下高井村	683.7110
岡村	561.7620
和田村	734.1650
山王村	1378.7880
配松村	311.1020
神住村	415.2610
中内村	535.2610
桐木村	861.4660
藤代村	701.8150
片町村	114.4950
宮和田村	997.1340
平野村	392.2740
押切村	627.4260
高次村	2059.2828
大留村	508.8120
大神浦村	449.7340
渋沼村	360.4650
小文間村	1836.3670
吉田村	2836.3670
長兵衛新田	125.3000
青柳村	647.2080
井野村	
{安左衛門組	1002.81269
{甚兵衛組	550.99031
萱宿村	430.4330
桑原村	941.8990
小泉村	330.9800
百井戸村	166.5770
中谷原村	618.4560
米田村	163.1010
谷中村	269.4280
小浮気村	281.5830
酒詰村	540.8540
毛有村	267.0280
寺田村	1320.2410

第4表 明和期小貝川通相馬郡村々人足割村表

* 上高井村高2種あり

あるので組合相対で人足割から除いているため、人足割高は高二万一一六三石四斗七升四合八夕である。村名は第四表の通りで、藤代村はこれに入っている。岡堰組合であるが第三表に比較すると、上・下高井村が参加している事がわかる。

以上によって小貝川惣組合百姓役諸色割合高は(A)(B)(C)三者合計高九万〇二一〇石三斗六升五合一夕になる。つぎに

(D)小貝川通川附村々御入用金割合

これは内郷の村々を除き小貝川付の村で割合うものであり、藤代村はこれに含まれている。割合高は高五万三四三三石六斗八升貳合三夕九才、村数九七カ村である。村名は多数のため省略する。

水戸街道藤代・宮和田両一宿

藤代宿

藤代宿は水戸街道（尿前越街道、浜街道、陸前浜街道とも云う）の宿である。

水戸街道は日本橋―千住―新宿―松戸―小金―我孫子―取手―藤代―若芝（若柴）―牛久―中村―稻吉―府中―竹原―片倉―小幡―長岡―水戸で、水戸以遠は仙台を経て出羽国最上郡舟形に至り、奥州道中に連絡する。

藤代宿は藤代・宮和田両一宿で高一八〇三石三斗六升四合であり、宮和田宿と共に一宿になるが、通常これを藤代宿と称しているようである。高の内訳は天明六年には土浦藩領藤代宿高六九七石四斗九升五合、宮村孫左衛門御代官所同宿之内片町村高一四石四斗九升五合、同上御代官所宮和田宿高八二三石二斗三合、太田佐平治知行所同村分郷高一六八石一斗七升一合である。これは藤代村と片町村の二カ村で藤代宿、宮和田村が宮和田宿になっている事を示す。

問屋・馬指は藤代・宮和田両宿から兩人宛で勤めた。なお飯田氏は本陣である。

藤代宿の上りは取手町で一里三〇丁、下りは若柴宿で一里の距離にある。若柴宿との間には小貝川があり、渡船場がある。この渡船場は宮

和田宿で渡船を建造し一日百姓四人宛で勤める。

藤代・宮和田両一宿の助郷

(一)定助郷村は正徳二年「水戸海道筋相馬郡御料御私領助郷村高書上帳」、安永四年「水戸海道藤代宿江人馬助郷村々書上帳」、天保十一年「定助郷加助郷高改帳」によると第五表の通りで村数二十九カ村、高一万九〇〇〇

石余である。

これらの村はすべて下総国相馬郡内にあり、宿からの距離は一二丁から二里迄である。

なお正徳二年の場合には二十九カ村助郷村高一万八五六七石二斗七升八合の外に、藤代、宮和田、片町の三町高一八〇三石三斗六升一合を加

村 名	正徳5年	安永4年	天保11年
岡 村	石 480.6620	石 561.7620	石 561.7620
山王村	369.8720	1378.7880	1378.7880
中内村	530.0390	535.2610	532.3830
棚木村	853.4720	861.4660	861.4660
平野村	392.0010	392.2740	392.2780
押切村	620.4080	627.4260	627.4260
高次村	2032.4180	2059.2820	2059.2820
大留村	508.4520	508.8120	508.8120
神浦村	429.4840	444.7340	449.7310
寺田村	1316.0010	1320.2410	1320.2410
台宿村	429.6030	430.4330	430.4330
井野村	1495.2520	1559.8030	1559.8060
吉田村	263.9980	282.5420	282.5420
長兵衛新田	117.3350	125.3000	125.3000
米田村	111.6580	163.1010	163.1010
中谷原村	601.5010	618.4560	618.4560
渋沼村	347.8250	360.4650	360.4650
小文間村	1784.6270	1836.3670	1836.3670
和田村	732.3050	734.1650	734.1650
配松村	305.3590	311.1020	311.1020
神住村	414.7310	415.2610	415.2610
桑原村	939.4460	941.8990	940.8990
青柳村	639.4920	647.2080	647.2080
小泉村	312.9370	330.9800	330.9800
百井戸村	189.6310	196.5770	196.5770
谷中村	266.5230	269.4280	269.4280
小浮気村	279.7000	281.5830	281.5830
毛有村	263.6880	267.0280	267.0280
酒詰村	□.8540	540.8540	540.8540
合 計	18567.2780	19002.5980	19002.5980

第5表 藤代、宮和田両一宿定助郷村表

えて、組合三三カ村分惣高二万〇〇三七石六斗三升九合としている。

天保一一年の場合には岡村を「是ハ加助郷組合」として定助郷寛の外にしているが、定助郷高は岡村高が加算された高であるから、何んらかの臨時的な処置ではあるまいか。

(二)加助郷は明和元年「加助郷村々石高之覚」では三三カ村、高一万二九六五石七斗七升六合、安永七年「加助村々石高書上帳」では三三カ村、高一万二八一一五石七斗七升六合である。天保一一年「定助郷加助郷高改帳」では三三カ村、高一万三三九八石四斗六升九合で、村名は第六表の通りである。

なお安永七年にはこの三三カ村の他に新助郷一三カ村、合高三五五八石余があり加助郷は惣計四六カ村、高一万六三三七石七斗七升六合である。新助郷の村名は第七表の通りである。

(下総国豊田郡)

荒井木村	石余 384
相野谷村	297
中山村	412
沖新田	240
三坂新田	450
上川崎村	350
中川崎村	229
下川崎村	113
平右衛門 新田	203
兵右衛門 新田	158
箕輪村	199
(下総国印旛郡)	
将監新田	240
(常陸国筑波郡)	
仁左衛門 新田	383
村高合計	3558

第7表 安永7年新助郷村表

(常陸国筑波郡)

青木新田	石 311.5350
宮戸村	339.9000
北袋村	242.3040
樫木村	281.9830
箕輪村	92.4430
押砂村	293.7470
神住新田	118.4370
山王新田	556.2000
下谷井田村	338.4290
上谷井田村	384.5090
戸茂村	237.8410
大田村	647.9950
戸崎村	184.2980
神生村	312.8180
野堀村	329.4110
上嶋村	248.4090
中嶋村	228.9450
下嶋村	630.6290
伊丹村	621.1950
下平柳村	502.2630
上平柳村	404.7810
中平柳村	489.0760
狸洩村	358.5490
青木村	425.7700
長渡路村	323.5250
長渡路新田	291.0750
下小目村	909.8540
上小目村	242.8250

(下総国豊田郡)

長助新田	204.9180
十花村	753.9970
大崎村	466.0200

(下総国相馬郡)

川崎村	834.1990
鬼長村	747.2190

(村高合計) 13398.4690

第6表 明和・安永期藤代・
宮和田一宿加助郷村表

(三)土浦藩御殿様人馬割合

これは寛政四年「殿様御帰城ニ付御領分御伝馬割合帳」と、同一一年「殿様御参府ニ付御領分御伝馬割合帳」にみえる村は三五カ村で村名は第八表の通りである。すべて土浦藩谷原領に属している。土浦藩主の参勤に際しての人馬割合である。

(常陸国筑波郡)

福台	岡	村
田		村
東	戸	村
谷	口	村
神	住	田
下	嶋	村
中	嶋	村
上	嶋	村
市	之	村
奉	社	村
真	木	村
日	川	村
仁	左衛門	新田
上	長	沼
下	長	沼
丸	山	村
成	瀬	村
将	監	新田
上	谷	井田
下	平	柳
山	谷	村
長	渡	路
青	木	村
下	小	目
上	小	目
官	戸	村
川	又	村
北	袋	村
箕	輪	村
押	砂	村

(下総国相馬郡)

鬼	長	村
川	崎	村
細	代	村

第8表 寛政期土浦藩殿様人馬割合村表

下総国相馬郡取手・藤代宿外三拾式ヶ村組合

組合村

関東取締出役により組合村が編成されたが、藤代村は取手宿と共に下総国相馬郡寄場取手宿・藤代宿両組三拾式ヶ村組合に属した。

井野村	福田所左衛門御代官所 久世出雲守領分 野村貫三郎知行
青柳村	本多作十郎知行
神浦村	福田所左衛門御代官所
中内村	土屋采女正領分
小泉村	三枝忠次郎知行
吉田村	久世出雲守領分
寺田村	田安殿御領知
高次村	三枝忠次郎知行
毛有村	村越豊之助知行 土屋采女正領分
大留村	三枝忠次郎知行
米田村	井上筑後守領分
和田村	本多作十郎知行
神住村	村越豊之助知行 中村簾平知行 紅林勘解由知行 依田兵次郎知行 紅林解由知行
配松村	野村貫三郎知行
長兵衛	井上筑後守領分
新田	三枝忠次郎知行
中谷原	上野録之助知行
小浮氣	井上宮内領分
岡村	久世出雲守領分
台宿村	村越豊之助知行 高木数馬知行
桑原村	井上筑後守領分
桐木村	加納大和守領分 吉永金次郎知行 鈴木帶刀知行 小笠原久兵衛知行
山王村	井上筑後守領分
浜沼村	藪益次郎石行所
谷中村	間部莊太郎知行
酒詰村	福田所左衛門支配 土岐肥前守知行 高木数馬知行 村上内記知行 作本隼人正知行
小文間村	三枝忠右衛門知行
押切村	福田所左衛門御代官所
平野村	稲葉群濃守領分 内藤鉢之丞知行 太田市太郎知行
宮和田宿	内藤鉢之丞知行
片町村	松平上野介知行
大鹿村	間部莊太郎知行
百井戸村	土屋采女正領分
藤代宿	建部徳次郎知行
取手宿	

第9表 下総国相馬郡寄場取手宿・藤代宿両組構成表

その構成村名と支配関係は第九表の通りである。この三四カ村で取手宿、大鹿村以外の三二カ村は岡堰御普請組合と合致し、また定助郷村と藤代、宮和田両一宿の村々とも合致している。

組合惣代は嘉永四年の場合には、大惣代は取手宿問屋後見一郎兵衛、藤代宿名主三左衛門、宮和田宿問屋源右衛門、小泉村名主太郎右衛門で、小惣代は寺田村名主安左衛門、小文間村組頭儀兵衛であった。

養蚕関係としての富総組

富総組

藤代村と直接に関係はないが、飯田家の明治期の当主飯田主作は明治七年に千葉県から蚕種大惣代を命ぜられた。翌八年蚕種規則改正による組合条例発行により彼は組合「富総組」頭取に選出され同九一一年の間これに従事している。

富総組は一八番区あり、明治八年の規模は次頁の第一〇表の通りである。なお前年の七年の各組別は次頁の第一一表の通りである。第一一表の「番区」は明治八年のものを記入した。二名の不明は翌年には四番区之内下総国葛飾郡小金町白石邦造持と六番区同相馬郡井野村寺田又十持となっているので、これらの組は固定していない。

富総組以外にも組があった。茨城県の場合には富盛、業広、坡南、恋瀬、日沼、那珂川、錦竜、青竜組があった。

飯田（横瀬家）の概略

概略・系譜

飯田家の系譜は系図に示した通りであるが、歴代の説明の前に系図に示した戒名について記す。

一代忠誠以前には二つの戒名がある。これは子孫である野々下甲子男氏宅仏壇の飯田家位牌によると、明治二年頃迄に

		枚数	製造人	番区
		村	人	
下総国	岡田郡馬場村秋葉類助組	22	3001	2
	相馬郡高野村岩田定吉組	11	41	5
	相馬郡布川村杉野千太郎組	11	28	7
	相馬郡藤代村市村兵吾組	16	55	?
	結城郡中村関根民吉組	14	38	1
	葛飾郡立野村松村又十郎組	7	11	3
	葛飾郡豊四季村山本清蔵組	11	19	4
	葛飾郡立野新田小沢藤七組	7	11	3
	葛飾郡川妻村藤沼長兵衛組	5	14	3
	上総国埴生郡須賀村葛生幸三郎組	3	9	7
上総国	武射郡松ヶ谷村小倉友八郎組	?	40	8
	山辺郡白幡村斉藤権兵衛組	2	2	?
	望陀郡大和田村山上保組	2	2	8
	長柄郡高師村土橋栄吉組	2	3	8
合 計		以上 113	304	—

役 員	14人
御免許原紙	8643枚
余 白	193枚
現在出来高	8450枚
〔内 国 用	〔1446枚
〔海外輸出	〔7004枚
石 数	563.64
分	分
蛾 分 方	6.563
製 種 人 員	319人
{ 実	{ 287人

第10表 明治8年富総組規模表

第11表 明治7年富総組組別表

追贈された結果二つの戒名が生じたと考えられる。
なお系図に示した者以外にも墓碑、位牌が存在する者があるが、俗名、関係が
確認出来ず省略した。

飯田家は清和天皇第六皇子貞純親王六男源経基を祖とし、新田義貞を経て初代
横瀬繁氏に至るとされている。

初代横瀬繁氏は横瀬能登守永氏の嫡子とあるが、具体的な事は判らない。

二代横瀬庸氏は、寛永年中に一村仕立の御褒美として伊奈半十郎から除地高二
石五斗、反別五反歩を貰った者ではあるまいか。

本文書に、写であるが

今度相馬谷原新田情ニ入發候而就御奉公申為屋敷分谷原五反歩永出シ候間發
候而作可仕候弥新田情ニ入發候様ニ可致□覺者也仍如件
(誠不明)

寛永八年未九月十二日 伊半十(花押、印)

富士代

惣五郎

参

とあるのに当るのではないだろうか。

三代は横瀬吉氏であり、四代吉直から飯田氏を称したと云う。詳細は不明であ
る。

五代飯田庸正は七代が建立した墓碑が現存している。

六代飯田庸親も墓碑が現存しており、享保元年には名主である事実もある。

七代飯田昌(正)信の頃から本文書により比較的たどれはじめる。

八代飯田義勝は名主を勤めているが、妻帯したかは不明である。

九代飯田庸敏(庸徳)は養子である。八代の歿年が安永五年四月一三日で、九代の養子について同年二月二日付で和田伊平治宛に宮本惣左衛門が和田伊平治養子辰五郎が飯田氏になる事に異存のない旨を述べ、長五郎(庸徳)は二月二十六日に引越し、翌六年一月御本陣役仰付、苗字帯刀御免、九月名主仰付となっている。なお位牌には「飯田三左衛門庸徳は下総国相馬郡小泉村小嶋太郎右衛門弟年貳ツ之時被貫参ル」とある。

この間の事情は明らかでないが、本陣役は彼以前からだろう。

この九代の頃から比較的系譜がたどれはじめる。

一〇代飯田忠恕も名主、本陣を勤めた。寄場大惣代も勤めている。

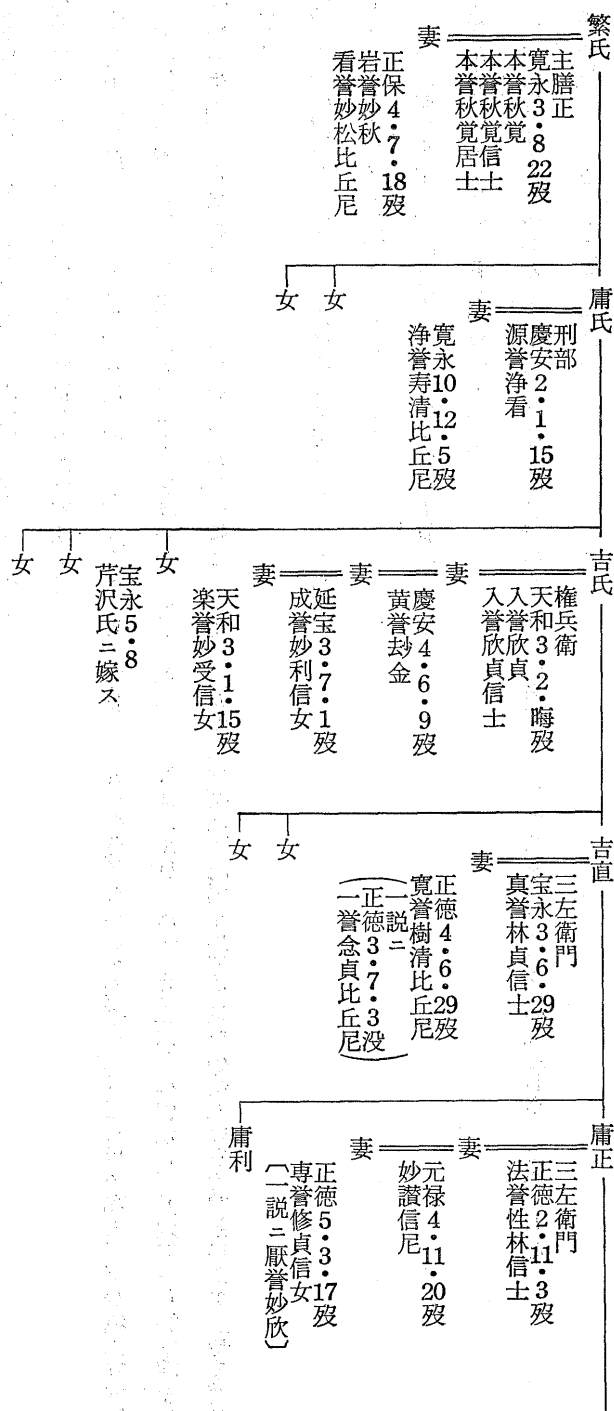
一一代飯田忠義は一〇代の職務を引継いでいる。

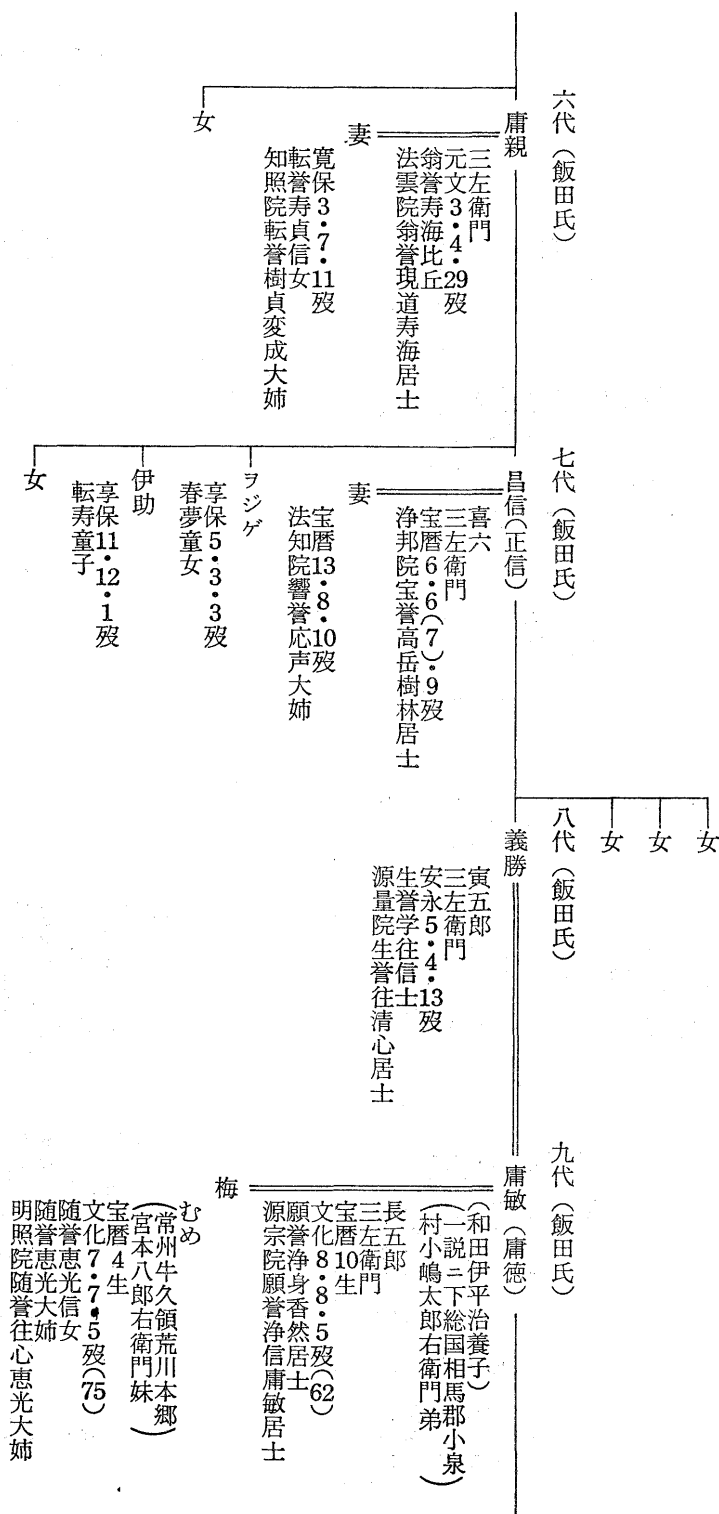
一二代飯田庸信は幕末維新期の当主で職務は前代同様である。藤代寄場役人として嘉永六年には持高五二石余、農業とある。

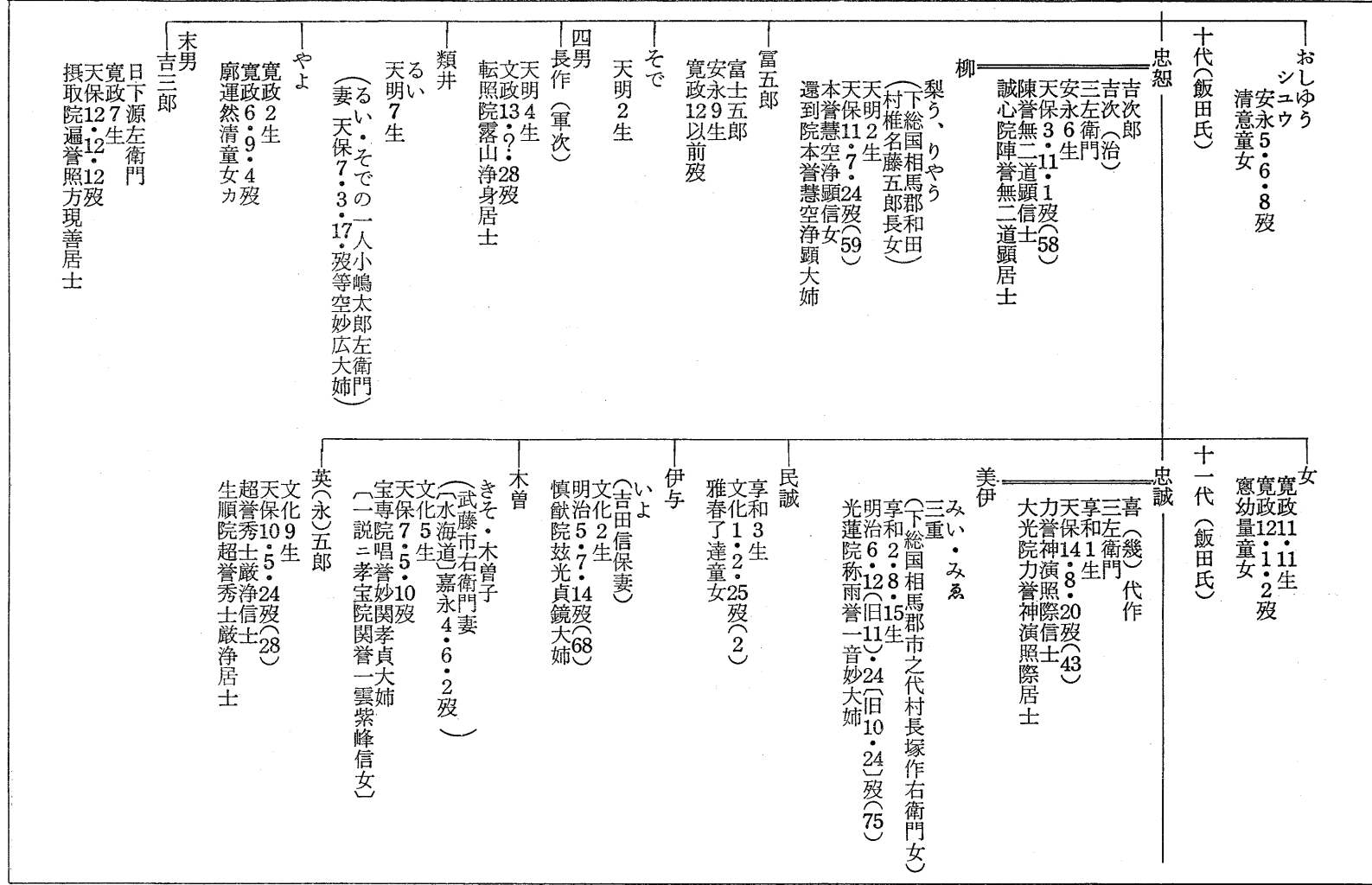
庸信は明治期には名主、副戸長を勤めた。

一三代飯田庸康は明治一年付履歴書によると、明治元年には旧土浦藩から領中見廻を命ぜられ、房総三州鎮静方信田歌之助から周旋手伝を命ぜられている。同四年九月に葛飾県から五大区五小区副戸長、同五年に印旛県から五大区六小区戸長に、同六年十二月に千葉県から一四大区四・五両区区长、同七年八月に同県から蚕種大惣代を拝命、同八年三年に富総組頭取である。明治三年から蚕種の製造販売に従事している。同一一年には製種に失敗して断念し養蚕製糸に従事し、同一三年には郡内繰製糸組合を開設加入している。

五代（飯田氏）







十二代 (飯田氏)

庸信 (庸義)

茂七・亥瀬之助
総(惣)五郎(明治4・4改名)
三左衛門
文政10生
明治15・4・30(旧3・13)歿
寿松院寛養正栄庸信居士

浜・由

はま
与志

(常州新治郡土浦町中村軌宜女)
一説中村敬典女
文政12生
明治2・9・24歿(40)
貞松院浄養心月妙清大姉

男 男 男

十三代 (飯田氏・明治25・11・4)
屈復姓横瀬氏

庸康

源一郎
主作
弘化4・10・23(25カ)生
明治35・2・6歿
勲徳院殿永蒼清月庸康大居士

登衛

トイ・登惠寿
(中村敬典女)
心蒼知恵信女
蓮正院心蒼知恵妙徳大姉
嘉永6生
明治2・1・26歿(17)

満幾子

マキ・まさ
(下総国相馬郡井野村)
小堀寺田勘兵衛女
嘉永6・12・15生
明治25・4・12歿(40)
芳月院全蒼治典卷法大姉

十四代 (横瀬氏)

庸光

秀・秀太郎
昭和17・4・27歿
実相院徳養日庸秀居士

次(一)郎

松寿軒
明治6・10・27生

庸節

文哉
(野々下家再興)
明治9・9・13生
大正5・5・1歿
瓊雲院恬蒼炳昭文哉居士

庸隆力

欽吾
明治13・3・6生
明治34・10・24歿
観月院仁蒼又山庸隆居士

庸雄(男)カ

亮也
明治17・9・1814生
明治40・5・5歿
智海院賢蒼定月庸雄居士

凡例

- 1 人名横に歴代当主の代数を示した。
- 2 一は血縁、二は養子、三は当主妻を示す。
- 3 各人名歿年下の数字は享年を示す。
- 4 本系図は飯田家文書、同家墓碑、同家位牌、過去帳により作成した。全人物を記載出来ず、必らずしも正確でない点がある事を注意されたい。

村 名	藤代宿	中 田 村	城 中 村	下茅場村	徳右衛門新田	下岩崎村
田	畝 歩 462—13	73—08	31—18	5—28	16—07	31—00
畑	382—11	13—05	0—17			
宅 地	39—16		9—10			
山 野	223—25					
合 計	1008—05	83—13	41—15	5—28	16—07	31—00

第12表 明治11年飯田家持地表

なお明治三〇年代には運送店を經營している。

この間彼は区長を勤続し、明治一二年、同一九年の藤代宿外各村聯合戸長を勤め、同二年には藤代宿外七ヶ村聯合會議長を兼ねる。同二年相馬町の成立に際しては初代町長となり、町會議長を兼ており、同二九年には相馬町消防組組長になっている事実がある。

つぎに彼の明治一一年持地は上表の通りで、合計一町八反九畝八歩で大部分は藤代にある。他に明治二二年に相馬町大字片町で田畑四畝歩を買入れている。

つぎに彼は明治二五年に横瀬姓に復姓届を提出している。その際には分家も同様の願書を出しているが、この分家が何時の者かは明らかでない。

明治三三年所得申告書によると藤代分田七反一畝二九歩、同宅地一反歩、他に横瀬主作分（庸康）田畑として大字藤代で田四町一反一畝二〇歩、畑三町八反二畝二六歩、雑地二町四反三畝一五歩、大字片町で田二畝五歩、畑二畝一歩となっている。最初の藤代分と横瀬主作分との関係が明らかでない。若し別とすれば合計一一町二反四畝六歩であり、又若し後者の大字藤代分が前者に含まれているとすれば、一〇町四反二畝七歩の持地である。いずれにせよ明治期には持地の増加はみられない。

十四代横瀬庸光については若干の文書があるに過ぎない。前記「北相馬郡志」によると、助役、収入役を勤め、郡會議員も勤めているが、年月は不明である（二六五—六頁）。

飯田家の家屋

明治三〇年の家屋は六棟で（一）本屋一棟は土屋侯から拝領、明治四年廃藩に際して外曲圍諸道具共に下された。これが本陣だろう。（二）土蔵一棟、二階は四×二・五間で明治二二年落成、（三）纏家一棟は五×二・五間で明治二七年落成、（四）物置一棟は六×二・二間で元郷蔵、（五）物置

一棟は茅葺六×二・五間で在来分、(六)長屋一棟は茅葺五×二間も在来分、他に(七)長屋一棟小羽葺五×二・五間は明治三〇年新築だが、実は「元土屋侯ニ於テ建置御厩大破ニ相成候ニ付取払停車場前へ建設ス」とある。(八)下家茅葺一棟、(九)氏神社一棟一×一間で明治六年八月新築である。

この内で(五)小羽葺長屋は相馬運送店ではあるまいか。

現況はこの家屋跡は、藤代町役場、同公民館となり建物は残存していない。氏神社のみが野々下甲子男氏宅に移転して残っているだけである。

参考迄に記すと、公民館前に木柱が建っており「陸前浜街道藤代本陣跡、本陣横瀬能登守永氏旧宅跡、昭和四十七年十月吉日建 藤代町文化財保護委員会 同郷土史研究会」とある。傍の説明文には「(前略)建物は、昭和三十年二月町村合併による庁舎建設のため取りこわされた。当時、木造茅葺造りの質素なものであったが、唐破風造りの玄関は本陣の威容をとどめていた。現在は、この百日紅と役場玄関前の老松は、本陣玄関にあったものである。昭和四十九年九月 藤代町教育委員会、藤代町文化財保護委員会」とあり、最後の状態などが判る。

文書の配列と概要

分類配列の方針

本文書は総点数八〇二八点で寛永期から明治三〇年代に及ぶが、比較的纏っているのは明和・安永期から明治二〇年代迄の時期である。内容は名主、戸長関係、大惣代関係、本陣関係、富総組の養蚕関係、飯田家関係に大別出来るが、文書によつては名主飯田氏か個人飯田氏か区別出来ない場合が多い。名主関係では藤代村以外のもの、例えば鬼長村、下小目村など飯田家文書に何故に入っているか明らかでないものもある。従つて分類はこれらを便宜上含めたものがある。『ゴチック』は大項目、『』は中項目、『』は小項目を示す。

『支配』は『支配』『法制』にわかれるが、後者の小項目は厳密な分類でない。なおこの項目は近世と明治期を一緒に分類した。

『土地』は文書の残り方がよくない。近世では村の内得上組分のみの場合が多い。「小拾」は表題から連想される質地関係ではなく、堀付など用水関係と推測される。「出入」には飯田氏以外の個人関係も含めた。

『貢租』でも近世の部分は上組、即ち三左衛門組のものが多く、主として帳簿類は明和安永期以降のものである。「勘定帳」は比較的良く残っているが、上、下組の他に組頭による組分けもあり、一年分の村の何の部分が残っているか留意されたい。又一般に水害による破損もみられる。天保期以降の会所については確認していない。

『国役』は川々国役御普請関係であり、『国役』の「御鹿狩」は小金野御鹿狩の勢力人足関係である。「役銭」は宗門、用水等に関係するので各項を参照されたい。「水銭」とは天明二年の場合には、(一)村入用紙墨筆代、(二)御用ニ付所々江罷出候入用、(三)村入用味噌醬油代、(四)村入用薪炭代、(五)村入用小買物代、(六)往還遣并問屋場入用、(七)土浦御用ニ付村役人罷出候節宿払并小遣共、(八)村入用白米并野菜代、(九)所々江奉加之割、(十)岡堰年番遣并ニ用水掛り入用、(十一)居村関梓修覆并自普請諸色入用である。従って他の項目とも関連する事が多い。「足役」は宿駅関係をはじめ足に関係するもの全てを含めている。「定使」は前記の点を考えてここに入れた。これらの事からすれば『貢租』『村入用・村費』の項とは完全に区別する事は出来なかった。

『村』の『村政』と『町村制』は、近世と明治期との区分である。前者の中で「御用留」は『支配』と関連がある。後者の中で「町制成立」は相馬町成立である。また「印紙売捌」は後述する『家』に関連項目があるので参照されたい。「役人」でも「村役人」と「町村役人」は近世、明治期の区分である。「人民惣代」は便宜上ここに入れた。

『村入用・村費』は、『村入用』と『町村費・民費』と『衛生』にわかれるが、前二者は近世、明治期の区分である。この項は前記の通り、『貢租』『村』と関係するものが多い。「町村費・村費」は小区内の村別に配列し、相馬町は藤代村その他に入れた。各村には協議費を含めたが、これは後述する『水利・普請』と関連がある。「立替」「諸入用」「村宛通」には一部近世のものがあるかもしれない。

『衛生』はコレラ、種痘、取手公立病院設立関係などである。

『戸口』では「宗旨御改」「人別送」「奉公人書上」「五人組」は近世のもの、「戸籍」「送籍・寄留」は明治期、「取調」は両期にわたり、「屈願」は主として出生、死亡などのものである。

『治安』の『治安』では、「博奕」「盗難」「傷害殺人」「水死・行倒」「埋葬」「逃去」「牢・懲治場」「不身持人」「番小屋」「鉄砲」「火災」などは、取調、届書の類であり、「貸借」「治安」は出入関係が多い。

『関東御取締出役』は『治安』の一部に同関係かとみられるものもあるが、その他に「御改革入用」と水戸騒動に基く「浮浪」、維新期の「鎮撫方」もここに入れた。

『救恤』で『御救』は一般的なものと育児積金で、『拝借』は夫食と御米拝借年賦返却の鶏卵御米と、馬代金の貸附である。最後のものは『宿駅』とも関係がある。『義倉』は明治期迄含んでいる。

『水利・普請』は『川々御普請』『小貝川川除御普請』『福岡・伊丹堰』『岡堰』『その他』にわけたが、最後のものは大部分は岡堰関係ではないかと推測される。

『道橋普請』には海道関係の外に明治期の電信架設、鉄道布設関係も含めた。

『宿駅』は『宿』『助郷』『問屋』『本陣』『宿泊・通行』と、『拝借』『渡舟場』にわかれるが、区別は判然としたものではない。『本陣』の「修覆」は明治期以降本陣が飯田家居宅であったので、公私の区別が判つきりしない。主として近世期のものをこれに入れた。

『宿泊・通行』の小項目は水戸藩、土浦藩と思われるものを最初に集め、ついで郡方御取締、御勘定を集めた。後の両者は土浦藩関係かもしれない。「宿割」「宿泊」は前記両藩以外と、両藩特に土浦藩と推測されるが断定出来ないものを入れた。この他に関東御取締出役関係は

『治安』の項に入れてある。「本陣宛通」は『家』の項の通と区別し難いものが多い。「御追討」は元治元年の野州辺御追討関係の人馬継立である。『渡船場』には便宜上川船関係を入れた。

『養蚕』は蚕種大惣代と富総組頭取の關係である。『家』の養蚕關係も参照されたい。「蚕川舎」の具体的な事は不明である。

『営業』は国税、地方税、營業税、雜種税の変遷がつかめないため、分類が判然としていない。『貢租』『村』『町村費・民費』の項と関連する所が多い。主として明治期のものだが、「酒造・売」には近世のものがある。「漁業」「養豚」は『家』に關係項目がある。

『學事・兵事』で『學事』は、宮和田、中田、里仁小学校、藤代尋常小学校、北相馬郡高等小学校などである。里仁小学校は「北相馬郡志」によると明治八年に取手小学校と改称している（二三頁）。藤代には明治六年二月一五日和順學校を開始し、宮和田安心山務名院信樂寺を仮校舍とし、同八年宮和田小学校と改め、同一七年藤代校と称し市村兵吾宅を仮校舍、同二三年相馬尋常小学校と改称、同二八年高等科を併合して相馬尋常高等小学校となった（二五七頁）。

『兵事』は徴兵、徴兵慰勞義捐金、国民軍關係成丁簿などである。

『社寺』は天王社など各社寺の外は、維新に際しての排仏毀釈に関するものが多い。「勸化」は村關係と思われるものを集めたが、『家』の關係項目も参照されたい。

『家』には飯田氏以外の個人關係もこれに入れた。「学校」は飯田家の卒業證書が主なものである。「書籍」のなかで「（回向院相撲番附）」文久二年〔整理番号四三五四〕には「藤代御本陣様 高砂五良兵衛」とある。この高砂は上萱場村出身飯塚常吉、しこ名谷川の五代目高砂であらう。明治四二年春には常陸山、梅ヶ谷以下が藤代で追善興行をした。

『土地』『貢租』『小作』には飯田家關係以外のものもある。なお米田村には近世から飯田家持地があった。小作証文にある宛名の土屋孝直は土浦藩主であり、飯田主作が代理を勤めている。

『養蚕』『漁業』は前記の関連項目も参照されたい。

『家作』は主として明治期であり、「金融」は『治安』の「貸借」と関連が多少ある。

『営業』は前記の家以外の『営業』を参照されたい。「醬酒」は『書状』の花野井の吉田家書状も参照すべきである。『相馬運送店』は内

国通運株式会社取引店である。

『家計』には一部村入用関係が入っている可能性がある。

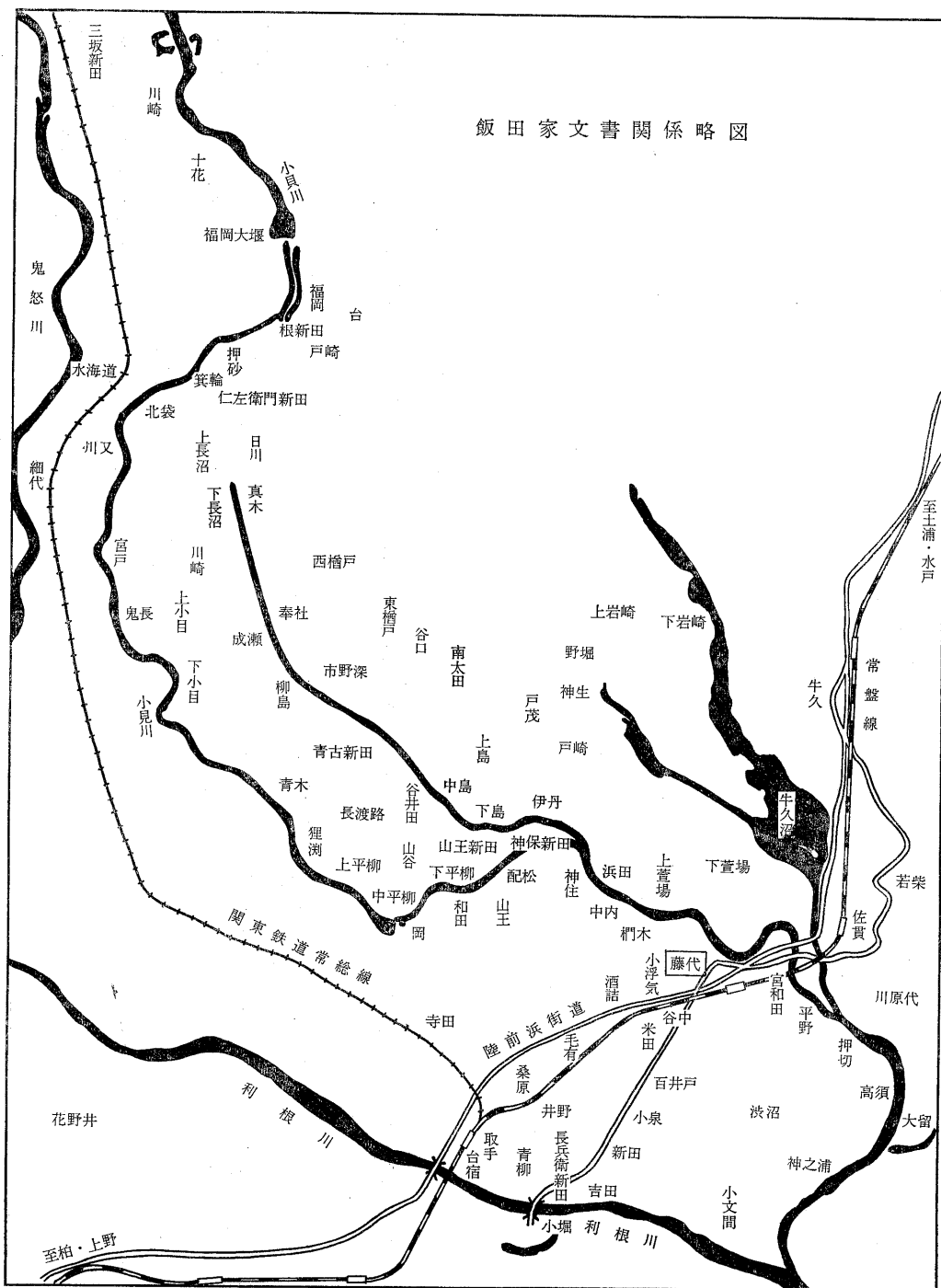
『奉公人』の請状は多く近世で、明治期には日雇簿などがある。

『慶事仏事』には火事見舞も含めた。大略明治二〇年代迄である。

『書状』は、主として公的内容のものはこれ迄の各項目に入れ、ここでは私的なものを集めた。村・宿関係、下書・案文、明治期、家、某より某に大別される。なお紙幅の都合上月日を省略し整理番号を三段組にした。詳細はカードを参照されたい。

〔付記〕 本文書の整理は藤村潤一郎が担当した。なお書状の整理は内藤真澄がこれに協力した。整理に当っては藤代町公民館、野々下甲子男氏、前野茂氏などの御教示、御協力を得た。記して感謝したい。

飯田家文書關係略圖



史料館所藏史料目錄 第二十七集
昭和五十二年三月三十日印刷発行

東京都品川区豊町一丁目十六番十号

国文学研究資料館内

編集者
発行者
国立史料館

東京都中野区中央四丁目六番十六号

印刷所 株式会社 三協社